ユーザー ガイド

A909

HP Officejet Pro 8500 (A909) All-in-One Series

ユーザー ガイド（本書）

著作権情報

Hewlett-Packard 社よりのお知らせ

本書に記載した内容は、予告なく変更されることがあります。

HP 製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の明示的保証規定に記載されているものに限定されます。 本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

Windows および Windows XP は、Microsoft Corporation の米国における登録商標です。 Windows Vista は、米国やその他の国/地域における Microsoft Corporation の登録商標または商標のいずれかです。

 Secure Digital メモリ カードは本製品によってサポートされています。SLのロゴは、その所有者の商標です。

安全に関する情報

⚠

火災や感電によるけがの危険を避けるため、この製品を使用する場合は、常に基本的な安全に関する注意を厳守してください。

1. デバイスに付属の文書に記載されている全ての説明を読んで、十分に理解してください。

2. この製品を電源に接続するときは、必ずアース付きの電源コンセントを使用してください。 コンセントが接地されているかどうか不明の場合は、資格のある電気技術者にお尋ねください。

3. 製品に記載されているすべての警告および説明を厳守してください。

4. クリーニングの前にこの製品をコンセントから取り外してください。

5. この製品を水気の近くに設置すること、または身体が濡れているときに設置しないでください。

6. 製品は、安定した面にぐらつかないよう設置してください。

7. ケーブルやコードに足をとられないような場所に設置してください。また、ケーブルやコードが損傷しないような場所を選びます。

8. 製品が正常に動作しない場合は、「保守とトラブルシューティング」を参照してください。

9. 内部にはユーザーが修理可能な部品はありません。 修理については、認定のサービス担当者にお問い合わせください。

10. デバイスに付属している外部電源アダプタ/バッテリのみをご利用ください。

目次

1 はじめに
本製品に関するその他のリソース 15
デバイスのモデル番号の検索 19
アクセシビリティ 19
デバイス各部の確認 20
前面図 20
印刷サプライ部 21
背面図 22
コントロール パネル 22
コントロール パネルのボタンとランプ (カラー ディスプレイ) 23
コントロール パネルのボタンとランプ (2 行のディスプレイ) 25
カラー ディスプレイ 27
2 行のディスプレイ 29
接続情報 29
デバイスの電源オフ 30
エコヒント 31

2 アクセサリのインストール
両面印刷ユニットのインストール 33
トレイ 2 の取り付け 33
プリント ドライバでのアクセサリの有効化 34
Windows コンピュータでアクセサリを有効にするには 34
Macintosh コンピュータでアクセサリを有効にするには 35

3 デバイスの使用
デバイスのコントロール パネルのメニューの使用 37
デバイスのコントロール パネルのメッセージ タイプ 38
ステータス メッセージ 38
警告メッセージ 38
エラー メッセージ 38
重要なエラー メッセージ 39
デバイスの設定の変更 39
文字と記号 40
コントロール パネルのキーパッドからの文字と記号の入力 41
文字を入力するには 41

スペース、ポーズ、記号を入力するには 41
文字、数字、記号を消去するには 41
ビジュアル キーボードを使用した文字の入力 (一部のモデルのみ) 41
ファクス番号をダイヤルするときに使用できる記号 (一部のモデルのみ) 42
HP ソフトウェアの使用 43
HP フォト イメージング ソフトウェアの使用 43
HP プロダクティビティ ソフトウェアの使用 45
原稿のセット 46
自動ドキュメント フィーダ (ADF) への原稿のセット 46
スキャナのガラス板への原稿のセット 47
印刷メディアの選択 48
推奨する印刷およびコピー用紙 49
印刷メディアの選択と使用のヒント 51
サポートされたメディアの仕様の理解 53
使用可能なサイズの理解 53
使用可能なメディアのタイプと重量の理解 57
最小余白の設定 59
メディアのセット 60
トレイの設定 63
特殊な用紙およびカスタムサイズのメディアの印刷 65
フチ無し印刷 66

4 印刷

プリント設定の変更 69
現在のジョブについてアプリケーションから設定を変更する (Windows) 70
将来のジョブすべてについてデフォルトの設定を変更する (Windows) 70
設定を変更する (Mac OS X) 70
両面印刷 (2 面印刷) 71
ページの両面に印刷する場合のガイドライン 71
両面印刷を実行する 72
Web ページの印刷 72
印刷ジョブのキャンセル 73

5 スキャン

原稿のスキャン 75
コンピュータへの原稿のスキャン (直接接続) 76

コンピュータへの原稿のスキャン (ネットワーク接続) 77
メモリ デバイスへの原稿の送信 77
埋め込み Web サーバ経由での Web スキャンの使用 78
TWAIN 互換または WIA 互換プログラムからのスキャン 78
TWAIN 互換プログラムからスキャンする 79
WIA 互換プログラムからスキャンする 79
スキャンした原稿の編集 79
スキャンした写真またはグラフィックの編集 79
光学式文字認識 (OCR) ソフトウェアを使用した、スキャン文書の編集 80
スキャン設定の変更 81
スキャン ジョブのキャンセル 81

6 HP デジタル ソリューション (一部のモデルのみ)

HP デジタル ソリューションについて 83
HP ダイレクト デジタル ファイリング 83
HP デジタル ファクス 84
必要な条件 84
HP デジタル ソリューションの設定 85
HP ダイレクト デジタル ファイリング 86
ネットワーク フォルダにスキャンのセットアップ 87
HP ネットワーク フォルダにスキャンの使用 89
電子メールにスキャンのセットアップ 90
電子メールへのスキャン 93
HP デジタル ファクスの設定 94
HP デジタル ファクスの使用 96

7 メモリ デバイスの使用

メモリ カードの挿入 97
デジタル カメラの接続 99
ストレージ デバイスの接続 101
DPOF フォト プリント 102
写真の表示 103
写真の表示 (カラー ディスプレイ モデルのみ) 103
コンピュータを使用した写真の表示 104
コントロール パネルからの写真の印刷 104
選択した写真の印刷 104
デバイスのコントロール パネルからのインデックス シートの印刷 105
パスポート写真の印刷 (カラー ディスプレイ モデルのみ) 105

コンピュータへの写真の保存 106

8 ファクス

ファクスの送信 110
基本的なファクスの送信 110
電話からのファクスの手動送信 111
ダイヤル モニタリングを使用したファクス送信 112
ファクス一斉送信オプションを使用したファクスの送信 (カラー ディスプレイ搭載モデルのみ) 113
ファクスをメモリから送信する 114
後で送信するためのファクスのスケジュール設定 115
ファクスを複数の受信者に送信する 116
ファクスをデバイスのコントロール パネルから複数の受信者に送信する 117
カラー原稿をファクス送信する 117
ファクス解像度と[薄く/濃く]設定の変更 118
ファクス解像度の変更 118
[薄く/濃く] 設定の変更 120
新しいデフォルトの設定 120
エラー補正モードでのファクス送信 121
ファクスの受信 121
ファクスの手動受信 122
バックアップ ファクス受信のセットアップ 123
受信済みファクスのメモリからの再印刷 125
ポーリングしてファクスを受信する 126
別の番号へのファクスの転送 127
ファクス受信用の用紙サイズの設定 128
受信したファクスを自動縮小に設定 128
迷惑ファクス番号の拒否 129
迷惑ファクス モードの設定 130
迷惑ファクス一覧に番号を追加 130
迷惑ファクス一覧から番号を削除 131
拒否するファクス番号のリストの表示 132
コンピュータへのファクスの受信 (PC ファクス受信と Mac にファクス 132
PC ファクス受信および Mac にファクス機能の要件 133
[PC ファクス受信] および [Mac にファクス] の有効化 133
[PC ファクス受信] または [Mac にファクス] の設定を修正する 134
PC ファクス受信または Mac にファクスをオフにします。 135

ファクス設定の変更 135
ファクスのヘッダーの設定 136
応答モード (自動応答) の設定 137
応答までの呼び出し回数の設定 137
着信識別応答呼び出し音のパターンの変更 138
ファクスのエラー補正モードの設定 139
ダイヤル方式の設定 140
リダイヤル オプションの設定 140
ファクス速度の設定 141
ファクス音のボリュームの設定 142
短縮ダイヤルの設定 143
ファクス番号の短縮ダイヤル エントリまたはグループとしての設定 143
短縮ダイヤルの設定 144
短縮ダイヤル グループを設定する 144
短縮ダイヤル エントリ一覧の印刷と表示 146
短縮ダイヤル エントリの一覧を表示する 147
短縮ダイヤル エントリの一覧を印刷するには 147
FoIP (Fax over Internet Protocol) 147
ファクス設定のテスト 148
レポートの使用 149
ファクス確認レポートの印刷 150
ファクス エラー レポートの印刷 151
ファクス ログの印刷と表示 152
ファクス ログの消去 153
最後のファクス処理についての詳細の印刷 153
発信者 ID 履歴レポート 154
ファクスのキャンセル 154

9 コピー
デバイスのコントロール パネルからのコピーの作成 156
コピー設定の変更 156
コピー枚数の設定 156
コピー用紙サイズの設定 157
コピー用紙の種類の設定 158
コピー速度と品質の変更 159
レターまたは A4 用紙に合わせて原稿のサイズを変更 160
リーガル サイズの文書をレター用紙にコピーする 161
原稿のトリミング (カラー ディスプレイ モデルのみ) 162

コピーの濃淡の調整 163
コピーの薄い部分を強調 163
コピー ジョブの作成 164
コピーへの余白の変更の適用 165
両面コピー 166
コピー ジョブのキャンセル 167

10 構成と管理
デバイスの管理 169
デバイスを監視する 170
デバイスの管理 173
デバイス管理ツールの使用 176
ツールボックスの使用 (Windows) 176
ツールボックスを開く 177
ツールボックス タブ 178
ネットワーク ツールボックス 180
HP ソリューション センターの使用 (Windows) 180
組み込み Web サーバ 181
埋め込み Web サーバを開くには 182
埋め込み Web サーバのページ 183
HP デバイス マネージャの使用 (Mac OS X) 185
HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS X) の使用 185
HP プリンタ ユーティリティを開く 186
HP プリンタ ユーティリティのパネル 186
セルフテスト レポートについて 186
ネットワーク設定ページの理解 188
ネットワーク オプションの構成 189
基本的なネットワーク設定の変更 190
ワイヤレス設定の変更 190
ネットワーク設定の表示と印刷 190
ワイヤレスをオンまたはオフに設定する 191
詳細なネットワーク設定の変更 191
リンク速度の設定 192
IP 設定を表示するには 192
IP 設定を変更するには 192
デバイスのファクス機能のセットアップ 193
ファクス機能のセットアップ (パラレル方式の電話システム) 193
自宅またはオフィスに合った正しいファクス セットアップの選択 195

ケース A： 単独のファクス回線 (電話の着信なし) 199
ケース B： DSL 環境でのデバイスのセットアップ 200
ケース C： PBX 電話システムまたは ISDN 回線の環境でのデバイスのセットアップ 202
ケース D： 同じ回線でファクスと着信識別サービスを一緒に利用 203
ケース E： 電話とファクスを一緒に利用する 205
ケース F： 電話とファクスとボイスメール サービスを一緒に利用する 207
ケース G： 同じ回線でファクスとコンピュータ モデムを一緒に利用する (電話の着信なし) 208
ケース H： 電話とファクスとコンピュータ モデムを一緒に利用する 212
ケース I： 電話とファクスと留守番電話を一緒に利用する 218
ケース J：電話とファクスとコンピュータ モデムと留守番電話を一緒に利用する 220
ケース K： 電話とファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムとボイス メールを一緒に利用する 226
シリアル方式のファクスのセットアップ 229
デバイスの構成 (Windows) 229
直接接続 230
デバイス接続前にソフトウェアをインストールする (推奨) 230
ソフトウェアのインストール前にデバイスを接続する 231
ローカル共有ネットワークでデバイスを共有する 232
ネットワーク接続 233
ネットワークにデバイスをインストール 237
デバイス ソフトウェアをクライアント コンピュータにインストール 237
[プリンタの追加] を使用してプリンタ ドライバをインストール 238
IPV6 専用ネットワーク環境で、デバイスをインストールするには 238
デバイスの構成 (Mac OS X) 240
ネットワークまたは直接接続用のソフトウェアのインストール 240
ローカル共有ネットワークでデバイスを共有する 241
デバイスのワイヤレス通信のセットアップ (一部のモデルのみ) 242
802.11 ワイヤレス ネットワーク設定の理解 244
インストール プログラムを使用してワイヤレス通信をセットアップするには (Windows) 245

インストーラでワイヤレス通信をセットアップするには (Mac OS X) 246
デバイスのコントロール パネルとワイヤレス セットアップ ウィザードを使用してワイヤレス通信をセットアップするには 246
アド ホック ワイヤレス ネットワーク接続でデバイスを接続 247
ワイヤレス通信をオフにするには 248
HP デバイスを使用できるようにファイアウォールを設定する 248
接続方法の変更 249
ワイヤレス ネットワークのセキュリティ保証ガイドライン 250
ハードウェア アドレスを WAP に追加するには 250
その他のガイドライン 251
デバイスの Bluetooth 通信のセットアップ 252
埋め込み Web サーバでデバイスの Bluetooth 通信をセットアップするには 253
Bluetooth によるデバイスの接続 254
Windows での Bluetooth によるデバイスの接続 254
Mac OS X での Bluetooth によるデバイスの接続 256
デバイスの Bluetooth のセキュリティ設定 257
パスキーを使用した Bluetooth デバイスの認証 257
Bluetooth デバイスでのデバイスの表示/非表示を設定するには 258
埋め込み Web サーバでの Bluetooth 設定のリセット 259
ソフトウェアのアンインストールと再インストール 259

11 保守とトラブルシューティング
インク カートリッジの交換 263
プリントヘッドのメンテナンス 265
プリントヘッドの状態を確認するには 266
印刷品質診断ページを印刷するには 266
プリントヘッドの位置を調整するには 269
ライン フィード キャリブレーションを行うには 269
プリントヘッドをクリーニングするには 270
プリントヘッド コンタクトを手動でクリーニングするには 270
プリントヘッドを交換するには 273
印刷サプライ品の保管 275
インク カートリッジの保管 275
プリントヘッドの保管 276
デバイスのクリーニング 276
スキャナ ガラスのクリーニング 276
外側のクリーニング 277

自動ドキュメント フィーダのクリーニング 277
一般的なトラブルシューティング ヒントとリソース 281
印刷上の問題の解決 282
デバイスの電源が突然切れる 282
コントロール パネルのディスプレイにエラー メッセージが表示される 282
デバイスが応答しない (何も印刷されない) 283
印刷するのに長時間かかる 284
テキストまたはグラフィックスの配置が適切でない 284
ページの半分が印刷された後、用紙が排出される 285
印刷品質の不良と予期しないプリント結果 286
一般的な印刷品質のトラブルシューティング 286
無意味な文字が印刷される 287
インクがにじむ 288
テキストまたはグラフィックスに印字ムラが出る 288
印字が薄いか色が鮮やかでない 289
カラーが白黒で印刷される 289
間違った色で印刷される 289
印刷結果のカラーがにじむ 289
フチ無し印刷の下部に水平方向の歪みがある 290
色が正しい位置に印刷されない 291
テキストまたはグラフィックスにインクの筋が出ている 291
ページの一部が印刷されない、または正しくない 291
給紙の問題の解決 292
コピーの問題の解決 294
コピーが排出されない 294
何もコピーされない 295
原稿の一部がコピーされない、または薄い 295
サイズが小さくなる 296
コピーの品質が悪い 296
正しくコピーされない 296
ページの半分が印刷された後、用紙が排出される 298
エラー メッセージが表示される 298
スキャンの問題の解決 298
スキャナが動作しない 298
スキャンに時間がかかりすぎる 299
文書の一部またはテキストがスキャンされない 299
テキストを編集できない 300

エラー メッセージが表示される 301
スキャンした画像の品質が良くない 301
正しくスキャンされない 303
ファクスの問題の解決 303
ファクス テストに失敗した 304
HP デジタル ソリューションの問題の解決 325
HP ダイレクト デジタル ファイリングの問題の解決 325
共通の問題 325
ネットワーク フォルダにスキャンできない 326
電子メールへのスキャンができない 327
HP デジタル ファイルの問題を解決する 330
ネットワークの問題の解決 332
ワイヤレス通信に関連する問題の解決 334
ワイヤレスの基本的なトラブルシューティング 334
ワイヤレスの詳細なトラブルシューティング 335
コンピュータがネットワークに接続されていることを確認します。 336
HP デバイスがネットワークに接続されていることを確認してください。 337
ファイアウォール ソフトウェアが通信を妨げていないかどうかを確認します。 339
HP デバイスがオンラインであり印刷可能であることを確認します。 340
ワイヤレス ルータが非公開の SSID を使用している 341
HP デバイスのワイヤレス バージョンがデフォルト プリンタ ドライバとして設定されていることを確認してください (Windows のみ)。 341
HP Network Devices Support サービスが動作していることを確認します (Windows のみ)。 342
ハードウェア アドレスを Wireless Access Point (WAP) に追加する 343
写真 (メモリ カード) の問題の解決 343
メモリ カードを読み取ることができない 344
メモリ カードに保存されている写真を読み取ることができない 345
ページの半分が印刷された後、用紙が排出される 346
本体の管理に関する問題の解決 346
埋め込み Web サーバを開くことができない 346
インストールの問題のトラブルシューティング 347

ハードウェアのインストールに関する提案 347
ソフトウェアのインストールに関する提案 349
メディア詰まりの除去 350
紙詰まりの除去 350
紙詰まりの防止 353
エラー (Windows) 353
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾍｯﾄﾞｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ 354
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾍｯﾄﾞｶﾞ ﾌﾃｷｺﾞｳﾃﾞｽ 354
プリントヘッドノ モンダイ 354
メモリがいっぱいです 354
Device Disconnected (デバイスが切断されました) 355
カートリッジをすぐに交換 355
カートリッジの問題 355
カートリッジの問題 355
用紙が一致しない場合 356
カートリッジ ホルダーが動きません。 356
紙づまりです。 356
紙づまりです。 356
プリンタに用紙がありません。 356
間違ったカートリッジ 356
ﾌﾟﾘﾝﾀはｵﾌﾗｲﾝです。 357
ﾌﾟﾘﾝﾀが一時停止しています。 357
ドキュメントの印刷に失敗しました 358
一般的なプリンタ エラー....................................358

A HP サプライ品とアクセサリ
印刷サプライ品のオンライン注文 359
アクセサリ 360
サプライ品 360
インク カートリッジとプリントヘッド 360
HP メディア 362

B サポートおよび保証
電子サポートの取得 363
保証 364
インク カートリッジ保証情報 364
HP テレフォン サポートの取得 366
電話をかける前の用意 366
サポート プロセス 367

HP 社の電話によるサポート 367
電話サポート期間 368
電話サポート番号 369
電話をかける 370
電話無料サポート期間後 370
追加保証オプション 370
HP Quick Exchange Service (Japan) 371
HP 韓国カスタマサポート 371
製品をお送りいただくための準備 372
製品をお送りいただく前のインク カートリッジとプリントヘッドの取り外し 372
デバイスのコントロール パネル カバーの取り外し 375
両面印刷ユニットを取り外す 377
排紙トレイを取り外す 377
製品の梱包 378

C デバイスの仕様
物理的仕様 381
製品機能と容量 382
プロセッサとメモリの仕様 383
システム要件 383
ネットワーク プロトコルの仕様 385
埋め込み Web サーバの仕様 386
印刷の仕様 386
コピーの仕様 386
ファクスの仕様 386
スキャンの仕様 387
環境仕様 388
電気仕様 388
発生音量仕様 (エコノ モードでの印刷、ISO 7779 によるノイズ レベル) 388
サポートされているデバイス 388
メモリ カードの仕様 389

D 法規について
FCC 準拠声明 392
日本のユーザに対するVCCI (クラス B) 基準に関する告知 392
日本のユーザに対する告知 (電源コードについて) 393
韓国のユーザに対する告知 393

有毒有害物質の表 393
米国電話網ユーザへの告知：FCC 要件 394
カナダのユーザに対する告知 395
欧州経済地域の全ユーザに対する告知 396
オーストラリアでの有線ファクスの接続について 396
ワイヤレス製品の法規規定 396
高周波暴露 397
ブラジルのユーザーに対する告示 397
カナダのユーザーに対する告示 397
台湾のユーザーに対する告知 398
EUの規制に関する告知 399
規制モデル番号 399
適合宣言書 400
環境保全のためのプロダクト スチュワード プログラム 402
用紙の使用 402
プラスチック 402
化学物質安全性データシート 402
リサイクルプログラム 402
HP インクジェット サプライ品リサイクル プログラム 403
EU の一般家庭ユーザーによる廃棄機器の処理 404
電力消費 405
化学物質 405
サードパーティ ライセンス 406
索引...413

1 はじめに

このガイドでは、本製品の使用方法と問題の解決方法について詳しく説明します。

- 本製品に関するその他のリソース
- デバイスのモデル番号の検索
- アクセシビリティ
- デバイス各部の確認
- デバイスの電源オフ
- エコヒント

注記 Windows 2000、Windows XP x64、Windows XP Starter Edition、または Windows Vista Starter Edition を実行しているコンピュータでデバイスを使用している場合、一部の機能が使用できない可能性があります。詳細については、オペレーティング システムとの互換性（サポートする OS は国毎に異なります）を参照してください。

本製品に関するその他のリソース

このガイドに含まれていない製品情報や詳しいトラブルシューティング リソースは、次のリソースに記載されています。

入手先	説明	場所
セットアップ ポスター	図によりセットアップ情報を表すポスターです。	この文書の印刷版は、本製品に同梱されています。また、HP Web サイト www.hp.com/support からも入手できます。
ファクス入門ガイド	デバイスのファクス機能の設定手順が記載されています。	この文書の印刷版は、本製品に同梱されています。
ワイヤレス入門ガイド (一部のモデルのみ)	デバイスのワイヤレス機能の設定手順が記載されています。	この文書の印刷版は、本製品に同梱されています。

(続き)

入手先	説明	場所
HP デジタル ソリューション入門ガイド (一部のモデルのみ)	HP デジタル ソリューションの設定手順が記載されています。	この文書の印刷版は、本製品に同梱されています。
Readme ファイルとリリース ノート	最新情報とトラブルシューティング ヒントが記載されています。	スタータ CD に搭載されています。
ツールボックス (Microsoft® Windows®)	インク カートリッジの状態についての情報と、メンテナンス サービスへのアクセスが提供されます。 詳細については、ツールボックスの使用 (Windows) を参照してください。	通常、ツールボックスは、利用可能なインストール オプションの 1 つとしてデバイス ソフトウェアと共にインストールされます。
HP ソリューション センター (Windows)	デバイス設定の変更、サプライ品の注文、起動、オンスクリーン ヘルプへのアクセスができます。取り付けたデバイスによっては、HP ソリューション センターで、HP フォト イメージング ソフトウェアやファクス セットアップ ウィザードへのアクセスなど、追加機能が提供されます。詳細については、HP ソリューション センターの使用 (Windows)を参照してください。	通常、デバイス ソフトウェアと共にインストールされます。
HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS X)	プリント設定の構成、機器の調整、プ	通常、HP プリンタ ユーティリティは、

(続き)

入手先	説明	場所
	リントヘッドのクリーニング、設定ページの印刷、Web サイトでのサポート情報検索のためのツールが含まれています。 詳細については、HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS X) の使用を参照してください。	デバイス ソフトウェアと共にインストールされます。
デバイスのコントロール パネル	操作についてのステータス情報、エラー情報、および警告情報が表示されます。	詳細については、コントロール パネルのボタンとランプ (カラー ディスプレイ)を参照してください。
ログとレポート	生じたイベントについての情報が提供されます。	詳細については、デバイスを監視するを参照してください。
セルフテスト レポート	• 製品に関する情報： ◦ 製品名 ◦ モデル番号	詳細については、セルフテスト レポートについてを参照してください。

(続き)

入手先	説明	場所
	◦ シリアル番号 ◦ ファームウェア バージョン番号 • トレイとアクセサリから印刷されたページ数 • インクの量 **注記** インク残量の警告およびインジケータは、交換用インクを用意できるよう情報を提供します。インク残量が少ないという警告メッセージが表示されたら、印刷できなくなる前に交換用のプリント カートリッジを準備してください。インク カートリッジを交換する必要があるのは、交換のメッセージが表示された場合だけです。	
HP Web サイト	最新のプリンタ ソフトウェア、製品およびサポート情報が提供されます。	www.hp.com/support www.hp.com
HP 電話サポート	HP の連絡先情報が一覧表示されます。	詳細については、HP テレフォン サポートの取得を参照してください。
組み込み Web サーバ	製品と印刷サプライ品に対するステータス情報を提供し、デ	詳細については、組み込み Web サーバを参照してください。

入手先	説明	場所
	バイスの設定を変更できます。	

デバイスのモデル番号の検索

デバイス前面に表示されるモデル名に加え、このデバイスには特定のモデル番号があります。この番号を使用して、製品で利用できるサプライ品、アクセサリ、サポート入手のタイミングについて確認できます。

モデル番号は、デバイスの内部、インク カートリッジの側のラベルに記載されています。

アクセシビリティ

本製品には、障害のある方でもご利用いただけるよう数々の機能が備えられています。

視覚

デバイス ソフトウェアは、お使いのオペレーティング システムのアクセシビリティ オプションと機能をご使用いただくことにより、視覚障害をお持ちの方にもご利用いただけます。 また、スクリーン リーダー、点字リーダー、ボイス ツー テキスト アプリケーションなどのテクノロジーもサポートしています。 色覚障害をお持ちの方のために、ソフトウェアとデバイスのコントロール パネルで使われているカラー ボタンとタブには、該当の操作を表した簡単なテキストまたはアイコン ラベルが付いています。

移動性

移動が困難なユーザー向けには、デバイス ソフトウェア機能がキーボード コマンドを通じて実行できるようになっています。 ソフトウェアは StickyKeys、ToggleKeys、FilterKeys、および MouseKeys などの Windows アクセシビリティ オプションもサポートしています。 本製品のドア、ボタン、用紙トレイ、用紙ガイドなどは体力と到達範囲に制限があるユーザーでも操作できるようになっています。

ｻﾎﾟｰﾄ

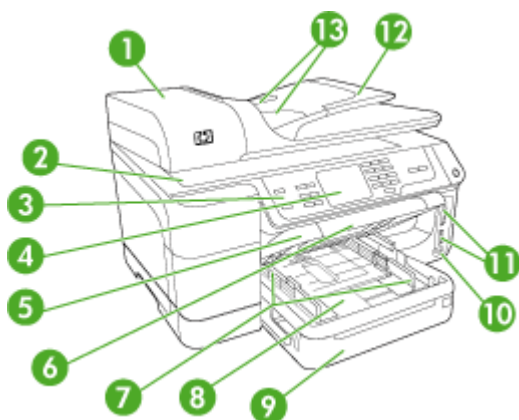
本製品のアクセシビリティの詳細について、および製品のアクセシビリティに対する HP の取り組みについては、HP の Web サイト www.hp.com/accessibility をご覧ください。

Mac OS X のアクセシビリティ情報については、Apple の Web サイト www.apple.com/accessibility をご覧ください。

デバイス各部の確認

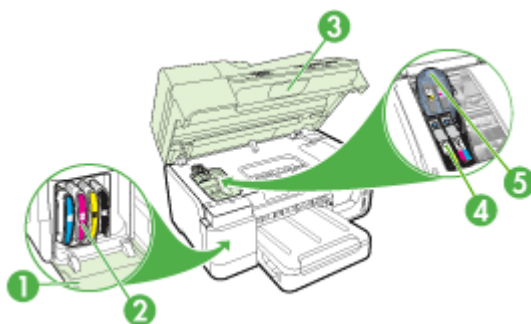
このセクションでは、次のトピックについて説明します。

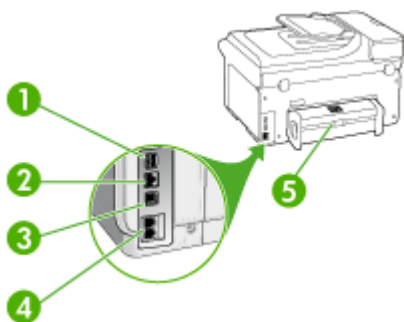
- 前面図
- 印刷サプライ部
- 背面図
- コントロール パネル
- 接続情報

前面図

1	自動ドキュメント フィーダ (ADF)
2	スキャナ ガラス
3	コントロール パネル (お使いの HP オールインワン モデルによって異なります)
4	ディスプレイ (お使いのモデルによって異なります)
5	排紙トレイ
6	延長排紙トレイ
7	用紙幅ガイド

(続き)

8	トレイ 1
9	トレイ 2 (一部のモデル)
10	前面 USB (Universal Serial Bus) ポート (PictBridge 対応)
11	メモリ カード スロット
12	ドキュメント フィーダ トレイ
13	横方向用紙ガイド

印刷サプライ部

1	インク カートリッジ カバー
2	インク カートリッジ
3	プリントキャリッジ アクセス ドア
4	プリント ヘッド
5	プリントヘッド ラッチ

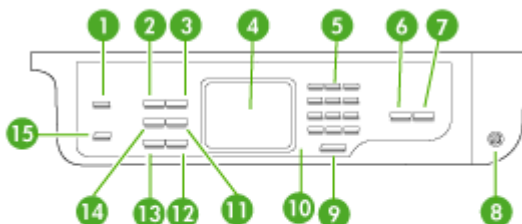
背面図

1	電源入力
2	Ethernet ネットワーク ポート
3	後部 USB (Universal Serial Bus) ポート
4	ファクス用ポート (1-LINE および 2-EXT)
5	自動両面印刷アクセサリ (両面印刷ユニット)

コントロール パネル

コントロール パネルのレイアウトと利用可能な機能は、お使いのモデルによって異なります。

この後で、コントロール パネルのボタン、ランプ、ディスプレイについて説明します。お使いのモデルによっては、搭載されていない機能があります。

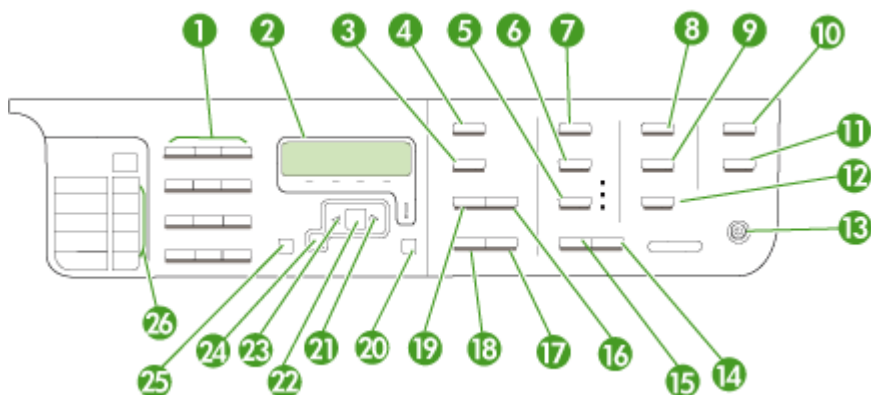
コントロール パネルのボタンとランプ (カラー ディスプレイ)

次の図と表を使って、デバイスのコントロール パネルの機能について説明します。

ﾗﾍﾞﾙ	名称および説明
1	デジタル ファイリング
2	このボタンの名前と機能は、本製品が販売された国/地域によって異なります。 **解像度**： 送信するファクスの解像度を調整します。 **迷惑ファクスを拒否**： 迷惑ファクスを拒否の設定メニューで、迷惑ファクスを管理します。 この機能を使用するためには、発信者 ID サービスを利用する必要があります。
3	**自動応答**ボタンとランプ：このボタンが点灯している場合、デバイスは自動的に着信に応答します。このボタンがオフのときは、ファックスの着信に応答しません。
4	**画面**： メニューとメッセージを表示します。
5	**キーパッド**： 値を入力します。
6	**コピー スタート - モノクロ**： モノクロ コピーを開始します。
7	**コピー スタート - カラー**： カラー コピーを開始します。

(続き)

ﾗﾍﾞﾙ	名称および説明
8	**電源**： 本体電源のオン/オフを切り替えます。 本体の電源がオンのときは、電源ボタンが点灯します。 ジョブの実行中はランプが点滅します。 本体の電源をオフにしていても、必要最小限の電力が供給されています。 電力の供給を完全に遮断するには、本体の電源をオフにした後に電源ケーブルを抜いてください。
9	**キャンセル**： ジョブを停止したり、メニューや設定を終了したりします。
10	**注意ランプ**： 点滅している場合は、注意が必要なエラーが発生していることを示します。
11	**短縮ダイヤル**： 短縮ダイヤルを選択します。
12	**ファクス スタート - カラー**： カラー ファクスの送信を開始します。
13	**ファクス スタート - モノクロ**： モノクロ ファクスの送信を開始します。
14	**リダイヤル/一時停止**：最後にダイヤルした番号をリダイヤルします。または、ファクス番号に 3 秒間のポーズを挿入します。
15	**E メール**：文書をスキャンして、E メールで送信できます。インターネットに接続してください。

コントロール パネルのボタンとランプ (2 行のディスプレイ)

次の図と表を使って、デバイスのコントロール パネルの機能について説明します。

ﾗﾍﾞﾙ	名称および説明
1	キーパッド：ファックス番号や値、文字を入力します。
2	画面：メニューとメッセージを表示します。
3	メニューとメッセージを表示します。このボタンの名前と機能は、本製品が販売された国/地域によって異なります。 **解像度**: 送信するファクスの解像度を調整します。 **迷惑ファクスを拒否**： 迷惑ファクスを拒否の設定メニューで、迷惑ファクスを管理します。この機能を使用するためには、発信者 ID サービスを利用する必要があります。
4	**ファクス**： ファクス メニューで、オプションを選択します。
5	**品質**： コピー印刷品質を [高画質]、[標準]、[はやい] から選択します。
6	**縮小/拡大**：印刷するコピーのサイズを変更します。
7	**コピー**： コピー メニューでオプションを選択します。
8	**スキャン**：[スキャン] メニューでスキャン送信先を選択します。
9	**メモリ デバイスに**:文書をスキャンしてフォルダに保存し、ネットワーク上で他のユーザーと共有できるようにします。

(続き)

ﾗﾍﾞﾙ	名称および説明
10	ﾌｫﾄ ﾖｳｼ： フォト メニューで、オプションを選択します。
11	**フォト スタート**フォト機能を選択します。
12	**スキャン スタート**：スキャンを開始し、[スキャン] ボタンで選択した送信先に画像を送信します。
13	**電源**： 本体電源のオン/オフを切り替えます。本体の電源がオンのときは、電源ボタンが点灯します。ジョブの実行中はランプが点滅します。 本体の電源をオフにしていても、必要最小限の電力が供給されています。電力の供給を完全に遮断するには、本体の電源をオフにした後に電源ケーブルを抜いてください。
14	**コピー スタート - カラー**： カラー コピーを開始します。
15	**コピー スタート - モノクロ**： モノクロ コピーを開始します。
16	**自動応答**： このボタンが点灯している場合、デバイスは自動的に着信に応答します。このボタンがオフのときは、ファックスの着信に応答しません。
17	**ファクス スタート - カラー**： カラー ファクスの送信を開始します。
18	**ファクス スタート - モノクロ**： モノクロ ファクスの送信を開始します。
19	**リダイヤル/ポーズ**： 最後にダイヤルした番号をリダイヤルします。または、ファクス番号に 3 秒間のポーズを挿入します。
20	**キャンセル**： ジョブを停止したり、メニューや設定を終了したりします。
21	右矢印：ディスプレイに表示されている値を大きくします。
22	**OK(O)**: ディスプレイのメニューまたは設定を選択します。
23	左矢印：ディスプレイの値を小さくします。
24	**戻る**：1 つ上のメニューを表示します。
25	**セットアップ**：レポートの作成、その他のメンテナンス設定の変更、および [ヘルプ] メニューへのアクセスを行うためのセットアップ メニューを表示します。メニューで選択したトピックに関するヘルプ メニューがコンピュータ画面に表示されます。

(続き)

ﾗﾍﾞﾙ	名称および説明
26	ワンタッチ短縮ダイヤル ボタン : 先頭の 5 つの短縮ダイヤル番号をダイヤルします。

カラー ディスプレイ

注記 この種類のディスプレイは、一部のモデルのみに搭載されています。

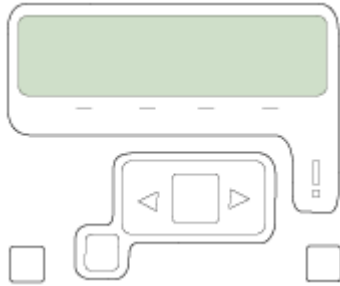
カラー ディスプレイでは、画面の下部に次のアイコンを表示して重要な情報を提供します。 アイコンの中には、お使いの製品がネットワークに接続可能な場合にのみ表示されるものがあります。 ネットワーク接続の詳細については、ネットワーク オプションの構成を参照してください。

アイコン	用途
	インク カートリッジ内のインクの量を示します。 アイコンの色はインク カートリッジの色に対応しており、アイコンの残量レベルはインク カートリッジの残量レベルに対応しています。 **注記** インク残量の警告およびインジケータは、交換用インクを用意できるよう情報を提供します。インク残量が少ないという警告メッセージが表示されたら、印刷できなくなる前に交換用のプリント カートリッジを準備してください。インク カートリッジを交換する必要があるのは、交換のメッセージが表示された場合だけです。
	不明なインク カートリッジがセットされていることを示します。 インク カートリッジに他社製のインクが入っている場合にこのアイコンが表示されます。

(続き)

アイコン	用途
	有線ネットワーク接続の状態を示します。
	ワイヤレス ネットワーク接続が存在することを示します 信号強度は曲線の数で示されます。これはインフラストラクチャ モード用です(この機能は、一部のモデルでサポートされます)。 詳細については、デバイスのワイヤレス通信のセットアップ (一部のモデルのみ)を参照してください。
	アドホック (ピア ツー ピア) のワイヤレス ネットワーク接続が存在することを示します。(この機能は、一部のモデルでサポートされます)。 詳細については、デバイスのワイヤレス通信のセットアップ (一部のモデルのみ)を参照してください。
	Bluetooth アダプタがインストールされ、接続されていることを示します 別売の Bluetooth アダプタが必要です。 詳細については、HP サプライ品とアクセサリを参照してください。 Bluetooth の設定方法の詳細については、ワイヤレス ネットワークのセキュリティ保証ガイドラインを参照してください。
Copy	**コピー**： コピー メニューでオプションを選択します。
Fax	**ファクス**： ファクス メニューで、オプションを選択します。
Scan	**スキャン**：[スキャン] メニューでスキャン送信先を選択します。
Photo	**ﾌｫﾄ ﾖｳｼ**： フォト メニューで、オプションを選択します。
	セットアップ： セットアップ メニューで、レポートの作成、ファクスなどのメンテナンス設定の変更、ヘルプ メニューの表示を行います。 ヘルプ メニューで選択し

アイコン	用途
	たトピックに関するヘルプがコンピュータ画面に表示されます。

2 行のディスプレイ

注記 搭載されているディスプレイの種類は、モデルによって異なります。

2 行のディスプレイには、ステータス メッセージ、エラー メッセージ、メニュー オプション、アドバイスが表示されます。 メモリ カードを挿入するか、カメラを接続すると、ディスプレイが写真モードになり、フォト メニューの上部が表示されます。

接続情報

説明	接続するコンピュータの台数 (最高性能を得るための推奨台数)	サポートされるソフトウェア機能	セットアップ方法
USB 接続	1 台のコンピュータ。USB ケーブルで後部 USB 2.0 高速ポートに接続。	すべての機能をサポートします。	詳しい手順については、セットアップ ポスターに従ってください。
Ethernet (有線) 接続	ハブまたはルーターを使用してコン	Web スキャンを含むすべての機能	セットアップ ポスターの指示に従います。詳細につ

(続き)

説明	接続するコンピュータの台数 (最高性能を得るための推奨台数)	サポートされるソフトウェア機能	セットアップ方法
	ピュータを 5 台まで接続。	がサポートされます。	いては、このガイドのネットワーク オプションの構成を参照してください。
プリンタ共有	コンピュータ 5 台まで。 ホスト コンピュータの電源を常にオンにしておく必要があります。オフの場合、他のコンピュータから本製品に印刷することはできません。	ホスト コンピュータに装備されている機能はすべてサポートされます。 別のコンピュータからサポートされているのは印刷だけです。	ローカル共有ネットワークでデバイスを共有するの指示に従ってください。
802.11 ワイヤレス (一部のモデルのみ)	ハブまたはルーターを使用してコンピュータを 5 台まで接続。 **注記** 接続するコンピュータの台数 (最高性能を得るための推奨台数) では、アドホック モードとインフラストラクチャ モードで最高性能を得るためのコンピュータの台数を指定します。	Web スキャンを含むすべての機能がサポートされます。	デバイスのワイヤレス通信のセットアップ (一部のモデルのみ)の指示に従ってください。

デバイスの電源オフ

HP 製品は、**電源** ボタンを押して、電源をオフにします。電源ランプが消灯するまでは、電源コードを抜いたり、電源を切ったりしないで

ください。誤った方法で HP 製品の電源を切ると、インクホルダーが正しい位置に戻らないため、プリントヘッドに問題が生じ、印刷品質が低下するおそれがあります。

エコヒント

HP は、お客様の環境への配慮の支援に積極的に取り組んでいます。印刷に関する選択肢によって生じる影響の評価と影響を低減する方法に重点を置いた、エコヒントは次のとおりです。この製品の特徴と、HP の環境への取り組みに関する情報については、HP Eco Solutions Web サイト (www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment/) もご覧ください。

- **両面印刷**:**用紙を節約する印刷**を使用して、同じシートに複数ページを両面印刷すれば、用紙の使用量を減らすことができます。詳細については、両面印刷 (2 面印刷)を参照してください。
- **Smart Web Printing**:HP Smart Web Printing インタフェースには、**Clip Book** ウィンドウと **Edit Clips** ウィンドウが含まれていて、Web で収集したクリップを保存、管理、または印刷できます。詳細については、Web ページの印刷を参照してください。
- **省エネ情報**：この製品のエナジースター® 認定状況については、電力消費をご覧ください。
- **リサイクル材料**:HP製品のリサイクルの詳細については、下記サイトをご参照ください。
www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment/recycle/

2 アクセサリのインストール

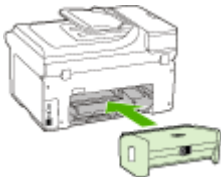
このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 両面印刷ユニットのインストール
- トレイ 2 の取り付け
- プリント ドライバでのアクセサリの有効化

両面印刷ユニットのインストール

自動的に用紙の両面に印刷できます。 両面印刷ユニットの詳細については、両面印刷 (2 面印刷)を参照してください。

両面印刷ユニットを取り付けるには

▲ 両面印刷ユニットを本体に取り付け、ロックされる位置まで押し込みます。 両面印刷ユニットを取り付けるときにユニットのボタンを押さないでください。ボタンは、本体から取り外すときに押します。

トレイ 2 の取り付け

注記 この機能は、一部のモデルで使用できます。

トレイ 2 には普通紙 250枚までセット可能です。注文の詳細については、HP サプライ品とアクセサリを参照してください。

トレイ 2 を取り付けるには

1. トレイを開梱し、梱包テープと梱包材を取り除き、設置場所にトレイを置きます。 安定した平らな場所に設置する必要があります。
2. 本体の電源を切り、電源コードのプラグを取り外します。

3. 本体をトレイの上に置きます。

   △ **注意**　本体の底とトレイの間に指や手をはさまないように注意してください。

4. 電源コードを接続し、本体の電源を入れます。
5. プリント ドライバでトレイ 2 を有効にします。 詳細については、プリント ドライバでのアクセサリの有効化を参照してください。

プリント ドライバでのアクセサリの有効化

- Windows コンピュータでアクセサリを有効にするには
- Macintosh コンピュータでアクセサリを有効にするには

Windows コンピュータでアクセサリを有効にするには

Windows コンピュータにプリンタソフトウェアをインストールした後、本製品でトレイ 2 を使用するためには、プリント ドライバでトレイ 2 を有効にする必要があります (両面印刷ユニットを有効にする必要はありません)。

1. **[スタート]** をクリックして **[設定]** をクリックし、**[プリンタ]** または **[プリンタと FAX]** をクリックします。
   -または-
   [スタート] をクリックして **[コントロール パネル]** をクリックし、次に **[プリンタ]** をダブルクリックします。
2. プリンタ アイコンを右クリックし、**[プロパティ]**、**[文書デフォルト]**、または **[詳細設定]** を選択します。
3. 次のいずれかのタブを選択します： **[設定]**、**[デバイスの設定]**、または **[デバイス オプション]**。 (タブの名前は、プリント ドライバとオペレーティング システムによって異なります。) 選択したタブで、有効にするアクセサリをクリックし、ドロップダウン メニューの **[取り付け済み]** をクリックし、**[OK]** をクリックします。

Macintosh コンピュータでアクセサリを有効にするには

Mac OS では、デバイス ソフトウェアをインストールすると、プリンタ ドライバですべてのアクセサリが自動的に有効になります。アクセサリを後から追加する場合は、次の手順に従います。

Mac OS X (v.10.4)

1. Dock の **[プリンタ設定ユーティリティ]** アイコンをクリックします。

   注記 **[プリンタ セットアップ ユーティリティ]** が、Dock にない場合は、ハード ドライブの Applications/utilities/printer setup utility フォルダを確認してください。

2. **[プリンタ リスト]** ウィンドウで、設定するデバイスを一度クリックして選択します。
3. **[プリンタ]** メニューから、**[情報を表示]** をクリックします。
4. **[名前と場所]** ドロップダウン メニューをクリックし、**[インストール可能なオプション]** を選択します。
5. 有効にするアクセサリをオンにします。
6. **[変更を適用]** をクリックします。

Mac OS X (v.10.5)

1. [**システム環境設定**] を開き、[**プリントとファクス**] を選択します。
2. **[オプションとサプライ品]**をクリックします。
3. **[ドライバ]** タブをクリックします。
4. インストールするオプションを選択し、**[OK]** をクリックします。

3 デバイスの使用

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- デバイスのコントロール パネルのメニューの使用
- デバイスのコントロール パネルのメッセージ タイプ
- デバイスの設定の変更
- 文字と記号
- HP ソフトウェアの使用
- 原稿のセット
- 印刷メディアの選択
- メディアのセット
- トレイの設定
- 特殊な用紙およびカスタムサイズのメディアの印刷
- フチ無し印刷

デバイスのコントロール パネルのメニューの使用

以下のセクションでは、コントロール パネル ディスプレイに表示されるトップレベル メニューについて説明します。 メニューを表示するには、使用する機能のメニュー ボタンを押します。

注記 コントロール パネルのディスプレイの種類 (カラー ディスプレイまたは 2 行のディスプレイ) は、ご使用のモデルによって異なります。

- **スキャン メニュー** : 送信先一覧を表示します。送信先によっては、HP ソリューション センターのロードが必要になる場合があります。
- **コピー メニュー** : 次のオプションがあります。
  - コピー枚数の選択
  - 縮小/拡大
  - 用紙タイプとサイズの選択
- **ファクス メニュー** :　ファクス番号や短縮ダイヤル番号を入力したり、ファクス メニューを表示することができます。 次のオプションがあります。
  - 解像度の変更
  - 明るくする/暗くする

- ファクスの遅延送信
    - 新しいデフォルトの設定
- **フォト メニュー**：次のオプションがあります。
    - 写真の選択
    - レイアウト
    - 用紙タイプとサイズの選択
    - 写真の修正
    - 日付スタンプ

デバイスのコントロール パネルのメッセージ タイプ

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ステータス メッセージ
- 警告メッセージ
- エラー メッセージ
- 重要なエラー メッセージ

ステータス メッセージ

ステータス メッセージには、デバイスの現在の状態が表示されます。このメッセージは正常の動作を知らせるものであり、メッセージをクリアするための操作は不要です。デバイスの状態が変わると、メッセージも変更されます。デバイスの準備が完了し、ビジー状態ではなく、保留中の警告メッセージがない場合、デバイスの電源が投入された日時が表示されます。

警告メッセージ

警告メッセージは注意が必要なイベントについて知らせますが、デバイスは通常どおり使用できます。 警告メッセージには、インク残量の低下を警告するメッセージなどがあります。 このようなメッセージは、ユーザーがその状態を解決するまで表示されます。

エラー メッセージ

エラー メッセージは、用紙の追加や詰まった用紙の除去など、何らかの操作をユーザーが実行する必要があることを伝えます。 通常、このメッセージが表示されるときは赤の注意ランプが点滅します。適切な処理完了後に、適切なボタンを押して、印刷を実行してください。

エラー メッセージにエラー コードが含まれる場合は、電源ボタンを押してデバイスの電源を切り、もう一度電源を入れます。 ほとんどの状況では、この操作を行うと問題が解決されます。 メッセージが消えない場合は、デバイスの修理が必要である可能性があります。 詳細については、サポートおよび保証を参照してください。

重要なエラー メッセージ

重要なエラー メッセージは、デバイスの障害について知らせます。 これらのメッセージの一部は、電源ボタンを押してデバイスの電源を切り、もう一度電源を入れると消すことができます。 重要なエラーが消えない場合は、修理が必要です。 詳細については、サポートおよび保証を参照してください。

デバイスの設定の変更

デバイス設定は、次の場所で変更することができます。

- デバイスのコントロール パネルから
- HP Solution Center (Windows) または HP デバイス マネージャ (Mac OS X)
- 組み込み Web サーバ

注記 HP Solution Center または HP Device Manager で設定を行うときは、デバイスのコントロール パネルから行われた設定 (スキャン設定など) を表示することはできません。

デバイスのコントロール パネルから設定を変更するには

1. デバイスのコントロール パネルで、使用中の機能のメニュー ボタン (ファクスメニューなど) を押します。
2. 変更するオプションに移動するには、次のいずれかの方法を使用します。
    - コントロール パネルのボタンを押し、左または右の矢印キーを使って値を調整します。
    - コントロール パネルに表示されるメニューからオプションを選択します。
3. 目的の値を選択し、**OK(O)** を押します。

HP ソリューション センター (Windows) から設定を変更するには

▲ デスクトップで、HP ソリューション センター アイコンをダブルクリックします。
- または -
タスクバーの [Digital Imaging Monitor] アイコンをダブルクリックします。

HP デバイス マネージャから設定を変更するには (Mac OS X)

1. Dock の **[HP デバイス マネージャ]** のアイコンをクリックします。

   注記 アイコンが Dock に表示されない場合は、メニューバー右側の [スポットライト] アイコンをクリックして、ボックスに「HP デバイス マネージャ」と入力し、**[HP デバイス マネージャ]** エントリをクリックします。

2. **[デバイス]** ドロップダウン メニューでデバイスを選択します。
3. **[情報と設定]** メニューで、変更する項目をクリックします。

埋め込み Web サーバから設定を変更するには

1. 埋め込み Web サーバを開きます。
2. 変更する設定を含むページを選択します。
3. 設定を変更し、**[適用]** をクリックします。

文字と記号

コントロール パネルのキーパッドを使用して文字と記号を入力できます。また、コントロール パネルのビジュアル キーボードにタッチして文字と記号を入力することもできます (一部のモデルのみ)。有線または無線ネットワーク、ファクス ヘッダー、短縮ダイヤルを設定するときに、ビジュアル キーボードはカラー ディスプレイに自動的に表示されます。

ファクス番号や電話番号をダイヤルするときも、キーパッドから記号を入力することができます。 デバイスは、番号をダイヤルするときに、記号に応じた動作をします。 たとえば、ファクス番号の途中にダッシュがある場合は、デバイスがダイヤルするときに、そこで一定の間隔が置かれます。 この間隔は、ファクス番号をダイヤルする前に、外線番号を入力する必要がある場合などに役に立ちます。

注記 ファクス番号にダッシュなどの記号を含める場合は、キーパッドからその記号を入力する必要があります。

コントロール パネルのキーパッドからの文字と記号の入力

コントロール パネルのキーパッドから文字と記号を入力できます。

文字の入力が終わったら、**OK(O)** を押して入力内容を確定します。

文字を入力するには

▲ テキストを入力するにはビジュアル キーボード上の文字を押します。

スペース、ポーズ、記号を入力するには

- スペースを挿入するには、**スペース** を押します。
- ポーズを入力するには、**リダイヤル/ポーズ** を押します。 番号の途中にダッシュが挿入されます。
- [**@**] などの記号を入力するには、記号ボタン ([***@**]) を繰り返し押して、記号のリストをスクロールします。アスタリスク [*]、ダッシュ [**-**]、アンパサンド [**&**]、ピリオド [**.**]、スラッシュ [**/**]、括弧 [**( )**]、アポストロフィ [**'**]、イコール [**=**]、ナンバー [**#**]、アット [**@**]、下線 [**_**]、プラス [**+**]、感嘆符 [**!**]、セミコロン [**;**]、疑問符 [**?**]、コンマ [**,**]、コロン [**:**]、パーセント [**%**]、概算 [**~**] があります。

文字、数字、記号を消去するには

▲ 間違えた場合は、左の矢印ボタンを押して消去し、正しく入力し直してください。

ビジュアル キーボードを使用した文字の入力 (一部のモデルのみ)

文字を入力する場合、カラー ディスプレイに自動的に表示されるビジュアル キーボードを利用して、文字と記号を入力することができます。 有線または無線ネットワーク、ファクスのヘッダー、短縮ダイヤ

ルなどを設定するときに、ビジュアル キーボードは自動的に表示されます。

ビジュアル キーボードを使用して文字を入力するには

1. 文字、数字、記号を選択するには、ビジュアル キーボードにタッチします。

   小文字、大文字、数字、記号を入力するには

   - 小文字を入力するには、ビジュアル キーボードの [**abc**] ボタンにタッチします。
   - 大文字を入力するには、ビジュアル キーボードの [**ABC**] ボタンにタッチします。
   - 数字を入力するには、ビジュアル キーボードの [**123**] ボタンにタッチします。
   - 記号を入力するには、ビジュアル キーボードの [**$@!**] ボタンにタッチします。

   ヒント 文字、数字、記号を消去するには、ビジュアル キーボードの [**クリア**] にタッチします。

2. 文字、数値、記号の入力が終わったら、ビジュアル キーボードの [**完了**] にタッチします。

ファクス番号をダイヤルするときに使用できる記号 (一部のモデルのみ)

* などの記号を入力するには、**記号** ボタンを繰り返し押して、記号一覧をスクロールします。 次の表は、ファクスまたは電話番号、ファクスのヘッダー情報、短縮ダイヤル エントリで使用できる記号です。

使用できる記号	説明	以下の場合に使用可能
*	ダイヤルに必要な場合に、アスタリスク記号を表示します。	ファクスのヘッダー名、短縮ダイヤル名、短縮ダイヤル番号、ファクスまたは電話番号、ダイヤルモニタ機能の番号
-	自動的にダイヤルするときは、番号に一定の間隔が挿入されます。	ファクスのヘッダー名、ファクス ヘッダー番号、短縮ダイヤル名、短縮ダ

(続き)

使用できる記号	説明	以下の場合に使用可能
		イヤル番号、ファクスまたは電話番号
( )	市外局番などが読み取りやすくなるように、番号に左あるいは右かっこを入れます。 これらの記号はダイヤルには影響しません。	ファクスのヘッダー名、ファクス ヘッダー番号、短縮ダイヤル名、短縮ダイヤル番号、ファクスまたは電話番号
W	W を入れると、自動的ダイヤルの際に、ダイヤル トーンを待ってからダイヤルします。	短縮ダイヤル番号、ファクスまたは電話番号
R	R は、自動ダイヤル中に電話の切替ボタンと同じように動作します。	短縮ダイヤル番号、ファクスまたは電話番号
+	プラス記号を表示します。 この記号はダイヤルには影響しません。	ファクスのヘッダー名、ファクス ヘッダー番号、短縮ダイヤル名、短縮ダイヤル番号、ファクスまたは電話番号

HP ソフトウェアの使用

このセクションには、次のトピックが掲載されています。

- HP フォト イメージング ソフトウェアの使用
- HP プロダクティビティ ソフトウェアの使用

HP フォト イメージング ソフトウェアの使用

HP フォト イメージング ソフトウェアを使用すると、デバイスのコントロール パネルからは利用できない数多くの機能にアクセスすることができます。

ソフトウェアのコンピュータへのインストールは、セットアップ中のオプションです。

HP フォト イメージング ソフトウェアへのアクセス方法は、オペレーティング システム (OS) により異なります。たとえば、Windows コンピュータの場合、HP フォト イメージング ソフトウェアのエントリ ポ

イントは、HP Photosmart ソフトウェア ウィンドウです。Macintosh コンピュータの場合、HP フォト イメージング ソフトウェアのエントリ ポイントは、HP Photosmart Studio ウインドウです。いずれにしても、エントリ ポイントは、HP フォト イメージング ソフトウェアおよびサービスを起動する基点となります。

Windows コンピュータで HP Photosmart ソフトウェア にアクセスするには

1. 次のいずれかの操作を行います。
   - Windows デスクトップで、HP Photosmart ソフトウェア アイコンをダブルクリックします。
   - タスクバーで、**[スタート]** をクリックし、**[プログラム]** または **[すべてのプログラム]** をポイントします。 次に、**[HP]** を選択し、**[HP Photosmart ソフトウェア]**をクリックします。
2. 複数の HP デバイスを取り付けている場合は、ご使用の製品名のタ ブを選択してください。

注記 Windows コンピュータの場合、HP Photosmart ソフトウェア で使用できる機能はインストールしたプリンタによって異なります。HP フォト イメージング ソフトウェアは、選択したデバイスに関連するアイコンを表示するようにカスタマイズされます。選択したデバイスに特定の機能が搭載されていない場合、その機能のアイコンはソフトウェアに表示されません。

ヒント コンピュータ上のHP Photosmart ソフトウェアにアイコンが 1 つも表示されない場合は、ソフトウェアのインストール中にエラーが発生していることもあります。そのような状況を修正するには、Windows のコントロールパネルを使用して、HP Photosmart ソフトウェアを完全にアンインストールしてから、ソフトウェアを再インストールします。詳細については、デバイスに付属の設定用ポスターを参照してください。

Macintosh コンピュータで HP Photosmart Studio ソフトウェアを起動するには

1. Dock の HP Photosmart Studio アイコンをクリックします。

   注記 HP Photosmart Studioアイコンが、Dock にない場合は、ハード ドライブの /Applications/Hewlett Packard/HP Photosmart Studio フォルダを確認してください。

   HP Photosmart Studio ウィンドウが表示されます。
2. HP Photosmart Studio タスク バーで、**[デバイス]** をクリックします。
   [HP デバイス マネージャ] ウィンドウが表示されます。
3. **[デバイス]** ドロップダウン メニューでデバイスを選択します。
   ここで、スキャン、文書のインポート、インク カートリッジのインク残量の確認などの保守作業を実行することができます。

   注記 Macintosh コンピュータの場合、HP Photosmart Studio ソフトウェアで使用できる機能は選択したデバイスによって異なります。

   ヒント HP Photosmart Studio ソフトウェアが起動したら、Dock のHP Photosmart Studioアイコンを選択し、その上にマウスを置いた状態にすると、**[Dock]** メニューのショートカットにアクセスすることができます。

HP プロダクティビティ ソフトウェアの使用

HP プロダクティビティ ソフトウェアを使用すると、コンピュータ上で選択したファイルの管理、編集、および注釈付けが行えます。光学式文字認識 (OCR) 技術を使用して文書をスキャンし、テキスト ファイルに保存してワード プロセッサ プログラムを使用して編集することができます。このソフトウェアでは、インストールした HP 製品をモニタすることもできます。HP ドキュメント マネージャなど、一部のプロダクティビティ ソフトウェアはオプションでインストールされます。HP ソリューション センターは自動的にインストールされます。HP ドキュメント マネージャの詳細については、製品に付属のヘルプを参照してください。HP ソリューション センターの詳細について

は、HP ソリューション センターの使用 (Windows)を参照してください。

HP ドキュメント マネージャを開くには

▲ デスクトップで、HP ドキュメント マネージャのアイコンをダブルクリックします。

原稿のセット

コピー、ファクス、スキャンする原稿は、自動ドキュメント フィーダまたはスキャナのガラス板にセットします。 自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿は、デバイスに自動的に給紙されます。

- 自動ドキュメント フィーダ (ADF) への原稿のセット
- スキャナのガラス板への原稿のセット

自動ドキュメント フィーダ (ADF) への原稿のセット

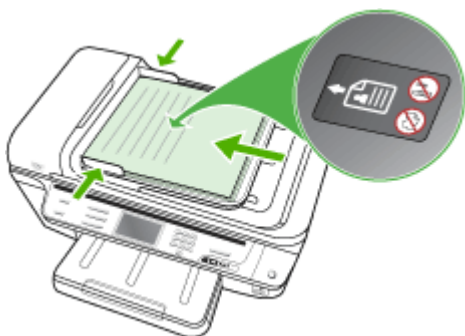
ADF からリーガル サイズまでの原稿をコピー、スキャン、またはファクスすることができます。

注記 一部のモデルでは、ADF で両面原稿をサポートしています。

△ **注意** ADF に写真をセットしないでください。写真が破損する可能性があります。

ドキュメント フィーダ トレイに原稿をセットするには

1. ドキュメント フィーダ トレイに、印刷面を上にして原稿をセットします。 原稿の上側が先になるようにトレイに置きます。 自動ドキュメント フィーダに用紙をスライドさせます。正しくセットされると、ビープ音が鳴るか、セットした用紙を認識したことを示すメッセージがディスプレイに表示されます。

   ヒント 原稿を自動ドキュメント フィーダにセットする方法については、ドキュメント フィーダ トレイにある図を参照してください。

2. 用紙の両端に当たって止まるまで、横方向用紙ガイドをスライドさせます。

注記 デバイスのカバーを持ち上げる前に、ドキュメント フィーダ トレイから原稿をすべて取り出してください。

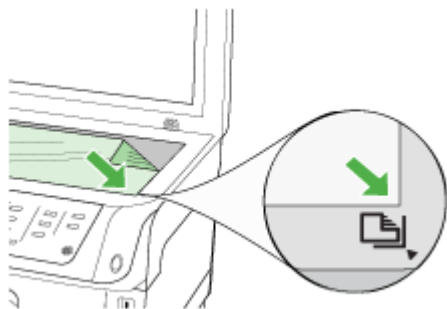
スキャナのガラス板への原稿のセット

ガラス板に原稿をセットすると、最大で A4 サイズまたはレター用紙までの原稿をコピー、スキャン、またはファクスすることができます。 一部のモデルでは、リーガル サイズの原稿をガラス板にセットできます。 原稿に複数のフルサイズのページがある場合は、自動ドキュメント フィーダにセットしてください モデルがガラス板へのリーガル サイズの原稿のセットをサポートしていない場合は、リーガル サイズの原稿を自動ドキュメント フィーダにセットしてください。

注記 ガラス板やカバーの裏に汚れが付着していると、多くの特殊機能が正常に機能しなくなる可能性があります。 詳細については、デバイスのクリーニングを参照してください。

スキャナのガラス板に原稿をセットするには

1. すべての原稿をドキュメント フィーダ トレイから取り出してから、カバーを持ち上げてください。
2. 印刷面を下にしてガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。

ヒント 原稿のセット方法については、ガラス板の端に示されているガイドを参照してください。

3. カバーを閉じます。

印刷メディアの選択

デバイスは、ほとんどのタイプのオフィス用メディアに印刷できるようデザインされています。 印刷メディアを大量に購入する前に、さまざまなタイプの印刷メディアをテストすることをお勧めします。 最適な印刷品質を得るには、HP メディアを使用してください。 HP メディアの詳細については、HP Web サイト (www.hp.com) にアクセスしてください。

必ず、プリンタ ドライバで正しい用紙の種類の設定を使用し、正しい用紙の種類のトレイを設定してください。HP では、用紙を大量に購入する場合は、購入前にテストすることをお勧めします。

	通常のドキュメントの印刷とコピーには、ColorLok ロゴ付きの普通紙をお勧めします。ColorLok ロゴのついた用紙はすべて、信頼性と印刷品質に関する高い基準を満たすことが独自にテストされており、鮮やかな色と深みのある黒を実現し、通常の普通紙より乾燥が速くなっています。ColorLok ロゴ付きの用紙は、さまざまな重量とサイズのものが主要な用紙メーカーから販売されています。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 推奨する印刷およびコピー用紙
- 印刷メディアの選択と使用のヒント
- サポートされたメディアの仕様の理解
- 最小余白の設定

推奨する印刷およびコピー用紙

印刷をより美しく仕上げるには、印刷するプロジェクトのタイプに合わせて設計された HP 専用紙を使用することをおすすめします。

国/地域によっては、入手できない用紙もあります。

HP ブローシャ用紙 HP ハイグレードインクジェット用紙	両面印刷に対応できるように、両面に光沢またはつや消しコーティングが施されています。写真に近い品質の印刷や、レポートのカバー、特別なプレゼンテーション、カタログ、宣伝用リーフレット、カレンダなどに使用するビジネス用のグラフィックの印刷にお勧めします。
HP インクジェット用上質普通紙	HP インクジェット用上質普通紙を使用すると、ハイコントラストの色とシャープな文字で印刷されます。ある程度の厚みがあり両面カラー印刷をしても裏写りしないため、ニュースレターやレポート、広告などにお勧めします。ColorLok Technology の使用により、にじみが少なく、深みのある黒と鮮明な色を実現しています。
HP 印刷用紙	HP 印刷用紙は、高品質の多目的用紙です。標準の多目的用紙やコピー用紙と比べて、見た目も質感も重量感のあるしっかりした文書を作成できます。ColorLok Technology の使用により、にじみが少なく、深みのある黒と鮮明な色を実現しています。長期保存文書向けの中性紙です。
HP オフィス用紙	HP オフィス用紙は、高品質の多目的用紙です。コピー、下書き、メモ、その他の通常のドキュメントに適しています。ColorLok Technology の使用により、にじみが少なく、深みのある黒と鮮明な色を実現しています。長期保存文書向けの中性紙です。
HP オフィス再生紙	HP オフィス再生紙は、高品質の多目的用紙で、再生繊維が 30% 含まれています。ColorLok Technology の使用により、にじみが少なく、深みのある黒と鮮明な色を実現しています。長期保存文書向けの中性紙です。
HP プレミアムプレゼンテーション用紙	両面印刷用のつや消しで厚い用紙で、プレゼンテーション、企画書、報告書、ニュースレターなどに適しています。厚手で印象的な外観です。

(続き)

HP プロフェッショナル用紙	
HP プレミアム インクジェット OHP フィルム	HP プレミアム インクジェット OHP フィルムを使用すると、カラーのプレゼンテーションをより鮮やかで印象的に仕上げることができます。このフィルムは、扱いやすく、にじまず速く乾くので便利です。
HP アドバンス フォト用紙	速乾性があるため、汚れにくく扱いやすい厚手のフォト用紙です。水、染み、指紋、湿気への抵抗性に優れています。プリントショップの仕上がりに似た印刷品質が得られます。用紙サイズには、A4、8.5 x 11 インチ、10 x 15 cm (4 x 6 インチ)、13 x 18 cm (5 x 7 インチ) などがあり、いずれも光沢またはソフト光沢 (サテンつや消し) という 2 種類の仕上げがあります。長期保存文書向けの中性紙です。
HP エブリデイ フォト用紙	日常的な写真の印刷に適していて、普段のスナップショットをカラフルに低コストで印刷できます。速乾性で扱いやすく、手ごろな価格の写真用紙です。インクジェット プリンタで使用すると、シャープで鮮明な画像が得られます。つや消し仕上げで、サイズは、8.5 x 11 インチ、A4、4 x 6 インチ、10 x 15 cm があります。長期保存文書向けの中性紙です。

HP 用紙とその他のサプライ品を注文するには、www.hp.com/buy/supplies にアクセスしてください。メッセージに従って、お住まいの国/地域を選択し、製品を選択して、ページ上のショッピング リンクの 1 つをクリックします。

注記 現時点では、HP Web サイトの一部は英語版のみです。

印刷メディアの選択と使用のヒント

最高の品質を実現するには、次のガイドラインに従ってください。

- 必ず、デバイスの仕様に準拠したメディアを使用してください。詳細については、サポートされたメディアの仕様の理解を参照してください。
- トレイには、一度に 1 つのタイプのメディアしかセットしないでください。特殊メディアを普通紙の上に置いた場合、紙詰まりや不適切な印刷が生じるおそれがあります。
- トレイ 1 とトレイ 2 の場合、印刷面を下にし、トレイの後ろ側に用紙を合わせてメディアをセットします。給紙トレイの中央にメディアを置き、横方向用紙ガイドを調整します。トレイ 2 を利用できるのは、一部のモデルのみです。詳細については、メディアのセットを参照してください。
- トレイ 2 は普通紙のみをセットするようデザインされています。トレイ 2 は用紙のサイズを自動的に検出することはできません。プリンタ ドライバで、印刷オプションから用紙のサイズを選択する必要があります。
- トレイにメディアを入れすぎないでください。詳細については、サポートされたメディアの仕様の理解を参照してください。特殊メディアの高さは全体の 3/4 までにすることをお勧めします。
- 用紙詰まり、プリント品質の低下、およびそれ以外の印刷の問題を防ぐには、次のメディアを使用しないでください :
  - 複数の部分からなるフォーム
  - 損傷したり曲がったり、しわのよったメディア
  - カットアウトや穴のあいたメディア
  - 厚いメディアや浮き彫りのあるメディア、またはインクをうまく受付けないメディア
  - 軽すぎたり簡単に伸びてしまうメディア

カードおよび封筒

- 表面が滑らかな封筒、糊付き、留め金や窓のついた封筒は避けます。 縁が厚かったり不揃い、または丸まっている封筒、しわがあったり裂けていたり、その他にも破損があるカードや封筒は避けます。
- しっかりと作られた封筒を使用し、縁がしっかりと折られていることを確認します。
- フラップ付きの封筒は上に向けて右側、または背面をトレイに合わせてセットします。

フォト メディア

- 写真を印刷するには、**[高画質]** モードを使用します。 このモードでは、他のモードより印刷速度が遅くなり、コンピュータのメモリも多く必要になります。
- OHP フィルムは、印刷するたびに取り出して乾かします。 乾いていないメディアを積み重ねると、にじみが発生する場合があります。

OHP フィルム

- ざらざらの面が下になり、粘着テープがデバイス後部にくるようにして OHP フィルムを挿入します。
- OHP フィルムを印刷するには、**[きれい]** モードを使用します。 次のページが排紙トレイに排出される前にインクが完全に乾くよう、このモードでは乾燥時間が長くかかります。
- OHP フィルムは、印刷するたびに取り出して乾かします。乾いていないメディアを積み重ねると、にじみが発生する場合があります。

カスタムサイズのメディア

- デバイスでサポートされているカスタム サイズのメディアだけを使用します。
- 使用しているアプリケーションでカスタム サイズのメディアをサポートしている場合は、文書を印刷する前に、アプリケーションでメディア サイズを設定します。 サポートされていない場合は、プリンタ ドライバでサイズを設定します。 既存の文書をカスタム サイズの用紙に印刷する場合は、正しく印刷するために文書の再フォーマットが必要になる場合があります。

サポートされたメディアの仕様の理解

使用可能なサイズの理解および使用可能なメディアのタイプと重量の理解の表を使用して、デバイスで使用する正しいメディアと、そのメディアに利用できる機能を判断します。

- 使用可能なサイズの理解
- 使用可能なメディアのタイプと重量の理解

使用可能なサイズの理解

注記 トレイ 2 を利用できるのは、一部のモデルのみです。

用紙サイズ	トレイ 1	トレイ 2	両面印刷ユニット	ADF
標準サイズのメディア				
U.S. レター (216 x 279 mm、8.5 x 11 インチ)	✔	✔	✔	✔
216 x 330 mm (8.5 x 13 インチ)*	✔	✔		
U.S. リーガル (216 x 356 mm、8.5 x 14 インチ)	✔	✔		✔
A4 (210 x 297 mm、8.3 x 11.7 インチ)	✔	✔	✔	✔
U.S. エグゼクティブ (184 x 267 mm、7.25 x 10.5 インチ)	✔	✔	✔	✔
U.S. ステートメント (140 x 216 mm、5.5 x 8.5 インチ)	✔			
B5 (JIS) (182 x 257 mm、7.17 x 10.12 インチ)	✔	✔	✔	✔
A5 (148 x 210 mm、5.8 x 8.3 インチ)	✔		✔	

(続き)

用紙サイズ	トレイ 1	トレイ 2	両面印刷ユニット	ADF
6 x 8 インチ*	✔		✔	
フチ無し A4 (210 x 297 mm、8.3 x 11.7 インチ)*	✔			
フチ無し A5 (148 x 210 mm、5.8 x 8.3 インチ)*	✔			
フチ無し B5 (JIS) (182 x 257 mm、7.17 x 10.12 インチ)*	✔			
封筒				
米国 10 号封筒 (105 x 241 mm、4.12 x 9.5 インチ)*	✔			
Monarch 封筒 (98 x 191 mm、3.88 x 7.5 インチ)*	✔			
カード封筒 (111 x 152 mm、4.4 x 6 インチ)*	✔			
A2 招待状用封筒 (111 x 146 mm、4.37 x 5.75 インチ)*	✔			
DL 封筒 (110 x 220 mm、4.3 x 8.7 インチ)*	✔			
C5 封筒 (162 x 229 mm、6.4 x 9 インチ)*	✔			
C6 封筒 (114 x 162 mm、4.5 x 6.4 インチ)*	✔			
封筒長形 3 号 (120 x 235 mm、4.7 x 9.3 インチ)*	✔			
封筒長形 4 号 (90 x 205 mm、3.5 x 8.1 インチ)*	✔			

(続き)

用紙サイズ	トレイ 1	トレイ 2	両面印刷ユニット	ADF
カード				
インデックス カード (76.2 x 127 mm、3 x 5 インチ）*	✔			
インデックス カード (102 x 152 mm、4 x 6 インチ)*	✔		✔	
インデックス カード (127 x 203 mm、5 x 8 インチ)*	✔		✔	
A6 カード (105 x 148.5 mm、4.13 x 5.83 インチ)*	✔		✔	
フチ無し A6 カード (105 x 148.5 mm、4.13 x 5.83 インチ)*	✔			
A4 インデックス カード (210 x 297 mm、8.3 x 11.7 インチ)*	✔		✔	
はがき** (100 x 148 mm、3.9 x 5.8 インチ)*	✔			
フチ無しハガキ** (100 x 148 mm、3.9 x 5.8 インチ)*	✔			
往復ハガキ** (200 x 148 mm、7.8 x 5.8 インチ)*	✔			
フォト メディア				
フォト メディア (76.2 x 127 mm、3 x 5 インチ)*	✔			
フォト メディア (102 x 152 mm、4 x 6 インチ)*	✔			

(続き)

用紙サイズ	トレイ 1	トレイ 2	両面印刷ユニット	ADF
フォト メディア (5 x 7 インチ)*	✔			
フォト メディア (8 x 10 インチ)*	✔			
フォト メディア (10 x 15 cm)*	✔			
L 判 (89 x 127 mm、3.5 x 5 インチ)*	✔			
フォト 2L 判 (127 x 178 mm、5 x 7 インチ)*	✔			
13 x 18 cm*	✔			
フチ無しフォト メディア (102 x 152 mm、4 x 6 インチ)*	✔			
フチ無しフォト メディア (5 x 7 インチ)*	✔			
フチ無しフォト メディア (8 x 10 インチ)*	✔			
フチ無しフォト メディア (8.5 x 11 インチ)*	✔			
フチ無しフォト メディア (10 x 15 cm)*	✔			
フチ無し L 判 (89 x 127 mm、3.5 x 5 インチ)*	✔			
フチ無しフォト 2L 判 (127 x 178 mm)*	✔			
フチ無し 13 x 18 cm*	✔			
それ以外のメディア				

用紙サイズ	トレイ 1	トレイ 2	両面印刷ユニット	ADF
幅 76.2 ～ 216 mm、長さ 127 ～ 356 mm まで (幅 3 ～ 8.5 インチ、長さ 5 ～ 14 インチまで) のカスタムサイズのメディア*	✔			
幅 127 ～ 216 mm、長さ 241 ～ 305 mm まで (幅 5 ～ 8.5 インチ、長さ 9.5 ～ 12 インチまで) のカスタムサイズのメディア (ADF)				✔

* 片面印刷または両面印刷のために ADF で使用することはできません。

** デバイスで使用できるのは、普通紙官製はがきおよびインクジェット用官製はがきのみです。 フォト光沢官製はがきは使用できません。

使用可能なメディアのタイプと重量の理解

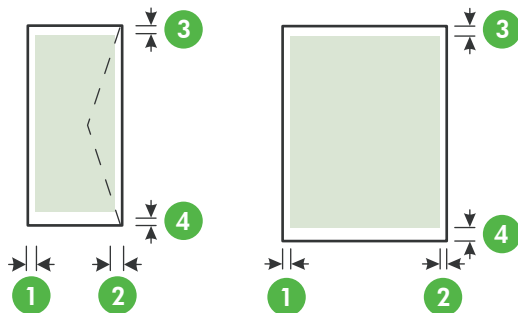
注記 トレイ 2 を利用できるのは、一部のモデルのみです。

トレイ	種類	重量	容量
トレイ 1	用紙	60 ～ 105 g/m^2 (ボンド紙 16 ～ 28 ポンド)	普通紙 250 枚まで (厚さ 25 mm または 1 インチ)
	OHP 用紙		最高 70 枚 (厚さ 17 mm または 0.67 インチ)
	フォト メディア	250 g/m^2 (66 lb ボンド紙)	最高 100 枚

(続き)

トレイ	種類	重量	容量
			(厚さ 17 mm または 0.67 インチ)
	ラベル		最高 100 枚 (厚さ 17 mm または 0.67 インチ)
	封筒	75 ～ 90 g/m^2 (ボンド紙封筒 20 ～ 24 ポンド)	最高 30 枚 (厚さ 17 mm または 0.67 インチ)
	カード	200 g/m^2 まで (インデックス カード 110 ポンド)	80 枚まで
トレイ 2	普通紙のみ	60 ～ 105 g/m^2 (ボンド紙 16 ～ 28 ポンド)	普通紙で 250 枚まで (厚さ 25 mm または 1.0 インチ)
両面印刷ユニット	用紙	60 ～ 105 g/m^2 (ボンド紙 16 ～ 28 ポンド)	該当せず
排紙ビン	使用可能なすべてのメディア		普通紙 150 枚まで (テキスト印刷)
自動ドキュメント フィーダ	用紙	60～75 g/m^2 (16 ～ 20 lb ボンド)	50 枚

最小余白の設定

文書のマージンは、縦方向に指定されたマージン以上に設定する必要があります。

メディア	(1) 左マージン	(2) 右マージン	(3) 上部マージン	(4) 下余白
U.S. レター U.S. リーガル A4 U.S. エグゼクティブ U.S. ステートメント 8.5 x 13 inch B5 A5 カード カスタムサイズのメディア フォト メディア	3.3 mm (0.13 インチ)	3.3 mm (0.13 インチ)	3.3 mm (0.13 インチ)	3.3 mm (0.13 インチ (Windows) 0.47 インチ (Macintosh および Linux))
封筒	3.3 mm (0.13 インチ)	3.3 mm (0.13 インチ)	16.5 mm (0.65 インチ)	16.5 mm (0.65 インチ)

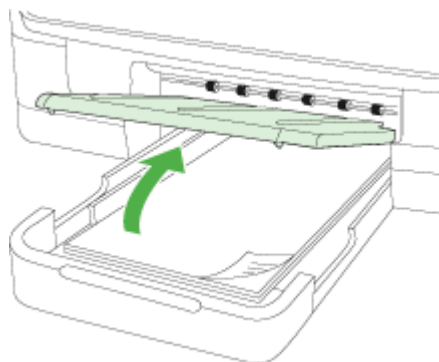
注記 両面印刷ユニット使用中、上部と下部の最小余白は 12 mm (0.47 インチ) 以上でなければなりません。

メディアのセット

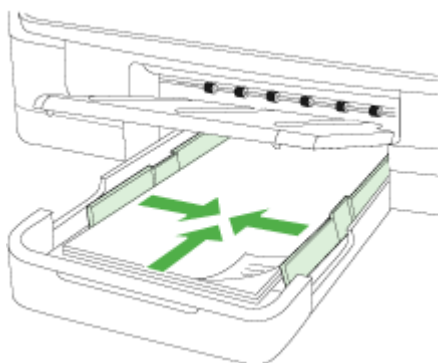
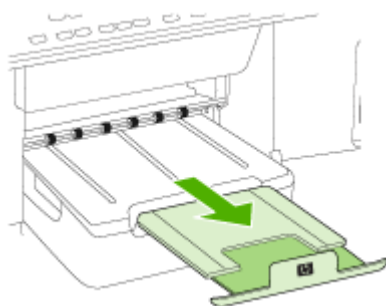
このセクションには、デバイスにメディアをセットする手順が記載されています。

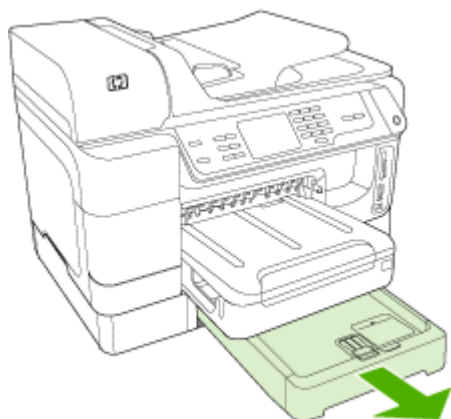
注記 トレイ 2 を利用できるのは、一部のモデルのみです。 注文の詳細については、印刷サプライ品のオンライン注文を参照してください。

トレイ 1 (メイン トレイ) にメディアをセットするには

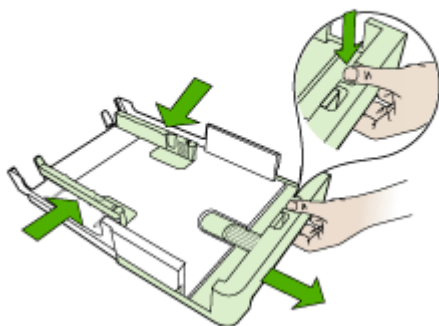
1. 排紙トレイを持ち上げます。

2. 印刷面を下にしてトレイの中央にメディアを挿入します。メディアの束が横方向用紙ガイドのラインに沿っていて、ガイドの用紙ラインより低いことを確認してください。

   注記 デバイスが印刷しているときには、用紙をセットしないでください。

3. メディア ガイドをトレイに移動し、セットしたメディア サイズに調整します。次に、排紙トレイを下げます。

4. 排紙トレイの拡張部を引き出します。

トレイ 2 にメディアをセットするには

1. トレイ正面下部をつかみ、トレイをデバイスから引き出します。

2. 印刷面を下にしてトレイの中央に用紙を挿入します。用紙の束が横方向用紙ガイドのラインに沿っていて、ガイドのラインより低いことを確認してください。

   注記 トレイ 2 には普通紙しかセットできません。

3. メディア ガイドをスライドし、セットした用紙サイズに調整します。

4. トレイをゆっくりと再度挿入します。
5. 排紙トレイの拡張部を引き出します。

トレイの設定

注記 トレイ 2 を利用できるのは、一部のモデルのみです。注文の詳細については、印刷サプライ品のオンライン注文を参照してください。

トレイを設定するには、トレイ 2 を取り付けてオンにする必要があります。

デフォルトでは、デバイスはトレイ 1 から給紙するように設定されています。トレイ 1 が空の場合、デバイスはトレイ 2 (挿入され、メディアがセットされている場合) から給紙します。 以下の機能を使用して、このデフォルト設定を変更できます。

- **トレイ ロック**： トレイをロックして特殊な用紙を保護し、レターヘッドやあらかじめ印刷された用紙が誤って使用されないようにします。 文書の印刷中に用紙切れになった場合、ロックしたトレイのメディアが印刷ジョブを完了するために使用されることはありません。
- **デフォルトのトレイ**： この機能を使用して、デバイスが最初にメディアを給紙するトレイを設定します。

注記 トレイ ロックとデフォルト トレイ設定を使用するには、プリンタソフトウェアで自動トレイ選択オプションが選択されていなければなりません。 デバイスがネットワーク上にある場合、デフォルト トレイを設定すると、設定はデバイスのすべてのユーザに影響します。

トレイ 2 は普通紙のみをセットするようデザインされています。

次の表には、それぞれの印刷ニーズに応じてトレイ設定を使用する方法が一覧されています。

実行内容...	手順
両方のトレイに同じメディアをセットし、1 つのトレイが空になった場合、もう 1 つのトレイから給紙するように設定する。	• トレイ 1 とトレイ 2 にメディアをセットします。詳細については、メディアのセットを参照してください。 • トレイ ロックが無効にされていることを確認します。
特殊メディアと普通紙の両方 (OHP フィルムまたはレターヘッドなど) をトレイにセットする。	• 特殊なメディアはトレイ 1 に、普通紙はトレイ 2 にセットします。 • デフォルト トレイがトレイ 2 に設定されていることを確認します。 • トレイ ロックがトレイ 1 に設定されていることを確認します。
両方のトレイにメディアをセットするが、どちらかのトレイから最初に給紙するよう設定する。	• トレイ 1 とトレイ 2 にメディアをセットします。 • デフォルト トレイが目的のトレイに設定されていることを確認します。

トレイを設定するには

1. 本体の電源がオンになっていることを確認します。
2. 次のいずれかを行います：
   • **埋め込み Web サーバ**： **[設定]** タブをクリックし、左パネルから **[用紙処理]** をクリックします。
   • **プリンタ ドライバ (Windows)**：**[機能]** タブの **[プリンタ サービス]** ボタンをクリックし、**[用紙の取り扱い]**を選択します。
   • **ツールボックス (Windows)**： **[サービス]** タブをクリックし、**[用紙の取り扱い]** をクリックします。

- **HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS X)**： **[用紙の取り扱い]** を **[プリンタ設定]** パネルからクリックします。
- **コントロールパネル**： (**[セットアップ]**) を押し、**[基本設定]** を選択し、**[デフォルト トレイ]** または **[トレイのロック]** を選択します。

3. 目的のトレイ設定を変更し、**[OK]** または **[適用]** をクリックします。

特殊な用紙およびカスタムサイズのメディアの印刷

特殊な用紙またはカスタムサイズのメディアに印刷するには (Windows)

1. 適切な用紙をセットします。 詳細については、メディアのセットを参照してください。
2. 文書を開いた状態で、**[ファイル]** メニューの **[印刷]** をクリックし、**[設定]**、**[プロパティ]**、または **[基本設定]** をクリックします。
3. **[機能]** タブをクリックします。
4. **[サイズ]** ドロップダウン リストからメディア サイズを選択します。メディア サイズが見つからない場合は、カスタム メディア サイズを作成してください。

   カスタム サイズのメディアを設定するには

   a. ドロップダウン リストから **[カスタム]** を選択します。
   b. 新しいカスタム サイズの名前を入力します。
   c. **[幅]** と **[高さ]** ボックスで寸法を入力し、**[保存]** をクリックします。
   d. **[OK]** を 2 回クリックして、[プロパティ]、または [基本設定] ダイアログ ボックスを終了します。 ダイアログ ボックスを再度開きます。
   e. 新しいカスタム サイズを選択します。
5. **[用紙の種類]** ドロップダウン リストから用紙の種類を選択します。
6. **[用紙ソース]** ドロップダウン リストからメディア ソースを選択します。

7. その他の設定を変更し、**[OK]** をクリックします。
8. ドキュメントを印刷します。

特殊な用紙またはカスタム サイズのメディアに印刷するには (Mac OS X)

1. 適切な用紙をセットします。 詳細については、メディアのセットを参照してください。
2. **[ファイル]** メニューで **[ページ設定]** をクリックします。
3. ドロップダウン リストから、HP デバイスを選択します。
4. 用紙のサイズを選択します。
5. カスタム サイズのメディアを設定するには :
   a. **[カスタム サイズの管理]** を **[用紙サイズ]** プルダウン メニューでクリックします。
   b. **[新規]** をクリックし、**[用紙サイズ名]** ボックスにサイズの名前を入力します。
   c. **[幅]** と **[高さ]** ボックスで寸法を入力し、必要に応じて余白を設定します。
   d. **[完了]** または **[OK]** をクリックし、**[保存]** をクリックします。
6. **[ファイル]** メニューで **[ページ設定]** をクリックし、新しいカスタム サイズを選択します。
7. **[OK]** をクリックします。
8. **[ファイル]** メニューで **[プリント]** をクリックします。
9. **[用紙の取り扱い]** パネルを開きます。
10. **[排紙先の用紙サイズ]** の下にある **[用紙に合わせて調節]** タブをクリックし、カスタマイズされた用紙サイズを選択します。
11. それ以外の任意の設定を変更し、**[OK]** または **[印刷]** をクリックします。

フチ無し印刷

フチ無し印刷を使用すると、特定の用紙タイプおよび一部の標準サイズの用紙の端まで印刷することができます。

注記 ソフトウェア アプリケーションでファイルを開き、画像サイズを割り当てます。 画像サイズが、その画像を印刷するメディアのサイズに合っていることを確認します。

Windows の場合は、**[印刷機能のショートカット]** タブからもこの機能にアクセスできます。 プリンタ ドライバを開き、**[印刷機能のショートカット]** タブを選択し、この印刷ジョブのドロップダウン リストから印刷機能のショートカットを選択します。

注記 フチ無し印刷では、普通紙は使用できません。

フチ無し文書を印刷するには (Windows)

1. 適切な用紙をセットします。 詳細については、メディアのセットを参照してください。
2. 印刷するファイルを開きます。
3. アプリケーションからプリンタ ドライバを開きます。
   a. **[ファイル]** をクリックし、**[印刷]** をクリックします。
   b. 使用する印刷ショートカットを選択します。
4. その他の印刷設定を変更し、**[OK]** をクリックします。
5. 文書を印刷します。
6. 切り取りタブ付きのフォト メディアに印刷した場合は、タブを切り取って、文書を完全にフチ無しにします。

フチ無し文書を印刷するには (Mac OS X)

1. 適切な用紙をセットします。 詳細については、メディアのセットを参照してください。
2. 印刷するファイルを開きます。
3. **[ファイル]** をクリックし、**[用紙設定]** をクリックします。
4. ドロップダウン リストから、HP デバイスを選択します。
5. フチ無しメディアのサイズを選択して **[OK]** をクリックします。
6. **[ファイル]** をクリックし、**[印刷]** をクリックします。
7. **[用紙の種類/品質]** パネルを開きます。
8. **[用紙]** タブをクリックし、**[用紙の種類]** ドロップダウン リストから用紙の種類を選択します。

   注記 フチ無し印刷では、普通紙は使用できません。

9. 写真を印刷する場合は、**[品質]** ドロップダウン リストから **[高画質]** を選択します。または、**[最大 dpi]** を選択します。この場合、最大解像度 4800 x 1200 dpi による印刷が可能になります。

 注記 最大解像度 4800 x 1200 dpi は入力データ解像度を 1200 dpi に設定し、カラー印刷した場合この設定では、一時的に大量のハードディスク容量 (400 MB 以上) が使用されることがあり、印刷に時間がかかります。

10. メディア ソースを選択します。
11. その他の設定値を選択した後、**[プリント]** をクリックします。
12. 切り取りタブ付きのフォト メディアに印刷した場合は、タブを切り取って、文書を完全にフチ無しにします。

4　印刷

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- プリント設定の変更
- 両面印刷 (2 面印刷)
- Web ページの印刷
- 印刷ジョブのキャンセル

プリント設定の変更

プリント設定 (用紙のサイズやタイプ) は、アプリケーション、またはプリンタ ドライバから変更できます。 アプリケーションから変更すると、プリンタ ドライバで加えた変更よりも優先されます。 ただし、アプリケーションを終了すると、ドライバで設定がデフォルトの設定に戻ります。

注記　プリント ジョブすべてにプリント設定を設定するには、プリンタ ドライバで変更を加えます。

Windows のプリンタ ドライバ機能の詳細については、プリンタ ドライバのオンライン ヘルプを参照してください。 特定のアプリケーションから印刷する方法については、そのアプリケーションに付属のマニュアルを参照してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 現在のジョブについてアプリケーションから設定を変更する (Windows)
- 将来のジョブすべてについてデフォルトの設定を変更する (Windows)
- 設定を変更する (Mac OS X)

現在のジョブについてアプリケーションから設定を変更する (Windows)

設定を変更するには

1. 印刷する文書を開きます。
2. **[ファイル]** メニューの **[印刷]** をクリックし、**[設定]**、**[プロパティ]**、または **[基本設定]** をクリックします。(使用するアプリケーションに応じて、異なるオプションがあります)。
3. 適切な印刷ショートカットを選択し、**[OK]**、**[印刷]**、または類似のコマンドをクリックします。

将来のジョブすべてについてデフォルトの設定を変更する (Windows)

設定を変更するには

1. **[スタート]** をクリックして **[設定]** をクリックし、**[プリンタ]** または **[プリンタと FAX]** をクリックします。
   - Or -
   [スタート] をクリックして **[コントロール パネル]** をクリックし、**[プリンタ]** をダブルクリックします。

   注記 画面の指示に従って、管理者パスワードを入力します。

2. プリンタ アイコンを右クリックし、**[プロパティ]**、**[全般]** タブ、または **[詳細設定]** をクリックします。
3. 設定を変更して、**[OK]** をクリックします。

設定を変更する (Mac OS X)

設定を変更するには

1. **[ファイル]** メニューで **[ページ設定]** をクリックします。
2. 用紙サイズなど、必要な設定を変更して、**[OK]** をクリックします。
3. **[ファイル]** メニューの **[プリント]** をクリックして、プリンタ ドライバを開きます。
4. 用紙タイプなど、必要な設定を変更して、**[OK]** または **[プリント]** をクリックします。

両面印刷 (2 面印刷)

用紙の両面印刷は、手動で行うことも、両面印刷ユニットを使用して自動で行うことも可能です。

注記 プリンタ ドライバは、手動両面印刷をサポートしていません。 両面印刷を行うには、HP 自動両面印刷アクセサリをデバイスに取り付ける必要があります。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ページの両面に印刷する場合のガイドライン
- 両面印刷を実行する

ページの両面に印刷する場合のガイドライン

- 必ず、デバイスの仕様に準拠したメディアを使用してください。詳細については、サポートされたメディアの仕様の理解を参照してください。
- アプリケーションまたはプリンタ ドライバで 2 面印刷オプションを指定します。
- OHP フィルム、封筒、フォト用紙、光沢のあるメディア、60 g/m ^{2} (ボンド紙 16 ボンド) 未満の用紙、または 105 g/m ^{2} (ボンド紙 28 ポンド) を超える用紙には、両面印刷を行わないでください。これらの用紙では、紙詰まりの原因となる場合があります。
- 一部の用紙で両面印刷を行う場合、特定の用紙方向でセットする必要があります。(レターヘッド、印刷済み、透かし模様、穴あきなど)Windows を実行しているコンピュータから印刷すると、メディアの最初の面から印刷されます。印刷面を下に向けてメディアをセットします。
- 両面印刷でメディアの片面に印刷されると、インクが乾燥する間、デバイスは用紙を保留して待機します。 インクが乾燥すると、用紙はデバイスに再度給紙され、2 番目の面が印刷されます。 印刷が完了すると、用紙は排紙トレイに排出されます。 印刷が完了するまで、用紙をつかまないでください。
- サポートされているカスタムサイズのメディアの両面に印刷するには、用紙の上下を逆にして、もう一度デバイスに給紙します。 詳細については、サポートされたメディアの仕様の理解を参照してください。

両面印刷を実行する

注記 手動で両面印刷を行うには、最初に奇数番号のページを印刷し、ページを裏返して偶数番号のページを印刷します。

自動で両面印刷を行うには (Windows)

1. 適切な用紙をセットします。 詳細については、ページの両面に印刷する場合のガイドライン およびメディアのセット を参照してください。
2. 両面印刷ユニットが正しく取り付けられていることを確認してください。 詳細については、両面印刷ユニットのインストールを参照してください。
3. ドキュメントを開いた状態で、**[ファイル]** メニューの **[印刷]** をクリックして、印刷機能のショートカットを選択します。
4. その他の設定を変更し、**[OK]** をクリックします。
5. ドキュメントを印刷します。

自動で両面印刷を行うには (Mac OS X)

1. 適切な用紙をセットします。 詳細については、ページの両面に印刷する場合のガイドライン およびメディアのセット を参照してください。
2. 両面印刷ユニットが正しく取り付けられていることを確認してください。 詳細については、両面印刷ユニットのインストールを参照してください。
3. [**ページ設定**] で、正しいプリンタと用紙サイズを使用していることを確認します。
4. **[ファイル]** メニューで **[プリント]** をクリックします。
5. ドロップダウン リストから、**[印刷部数と印刷ページ]** を選択します。
6. 両面に印刷するオプションを選択します。
7. 適切なアイコンをクリックして、綴じ方向を選択します。
8. その他の設定を変更し、**[印刷]** をクリックします。

Web ページの印刷

HP オールインワン では、Web ブラウザから Web ページを印刷することができます。

ブラウザに Internet Explorer 6.0 以降を使用している場合、**[HP Smart Web Printing]** を使用すると、印刷内容や印刷方法を簡単に管理して、希望通りの Web 印刷が行えます。**[HP Smart Web Printing]** には、Internet Explorer のツールバーからアクセスできます。**[HP Smart Web Printing]** の詳細については、付属のヘルプを参照してください。

Web ページを印刷するには

1. 用紙がメイン給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. Web ブラウザの **[ファイル]** メニューの、**[印刷]** をクリックします。

   ヒント　最高の結果を得るには、**[ファイル]** メニューから **[HP Smart Web Printing]** を選択します。選択するとチェック マークがつきます。

   [印刷] ダイアログ ボックスが表示されます。
3. 使用するプリンタが選択されていることを確認します。
4. お使いの Web ブラウザがサポートしている場合は、Web ページ上の印刷するアイテムを選択します。
   たとえばInternet Explorer では、**[オプション]** タブをクリックして、**[表示された通りに印刷する]**、**[選択されたフレームのみを印刷する]**、**[リンク ドキュメントをすべて印刷する]** などのオプションを必要に応じて選択します。
5. **[印刷]** または **[OK]** をクリックして Web ページを印刷します。

ヒント　Web ページを端まで正しく印刷するには、印刷方向を **[横]** に設定しなければならない場合があります。

印刷ジョブのキャンセル

以下の方法を使用して印刷ジョブをキャンセルできます。

デバイスのコントロール パネル : ✕ **(キャンセル ボタン)** を押します。 これにより、現在処理中のジョブがクリアされます。 処理待機中のジョブには影響しません。

Windows： コンピュータ画面の右下端に表示されているプリンタ アイコンをダブルクリックします。 印刷ジョブを選択してから、キーボードで **Delete** キーを押します。

Mac OS X：Dock のプリンタ アイコンをクリックし、文書を選択し、**[削除]** をクリックします。

5 スキャン

原稿をスキャンし、ネットワーク上のフォルダやコンピュータ上のプログラムなど、さまざまな場所に送信することができます。デバイスのコントロール パネル、HP ソリューション センター ソフトウェア、コンピュータ上の TWAIN 互換または WIA 互換プログラムを使用できます。

ソフトウェアをインストールしていない場合は、組み込み Web サーバを使用する Web スキャンのみが使用できます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 原稿のスキャン
- 埋め込み Web サーバ経由での Web スキャンの使用
- TWAIN 互換または WIA 互換プログラムからのスキャン
- スキャンした原稿の編集
- スキャン設定の変更
- スキャン ジョブのキャンセル

原稿のスキャン

スキャンはコンピュータからでも、デバイスのコントロール パネルからでも行うことができます。このセクションでは、デバイスのコントロール パネルからのスキャン方法について説明します。

注記 HP Photosmart ソフトウェア を使用して、パノラマなどの画像をスキャンすることもできます。 このソフトウェアを使用すれば、スキャンした画像を編集したり、スキャンした画像を使用して特別なプロジェクトを作成することができます。 コンピュータからのスキャン方法や、スキャン画像の調整、サイズ変更、回転、トリミング、鮮明度調整については、ソフトウェアに付属のオンスクリーンHP Photosmart ソフトウェア ヘルプを参照してください。

スキャン機能を使用するには、デバイスとコンピュータを接続して電源をオンにします。また、スキャンを実行する前に、コンピュータにプリンタ ソフトウェアをインストールし、実行しておく必要があります。Windows を実行しているコンピュータでプリンタ ソフトウェアが動作していることを確認するには、画面右下の時刻の横にあるシステム トレイに、デバイスのアイコンが表示されていることを確認します。Mac OS X を実行しているコンピュータでこれを確認するには、

HP デバイス マネージャを開き、**[画像のスキャン]** をクリックします。スキャナを利用できる場合は、HP ScanPro アプリケーションが起動します。利用できない場合は、スキャナが見つからなかったことを示すメッセージが表示されます。

注記 Windows システム トレイにある HP Digital Imaging Monitor アイコンを閉じると、デバイスからスキャン機能の一部が失われ、**[接続していません]** というエラー メッセージが表示されます。このエラー メッセージが表示された場合は、コンピュータを再起動するか、または HP Digital Imaging Monitor を起動すると、機能を完全に回復させることができます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- コンピュータへの原稿のスキャン (直接接続)
- コンピュータへの原稿のスキャン (ネットワーク接続)
- メモリ デバイスへの原稿の送信

コンピュータへの原稿のスキャン (直接接続)

USB ケーブルを使用してデバイスが直接コンピュータに接続されている場合は、以下の手順に従います。

スキャンが完了すると、選択したプログラムが開き、スキャンした文書が表示されます。

HP ソリューション センターからコンピュータ上のプログラムにスキャン画像を送信するには

▲ コンピュータで HP ソリューション センターを開きます。**[ドキュメント スキャン]** または **[画像のスキャン]** を選択します。詳細については、スキャン ソフトウェアに付属のオンスクリーン ヘルプを参照してください。

デバイスのコントロール パネルからコンピュータ上のプログラムにスキャン画像を送信するには (直接接続)

1. スキャナ ガラス板に原稿をセットします。 詳細については、原稿のセットを参照してください。
2. **スキャン** を選択します。
3. 矢印キーを押して、使用するプログラム (HP ソリューション センター ソフトウェアなど) を選択し、**OK(O)** を押します。
4. **スキャン スタート**を押します。

コンピュータへの原稿のスキャン (ネットワーク接続)

デバイスが有線または無線ネットワークでコンピュータに接続されている場合は、以下の手順に従います。

デバイスのコントロール パネルからコンピュータにスキャン画像を送信するには (ネットワーク接続)

1. スキャナ ガラス板に原稿をセットします。 詳細については、原稿のセットを参照してください。
2. **スキャン** ボタンを押します。
3. 矢印キーを押して宛先コンピュータを選択し、**OK(O)** を押します。
4. 矢印キーを押して、使用するショートカットを選択し、**OK (O)** を押します。
5. **スキャン スタート**を押します。

メモリ デバイスへの原稿の送信

挿入してあるメモリ カードや前面 USB ポートに接続したストレージ デバイスに、スキャンした画像を JPEG 画像または PDF ファイルとして送信することができます。品質や用紙サイズの設定など、その他のスキャン オプションもあります。

メモリ デバイスにスキャンするには

1. スキャナのガラス板または自動ドキュメント フィーダ (ADF) に原稿をセットします。 詳細については、原稿のセットを参照してください。
2. メモリ デバイスを挿入します。詳細については、メモリ カードの挿入を参照してください。
3. **スキャン スタート** を押します。
   - **スキャン** が表示され、さまざまなオプションまたはスキャン先が表示されます。 デフォルトのスキャン先には、前回このメニューを使用したときに選択したスキャン先が指定されます。
   - デバイスをコンピュータに直接接続している場合、**スキャン**メニューが表示されます。

4. 矢印キーを押して **[メモリ デバイス]** を強調表示し、**OK(O)** を押します。
5. スキャン オプションを変更して、**スキャン スタート**を押します。

デバイスによって画像がスキャンされ、そのファイルがメモリ カードまたはストレージ デバイスに保存されます。

埋め込み Web サーバ経由での Web スキャンの使用

Web スキャンは埋め込み Web サーバの機能の一部であり、Web ブラウザを使用してデバイスで写真や文書をスキャンし、コンピュータに出力することができます。 この機能は、コンピュータにプリンタ ソフトウェアをインストールしなかった場合でも利用できます。

▲ **[情報]** タブをクリックし、左枠の **[Web スキャン]** をクリックします。**[画像タイプ]** と **[ドキュメントのサイズ]** の選択を行い、**[スキャン]** または **[プレビュー]** をクリックします。

埋め込み Web サーバの詳細については、組み込み Web サーバを参照してください。

TWAIN 互換または WIA 互換プログラムからのスキャン

デバイスは TWAIN 互換および WIA 互換であり、TWAIN 互換または WIA 互換のスキャン デバイスをサポートするプログラムを使用できます。 TWAIN 互換または WIA 互換プログラムでは、スキャン機能にアクセスし、スキャン画像を直接プログラムに送信することができます。

TWAIN は、すべての Windows および Mac OS X オペレーティング システムでサポートされています。

Windows オペレーティング システムでは、WIA がサポートされているのは Windows XP および Windows Vista での直接接続のみです。 WIA は Mac OS X ではサポートされていません。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- TWAIN 互換プログラムからスキャンする
- WIA 互換プログラムからスキャンする

TWAIN 互換プログラムからスキャンする

一般的に、**[取得]**、**[ファイルの取得]**、**[スキャン]**、**[新規オブジェクトのインポート]**、**[挿入元]**、**[スキャナ]** のようなコマンドがある場合、そのソフトウェア プログラムは TWAIN 互換です。 プログラムに互換性があるかどうかわからない場合、またはコマンドの名前がわからない場合は、ソフトウェア プログラムのヘルプまたはマニュアルを参照してください。

TWAIN 互換プログラム内からスキャンを開始します。 コマンドおよび手順の詳細については、ソフトウェア プログラムのヘルプまたはマニュアルを参照してください。

WIA 互換プログラムからスキャンする

一般的に、**[挿入]** メニューまたは **[ファイル]** メニューに **[画像/スキャナまたはカメラから]** のようなコマンドがある場合、そのソフトウェア プログラムは WIA 互換です。 プログラムに互換性があるかどうかわからない場合、またはコマンドの名前がわからない場合は、ソフトウェア プログラムのヘルプまたはマニュアルを参照してください。

WIA 互換プログラム内からスキャンを開始します。 コマンドおよび手順の詳細については、ソフトウェア プログラムのヘルプまたはマニュアルを参照してください。

スキャンした原稿の編集

HP ソリューション センターを使用して、スキャンした文書を編集できます。また、OCR (光学式文字認識) ソフトウェアを使用して、スキャンしたテキスト文書をテキストにすることもできます。既にコンピュータ上にあれば、サード パーティの編集アプリケーションを使用することもできます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- スキャンした写真またはグラフィックの編集
- 光学式文字認識 (OCR) ソフトウェアを使用した、スキャン文書の編集

スキャンした写真またはグラフィックの編集

ソリューション センター内のスキャン ソフトウェアを使用して、スキャンした写真やグラフィックを編集できます。このソフトウェアを使

用して、明度、コントラスト、彩度などさまざまな調整を行います。画像を回転することもできます。

詳細については、スキャン ソフトウェアのオンスクリーン ヘルプを参照してください。

光学式文字認識 (OCR) ソフトウェアを使用した、スキャン文書の編集

OCR ソフトウェアを使用すると、スキャンしたテキストを任意のワード プロセッサ プログラムにインポートして編集することができます。これにより、レター、新聞の切り抜き、その他多くの文書を編集することができます。HP ソリューション センターから OCR ソフトウェアを使用してスキャンできます。

編集に使用するワード プロセッサ プログラムは指定できます。ワード プロセッサ アイコンが表示されていないかアクティブでない場合は、コンピュータにワード プロセッサ ソフトウェアをインストールしていないか、インストール中にそのプログラムをスキャナ ソフトウェアが認識していません。ワード プロセッサ プログラムへのリンクの作成方法については、HP ソリューション センターのオンスクリーン ヘルプを参照してください。

OCR ソフトウェアは、スキャンされたカラー テキストをサポートしていません。 カラー テキストは、常に白黒のテキストに変換されてから、OCR に送信されます。 このため、最終的な文書のすべてのテキストは、元の色にかかわらず白黒になります。

一部のワード プロセッサ プログラムとデバイスとの相互作用は複雑であるため、スキャンしたテキストをワードパッド (Windows) または TextEdit (Mac OS X) などのテキスト エディタに送信し、テキストを切り取ってから、目的のワード プロセッサ プログラムに貼り付けた方がよい場合もあります。

▲ ドキュメントをスキャンするには、ソリューション センターを開いて、**[テキストに変換]** ボタンをクリックします。画面上の指示に従って、スキャンした文書をテキストに変換します。

スキャン設定の変更

スキャン設定を変更するには

- **Windows** : HP ソリューション センターを開き、**[設定]** を選択します。次に、**[スキャン設定とプリファレンス]** を選択し、利用可能なオプションから選択して設定を行います。
- **HP デバイス マネージャ (Mac OS X)** : **[HP デバイス マネージャ]** を起動し、**[情報と設定]** をクリックして、ドロップダウン リストから **[スキャン プリファレンス]** を選択します。

スキャン ジョブのキャンセル

スキャン ジョブをキャンセルするには、デバイスのコントロール パネルにある **キャンセル** を押します。

6 HP デジタル ソリューション (一部のモデルのみ)

HP Officejet Pro デバイスには、作業を単純化し、能率を高めるのに役立つ一連のデジタル ソリューションが含まれています。これらのデジタル ソリューションには、以下が含まれています。

- HP ダイレクト デジタル ファイリング (ネットワーク フォルダにスキャンおよび電子メールにスキャンを含む)
- HP デジタル ファクス (ネットワーク フォルダにファクスおよび電子メールにファクスを含む)

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- HP デジタル ソリューションについて
- 必要な条件
- HP デジタル ソリューションの設定
- HP ダイレクト デジタル ファイリング
- HP デジタル ファクスの設定
- HP デジタル ファクスの使用

HP デジタル ソリューションについて

HP デジタル ソリューションとは、この HP Officejet Pro に同梱されている、オフィスの生産性向上に役立つツールです。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- HP ダイレクト デジタル ファイリング
- HP デジタル ファクス

HP ダイレクト デジタル ファイリング

HP ダイレクト デジタル ファイリングを使用すると、ネットワーク上の複数のユーザーが円滑で一般的なオフィス向けのスキャンと基本的で用途の広い文書管理機能を利用できます。HP ダイレクト デジタル ファイリングを使用すると、HP Officejet Pro デバイスのコントロール パネルのボタンを押すだけで、ネットワーク上のコンピュータのフォルダへの文書の直接スキャンや、電子メールの添付ファイルとしてのビジネス パートナーとのすばやい共有などが、すべて追加のスキャン ソフトウェアなしで行えます。

これらのスキャンされた文書は、個人やグループでアクセスできる共有ネットワーク フォルダに送信したり、1 件以上の電子メール アドレスに送信してすばやく共有することができます。また、スキャンの各送信先に固有のスキャン設定が行えるため、それぞれの具体的なタスクに最も適した設定を確実に使用することができます。

HP デジタル ファクス

重要なファクスが紙の中に埋もれてなくなることはもうありません。

HP デジタル ファクスを使用すると、受信したモノクロ ファクスをネットワーク上のコンピュータのフォルダに保存して、簡単に共有や保管を行ったり、電子メールでファクスを転送できるため、オフィスから離れている間、どこででも重要なファクスを受け取ることができます。

また、ファクス印刷を完全にオフにして、紙とインクを節約し、紙の消費とゴミの減量に役立てることもできます。

必要な条件

HP デジタル ソリューションは、ワイヤレス接続または Ethernet ケーブルで直接ネットワークに接続された HP Officejet Pro デバイスで利用できます。

デジタル ソリューションのセットアップ前に、以下を用意してください。

ネットワークにスキャンのフォルダ、ネットワークにファクスのフォルダ

- **ネットワークに関する適切な権限**
  フォルダへの書き込みアクセス権限が必要です。
- **フォルダのあるコンピュータの名前**
  コンピュータ名検索の詳細については、使用しているオペレーティング システムのマニュアルを参照してください。
- **フォルダのネットワーク アドレス**
  Windows を実行しているコンピュータで、ネットワーク アドレスは通常、次の形式で記載されます。\\mypc\sharedfolder\

- **Windows の共有フォルダ、または SMB 共有フォルダ (Mac OS X のみ)**
  コンピュータ名検索の詳細については、使用しているオペレーティング システムのマニュアルを参照してください。
- **必要に応じて、ネットワーク用のユーザー名とパスワード**
  たとえば、Windows またはMac OS X では、ユーザー名とパスワードがネットワークへのログインに使用されます。

注記 HP ダイレクト デジタル ファイリングは、Active Directory をサポートしていません。ネットワーク フォルダへのスキャンは、Mac OS X (v10.5) のみでサポートされています。ネットワーク フォルダへのファクスは、Mac OS X (v10.4) および Mac OS X (v10.5) 以降でサポートされています。

電子メールへのスキャン、電子メールへのファクス

- 有効な電子メール アドレス
- 送信 SMTP サーバ情報
- アクティブなインターネット接続

注記 電子メールへのスキャンと電子メールへのファクスは、Mac OS X (v10.4) および Mac OS X (v10.5) 以降でサポートされています。

HP デジタル ソリューションの設定

HP Officejet Pro デバイスに同梱されている HP ソフトウェアを使用して、HP デジタル ソリューションを設定できます。

- Windows を実行するコンピュータを使用している場合は、このソフトウェアは、HP ソリューション センター ソフトウェアから開けるソフトウェア ウィザードで構成されます。これらのウィザードを使用するには、Windows XP (32 ビット版) または Windows Vista (32 ビット版、または64 ビット版) を実行するコンピュータが必要です。
- Mac OS X を実行しているコンピュータを使用している場合、HP ソフトウェアを初めてコンピュータにインストールするとき、またはソフトウェアを (コンピュータで HP セットアップ アシスタントを使用して) インストールした後、デジタル ソリューションをセットアップできます。

注記 Windows を実行しているコンピュータに電子メールにスキャン、または電子メールにファクスを設定する場合、セットアップ ウィザードが以下の電子メール アプリケーションの電子メール設定を自動的に検出します。

- Microsoft Outlook 2000 (Windows XP)
- Microsoft Outlook 2003–2007 (Windows XP および Windows Vista)
- Outlook Express (Windows XP)
- Windows Mail (Windows Vista)
- Mozilla Thunderbird (Windows XP および Windows Vista)
- Qualcomm Eudora (バージョン 7.0 以降) (Windows XP および Windows Vista)
- Netscape (バージョン 7.0) (Windows XP)

ただし、使用している電子メール アプリケーションが上記に記載されていなくても、その電子メール アプリケーションがこのセクションに記載されている要件を満たしていれば電子メールにスキャン、および電子メールにファクスを設定して使用することができます。

ヒント このガイドに記載されている方法のほかに、HP デバイスの組み込み Web サーバ (EWS) を使用して、HP デジタル ソリューションを設定することもできます。EWS の使用の詳細については、組み込み Web サーバを参照してください。

注記 IPv6 専用ネットワーク環境で HP デバイスを使用している場合は、EWS を使用してデジタル ソリューションを設定する必要があります。

HP ダイレクト デジタル ファイリング

HP ダイレクト デジタル ファイリングを使用すると、HP Officejet Pro デバイスを使用して、別のスキャン ソフトウェアを使用せずに、文書をスキャンすることができます。文書は、ネットワーク上のコンピュータで共有するフォルダに直接スキャンしたり、スキャンした文書を電子メールの添付ファイルとして送信できます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ネットワーク フォルダにスキャンのセットアップ
- HP ネットワーク フォルダにスキャンの使用
- 電子メールにスキャンのセットアップ
- 電子メールへのスキャン

ネットワーク フォルダにスキャンのセットアップ

ネットワーク フォルダにスキャンを使用するには、ネットワークに接続するコンピュータで使用するフォルダを作成して設定する必要があります。HP デバイスのコントロール パネルからフォルダを作成することはできません。

共有フォルダをセットアップして、ネットワークフォルダにスキャンを有効にするには、オペレーティング システムの次の手順を完了します。

注記 後でこの機能をオフにする場合にも、この手順を使用して設定を変更します。

Windows コンピュータでのネットワーク フォルダにスキャンのセットアップ

1. HP Officejet Pro デバイス ソフトウェアをインストールしたら、HP ソリューション センターを開きます。
   - デスクトップで、HP ソリューション センター アイコンをダブルクリックします。
     - または -
   - Windows タスクバーで、**[スタート]** をクリックし、**[プログラム]** または **[すべてのプログラム]** を選択します。次に、**[HP]** を選択し、HP デバイス用のフォルダを選択して、**[HP ソリューション センター]** をクリックします。
2. **[設定]** をクリックします。
3. ウィンドウの **[スキャン設定]** の部分で、**[デジタル ファイリングの設定]** をクリックし、**[ネットワーク フォルダにスキャンのセットアップ ウィザード]** をクリックします。
4. ウィザードの画面の指示に従って、ネットワーク フォルダを作成して共有します。ウィザードは、自動的に HP デバイスに設定を保存します。また、各 HP デバイスに最大 10 個の宛先フォルダを設定できます。

注記 ネットワーク フォルダにスキャンのセットアップ ウィザードの終了時に、HP デバイス用の EWS がコンピュータのデフォルトの Web ブラウザで自動的に開きます。EWS を使用して、各宛先フォルダのスキャン設定をカスタマイズすることができます。組み込み Web サーバの詳細については、組み込み Web サーバを参照してください。

Macintosh コンピュータでのネットワーク フォルダにスキャンのセットアップ

注記 HP ソフトウェアを初めてコンピュータにインストールするとき、またはソフトウェアを (コンピュータで HP セットアップ アシスタントを使用して) インストールした後、ネットワーク フォルダにスキャンをセットアップできます。

1. HP ソフトウェアを初めてインストールする場合は、手順 2 に進みます。
   - または -
   HP ソフトウェアがすでにインストールされている場合は、HP セットアップ アシスタントを開きます。
   a. Dock の **[HP デバイス マネージャ]** のアイコンをクリックします。(HP デバイス マネージャが Dock にない場合は、メニュー バー右側の [スポットライト] アイコンをクリックして、ボックスに「HP デバイス マネージャ」と入力し、**[HP デバイス マネージャ]** エントリをクリックします)。
   b. **[情報と設定]** メニューから、**[セットアップ アシスタント]** を選択します。
2. HP セットアップ アシスタントの画面の指示に従って、ネットワーク フォルダを作成して共有します。

HP セットアップ アシスタントは、自動的に HP デバイスに設定を保存します。また、各 HP デバイスに最大 10 個の宛先フォルダを設定できます。

組み込み Web サーバからのネットワーク フォルダにスキャンの設定

1. ネットワークに接続されているコンピュータにフォルダを作成します。
2. フォルダを共有します。

   注記 フォルダの基本設定で読み取りと書き込みのアクセスが設定されていることを確認します。ネットワーク上のフォルダの作成とフォルダの基本設定の詳細については、オペレーティング システムのマニュアルを参照してください。

3. 使用しているコンピュータでサポートされている Web ブラウザ (Microsoft Internet Explorer、Opera、Mozilla Firefox、または Safari) を開きます。

4. HP Officejet Pro デバイスに割り当てられている IP アドレスを入力します。
例えば、IPv4 ネットワーク環境を使用していて、IP アドレスが 123.123.123.123 の場合、以下のアドレスを Web ブラウザに入力します。
「http://123.123.123.123」IPv6 専用ネットワーク環境を使用していて、IP アドレスが FE80::BA:D0FF:FE39:73E の場合、以下のアドレスを Web ブラウザに入力します。「http://[FE80::BA:D0FF:FE39:73E7]」
Web ブラウザのウィンドウに EWS ページが表示されます。

注記 EWS の使用の詳細については、組み込み Web サーバを参照してください。

5. [ホーム] タブで、[セットアップ] ボックスの [ネットワーク フォルダにスキャンのセットアップ] をクリックします。
- または -
[設定] タブをクリックし、**[スキャン - デジタル ファイリング]** で、**[ネットワーク フォルダのセットアップ]** をクリックします。
6. **[ネットワーク フォルダ エントリの追加]** をクリックして、画面上の指示に従います。

注記 各宛先フォルダのスキャン設定をカスタマイズすることができます。

7. ネットワーク フォルダに関して必要な情報を入力したら、**[保存とテスト]** をクリックしてネットワーク フォルダへのリンクが正しく機能することを確認します。エントリが **[ネットワーク フォルダ]** のリストに追加されます。

HP ネットワーク フォルダにスキャンの使用

1. HP Officejet Pro デバイスのスキャナのガラス板または自動ドキュメント フィーダ (ADF) に文書をセットします。
2. コントロール パネルの **[スキャン]** 領域で、**[ネットワーク フォルダ]** ボタンを押します。

3. コントロール パネルのディスプレイで、使用するフォルダに一致する名前を選択します。入力を求められた場合は、PIN を入力します。
4. スキャン設定を変更して、**[スキャン スタート]** にタッチします。

注記 ネットワーク トラフィックの状況や接続速度によっては、接続に時間がかかることがあります。

電子メールにスキャンのセットアップ

送信メール プロファイルのセットアップ

電子メール メッセージを送信するには、HP Officjet Pro デバイスに有効な、既存の電子メール アドレスが使用されている必要があります。このアドレスは「送信メール プロファイル」とも呼ばれ、HP デバイスから送信された電子メール メッセージの [差出人] 部分に表示されます。

HP デバイスが使用する送信メール プロファイルをセットアップするには、オペレーティング システムの次の手順を完了します。

注記 後でこの機能をオフにする場合にも、この手順を使用して設定を変更します。

Windows コンピュータでの電子メールにスキャンのセットアップ

1. HP Officejet Pro デバイス ソフトウェアをインストールしたら、HP ソリューション センターを開きます。
   a. デスクトップで、HP ソリューション センター アイコンをダブルクリックします。
   - または -
   b. Windows タスクバーで、**[スタート]** をクリックし、**[プログラム]** または **[すべてのプログラム]** を選択します。次に、**[HP]** を選択し、HP デバイス用のフォルダを選択して、**[HP ソリューション センター]** をクリックします。
2. **[設定]** をクリックします。
3. ウィンドウの **[スキャン設定]** の部分で、**[デジタル ファイリングの設定]** をクリックし、**[電子メールにスキャンのセットアップ ウィザード]** をクリックします。

注記 電子メールにスキャンのセットアップ ウィザードの終了時に、HP Officejet Pro 用の EWS がコンピュータのデフォルトの Web ブラウザで自動的に開きます。最大 15 件の電子メール アドレスの連絡先と、対応する連絡先の名前を追加できます。これらの電子メール アドレスは、EWS の電子メール アドレス帳に記載されます。(連絡先の名前は、HP デバイスのコントロール パネルと電子メール アプリケーションに表示されます)。組み込み Web サーバの詳細については、組み込み Web サーバを参照してください。

Macintosh コンピュータでの電子メールにスキャンのセットアップ

注記 HP ソフトウェアを初めてコンピュータにインストールするとき、またはソフトウェアを (コンピュータで HP セットアップ アシスタントを使用して) インストールした後、電子メールにスキャンをセットアップできます。

1. HP ソフトウェアを初めてインストールする場合は、手順 2 に進みます。
   - または -
   HP ソフトウェアがすでにインストールされている場合は、HP セットアップ アシスタントを開きます。
   a. Dock の **[HP デバイス マネージャ]** のアイコンをクリックします。(HP デバイス マネージャが Dock にない場合は、メニュー バー右側の [スポットライト] アイコンをクリックして、ボックスに「HP デバイス マネージャ」と入力し、**[HP デバイス マネージャ]** エントリをクリックします)。
   b. **[情報と設定]** メニューから、**[セットアップ アシスタント]** を選択します。
2. セットアップ アシスタントの画面に表示される指示に従います。

組み込み Web サーバを使用した電子メールにスキャンの設定

1. 使用しているコンピュータでサポートされている Web ブラウザ (Microsoft Internet Explorer、Opera、Mozilla Firefox、または Safari) を開きます。
2. HP Officejet Pro デバイスに割り当てられている IP アドレスを入力します。
   例えば、IPv4 ネットワーク環境を使用していて、IP アドレスが 123.123.123.123 の場合、以下のアドレスを Web ブラウザに入力します。
   「http://123.123.123.123」IPv6 専用ネットワーク環境を使用していて、IP アドレスが FE80::BA:D0FF:FE39:73E の場合、以下のアドレスを Web ブラウザに入力します。「http://[FE80::BA:D0FF:FE39:73E7]」
   Web ブラウザのウィンドウに EWS ページが表示されます。

   注記 EWS の使用の詳細については、組み込み Web サーバを参照してください。

3. **[ホーム]** タブで、**[セットアップ]** ボックスの **[電子メールにスキャンのセットアップ]** をクリックします。
   - または -
   [設定] タブをクリックし、**[電子メール - デジタル ファイリング]** で、**[送信メール プロファイルのセットアップ]** をクリックします。
4. **[送信メール プロファイルの追加]** をクリックし、画面に表示される指示に従います。

5. 必要な情報の入力が終了したら、**[保存とテスト]** をクリックしてプロファイルが正しく設定されたことを確認します。(このプロファイルが正しく設定されると、HP デバイスは送信メール プロファイルとして設定したアドレスに電子メール メッセージを送信します)。
   エントリが **[送信メール プロファイル リスト]** に追加されます。
6. 連絡先の電子メール アドレスを 15 件まで追加できます。
   a. **[ホーム]** タブで、**[管理]** ボックスの **[電子メールのアドレス帳]** をクリックします。
      - または -
      [設定] タブをクリックし、**[電子メール - デジタル ファイリング]** で、**[電子メールのアドレス帳]** をクリックします。
   b. エントリに必要な情報を入力してから、**[追加]** をクリックします。
      新しい電子メール アドレスは、**[電子メールのアドレス帳]** に追加されます。

      注記 下記のアドレス帳には、デバイスのコントロールパネルからアドレス帳に加えられた変更が反映されます。

   注記 最大 15 件の電子メール アドレスの連絡先と、対応する連絡先の名前を追加できます。(連絡先の名前は、HP デバイスのコントロール パネルと電子メール アプリケーションに表示されます)。

電子メールへのスキャン

1. HP Officejet Pro デバイスのスキャナのガラス板または自動ドキュメント フィーダ (ADF) に文書をセットします。
2. コントロール パネルの **[スキャン]** 領域で、**[電子メール]** ボタンを押します。
3. コントロール パネルのディスプレイで、使用する送信メール プロファイルに一致する名前を選択します。
4. 入力を求められた場合は、PIN を入力します。
5. [宛先] の電子メール アドレス (電子メールの受信者) を選択するか、電子メール アドレスを入力します。

6. 電子メール メッセージの [件名] を入力するか変更します。
7. スキャン設定を変更して、**[スキャン スタート]** にタッチします。

注記 ネットワーク トラフィックの状況や接続速度によっては、接続に時間がかかることがあります。

HP デジタル ファクスの設定

HP デジタル ファクスを使用すると、HP Officejet Pro デバイスはファクスを自動的に受信して、ネットワーク フォルダに直接保存するか (ネットワーク フォルダにファクス)、ファクスを電子メールの添付ファイルとして転送します (電子メールへのファクス)。

受信したファクスは TIFF (タグ付きイメージ ファイル形式) ファイルで保存されます。

△ **注意** [HP デジタル ファクス] は、モノクロ ファクスを受信する場合にのみ利用できます。カラーファクスは、コンピュータに保存されず、印刷されます。

Windows コンピュータでの HP デジタル ファクスの設定

1. HP Officejet Pro デバイス ソフトウェアをインストールしたら、HP ソリューション センターを開きます。
   • デスクトップで、HP ソリューション センター アイコンをダブルクリックします。
   - または -
   • Windows タスクバーで、**[スタート]** をクリックし、**[プログラム]** または **[すべてのプログラム]** を選択します。次に、**[HP]** を選択し、HP デバイス用のフォルダを選択して、**[HP ソリューション センター]** をクリックします。
2. **[設定]** をクリックします。
3. ウィンドウの **[ファクス設定]** の部分で、**[ファクス設定]**、**[その他のファクス設定]**、**[デジタル ファクスのセットアップ ウィザード]** の順にクリックします。
4. ウィザード画面の指示に従って操作してください。

Macintosh コンピュータでの HP デジタル ファクスの設定

注記 HP ソフトウェアを初めてコンピュータにインストールするとき、またはソフトウェアを (コンピュータで HP セットアップ アシスタントを使用して) インストールした後、HP デジタル ファクスをセットアップできます。

1. HP ソフトウェアを初めてインストールする場合は、手順 2 に進みます。
   - または -
   HP ソフトウェアがすでにインストールされている場合は、HP ファクス セットアップ ユーティリティを開きます。
   a. Dock の **[HP デバイス マネージャ]** のアイコンをクリックします。(HP デバイス マネージャが Dock にない場合は、メニュー バー右側の [スポットライト] アイコンをクリックして、ボックスに「HP デバイス マネージャ」と入力し、**[HP デバイス マネージャ]** エントリをクリックします)。
   b. **[情報と設定]** メニューから、**[ファクス セットアップ ユーティリティ]** を選択します。
2. ファクス セットアップ ユーティリティの画面に表示される指示に従います。

組み込み Web サーバからの HP デジタル ファクスの設定

1. 使用しているコンピュータでサポートされている Web ブラウザ (Microsoft Internet Explorer、Opera、Mozilla Firefox、または Safari) を開きます。
2. HP Officejet Pro デバイスに割り当てられている IP アドレスを入力します。
例えば、IPv4 ネットワーク環境を使用していて、IP アドレスが 123.123.123.123 の場合、以下のアドレスを Web ブラウザに入力します。
「http://123.123.123.123」IPv6 専用ネットワーク環境を使用していて、IP アドレスが FE80::BA:D0FF:FE39:73E の場合、以下のアドレスを Web ブラウザに入力します。「http://[FE80::BA:D0FF:FE39:73E7]」
Web ブラウザのウィンドウに EWS ページが表示されます。

注記 EWS の使用の詳細については、組み込み Web サーバを参照してください。

3. **[ホーム]** タブで、**[セットアップ]** ボックスの **[デジタル ファクスのセットアップ]** をクリックします。
- または -
[設定] タブをクリックし、**[ファクス]** の下の **[HP デジタル ファクス]** をクリックします。
4. **[ウィザードの開始]** をクリックして、画面上の指示に従います。

HP デジタル ファクスの使用

HP デジタル ファクスをセットアップしたら、受信したモノクロ ファクスはデフォルトでプリンタに送信され、指定の宛先ネットワーク フォルダ、または指定の電子メール アドレスに保存されます。

- ネットワーク フォルダにファクスを使用している場合、このプロセスはバックグラウンドで行われます。HP デジタル ファクスでは、ネットワーク フォルダにファクスが保存されたことは通知されません。
- 電子メールにファクスを使用していて、新しい電子メール メッセージが受信箱に届いた場合に電子メール アプリケーションから通知を受ける設定にしている場合は、新しいファクスが届いたことを確認できます。

7 メモリ デバイスの使用

デバイスには、デジタル カメラの数種類のメモリ カードを読み取ることができるメモリ カード リーダーが搭載されています。 メモリ カードに保存されている写真のサムネール ビューを表示するインデックスシートを印刷することができます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- メモリ カードの挿入
- デジタル カメラの接続
- ストレージ デバイスの接続
- DPOF フォト プリント
- 写真の表示
- コントロール パネルからの写真の印刷
- コンピュータへの写真の保存

メモリ カードの挿入

デジタル カメラで写した写真を保存しておくのにメモリ カードを使用している場合は、そのメモリ カードをデバイスに挿入し、写した写真を印刷したり保存したりすることができます。

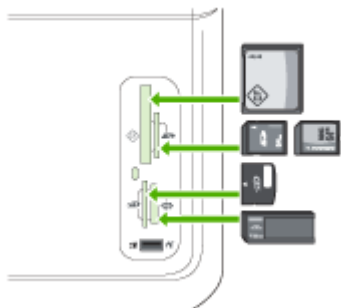
△ **注意** アクセス中にメモリカードを取り外そうとすると、カード内のファイルが損傷することがあります。フォト ランプが点滅していない場合にのみ、カードを安全に取り外すことができます。複数のメモリカードを同時に装着することも絶対に避けてください。メモリカード内のファイルが損傷します。

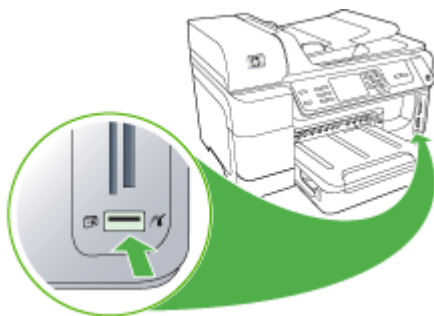
デバイスでは、以下のメモリ カードをサポートしています。各タイプのメモリカードは、そのカードに適したスロットにのみ差し込むことができます。

1	CompactFlash (Type I および II)
2	Secure Digital、High Caoacity Secure Digital (HCSD)、MultiMediaCard (MMC)、 Secure MMC。 **注記** HP デバイスでは、Secure MCC card のセキュリティ機能はサポートされていません。 縮小サイズの MultiMediaCard RS - MMC/MMCmobile、MMCmicro、miniSD、microSD (すべての製品でアダプタを別途購入する必要がある)
3	xD
4	Memory Stick、MagicGate Memory Stick、Memory Stick Duo、Memory Stick Pro、Memory Stick Micro (アダプタを別途購入する必要がある) **注記** Memory Stick Duo (別売のアダプタが必要)アダプタを使用しないとデバイスが損傷する恐れがあります。
5	前部ユニバーサル シリアル バス (USB) ポート (PictBridge 対応)

注記 デバイスは、暗号化されたメモリ カードをサポートしていません。

メモリ カードを挿入するには

1. メモリ カードのラベルが左、接点がデバイス側を向くようにメモリ カードを持ちます。
2. メモリ カードを対応するメモリ カード スロットに挿入します。

デジタル カメラの接続

PictBridge 対応の前面の USB ポートはメモリ カード スロットの下にあります。

注記 サイズの制限により USB デバイスがこのポートに合わないか、デバイスのコネクタが 11 mm より短い場合、このポートでデバイスを使用するには、USB 延長ケーブルをお買い求めいただく必要があります。

カメラが指定する写真とは、デジタル カメラでプリントのマークをつけた写真のことです。 カメラによっては、ページ レイアウト、部数、向き、その他の印刷設定が指定されます。

デバイスは、2 つの業界標準形式である PictBridge および DPOF (Digital Print Order Format) ファイル形式 1.1 をサポートしています。印刷する写真を再度選択する必要はありません。

- **PictBridge** 標準により、印刷の指示はカメラ本体に保存されます。PictBridge を使用して写真を印刷するには、カメラを PictBridge モードにして、USB ケーブルを使ってデバイスの前面 USB ポートにカメラを接続します。
- **DPOF** 標準では、印刷の説明がファイルとしてメモリ カードに保存されます。写真を DPOF ファイルから印刷するには、カメラからメモリ カードを取り出して、デバイスの適切なスロットに挿入する必要があります。詳細については、DPOF フォト プリントを参照してください。

カメラが指定した写真を印刷するときは、デバイスの印刷設定は適用されません。ページ レイアウトの PictBridge または DPOF 設定と印刷部数が、デバイスの設定よりも優先されます。

注記 ただし、写真に印刷用のタグを付ける機能のないデジタル カメラもあります。お使いのデジタル カメラが PictBridge 標準または DPOF ファイル形式 1.1 をサポートしているかどうかについては、カメラのマニュアルを参照してください。

PictBridge 標準を使用して、カメラが指定した写真を印刷するには

1. デジタル カメラに付属する USB ケーブルを使用して、デバイス前面の USB ポートにカメラを接続します。
2. カメラの電源をオンにして、PictBridge モードになっていることを確認します。

   注記 USB モードを PictBridge モードに変更する方法を確認するには、カメラのマニュアルを参照してください。PictBridge モードの説明には、カメラによって異なる用語が用いられています。例えば、一部のカメラには [**デジタル カメラ**] の設定と [**ディスク ドライブ**] 設定があります。このような場合、[**デジタル カメラ**] の設定が PictBridge モードの設定になります。

ストレージ デバイスの接続

キーチェーン ドライブ、ポータブル ハード ドライブ、ストレージ モードに設定されたデジタル カメラなどのストレージ デバイスは、前面の USB ポートに接続できます。 前面の USB ポートはメモリ カード スロットの下にあります。

注記 ストレージ モードに設定されたデジタル カメラは、前面の USB ポートに接続できます。 デバイスはこのモードのカメラを通常のストレージ デバイスとして認識します。 このセクションでは、ストレージ モードのデジタル カメラをストレージ デバイスと呼びます。

サイズの制限により USB デバイスがこのポートに合わないか、デバイスのコネクタが 11 mm より短い場合、このポートでデバイスを使用するには、USB 延長ケーブルをお買い求めいただく必要があります。 サポートする USB デバイスの詳細については、サポートされているデバイスを参照してください。

USB モードをストレージ モードに変更する方法を確認するには、カメラのマニュアルを参照してください。 ストレージ モードを表すには、カメラによってさまざまな用語が用いられています。例えば、一部のカメラには [**デジタル カメラ**] の設定と [**ディスク ドライブ**] 設定があります。 このような場合、[**ディスク ドライブ**] 設定がストレージ モード設定になります。 カメラのストレージ モードが機能しない場合は、カメラのファームウェアのアップグレードが必要な場合があります。 詳細については、カメラに付属のマニュアルを参照してください。

ストレージ デバイスを接続したら、ストレージ デバイスに保存されたファイルを使って以下のことが行えます。

- コンピュータにファイルを転送する
- 写真を表示する (カラー ディスプレイのみ)
- コントロール パネルを使用して写真を編集する (カラー ディスプレイのみ)

  注記 編集は印刷用のみに可能です。メモリ カードやストレージ デバイスには保存されません。

- 写真を印刷する

△ **注意** アクセス中はストレージ デバイスの接続を絶対に切断しないでください。 切断してしまうとストレージ デバイスのファイルが損傷するおそれがあります。 メモリ カード スロットの横のステータス ランプが点滅していないときだけ、ストレージ デバイスを安全に取り外すことができます。

DPOF フォト プリント

カメラが指定する写真とは、デジタル カメラでプリントのマークをつけた写真のことです。カメラによっては、ページ レイアウト、部数、向き、その他の印刷設定が指定されます。

デバイスは、DPOF (Digital Print Order Format) ファイル形式 1.1 をサポートしているので、印刷する写真を再選択する必要はありません。

カメラが指定した写真を印刷するときは、デバイスの印刷設定は適用されません。ページ レイアウトの DPOF 設定と印刷部数が、デバイスの設定よりも優先されます。

注記 ただし、写真に印刷用のタグを付ける機能のないデジタル カメラもあります。お使いのデジタル カメラが DPOF ファイル形式 1.1 をサポートしているかどうかについては、カメラのマニュアルを参照してください。

DPOF 標準を使用して、カメラが指定した写真を印刷するには

1. デバイスの適切なスロットにメモリ カードを挿入します。
2. 指示にしたがって、以下のいずれかを実行します。
   • DPOF のタグが付いた写真をすべて印刷するには、**OK(O)** を押します。
   DPOF のタグが付いた写真がすべて印刷されます。
   • 矢印キーを押して [**いいえ(O)**] を強調表示し、**OK(O)** を押します。
   これで、DPOF 印刷が回避されます。

写真の表示

コンピュータ、またはカラー ディスプレイを使用して、写真を表示することができます (一部のモデルのみ)。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

• 写真の表示 (カラー ディスプレイ モデルのみ)
• コンピュータを使用した写真の表示

写真の表示 (カラー ディスプレイ モデルのみ)

デバイスのカラー ディスプレイに写真を表示して選択することができます。

写真を表示するには

1. メモリ カードをデバイスの適切なスロットに挿入するか、またはストレージ デバイスを前面の USB ポートに接続します。
2. ﾌｫﾄ ﾖｳｼを押します。
   フォト メニューが表示されます。
3. [**表示と印刷**]を押します。
4. カラー ディスプレイに見たい写真が表示されるまで矢印キーを押します。

   ヒント 矢印キーを押し続けると、すべての写真をすばやく確認することができます。

コンピュータを使用した写真の表示

デバイスに付属する HP ソフトウェアを使用して写真を表示および編集できます。

詳細については、HP ソフトウェアのオンスクリーン ヘルプを参照してください。

コントロール パネルからの写真の印刷

デバイスでは、ファイルをコンピュータに転送することなく、メモリカードまたはストレージ デバイスから直接写真を印刷することができます。 フチ無し写真を印刷したり (1 枚の用紙に 1 つ)、複数の写真を 1 枚の用紙に印刷することができます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 選択した写真の印刷
- デバイスのコントロール パネルからのインデックス シートの印刷
- パスポート写真の印刷 (カラー ディスプレイ モデルのみ)

選択した写真の印刷

DPOF ファイルが入っているメモリ カードを挿入すると、その設定を使用するかどうかを尋ねるメッセージが表示されます。**[いいえ]** を選択した場合、**[フォト]** メニューが表示されます。

選択した写真を印刷するには (カラー ディスプレイ)

1. デバイスの適切なスロットにメモリ カードを挿入します。
2. **表示と印刷** を押します。
3. 印刷するそれぞれの写真を押して強調表示します。写真をスクロールするには左右の矢印を使用します。

   注記 すべての写真を印刷するには、**[すべて印刷]** を選択します。

4. 選択した写真を印刷するには、**印刷** を押します。

選択した写真を印刷するには (2 行ディスプレイ)

1. デバイスの適切なスロットにメモリ カードを挿入します。
2. メッセージが表示されたら、ﾌｫﾄ ﾖｳｼボタンを繰り返し押して、**選択した写真** を表示します。
3. 次のいずれかの操作を行います。
   ▲ 右矢印 ▶ を押して **すべて** を選択し、**OK(O)** を押して、メモリ カード内のすべての写真を印刷します。
   a. 右矢印 ▶ を押して **カスタム** を選択し、**OK(O)** を押して、メモリ カード内の選択された写真を印刷します。
   b. 矢印キーを押して写真をスクロールし、**OK(O)** を押して写真を選択します。
   c. **フォト スタート** を押して印刷を開始します。

デバイスのコントロール パネルからのインデックス シートの印刷

注記 デバイスからアクセスできるのは、JPEG および TIFF 画像ファイルのみです。他のタイプのファイルを印刷するには、ファイルをメモリ カードまたはストレージ デバイスからお使いのコンピュータに転送して HP Photosmart ソフトウェア を使用します。

インデックス シートを印刷するには

1. メモリ カードをデバイスの正しいスロットに差し込みます。
2. ﾌｫﾄ ﾖｳｼ ボタンを押します。
3. 右矢印ボタンを繰り返し押して、**[インデックス シート]** を選択します。
4. **[OK]** を押します。

パスポート写真の印刷 (カラー ディスプレイ モデルのみ)

メモリ カードやストレージ デバイスから、パスポート サイズの写真を印刷できます。 パスポート写真のガイドラインや制限について質問がある場合は、地域のパスポート発行機関にお問い合わせください。

パスポート写真を印刷するには

1. メモリ カードをデバイスの適切なスロットに挿入するか、またはストレージ デバイスを前面の USB ポートに接続します。
   [**Photosmart Express**] メニューが表示されます。
2. **パスポート写真** を選択します。
3. 用紙サイズを選択します。矢印キーを押して、用紙サイズをスクロールします。
4. パスポート写真のサイズを選択します。矢印キーを押して、パスポート写真のサイズをスクロールします。
5. 矢印を使用して、写真をスクロールします。印刷する写真を押して、次のいずれかの操作を行います。
   - **選択** を押して写真を選択し、印刷する他の写真を選択します。
   - **完了** を押して写真を選択し、印刷を続行します。
6. 次のいずれかの操作を行います。
   - **編集** を押して写真を編集します。
   - **完了** を押して印刷を続行します。
7. 印刷部数を選択し、**完了** を押します。
8. **印刷** を押して写真を印刷します。

コンピュータへの写真の保存

デジタル カメラで写真を撮った後、すぐに印刷することも、コンピュータに保存することもできます。 写真をコンピュータに保存するには、メモリ カードをデジタル カメラから取り出して、デバイスの適切なメモリ カード スロットに挿入します。

デバイスの前面 USB ポートに、デジタル カメラやキーチェーン ドライブなどのストレージ デバイスを接続すると、そのデバイスから写真を保存することもできます。

写真を保存するには

1. メモリ カードをデバイスの適切なスロットに挿入するか、またはストレージ デバイスを前面の USB ポートに接続します。
2. 適切なディスプレイを選択します。

カラー ディスプレイ モデルの場合

a. [**名前の変更**]を押します。

b. コンピュータの画面に表示される指示に従って、コンピュータに写真を保存します。

2 行のディスプレイ モデルの場合

a. 矢印キーを押してから、[**写真の転送**]、**OK(O)** の順に押します。

> **注記** [**写真の転送**] オプションは、デバイスがネットワーク接続されている場合にしか表示されません。デバイスが USB ケーブルでコンピュータに直接接続されている場合、メモリ カードを差し込むと、写真を保存するためのメッセージがコンピュータ上に自動的に表示されます。

b. 矢印キーを押して [**はい(Y)**] を選択します。

c. 矢印キーを押して [**コンピュータに転送**] を選択し、コンピュータの名前を選択します。

d. コンピュータの画面に表示される指示に従って、コンピュータに写真を保存します。

8 ファクス

このデバイスを使用して、カラー ファクスを含むファクスの送受信ができます。 ファクスを後で送信するように設定したり、短縮ダイヤルを設定してよく使用するファクス番号にすばやく簡単にファクスを送信することができます。 デバイスのコントロール パネルで、解像度や送信するファクスの薄さと濃さのコントラストなど、さまざまなファクスのオプションも設定できます。

デバイスが直接コンピュータに接続されている場合は、HP ソリューション センターを使用して、デバイスのコントロール パネルからは利用できない方法でファクスを処理できます。詳細については、HP フォト イメージング ソフトウェアの使用を参照してください。

注記 ファクス機能を使用する前に、デバイスのファクス機能を正しく設定しておいてください。初期セットアップで、デバイスのコントロール パネルまたはデバイス付属のソフトウェアを使って、既に設定されている場合もあります。ファクス機能が正しく設定されているかどうかは、デバイスのコントロール パネルからファクス セットアップ テストを実行して確かめることができます。ファクス テストを実行するには、 **(セットアップ)** を押し、**[ツール]** を選択します。次に **[ファクス テストを実行]** を選択し、 **OK** を押します。

多くのファクス設定は、組み込み Web サーバで管理できます。詳細については、組み込み Web サーバを参照してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ファクスの送信
- ファクスの受信
- ファクス設定の変更
- 短縮ダイヤルの設定
- FoIP (Fax over Internet Protocol)
- ファクス設定のテスト
- レポートの使用
- ファクスのキャンセル

ファクスの送信

さまざまな方法でファクスを送信できます。 デバイスのコントロール パネルを使用すれば、モノクロまたはカラーでファクスを送信できます。 付属の電話機から手動でファクスを送信することもできます。 この方法では、ファクスを送信する前に受信者と通話することができます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 基本的なファクスの送信
- 電話からのファクスの手動送信
- ダイヤル モニタリングを使用したファクス送信
- ファクス一斉送信オプションを使用したファクスの送信 (カラー ディスプレイ搭載モデルのみ)
- ファクスをメモリから送信する
- 後で送信するためのファクスのスケジュール設定
- ファクスを複数の受信者に送信する
- カラー原稿をファクス送信する
- ファクス解像度と[薄く/濃く]設定の変更
- エラー補正モードでのファクス送信

基本的なファクスの送信

1 ページまたは複数ページのモノクロ ファクスをデバイスのコントロール パネルを使って簡単に送信できます。

注記 ファックスの送信に成功したことを示す確認メッセージを印刷する必要がある場合は、ファックスを送信する**前**にファックス送受信の確認を有効にします。詳細については、ファクス確認レポートの印刷を参照してください。

ヒント 電話やダイヤル モニタ機能を使用して、ファクスを手動で送信することもできます。 この機能では、ダイヤルするペースを指定できます。 通話料金をコーリング カードで支払いたいときなど、ダイヤル中にトーン音に応答する必要があるときに、この機能が役に立ちます。

デバイスのコントロール パネルから基本的なファクスを送信するには

1. 原稿をセットします。 詳細については、原稿のセットを参照してください。
2. キーパッドを使用して、ファクス番号を入力します。**短縮ダイヤル**を押して短縮ダイヤルを選択するか、**リダイヤル/ポーズ**を押してダイヤルした最後の番号をリダイヤルします。

   ☼ **ヒント** 入力するファクス番号間に一定の間隔を加えるには、**リダイヤル/ポーズ** を押すか、ディスプレイにダッシュ記号 [-] が表示されるまで、**[記号 (*)]** ボタンを繰り返し押します。

3. **ファクス スタート - モノクロ**を押します。

   デバイスが自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿を検出すると、入力した番号にドキュメントが送信されます。

   ☼ **ヒント** 受信者からの知らせで、ファクスの品質に問題があることがわかった場合は、ファクスの解像度やコントラストを変えてみます。

電話からのファクスの手動送信

手動ファクス送信では、電話をして、ファクスを送信する前に相手と話をすることができます。ファクスを送信する前に相手に送信することを伝えたい場合は、この方法が便利です。ファクスを手動で送信するときは、発信音、音声ガイダンス、その他の音声が電話の受話器から聞こえます。このため、ファクスの送信にコーリング カードが使用しやすくなります。

受信者側のファクス機の設定状態によって、受信者が電話に出たり、ファクス機が応答する場合があります。 受信者が電話に出たら、ファクスを送信する前に会話をすることができます。 ファクス機が応答し

た場合、受信中のファクス機からトーン音が聞こえてから、そのファクス機に直接ファクスを送信できます。

電話から手動でファクスを送信するには

1. 原稿をセットします。 詳細については、原稿のセットを参照してください。
2. デバイスに接続された電話のダイヤルキーから、番号をダイヤルします。

   注記 手動でファクスを送信するときは、デバイスのコントロール パネルのキーパッドは使用しないでください。受信者の番号をダイヤルするには、電話機のダイヤルを押します。

3. 受信者が応答した場合、ファクスを送信する前に会話をすることができます。

   注記 ファクス機が応答すると、受信中のファクス機からファクスのトーン音が聞こえます。 次の手順に進んで、ファクスを送信します。

4. ファクスを送信する準備ができたら、**ファクス スタート - モノクロ** または **ファクス スタート - カラー** を押します。

   注記 メッセージが表示された場合は、**[ファクス送信]** を選択し、もう一度 **ファクス スタート - モノクロ** または **ファクス スタート - カラー** を押します。

   ファクス送信前に受信者と話している場合は、ファクスのトーン音が聞こえたらファクス機の **[スタート]** ボタンを押すように、前もって受信者に知らせてください。
   ファクスの送信中は、電話回線は無音になります。 この時点で、受話器を置くことができます。 ファクス受信が完了した後、受信者と続けて話をする場合は、電話を切らないでください。

ダイヤル モニタリングを使用したファクス送信

ダイヤル モニタリングを使用すると、通常電話するように、デバイスのコントロール パネルから番号をダイヤルすることができます。 ファクスをダイヤル モニタリングで送信するときは、発信音、音声ガイダンス、その他の音声がデバイスのスピーカーから聞こえます。 これに

より、ダイヤル中に音声ガイダンスに応答することも、ダイヤルするペースを指定することもできます。

ヒント コーリング カードの PIN の入力に時間がかかると、デバイスからファクス トーンの送信が開始されてしまい、コーリング カード サービス会社が PIN を認識できない場合があります。 その場合は、短縮ダイヤル番号を使用して、コーリング カードの PIN をあらかじめ登録しておいてください。

注記 音量をオンにしないと、ダイヤル トーンは聞こえません。

デバイスのコントロール パネルからダイヤルのモニタ機能を使用してファクスを送信するには

1. 原稿をセットします。 詳細については、原稿のセットを参照してください。
2. **ファクス スタート - モノクロ** または **ファクス スタート - カラー** を押します。
   デバイスが自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿を検出すると、ダイヤル トーンが聞こえます。
3. ダイヤル トーンが聞こえたら、デバイスのコントロール パネルのキーパッドで番号を入力します。
4. 音声ガイダンスがあれば、従ってください。

   ヒント コーリング カード PIN を短縮ダイヤルに登録し、コーリング カードを使ってファクスを送信する場合は、PIN の入力を求めるメッセージが表示されたら **短縮ダイヤル**を押し、PIN を登録した短縮ダイヤル番号を選択します。

   受信側のファクス機が応答すると、ファクスが送信されます。

ファクス一斉送信オプションを使用したファクスの送信 (カラー ディスプレイ搭載モデルのみ)

グループ短縮ダイヤルを設定しなくても、ファクスを複数の受信者に一度に送信できます。

注記 このファックスについて指定した受信者の一覧は保存されず、モノクロでのファックス送信についてのみ機能します。同じ受信者一覧に他のファックスも送信する場合は、グループ短縮ダイヤル一覧を作成してください。

コントロール パネルから複数の受信者にファクスを一斉送信するには

1. **ファクス** を押し、[**ファックスの一斉送信**] を選択します。
2. キーパッドを使用してファクス番号を入力するか、矢印キーを押して短縮ダイヤルを利用します。

   注記 最大 20 個のファクス番号を追加できます。

3. **ファクス スタート - モノクロ** を押します。
4. 画面の指示に従って、ドキュメント フィーダ トレイの中央に、原稿を印刷面が上、上側が先になるようにセットします。詳細については、メディアのセットを参照してください。
5. もう一度 **ファクス スタート - モノクロ** を押します。

ファクスをメモリから送信する

モノクロ ファクスをメモリに読み込んで、メモリからファクスを送信することができます。 この機能は、これから送信しようとしているファクス番号が通話中、または一時的に通話不能な場合に便利です。 デバイスは原稿をメモリに読み込み、受信するファクス機に接続が完了した時点で送信を行います。 原稿のスキャンが完了したら、すぐに原稿をドキュメント フィーダ トレイから取り除くことができます。

注記 モノクロ ファクスを送信できるのはメモリからだけです。

メモリ内のファクスを送信するには

1. 原稿をセットします。 詳細については、原稿のセットを参照してください。
2. **ファクス**を押し、**スキャンとファクス** を選択します。
   [**番号を入力**] メッセージが表示されます。

3. キーパッドを使用してファクス番号を入力するか、**短縮ダイヤル**を押して短縮ダイヤルを選択するか、**リダイヤル/ポーズ**を押してダイヤルした最後の番号をリダイヤルします。
4. **ファクス スタート - モノクロ**を押します。
   デバイスは原稿をメモリに読み込んで、相手側ファクス機が受信可能なときにファクスを送信します。

後で送信するためのファクスのスケジュール設定

モノクロのファクスを 24 時間以内に送信するようスケジュール設定することができます。 これにより、たとえば電話回線の混雑が少なく、電話料金が割安の夜間にモノクロのファクスを送信できます。 デバイスが、指定された時刻に自動的にファクスを送信します。

ファクスのスケジュール設定ができる原稿は、一度に 1 件のみです。ファクスのスケジュール設定がされている状態でも、通常のファクスは送信が可能です。

注記 メモリ容量に制限があるため、ファクスはモノクロのみで送信できます。

デバイスのコントロール パネルからファクスをスケジュール設定するには

1. 原稿をセットします。 詳細については、原稿のセットを参照してください。
2. **ファクス** を押してから、**オプション** を選択します。
3. [**後でファクスを送信**] を選択します。
4. テンキーパッドを使用して送信時刻を入力し、**OK(O)** を押します。画面の指示に従い、[**午前**] の場合は **1**、[**午後**] の場合は **2** を押します。
5. キーパッドを使用してファクス番号を入力するか、**短縮ダイヤル**を押して短縮ダイヤルを選択するか、**リダイヤル/ポーズ**を押してダイヤルした最後の番号をリダイヤルします。
6. **ファクス スタート - モノクロ** を押します。
   デバイスがすべてのページをスキャンし、ディスプレイにスケジュール設定された時刻が表示されます。 ファクスはスケジュール設定された時刻に送信されます。

スケジュールされたファクスをキャンセルするには

1. **ファクス**を押してから、**オプション** を選択します。
2. [**後でファクスを送信**] を選択します。
   スケジュールされたファクスがある場合は、ディスプレイに**キャンセル**メッセージが表示されます。
3. **1** を押して [**はい(Y)**] を選択します。

   注記 スケジュール設定された時刻がディスプレイに表示されているときに、デバイスのコントロール パネルで **キャンセル** を押しても、スケジュール ファクスをキャンセルすることができます。

ファクスを複数の受信者に送信する

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

• ファクスをデバイスのコントロール パネルから複数の受信者に送信する

ファクスをデバイスのコントロール パネルから複数の受信者に送信する

個別短縮ダイヤル番号をグループ短縮ダイヤル番号にまとめることにより、1 つのファクスを複数の受信者に一度に送信できます。

グループ短縮ダイヤルを使用してファクスを複数の受信者に一度に送信する

1. 原稿をセットします。詳細については、原稿のセットを参照してください。
2. 目的の短縮ダイヤルが表示されるまで、**短縮ダイヤル** を繰り返し押します。

   ヒント または、矢印にタッチして短縮ダイヤル番号をスクロールすることも、デバイスのコントロール パネルのキーパッドから短縮ダイヤルコードを入力して、番号を直接指定することもできます。

3. **ファクス スタート - モノクロ**を押します。

   デバイスは、自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿を検出すると、グループ短縮ダイヤルの各番号にドキュメントを送信します。

   注記 メモリの量に制限があるため、グループ短縮ダイヤル番号は、モノクロ ファクスの送信にのみ使用できます。デバイスはファクスをメモリにスキャンしてから、最初の番号をダイヤルします。接続したらファクスを送信し、次の番号をダイヤルします。送信先が話し中または応答なしの場合は、[**ビジーリダイヤル**]および[**応答なしリダイヤル**]の設定に従って動作します。接続できない場合は、次の番号がダイヤルされ、エラー レポートが作成されます。

カラー原稿をファクス送信する

デバイスからカラー原稿や写真をファクスすることができます。デバイスが受信者のファクス機がモノクロ ファクスにしか対応していないことを検出すると、ファクスはモノクロで送信されます。

カラー ファクス送信には、カラー原稿のみを使用することをお勧めします。

デバイスのコントロール パネルからカラー原稿をファクス送信するには

1. 原稿をセットします。 詳細については、原稿のセットを参照してください。
2. **ファクス**を押します。
   [番号を入力] メッセージが表示されます。
3. キーパッドを使用してファクス番号を入力するか、**短縮ダイヤル**を押して短縮ダイヤルを選択するか、**リダイヤル/ポーズ**を押してダイヤルした最後の番号をリダイヤルします。
4. **ファクス スタート - カラー** を押します。
   デバイスが自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿を検出すると、入力した番号にドキュメントが送信されます。

   注記 受信者のファクス機がモノクロ ファクスにしか対応していない場合、HP All-in-One は自動的にモノクロでファクスを送信します。ファクスの送信後に、ファクスがモノクロで送信されたことを示すメッセージが表示されます。**OK(O)** を押してメッセージを消去します。

ファクス解像度と[薄く/濃く]設定の変更

ファクスするドキュメントに応じて、**[解像度]** と **[薄く/濃く]** の設定を変更できます。

注記 これらのファクス設定は、コピー設定には影響しません。 コピーの解像度と濃淡は、ファクスの解像度と濃淡とは別に設定されます。 また、デバイスのコントロール パネルでの変更は、コンピュータから送信するファクスには影響しません。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ファクス解像度の変更
- [薄く/濃く] 設定の変更
- 新しいデフォルトの設定

ファクス解像度の変更

[解像度] の変更は、ファクス送信されるモノクロ文書の送信速度と印刷品質に影響します。受信側のファクス機が HP All-in-One で選択した解像度をサポートしていない場合は、受信側のファクス機でサポートする最高の解像度でファクスが送信されます。

注記 ファクスの解像度は、モノクロ送信に限って変更できます。カラー ファクスはすべて[**高画質**]の解像度で送信されます。

ファクス送信には、次の解像度設定を選択できます。[**高画質**]、[**超高画質**]、[**フォト**]、および [**標準**]

- [**高画質**]: ほとんどの文書に適した高品質な文字でファクス送信できます。 これがデフォルト設定値です。 デバイスは、ファクスをカラー送信するときは常に[**高画質**]設定を使用します。
- [**超高画質**]: 極めて精密な画像の文書をファクス送信する場合に、最高の品質が得られます。[**超高画質**] を選択すると、ファクス送信に通常よりも時間がかかります。この解像度を使用して送信できるのは、モノクロ ファクスだけです。カラー ファクスを送信すると、代わりに [**高画質**] 解像度で送信されます。
- [**フォト**]: 写真をモノクロで送信する場合に、最も高品質なファクス送信が可能です。[**フォト**] を選択すると、ファクス送信に通常よりも時間がかかります。写真をモノクロで送信するときには、[**フォト**] を選択することをお勧めします。
- [**標準**]: ファクス品質は下がりますが、最も速くファクスを送信することができます。

このオプションは、デフォルトとして変更した場合を除いて、ファクス メニューを終了するとデフォルトの設定に戻ります。

デバイスのコントロール パネルから解像度を変更するには

1. 原稿をセットします。 詳細については、原稿のセットを参照してください。
2. **ファクス**を押します。
   [**番号を入力**] メッセージが表示されます。
3. キーパッドを使用してファクス番号を入力するか、**短縮ダイヤル**を押して短縮ダイヤルを選択するか、**リダイヤル/ポーズ**を押してダイヤルした最後の番号をリダイヤルします。
4. **オプション** を押して、[**解像度**]を選択し、解像度設定を選択します。
5. **ファクス スタート - モノクロ**を押します。
   デバイスが自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿を検出すると、入力した番号にドキュメントが送信されます。

[薄く/濃く] 設定の変更

ファクスのコントラストの強弱を変更することができます。かすれた文書や色あせた文書、手書きの文書などをファクスするときに役に立ちます。原稿を濃くするには、コントラストを調整します。

注記 [薄く/濃く]設定はモノクロ ファクスにのみ適用されます。

このオプションは、デフォルトとして変更した場合を除いて、ファクス メニューを終了するとデフォルトの設定に戻ります。

デバイスのコントロール パネルから [薄く/濃く] 設定を変更するには

1. 原稿をセットします。 詳細については、原稿のセットを参照してください。
2. **ファクス**を押します。
   [**番号を入力**] が表示されます。
3. キーパッドを使用してファクス番号を入力するか、**短縮ダイヤル**を押して短縮ダイヤルを選択するか、**リダイヤル/ポーズ**を押してダイヤルした最後の番号をリダイヤルします。
4. **オプション** を押してから、[**薄く/濃く**]を選択します。
5. ファクスを薄くするには右矢印 ▶、濃くするには左矢印 ◀ を押します。
   タッチした矢印ボタンに応じて、インジケータが左右に動きます。
6. **ファクス スタート - モノクロ** を押します。
   デバイスが自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿を検出すると、入力した番号にドキュメントが送信されます。

新しいデフォルトの設定

デバイスのコントロール パネルから、[**解像度**] と [**薄く/濃く**] 設定のデフォルト値を変更することができます。

デバイスのコントロール パネルから新しいデフォルト設定を行うには

1. [**解像度**] と [**薄く/濃く**] 設定に必要な変更を加えます。
2. **オプション** を押してから、[**新しいデフォルトの設定**] を選択します。
3. [**はい(Y)**]が表示されるまで右矢印 ▶ を押し、**OK(O)** を押します。

エラー補正モードでのファクス送信

[**エラー補正モード**] (ECM) では電話回線の問題によるデータ破損に対処するために、データ伝送中に発生したエラーを検出してエラー部分を再伝送するよう自動的に要求します。良好な状態の電話回線においては電話料金に影響が及ぶことはなく、場合によってはむしろ安くなることもあります。電話回線の状態が悪い場合、ECM にすることで送信時間と電話料金は増えますが、送信するデータの信頼性が高くなります。デフォルトの設定は [**オン**] です。電話料金を安くするためにファクスの品質を問わないという場合にのみ、ECM をオフにしてください。

注意 ECM 設定が [オフ] になっている場合は、

- 送受信するファクスの品質と送信速度に影響があります。
- [**ファクス速度**] が自動的に [**標準**] に設定されます。
- カラーでのファクスの送受信ができなくなります。

デバイスのコントロール パネルから ECM 設定を変更するには

1. **セットアップ**を押します。
2. [**ファクスの詳細設定**]、[**エラー補正モード**]の順に選択します。
3. 右矢印 ▶ を押して、[**オン**]、または [**オフ**]を選択します。
4. **OK(O)**を押します。

ファクスの受信

ファクスは、自動で受信することも、手動で受信することもできます。 **自動応答** オプションをオフにした場合は、手動でファクスを受信する必要があります。 **自動応答** オプションをオンにすると (デフォルトの設定)、デバイスは [**応答呼出し回数**] 設定で指定されている呼び出し回数の後、自動的に着信に応答し、ファクスを受信します (デフォルトの [**応答呼出し回数**] 設定は 5 回です)。

デバイスでリーガル サイズの用紙を使用するように設定されていないときに、リーガル サイズのファクスを受信すると、デバイスにセットされている用紙に収まるようにファクスのサイズが自動で縮小されます。 [**自動縮小**] 機能を無効に設定している場合、デバイスはファクスを 2 ページに印刷します。

注記 文書のコピー中にファクスを受信すると、受信したファクスはコピーが終了するまでデバイス メモリに保存されます。 これにより、メモリに保存されるファクス ページ数を削減できます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ファクスの手動受信
- バックアップ ファクス受信のセットアップ
- 受信済みファクスのメモリからの再印刷
- ポーリングしてファクスを受信する
- 別の番号へのファクスの転送
- ファクス受信用の用紙サイズの設定
- 受信したファクスを自動縮小に設定
- 迷惑ファクス番号の拒否
- コンピュータへのファクスの受信 (PC ファクス受信と Mac にファクス

ファクスの手動受信

電話中に接続を維持しながら、通話先の相手からファクスを送ってもらうことができます。 これをファクスの手動受信と呼びます。 このセクションでは、ファクスを手動受信する方法について説明します。

注記 受話器を取り上げて話すか、ファクス トーンを聞くことができます。

デバイスに直接接続されている場合、(2-EXT ポートで)、またはデバイスに直接接続されていなくても、同じ電話線に接続されていれば、電話から手動でファクスを受信できます。

ファクスを手動で受信するには

1. デバイスの電源がオンになっていて、用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. ドキュメント フィーダ トレイから原稿を取り除きます。

   注記 ファクスを受信するには自動ドキュメント フィーダは空にする必要があります。 文書がドキュメント フィーダにあると、 ファクスは正常に受信されません。

3. 次のいずれかの操作を行います。
   - **自動応答** をオフにします。
   - [**応答呼出し回数**]の数字を上げます。
4. 送信者と電話がつながっている場合は、相手のファクス機で **[スタート]** を押すように指示します。
5. 送信中のファクス機からファクス トーンが聞こえたら、次の操作を行います。
   a. デバイスのコントロール パネルにある **ファクス スタート - モノクロ** または **ファクス スタート - カラー** を押します。
   b. 画面の指示に従って、[**ファクス受信**] を選択します。

   注記 国/地域により、送信中のファクス機からトーン音が聞こえると、デバイスがファクスを自動的に受信する場合があります。

6. デバイスのファクス受信が始まったら、受話器を置くことも、そのまま待機することもできます。 ファクスの転送中、電話回線は無音になります。

バックアップ ファクス受信のセットアップ

好みとセキュリティ要件に応じて、デバイスが受信したファクスをすべて保存するか、エラー状態の間に受信したファクスのみを保存するか、どのファクスも保存しないかを設定することができます。

以下の [**バックアップ ファクス受信**] モードがあります。

[**オン**]	デフォルトの設定です。 [**バックアップ ファクス受信**] が [**オン**] の場合、デバイスは受信したすべてのファクスをメモリに保存します。 こうしておけば、メモリに保存されている最近印刷したファクスを最大 8 件まで再印刷することができます。 **注記** メモリが少なくなると、デバイスは新たにファクスを受信するたびに、印刷済みのファクスを古い順に消去します。 メモリが印刷されていないファクスでいっぱいになると、デバイスは着信ファクスに応答しなくなります。 **注記** きめの細かいカラー写真など、サイズの大きなファクスを受信した場合は、メモリ容量の制限により、メモリに保存されないことがあります。
[**エラーの場合のみ**]	デバイスは、エラーによってファクスの印刷ができない場合 (用紙切れなど) にのみ、ファクスをメモリに保存します。 デバイスはメモリの容量が許す限り、受信したファクスを保存し続けます (メモリがいっぱいになると、デバイスは着信ファクスに応答しなくなります)。 エラー状態が解消すると、メモリに保存されたファクスは自動的に印刷され、メモリから消去されます。
[**オフ**]	ファクスはメモリにまったく保存されません。 たとえば、セキュリティ保護のために [**バックアップ ファクス受信**] をオフにすることができます。 印刷できないエラー状態 (用紙切れなど) が発生すると、デバイスは着信ファクスに応答しなくなります。

注記 [**バックアップ ファクス受信**]が有効になっている場合は、デバイスの電源をオフにするとメモリに残っているすべてのファクスが保存されます。受信したファクス一覧を見るには、[**ファクス ログ**]を印刷します。

デバイスのコントロール パネルから、バックアップ ファクス受信を設定するには

1. **セットアップ**を押します。
2. [**ファクスの詳細設定**] を選択し、[**バックアップ ファクス受信**] を選択します。

3. 右矢印ボタンを押して [**オン**]、[**エラーの場合のみ**]、または [**オフ**] を選択します。
4. **OK(O)**を押します。

受信済みファクスのメモリからの再印刷

[**バックアップ ファクス受信**] モードを [**オン**] に設定すると、デバイスにエラーがあるかどうかに関係なく、受信したファクスはメモリに保存されます。

注記 メモリがいっぱいになると、新たにファクスを受信するたびに、印刷済みのファクスが古い順に消去されます。 保存されたファクスがどれも印刷されていない場合、デバイスは、ファクスを印刷するかメモリから削除するまで、新たなファクス受信に応答しません。 セキュリティまたはプライバシー保護のために、メモリ内のファクスを削除することもできます。

メモリに保存されたファクスの容量に応じて、メモリにまだ保存されていれば、最近印刷したファクスを最大 8 件まで再印刷することができます。 たとえば、最後に受信したプリントアウトをなくしても、ファクスを再印刷できます。

コントロール パネルから、メモリに保存されているファクスを再印刷するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. **セットアップ**を押します。
3. [**ツール**] を選択し、[**メモリ内のファクスを再印刷**] を選択します。
受信したときとは逆の順序で、直前に受信したファクスが最初に印刷されます。
4. メモリ内のファクスの印刷を中止する場合は、**キャンセル** を押します。

コントロール パネルから、メモリに保存されたすべてのファクスを削除するには

▲ 使用している機種に応じて、次のいずれかの操作を行います。
- **2 行ディスプレイ**：🔧 (**セットアップ**) を押して、**[ファクス ログの消去]** を選択します。
  メモリに保存されているすべてのファクスが、メモリから削除されます。
- **カラー ディスプレイ**：**セットアップ**にタッチし、[**ツール**] を選択し、[**ファクス ログの消去**] を選択します。

埋め込み Web サーバでファクス ログを消去するには

▲ **[設定]** タブを選択し、左枠で **[ファクス オプション]** を選択し、**[ファクス ログの消去]** の **[消去]** をクリックします。

ポーリングしてファクスを受信する

ポーリングは、現在 HP All-in-One のキューに入っているファクスの送信を、他のファクス機に要求する機能です。[**ポーリング受信**]機能を使用すると、HP All-in-One は指定された他のファクス機を呼び出し、ファクスの送信を要求します。指定されたファクス機はポーリングの設定がされ、ファクスを送信できる状態である必要があります。

注記 HP All-in-One はポーリング パス コードをサポートしていません。ポ ーリング パス コードは、受信側のファクス機に対し、ファクスを受信するために、ポーリングしているデバイスに パス コードを送信するよう要求するセキュリティ機能です。ポーリングしているデバイスでパス コードが設定されていないこと (またはデフォルト パス コードが変更されていないこと) を確認してください。パス コードが設定されている場合、HP All-in-One はファクスを受信できません。

デバイスのコントロール パネルから、ファクスのポーリング受信を設定するには

1. **ファクス**、[**ポーリング受信**]の順に押します。
2. 他のファクス機のファクス番号を入力します。
3. **ファクス スタート - モノクロ** または **ファクス スタート - カラー** を押します。

   注記 **ファクス スタート - カラー**を押しても、送信者がモノクロでファクスを送信した場合は、デバイスでもモノクロで印刷されます。

別の番号へのファクスの転送

受信したファクスを他のファクス番号に転送するようにデバイスを設定することができます。 カラー ファクスを受信した場合は、モノクロで転送されます。

転送の前に、転送先のファクス番号を確認することをお勧めします。 テストでファクスを送信し、転送先のファクス機がファクスを受信できるか確認してください。

デバイスのコントロール パネルからファクスを転送するには

1. **セットアップ**を押します。
2. [**ファクスの詳細設定**] を選択し、[**モノクロでファクスを転送**] を選択します。
3. [**オン - 転送**] または [**オン - 印刷と転送**] が表示されるまで右矢印ボタンを押し、**OK(O)** を押します。
   - ファクスのバックアップ コピーをデバイスで印刷せずに、別の番号に転送する場合は [**オン - 転送**] を選択します。

     注記 指定されたファクス機に (電源が入っていない場合など) ファクスを転送できない場合は、デバイスでファクスを印刷します。 デバイスが受信ファクスのエラー レポートも印刷するように設定されている場合は、エラー レポートも印刷されます。

   - ファクスのバックアップ コピーを印刷し、別の番号に転送もする場合は [**オン - 印刷と転送**] を選択します。
4. 指示画面で、転送先ファクス機の番号を入力します。

5. 指示画面で、開始日時と終了日時を入力します。
6. **OK(O)**を押します。
   コントロールパネルに [**ファクスを転送**] が表示されます。
   [**ファクスを転送**] の設定中にデバイスの電源が切れても、デバイスは [**ファクスを転送**] 設定と電話番号を保存しています。 再び装置の電源が入ると、[**ファクスを転送**] 設定は [**オン**] になっています。

   注記 ファクスの転送をキャンセルするには、ディスプレイに [**ファクスを転送**] メッセージが表示されているときに、デバイスのコントロール パネルの **キャンセル** を押すか、[**モノクロでファクスを転送**] メニューから [**オフ**] を選択します。

ファクス受信用の用紙サイズの設定

受信ファクスの用紙サイズを選択できます。用紙サイズは、給紙トレイにセットした用紙に合わせて設定します。ファクスはレター用紙、A4 用紙、またはリーガル用紙にのみ印刷できます。

注記 ファクスを受信したときに不適当な用紙サイズが給紙トレイにセットされていると、ファクスを印刷しないで、ディスプレイにエラー メッセージが表示されます。ファクスを印刷するには、レター用紙、A4 用紙、リーガル用紙のいずれかをセットして、**OK(O)** を押します。

デバイスのコントロール パネルから、ファクス受信用の用紙サイズを設定するには

1. **セットアップ**を押します。
2. [**ファクスの基本設定**]、[**ファクスの用紙サイズ**]の順に選択します。
3. オプションを選択して、**OK(O)** を押します。

受信したファクスを自動縮小に設定

[**自動縮小**]設定は、受信したファクスがデフォルトの用紙サイズよりも大きい場合に HP All-in-One がどう対応するかの設定です。デフォルトの設定はオンで、受信したファクスの画像が 1 ページに収まるように縮小されます。この機能をオフにすると、1 ページ目に収まらなかった情報は 2 ページ目に印刷されます。 [**自動縮小**]は、リーガルサイ

ズのファクスを受信する場合やレターサイズの用紙を給紙トレイにセットする場合に便利です。

デバイスのコントロール パネルから自動縮小を設定するには

1. **セットアップ**を押します。
2. [**ファクスの詳細設定**]、[**自動縮小**]の順に選択します。
3. [**オフ**] または [**オン**] を選択します。
4. **OK(O)**を押します。

迷惑ファクス番号の拒否

電話会社の発信者 ID サービスに加入すると、特定のファクス番号を拒否して、デバイスが今後それらの番号から受信したファクスを印刷しないようにすることができます。 ファクスの受信があったとき、デバイスは、その番号を迷惑ファクス番号リストと比較して、その受信を拒否するべきかどうかを判断します。 番号が、拒否ファクス番号リストの番号と一致した場合、ファクスは印刷されません (拒否できるファクス番号の最大数は、モデルによって異なります)。

注記 この機能は、一部の国/地域ではサポートされていません。 お住まいの国/地域でサポートされていない場合、[**ファクスの基本設定**] メニューに [**迷惑ファクスを拒否の設定**] は表示されません。

注記 発信者 ID リストに電話番号が 1 つも追加されていない場合は、ユーザーが電話会社と発信者 ID サービスの契約を結んでいないと考えられます。

機能を使用する前に、サービスについてお近くのサービス プロバイダに確認してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 迷惑ファクス モードの設定
- 迷惑ファクス一覧に番号を追加
- 迷惑ファクス一覧から番号を削除
- 拒否するファクス番号のリストの表示

迷惑ファクス モードの設定

デフォルトの [**迷惑ファクスを拒否**] モード設定は [**オン**] です。 電話プロバイダの発信者 ID サービスに加入していない、またはこの機能を使用したくない場合は、設定をオフにすることができます。

迷惑ファクス モードを設定するには

▲ **迷惑ファクスを拒否** ボタンを押し、[**迷惑ファクスを拒否**] オプションを選択し、[**オン**] または [**オフ**] を選択します。

迷惑ファクス一覧に番号を追加

迷惑ファクス一覧に番号を追加するには 2 通りの方法があります。 発信者 ID 履歴から番号を選択するか、または任意の番号を入力します。 迷惑ファクス一覧にある番号は、[**迷惑ファクスを拒否**] モードが [**オン**] にセットされている場合に拒否されます。

発信者 ID 一覧から番号を選択するには

1. **セットアップ**を押します。
2. [**ファックスの基本設定**] を押し、[**迷惑ファックスを拒否の設定**] を押します。
3. [**迷惑リストに番号を追加**] を押し、[**番号の選択**] を押します。
4. 右矢印ボタンを押して、受信したファックス番号をスクロールします。拒否するファクス番号が表示されたら、**OK(O)** を押して選択します。
5. [**次を選択?**] の指示に従って、次のいずれかを行います。
   - 迷惑ファクス番号リストに別の番号を追加する場合は、[**はい**] を押し、拒否する番号ごとにステップ 4 を繰り返します。
   - 終了する場合は、[**いいえ**] を押します。

拒否する番号を手動で入力するには

1. **セットアップ**を押します。
2. [**ファックスの基本設定**] を押し、[**迷惑ファックスを拒否の設定**] を押します。
3. [**迷惑リストに番号を追加**] を押し、[**番号の入力**] を押します。

4. キーパッドを使ってファックス番号を入力し、**OK(O)** を押します。
受信したファクスのヘッダーの番号ではなく、コントロールパネルのディスプレイに表示されるファクス番号を入力していることを確認してください。
5. [**追加しますか？**] の指示に従って、次のいずれかを行います。
   - 迷惑ファクス番号リストに別の番号を追加する場合は、[**はい**] を押し、拒否する番号ごとにステップ 4 を繰り返します。
   - 終了する場合は、[**いいえ**] を押します。

迷惑ファクス一覧から番号を削除

ファクス番号を拒否する必要がなくなった場合は、その番号を迷惑ファクス一覧から削除することができます。

迷惑ファクス番号リストから番号を削除するには

1. **セットアップ**を押します。
2. [**ファックスの基本設定**] を押し、[**迷惑ファックスを拒否の設定**] を押します。
3. [**迷惑リストから番号を削除**] を押します。
4. 右矢印ボタンを押して、拒否したファックス番号をスクロールします。削除するファクス番号が表示されたら、**OK(O)** を押して選択します。
5. [**削除しますか？**] の指示に従って、次のいずれかを行います。
   - 迷惑ファクス番号リストから別の番号を削除する場合は、[**はい**] を押し、削除する番号ごとにステップ 4 を繰り返します。
   - 終了する場合は、[**いいえ**] を押します。

拒否するファクス番号のリストの表示

拒否するファクス番号のリストを見るには、組み込み Web サーバから表示するか (ネットワーク接続が必要)、デバイスのコントロール パネルからレポートを印刷します。

コントロール パネルから拒否するファクス番号を表示するには

1. セットアップを押します。
2. [**レポートの印刷**]、[**迷惑ファクス リスト**]の順に選択します。

埋め込み Web サーバで拒否するファクス番号リストを表示するには

▲ 組み込み Web サーバを開きます。詳細については、埋め込み Web サーバを開くにはを参照してください。**[設定]** タブをクリックし、左枠で **[迷惑ファクスを拒否]** を選択します。

コンピュータへのファクスの受信 (PC ファクス受信と Mac にファクス

[PC ファクス受信] および [Mac にファクス] を使用すると、ファクスを自動的に受信し、コンピュータに直接ファクスを保存できます。[PC ファクス受信] および [Mac にファクス] を使用すると、ファクスのデジタル コピーを簡単に格納できます。また、この機能を使用することにより、分厚い紙の束を扱うわずらわしさもなくなります。

受信したファクスは TIFF (タグ付きイメージ ファイル形式) で保存されます。ファクスを受信すると、ファクスを保存したフォルダへのリンクを提供する通知を画面で受け取ります。

ファイルには、次の形式で名前が付けられます。XXXX_YYYYYYYY_ZZZZZZ.tif。この場合、「X」は送信者の情報、「Y」は日付、「Z」はファクスの受信時刻です。

注記 [PC ファクス受信] および [Mac にファクス] は、モノクロ ファクスを受信する場合にのみ利用できます。カラーファクスは、コンピュータに保存されず、印刷されます。

注記 この機能は、2 行ディスプレイのあるデバイスでのみ使用できます。カラー ディスプレイのあるデバイスで、ネットワーク フォルダにファクス、または電子メールにファクス機能を実行できます。詳細については、HP デジタル ソリューション (一部のモデルのみ)を参照してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- PC ファクス受信および Mac にファクス機能の要件
- [PC ファクス受信] および [Mac にファクス] の有効化
- [PC ファクス受信] または [Mac にファクス] の設定を修正する
- PC ファクス受信または Mac にファクスをオフにします。

PC ファクス受信および Mac にファクス機能の要件

- PC ファクス受信および Mac にファクス機能を使用可能にする管理コンピュータには、常に電源を入れておく必要があります。PC ファクス受信またはMac にファクス管理コンピュータとして動作できるコンピュータは、1 台のみです。
- 宛先フォルダのコンピュータまたはサーバは、常に電源を入れておく必要があります。宛先コンピュータもまた動作させておく必要があります。コンピュータがスリープ モードまたはハイバネート モードの場合、ファクスは保存されません。
- Windows を使用している場合、Windows タスクバーの HP Digital Imaging Monitor は常にオンにしておく必要があります。
- 用紙は給紙トレイにセットしておきます。

[PC ファクス受信] および [Mac にファクス] の有効化

[PC ファクス受信セットアップ ウィザード] を使用して [PC ファクス受信] を使用可能にします。[PC ファクス受信セットアップ ウィザード] は、ソリューション センター、またはコントロール パネルの [PC ファクス受信セットアップ ウィザード] から開始できます。Mac にファクスを Mac OS X にセットアップするには、HP デバイス マネージャに含まれる HP セットアップ アシスタントを使用します。

ソリューション センター (Windows) から [PC ファクス受信] を設定するには

1. Solution Center を開きます。 詳細については、HP ソリューション センターの使用 (Windows)を参照してください。
2. **[設定]** をクリックし、**[PC ファクス受信セットアップ ウィザード]** を選択します。
3. 画面に表示される指示に従って、[PC ファクス受信] を設定します。

Mac にファクスをセットアップするには

1. Dock の HP デバイス マネージャ のアイコンをクリックします。

   注記 HP デバイス マネージャが Dock にない場合は、メニュー バー右側の [スポットライト] アイコンをクリックして、ボックスに「HP デバイス マネージャ」と入力し、HP デバイス マネージャ エントリをクリックします。

2. セットアップ アシスタントの画面の指示に従って、ネットワーク フォルダを作成して共有します。
   セットアップ アシスタントは、自動的に HP デバイスに設定を保存します。また、各 HP デバイスに最大 10 個の宛先フォルダを設定できます。

[PC ファクス受信] または [Mac にファクス] の設定を修正する

コンピュータ上の [PC ファクス受信] の設定は、ソリューション センターのファクス設定ページでいつでも更新できます。 [PC ファクス受信] 機能とファクス印刷機能は、デバイスのコントロール パネルからオフに設定できます。

デバイスのコントロール パネルから設定を変更するには

1. (**[セットアップ]**) ボタンを押し、**[ファクスの基本設定]** を選択し、**[PC ファクス受信]** を選択します。
2. 変更する設定を選択します。 以下の設定を変更できます。
   - **[PC ホスト名の表示]**： [PC ファクス受信] を管理するために設定するコンピュータ名を表示します。
   - **[オフにする]**： [PC ファクス受信] をオフにします。

     注記 ソリューション センター を使って [PC ファクス受信] をオフにします。

   - **[ファクス印刷を無効にする]**： ファクスを受信したときに印刷する場合は、このオプションを選択します。 印刷をオフにしても、カラー ファクスは印刷されます。

ソリューション センターから [PC ファクス受信] 設定を変更するには (Windows)

1. Solution Center を開きます。 詳細については、HP ソリューション センターの使用 (Windows)を参照してください。
2. **[設定]**、**[ファクス設定]** を順に選択します。
3. **[PC ファクス受信の設定]** タブを選択します。
4. 必要に応じて、設定を変更します。 **[OK]** を押します。

注記 変更すると、元の設定が上書きされます。

HP セットアップ アシスタントから [Mac にファクス] を変更するには

1. Dock の HP デバイス マネージャ のアイコンをクリックします。

   注記 HP デバイス マネージャが Dock にない場合は、メニュー バー右側の [スポットライト] アイコンをクリックして、ボックスに「HP デバイス マネージャ」と入力し、HP デバイス マネージャ エントリをクリックします。

2. セットアップ アシスタントの画面の指示に従って、ネットワーク フォルダを作成して共有します。
   セットアップ アシスタントは、自動的に HP デバイスに設定を保存します。また、各 HP デバイスに最大 10 個の宛先フォルダを設定できます。

PC ファクス受信または Mac にファクスをオフにします。

1. ([**セットアップ**]) ボタンを押し、**[ファクスの基本設定]** を選択し、**[PC ファクス受信]** を選択します。
2. **[ファクス印刷を無効にする]** を選択します。

ファクス設定の変更

デバイスに付属の [セットアップ ガイド] の手順を実行した後、初期設定を変更したり、ファクスのその他のオプションを設定したりするには、次の手順に従います。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

• ファクスのヘッダーの設定
• 応答モード (自動応答) の設定

- 応答までの呼び出し回数の設定
- 着信識別応答呼び出し音のパターンの変更
- ファクスのエラー補正モードの設定
- ダイヤル方式の設定
- リダイヤル オプションの設定
- ファクス速度の設定
- ファクス音のボリュームの設定

ファクスのヘッダーの設定

ファクスのヘッダーを使用すると、すべての送信ファクスの上部に名前とファクス番号が印刷されます。 デバイス用にインストールしたソフトウェアを使用して、ファクス ヘッダーを設定することをお勧めします。 ここに記されているとおり、デバイスのコントロール パネルからファクスのヘッダーを設定することもできます。

注記 一部の国または地域では、法令等によりファクスのヘッダー情報の明記が義務付けられています。

ファクスのヘッダーを設定または変更するには

1. セットアップを押します。
2. [**ファクスの基本設定**] を押して、[**ファクスのヘッダー**] を選択します。
3. ビジュアル キーボードで個人名または会社名を入力し、[**完了**]を押します。
4. キーパッドを使用してファクス番号を入力し、**OK(O)** を押します。

埋め込み Web サーバでファクスのヘッダーを設定または変更するには

▲ **[設定]** タブを選択し、左枠で **[ファクスの基本設定]** を選択し、**[ファクスヘッダ名]** および **[ファクス番号]** を入力します。**[適用]** ボタンをクリックします。

応答モード (自動応答) の設定

応答モードでは、デバイスが電話の着信に自動で応答するかどうかを設定します。

- デバイスでファクスに [**自動的に**] 応答するには、**自動応答** をオンにします。 デバイスが、すべての受信電話とファクスに自動で応答します。
- ファックスに [**手動で**] 応答するには、**自動応答** をオフにします。デバイスがファクスを受信しない場合は、ユーザーが手動で受信操作をしなければなりません。

デバイスのコントロール パネルで応答モードを手動または自動に設定するには

▲ **自動応答** を押して、希望の設定に合わせてランプのオン/オフを切り替えます。
自動応答 ランプが点灯している場合は、デバイスが自動的に応答します。ランプが点灯していない場合、デバイスは着信への応答を行いません。

組み込み Web サーバで応答モードを手動または自動に設定するには

1. 組み込み Web サーバを開き、**[設定]** タブをクリックします。次に、左枠の **[ファクスの基本設定]** をクリックします。
2. **[その他のファックス基本設定]** セクションの **[自動応答]** ドロップダウン メニューで **[オン]** または **[オフ]** を選択します。

応答までの呼び出し回数の設定

自動応答 設定をオンにした場合、デバイスが自動的に着信音に応答するまでの呼び出し回数を指定できます。

同じ電話回線に留守番電話があり、デバイスが応答する前に留守番電話が応答するようにする場合は、[**応答呼出し回数**] 設定が重要になります。着信電話に対して、デバイスが応答するより前に留守番電話が応答するようにするには、デバイスの応答呼び出し回数を留守番電話の応答呼び出し回数より大きくする必要があります。

たとえば、留守番電話の呼び出し回数を少なくし、デバイスの呼び出し回数をサポートしている最大数に設定します (呼び出しの最大回数は、国/地域によって異なります)。 この設定では、留守番電話が電話に応答し、デバイスが電話回線を監視します。 デバイスがファクス受

信音を検出した場合、デバイスはファクスを受信します。 着信が電話の場合は、留守番電話が着信のメッセージを録音します。

デバイスのコントロール パネルで応答までの呼び出し回数を設定するには

1. **セットアップ**を押します。
2. [**ファクスの基本設定**] を選択し、[**応答呼び出し回数**] を選択します。
3. キーパッドを使用して呼び出し回数を入力するか、左または右矢印ボタンを押して呼び出し回数を変更します。
4. **OK(O)** を押して設定します。

埋め込み Web サーバで応答までの呼び出し回数を設定するには

1. 組み込み Web サーバを開き、**[設定]** タブをクリックします。 次に、左枠の **[ファクスの基本設定]** をクリックします。
2. **[その他のファクス基本設定]** セクションの **[応答呼び出し回数]** ドロップダウン メニューで回数を選択します。

着信識別応答呼び出し音のパターンの変更

多くの電話会社から、1 本の電話回線に複数の電話番号を持てる着信識別音機能が提供されています。 この着信識別サービスでは、番号ごとに異なる呼び出し音のパターンが割り当てられます。 デバイスが特定の呼び出し音の着信に応答するように設定することができます。

注記 機能を使用する前に、上記のサービスについてお近くのサービス プロバイダに確認してください。

着信識別音が設定されている電話回線にデバイスを接続する場合は、電話会社に音声着信の呼び出し音とファクス受信の呼び出し音を、それぞれ別に割り当ててもらいます。 ファクス番号には、2 回または 3 回の呼び出し音を割り当てることをお勧めします。 デバイスは、指定した呼び出し音のパターンを検出したときに、ファクスの受信を開始します。

着信識別サービスを使用していない場合は、デフォルトの呼び出し音パターン [**すべての呼び出し**] を使用してください。

注記 メインの電話番号の受話器が外れている場合、HP ファクスはファクスを受信できません。

デバイスのコントロール パネルで着信識別応答呼び出し音のパターンを変更するには

1. デバイスがファクスの呼び出しに自動応答するよう設定されていることを確認します。
2. セットアップを押します。
3. [**ファクスの詳細設定**] を選択し、[**応答呼出し音のパターン**] を選択します。
4. 右矢印ボタンを押してオプションを選択し、**OK(O)** を押します。
   ファクス回線に割り当てられた呼び出し音で電話が鳴ると、デバイスは着信に応答して、ファクスを受信します。

組み込み Web サーバで着信識別応答呼び出し音のパターンを変更するには

1. **[設定]** タブをクリックし、左枠で **[ファクスの詳細設定]** をクリックします。
2. **[応答呼出し音のパターン]** ドロップダウン メニューで、呼び出し音のパターンを選択して、**[適用]** ボタンをクリックします。

ファクスのエラー補正モードの設定

通常、デバイスは、ファクスの送受信時に電話回線上の信号を監視します。 エラー補正の設定がオンになっており、伝送中にエラー信号を検出した場合、デバイスはファクスの一部の再送信を要求することができます。

ファックスの送受信に問題がある場合や、伝送中のエラーを受け入れる場合にのみ、エラー補正をオフにしてください。他の国や地域にファクスを送信するときや他の国や地域からファクスを受信するとき、または衛星電話回線を使用しているときに、この設定をオフにすると便利な場合があります。

デバイスのコントロール パネルでファクスのエラー補正モードを設定するには

▲ **デバイスのコントロール パネル**：**ファクス**を押して、[**ファクスの詳細設定**] メニューを選択し、[**エラー補正モード**] を選択します。

組み込み Web サーバでファクスのエラー補正モードを設定するには

1. **組み込み Web サーバ**： **[設定]** タブをクリックし、左枠で **[ファクスの詳細設定]** をクリックします。
2. **[エラー補正モード]** ドロップダウン メニューで **[オン]** または **[オフ]** を選択します。
3. **[適用]** ボタンをクリックします。

ダイヤル方式の設定

トーン ダイヤル モードまたはパルス ダイヤル モードに設定するには、次の手順に従います。 工場出荷時のデフォルトの設定は [**トーン**] です。 電話回線でトーン ダイヤルを使用できないことがわかっている場合以外は、この設定を変更しないでください。

注記 パルス ダイヤル オプションは、一部の国/地域では利用できません。

デバイスのコントロール パネルでダイヤル方式を設定するには

▲ **デバイスのコントロール パネル**： **セットアップ** を押し、[**ファクスの基本設定**] を押し、[**トーン回線またはパルス回線**] オプションを使用します。

組み込み Web サーバでダイヤル方式を設定するには

1. **組み込み Web サーバ** (ネットワーク接続)：**[設定]** タブをクリックし、左枠で **[ファクスの基本設定]** をクリックします。
2. **[トーン、パルス選択]** ドロップダウン メニューで選択を行います。
3. **[適用]** ボタンをクリックします。

リダイヤル オプションの設定

受信側のファクス機が応答しないか、ビジー状態であるためにデバイスがファクスを送信できなかった場合、デバイスはビジー リダイヤルまたは応答なしリダイヤル オプションの設定に応じてリダイヤルしま

す。 このオプションのオンとオフを切り替えるには、次の手順に従います。

- **ビジー リダイヤル**: このオプションをオンにすると、デバイスはビジー信号を受信した場合に自動的にリダイヤルします。 このオプションの工場出荷時のデフォルトの設定は [**オン**] です。
- **応答なしリダイヤル**: このオプションをオンにすると、デバイスは受信側のファクス機が応答しない場合に自動的にリダイヤルします。 このオプションの工場出荷時のデフォルトの設定は [**オフ**] です。

デバイスのコントロール パネルでリダイヤル オプションを設定するには

▲ **デバイスのコントロール パネル**: **セットアップ**、[**ファクスの詳細設定**] の順に押して、[**ビジー リダイヤル**] または [**応答なしリダイヤル**] オプションを使用します。

組み込み Web サーバでリダイヤル オプションを設定するには

1. **組み込み Web サーバ** (ネットワーク接続) : **[設定]** タブをクリックし、左枠で **[ファクスの詳細設定]** をクリックします。
2. **[ビジー リダイヤル]** および **[応答なしリダイヤルl]** ドロップダウン メニューで選択を行います。
3. **[適用]** ボタンをクリックします。

ファクス速度の設定

ファクスを送受信するときにデバイスと相手のファクス機の間で通信する、ファクス速度を設定することができます。 デフォルトのファクス速度は [**はやい**] です。

以下のサービスを使用している場合は、必要に応じて、ファクス速度の設定を遅くします。

- インターネット電話サービス
- PBX システム
- FoIP (Fax over Internet Protocol)
- ISDN (総合デジタル通信網) サービス

ファクスの送受信に問題がある場合は、[**ファクス速度**] 設定を [**標準**] または [**おそい**] に設定することをおすすめします。 次の表は、使用可能なファクス速度設定の一覧です。

ファクス速度の設定	ファクス速度
[**はやい**]	v.34 (33600 ボー)
[**標準**]	v.17 (14400 ボー)
[**おそい**]	v.29 (9600 ボー)

デバイスのコントロール パネルからファクス速度を設定するには

1. (セットアップ) を押します。
2. [**ファクスの詳細設定**] を選択し、[**ファクス速度**] を選択します。
3. 矢印キーを使用してオプションを選択し、**OK** を押します。

組み込み Web サーバでファクス速度を設定するには

1. **組み込み Web サーバ** (ネットワーク接続) : **[設定]** タブをクリックし、左枠で **[ファクスの基本設定]** をクリックします。
2. **[ファクス速度]** ドロップダウン メニューで選択を行います。
3. **[適用]** ボタンをクリックします。

ファクス音のボリュームの設定

この手順では、ファクス音のボリュームを上げたり下げたりします。

デバイスのコントロール パネルからファクス音のボリュームを設定するには

▲ **セットアップ**を押し、[**ファクス音のボリューム**] を選択し、矢印キーを使用してボリュームを増減します。**OK(O)** を押してボリュームを選択します。

組み込み Web サーバでファクス音のボリュームを設定するには

1. **組み込み Web サーバ** (ネットワーク接続) : **[設定]** タブをクリックし、左枠で **[ファクスの基本設定]** をクリックします。
2. **[ファクス音のボリューム]** ドロップダウン メニューで選択を行います。
3. **[適用]** ボタンをクリックします。

短縮ダイヤルの設定

頻繁に使うファクス番号は、短縮ダイヤル エントリとして設定できます。そうすれば、デバイスのコントロール パネルからすぐにダイヤルすることができます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ファクス番号の短縮ダイヤル エントリまたはグループとしての設定
- 短縮ダイヤル エントリ一覧の印刷と表示

ファクス番号の短縮ダイヤル エントリまたはグループとしての設定

ファクス番号またはファクス番号のグループを短縮ダイヤル エントリとして保存することができます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 短縮ダイヤルの設定
- 短縮ダイヤル グループを設定する

短縮ダイヤルの設定

- **埋め込み Web サーバ (ネットワーク接続)**： 埋め込み Web サーバを開き、**[設定]** タブをクリックします。次に、左枠の **[ファクス短縮ダイヤル]** をクリックします。
  - エントリを追加するには：**[ファクス短縮ダイヤル エントリ]** セクションのフィールドに必要な情報を入力します。
  - エントリを編集するには：**[ファクス短縮ダイヤル一覧]** セクションで、エントリの横の**編集** リンクをクリックします。
  - エントリを削除するには：**[ファクス短縮ダイヤル一覧]** セクションで 1 つ以上のエントリを選択し、**削除** アイコンをクリックします。
- **HP Photosmart ソフトウェア (Windows)**: HP Photosmart ソフトウェア を開き、オンスクリーン ヘルプの指示に従います。
- **HP デバイス マネージャ (Mac OS X)**：**[HP デバイス マネージャ]** を起動し、**[情報と設定]** をクリックして、ドロップダウン リストから **[ファックス短縮ダイヤル設定]** を選択します。
- **デバイスのコントロール パネル**： **セットアップ** を押し、[**短縮ダイヤルの設定**] オプションを選択します。
  - エントリを追加または変更するには： [**個別の短縮ダイヤル**] または [**グループ短縮ダイヤル**] を選択し、矢印キーを押して未使用のエントリ番号に移動するか、キーパッドから番号を入力します。 ファクス番号を入力し、**OK(O)** を押します。 市外局番、PBX システム外の番号のアクセス コード (通常は 9 または 0)、長距離電話のプレフィックスなど、間隔や他の必要な番号を含めます。 名前を入力し、**OK(O)** を押します。
  - 1 つまたはすべてのエントリを削除するには: [**短縮ダイヤルを削除**] を選択し、矢印キーで削除する短縮ダイヤルをハイライトし、**OK(O)** を押します。

短縮ダイヤル グループを設定する

ファクス番号の同じグループに定期的に情報を送信する場合は、操作を簡略化するために、グループの短縮ダイヤル エントリを設定できます。 グループの短縮ダイヤル エントリは、デバイスのコントロール パネルの短縮ダイヤル ボタンに関連付けることができます。

短縮ダイヤルのグループにメンバーを追加するには、メンバーが短縮ダイヤル一覧にあらかじめ含まれている必要があります。各グループ

には最大 48 個のファクス番号を追加でき、各ファクス番号には最大 55 文字を含めることができます。

- **組み込み Web サーバ (ネットワーク接続)**：組み込み Web サーバを開き、**設定** タブをクリックします。次に、左枠の **ファクス短縮ダイヤル** をクリックします。**[ファクス短縮ダイヤル一覧]** で、エントリの番号 (たとえば **26 ～ 50**) を含むリンクをクリックします。
    - グループを追加するには、**[ファクス短縮ダイヤル一覧]** の **[新規グループ]** ボタンをクリックし、選択した部分から個別のエントリを選択します。適切なグループ情報を入力し、**[適用]** をクリックします。
    - グループを編集するには:**[ファクス短縮ダイヤル一覧]** セクションで、グループの横の**編集** リンクをクリックします。
    - グループを削除するには:**[ファクス短縮ダイヤル一覧]** セクションで 1 つ以上のグループを選択し、**削除** アイコンをクリックします。
    - 完了したら、[**適用**] をクリックします。
- **HP Photosmart ソフトウェア (Windows)**: HP Photosmart ソフトウェア を開き、オンスクリーン ヘルプの指示に従います。

- **HP デバイス マネージャ (Mac OS X)**：**[HP デバイス マネージャ]** を起動し、**[情報と設定]** をクリックして、ドロップダウン リストから **[ファックス短縮ダイヤル設定]** を選択します。
- **デバイスのコントロール パネル**：**セットアップ**を押し、[**短縮ダイヤルの設定**] オプションを選択します。
  ◦ グループを追加するには:[**グループ短縮ダイヤル**] を選択し、登録されていない短縮ダイヤルを選択し、**OK(O)** を押します。短縮ダイヤル エントリを選択し、**OK(O)** を押して選択します。このグループに追加短縮ダイヤルを追加するには、同じ手順を繰り返します。作業が終了した後、[**選択終了**] オプションを選択し、**OK(O)** を押します。ビジュアル キーボードでグループ短縮ダイヤルの名前を入力し、[**完了**] を押します。
  ◦ グループにエントリを追加するには: [**グループ短縮ダイヤル**] を選択し、変更するグループ短縮ダイヤルを選択し、**OK(O)** を押します。短縮ダイヤル エントリを選択します（チェック マークが短縮ダイヤル エントリの横に表示されます）。このグループに追加短縮ダイヤルを追加するには、同じ手順を繰り返します。作業が終了したら、[**選択終了**]、**OK(O)** の順に押します。**[グループ名]** 画面の [**完了**] を押します。
  ◦ グループを削除するには:[**短縮ダイヤルを削除**] を選択し、削除する短縮ダイヤル エントリを選択して、**OK(O)** を押します。

短縮ダイヤル エントリ一覧の印刷と表示

設定済みのすべての短縮ダイヤル エントリの一覧は印刷または表示することができます。 一覧の各エントリには、次の情報が含まれます。

- 短縮ダイヤル番号
- ファクス番号またはファクス番号のグループに関連付けられている名前
- ファクスの短縮ダイヤル一覧の場合は、ファクス番号 (またはグループのすべてのファクス番号)

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 短縮ダイヤル エントリの一覧を表示する
- 短縮ダイヤル エントリの一覧を印刷するには

短縮ダイヤル エントリの一覧を表示する

- **HP デバイス マネージャ (Mac OS X)**：**[HP デバイス マネージャ]** を起動し、**[情報と設定]** をクリックして、ドロップダウン リストから **[ファックス短縮ダイヤル設定]** を選択します。
- **HP Photosmart ソフトウェア (Windows)**: HP Photosmart ソフトウェア を開き、オンスクリーン ヘルプの指示に従います。
- **コントロール パネル**：🔧 (**[セットアップ]**) を押し、**[短縮ダイヤルの設定]** を選択し、次に **[短縮ダイヤル一覧を印刷]** を選択します。
- **埋め込み Web サーバ (ネットワーク接続)**： 埋め込み Web サーバを開き、**[設定]** タブをクリックします。次に、左枠の [**ファクス短縮ダイヤル**] をクリックします。

短縮ダイヤル エントリの一覧を印刷するには

組み込み Web サーバ (ネットワーク接続)：組み込み Web サーバを開き、**設定** タブをクリックします。次に、左枠の **ファクス短縮ダイヤル** をクリックします。**[ファクス短縮ダイヤル一覧]** で、エントリの番号 (たとえば **26 ～ 50**) を含むリンクをクリックします。**印刷** ボタンをクリックします。

FoIP (Fax over Internet Protocol)

デバイスを使用して、インターネット経由でファックスを送受信できる低コスト電話サービスを利用することができます。この方法は、FoIP(Fax over Internet Protocol) と呼ばれます。以下のいずれかに該当する場合は、電話会社の FoIP サービスを使用している可能性があります。

- ファクス番号と一緒に特別のアクセス コードをダイヤルしている
- インターネットに接続する IP コンバータ ボックスがあり、ファクス接続用のアナログ電話ポートがある

注記 電話コードをデバイスの **1-LINE** と書かれたポートに接続した場合だけファクスの送受信が可能です。つまり、インターネット接続は、コンバータ ボックス (ファクス接続用に通常のアナログ電話ジャックを装備) または電話会社経由で行う必要があるということです。

一部のインターネット ファクス サービスでは、デバイスが高速 (33600bps) でファクスを送受信していると正常に動作しない場合があ

ります。 インターネット ファクス サービスの使用中に、ファクスの送受信で問題が起きたら、ファクス速度を遅くしてください。 **[ファクス速度]** の設定を **[はやい]** (デフォルト) から **[標準]** にすれば、ファクス速度が遅くなります。 この設定の変更については、ファクス速度の設定 を参照してください。

注記 インターネット/デジタル ファクスについて質問がある場合は、インターネット ファクス サービス サポート部門、またはお近くのサービス プロバイダにお問い合わせください。

ファクス設定のテスト

ファクス設定をテストしてデバイスの状態を調べ、正常にファクス送信できるように設定されたことを確認することができます。 このテストは、デバイスのファクス機能のセットアップが完了した後に実行してください。 テストの内容は次のとおりです。

- ファクスのハードウェアをテストする
- 正しい種類の電話コードがデバイスに接続されていることを確認する
- 電話線が正しいポートに接続されていることを確認する
- ダイヤル トーンを検出する
- アクティブな電話回線を検出する
- 電話回線の接続状態をテストする

テスト結果は、レポートとしてデバイスから印刷されます。テストに失敗した場合は、レポートを参照して問題の解決方法を確認し、テストを再実行します。

デバイスのコントロール パネルからファクス機能のセットアップをテストするには

1. ご家庭や職場に適した設定方法で、デバイスのファクス設定を行います。
2. テストを開始する前に、インク カートリッジが取り付けられ、フルサイズの用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
3. デバイスのコントロール パネルの 🔧 **(セットアップ)** を押します。

4. **[ツール]** を選択し、**[ファクス テストを実行]** を選択します。
   デバイスのディスプレイにテストの状態が表示され、レポートが印刷されます。
5. レポートの内容を確認します。
   • テストにパスしてもファクスの送受信に問題がある場合は、レポートに記載されているファクス設定をチェックして、正しく設定されているかどうかを確認します。 設定がブランクになっていたり、正しく設定されていなかったりすると、ファクスの送受信に問題が発生します。
   • テストにパスしなかった場合は、レポートで問題の解決方法を確認します。

組み込み Web サーバでダイヤル方式を設定するには

1. ご家庭や職場に適した設定方法で、デバイスのファックス設定を行います。
2. テストを開始する前に、インク カートリッジが取り付けられ、フルサイズの用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
3. **組み込み Web サーバ** (ネットワーク接続) : **[設定]** タブをクリックし、左枠から **[デバイス サービス]** をクリックします。
4. **[デバイス機能のテスト]** ドロップダウン メニューで、**[ファクス テストを実行]** を選択します。
5. **[テストを実行]** ボタンをクリックします。

レポートの使用

ファクスの送受信のたびに、エラー レポートと確認のレポートを自動印刷するように、デバイスを設定できます。 必要に応じてシステム レポートを手動で印刷することもできます。これらのレポートには、デバイスに関する役に立つシステム情報が含まれています。

デフォルトの設定では、ファクスの送受信に問題があった場合にのみ、デバイスでレポートが印刷されます。 送受信するたびに、ファクスの送受信に成功したかどうかを示す簡単な確認メッセージがコントロール パネルのディスプレイに表示されます。

注記 レポートが判読できない場合は、コントロール パネル、または HP ソリューション センターで推定インクレベルを確認します。

注記 インク残量の警告およびインジケータは、交換用インクを用意できるよう情報を提供します。インク残量の低下またはインク切れを警告するメッセージがディスプレイに表示されたら、印刷できなくなる前に交換用のプリント カートリッジを準備してください。印刷の品質が使用に耐えないレベルに達するまでプリント カートリッジを交換する必要はありません。

注記 インク カートリッジとプリントヘッドが、レポート印刷が可能な、良好な状態であることを確認します。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ファクス確認レポートの印刷
- ファクス エラー レポートの印刷
- ファクス ログの印刷と表示
- ファクス ログの消去
- 最後のファクス処理についての詳細の印刷
- 発信者 ID 履歴レポート

ファクス確認レポートの印刷

ファクスの送信に成功したことを示す確認メッセージを印刷する必要がある場合は、以下の手順に従って、ファクスを送信する**前に**、ファクス送受信の確認を有効にします。 [**送信**] または [**送受信**] を選択します。

デフォルトのファクス確認設定は、[**オフ**] です。 つまり、ファクスが送受信されるたびに確認レポートは印刷されません。 ただし、 送受信のたびに、ファクスの送受信に成功したかどうかを示す簡単な確認メッセージがコントロール パネルのディスプレイに表示されます。

デバイスのコントロール パネルからファクスの確認を有効にするには

1. **セットアップ**を押します。
2. [**レポートの印刷**] を選択し、[**ファクスの確認**] を選択します。
3. 次のいずれかの設定を選択し、**OK(O)** を押します。

[**オフ**]	ファクスの送受信に問題がない時は、ファクス確認レポートを印刷しません。 これがデフォルト設定値です。
[**送信**]	ファクスの送信ごとにファクス確認レポートを印刷します。

[受信]	ファクスの受信ごとにファクス確認レポートを印刷します。
[送受信]	ファクスの送受信ごとにファクス確認レポートを印刷します。

ヒント [送信] または [送受信] を選択して、メモリから送信するファクスをスキャンする場合は、ファクスの最初のページの画像を[送受信の確認] レポートに含めることができます。 **セットアップ** を押し、[**ファクスの確認**] を押し、次に [**ファクス送信時**] を再び押します。 [**ファクス送信レポートの画像**] メニューから [**オン**] を選択します。

組み込み Web サーバでファクスの確認を有効にするには

1. **組み込み Web サーバ** (ネットワーク接続) : **[設定]** タブをクリックし、左枠で **[ファクスの詳細設定]** をクリックします。
2. **[ファクスの確認]** ドロップダウン メニューで選択を行います。
3. **[適用]** ボタンをクリックします。

ファクス エラー レポートの印刷

送受信中にエラーが起きたときにレポートを自動印刷するようにデバイスを設定できます。

デバイスがファクス エラー レポートを自動印刷するようにデバイスのコントロール パネルで設定するには

1. **セットアップ**を押します。
2. [**レポートの印刷**] を押して [**ファクス エラー レポート**] を選択します。
3. 次のいずれかの設定を選択し、**OK(O)** を選択します。

[送受信]	ファクス エラーが発生するたびに印刷されます。これがデフォルト設定値です。
[オフ]	ファクス エラー レポートは印刷されません。
[送信]	送受信エラーが発生するたびに印刷されます。
[受信]	受信エラーが発生するたびに印刷されます。

デバイスがファクス エラー レポートを自動印刷するように組み込み Web サーバで設定するには

1. **組み込み Web サーバ** (ネットワーク接続) : **[設定]** タブをクリックし、左枠で **[ファクスの詳細設定]** をクリックします。
2. **[ファクス エラー レポート]** ドロップダウン メニューで選択を行います。
3. **[適用]** ボタンをクリックします。

ファクス ログの印刷と表示

ログには、デバイスのコントロール パネルから送信されたファクスと、受信したファクスすべてが表示されます。

デバイスが送受信したファクスのログを印刷できます。 ログの各エントリには、次の情報が含まれます。

- 送受信の日付と時刻
- 種類 (受信または送信)
- ファクス番号
- 所要時間
- ページスウ
- 送受信の結果 (ステータス)

HP ソリューション センター ソフトウェアでファクス ログを表示するには

1. コンピュータで HP ソリューション センター ソフトウェアを開きます。詳細については、HP フォト イメージング ソフトウェアの使用を参照してください。
2. 詳細については HP ソリューション センター ソフトウェアのオンスクリーン ヘルプを参照してください。
   ログには、デバイスのコントロール パネルと HP ソリューション センター ソフトウェアから送信されたファクスと、受信したファクスすべてが表示されます。

デバイスのコントロール パネルからファクス ログを印刷するには

1. デバイスのコントロール パネルにある **セットアップ** を押します。
2. 矢印キーを押して [**レポートの印刷**] に移動し、**OK(O)** を押します。

3. 矢印キーを押して [**ファックス ログ**] に移動し、**OK(O)** を押します。
4. **OK(O)** を再び押してログを印刷します。

埋め込み Web サーバでファクス ログを表示するには

▲ [**情報**] タブで、左枠の [**ログ**] をクリックし、[**ファクス ログ**] サブタブをクリックします。

ファクス ログの消去

ファクス ログを消去するには、次の手順に従ってください。

デバイスのコントロール パネルからファクス ログを消去するには

1. デバイスのコントロール パネルにある **セットアップ** を押します。
2. 矢印キーを押して [**ツール**] に移動し、**OK(O)** を押します。
3. 矢印キーを押して [**ファクス ログの消去**] に移動し、**OK(O)** を押します。

組み込み Web サーバでファクス ログを消去するには

1. **組み込み Web サーバ** (ネットワーク接続) : **[設定]** タブをクリックし、左枠から **[ファクス オプション]** をクリックします。
2. **[ファクス ログの消去]** セクションで、**[クリア]** ボタンをクリックします。

最後のファクス処理についての詳細の印刷

最後のファクス処理についてのレポートには、最後のファクス処理についての詳細が印刷されます。詳細には、ファクス番号、ページ数、およびファクスのステータスが含まれます。

最後のファクス処理についてのレポートを印刷するには

1. デバイスのコントロール パネルにある **セットアップ** を押します。
2. 矢印キーを押して [**レポートの印刷**] に移動し、**OK(O)** を押します。
3. 矢印キーを押して [**最終の処理**] に移動し、**OK(O)** を押します。

発信者 ID 履歴レポート

発信者 ID ファクス番号一覧の印刷には、次の手順を使用します。

発信者 ID 履歴レポートを印刷するには

1. **セットアップ**を押し、**プリンタ レポート 発信者 ID 履歴レポート** の順に選択します。
2. **OK(O)**を押します。

ファクスのキャンセル

送受信中のファクスはいつでもキャンセルすることができます。

ファクスをキャンセルするには

▲ 送受信しているファクスを中止するには、デバイスのコントロール パネルで **キャンセル** を押します。 ファクスの送受信が停止しない場合は、**キャンセル** をもう一度押します。
デバイスは、既に印刷を開始したページをすべて印刷してから、残りのファクスをキャンセルします。 しばらく時間がかかる場合があります。

番号のダイヤルを中止するには

▲ ダイヤルを中止するには、**キャンセル** を押します。

9 コピー

高品質のカラー コピーおよびモノクロ コピーを、さまざまな種類やサイズの用紙で作成することができます。

注記 文書のコピー中にファクスを受信すると、受信したファクスはコピーが終了するまでデバイス メモリに保存されます。 これにより、メモリに保存されるファクス ページ数を削減できます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- デバイスのコントロール パネルからのコピーの作成
- コピー設定の変更
- コピー枚数の設定
- コピー用紙サイズの設定
- コピー用紙の種類の設定
- コピー速度と品質の変更
- レターまたは A4 用紙に合わせて原稿のサイズを変更
- リーガル サイズの文書をレター用紙にコピーする
- 原稿のトリミング (カラー ディスプレイ モデルのみ)
- コピーの濃淡の調整
- コピーの薄い部分を強調
- コピー ジョブの作成
- コピーへの余白の変更の適用
- 両面コピー
- コピー ジョブのキャンセル

デバイスのコントロール パネルからのコピーの作成

デバイスのコントロール パネルから高画質のコピーを作成できます。

デバイスのコントロール パネルからコピーを作成するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. スキャナのガラス板に原稿を下に向けてセットするか、原稿を ADF にセットします。詳細については、原稿のセットを参照してください。
3. 次のいずれかの操作を行います。
   - モノクロ コピーを開始するには、**コピー スタート - モノクロ** を押します。
   - カラー コピーを開始するには、**コピー スタート - カラー** を押します。

> **注記** カラー原稿の場合に、**コピー スタート - モノクロ**を押すと、カラー原稿からモノクロ コピーが作成できます。**コピー スタート - カラー**を押すと、カラー原稿からフルカラー コピーが作成できます。

コピー設定の変更

コピー設定をカスタマイズすると、ほぼすべてのコピーに対応することができます。

コピー設定を変更しても、その変更は現在のコピー操作にのみ反映されます。 今後すべてのコピー操作にその設定を適用するようにするには、その変更をデフォルトとして設定する必要があります。

現在の設定を今後も使用できるようにデフォルトとして保存するには

1. **コピー**メニューで設定を変更します。
2. **コピー**を選択して、[**新しいデフォルトの設定**] を選択します。
3. [**はい**]を選択して、**OK(O)** を押します。

コピー枚数の設定

デバイスのコントロール パネルの [**コピー枚数**] オプションを使用して、印刷するコピー枚数を設定できます。

デバイスのコントロール パネルからコピー枚数を設定するには (カラー ディスプレイ)

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. スキャナのガラス板に原稿を下に向けてセットするか、原稿を ADF にセットします。詳細については、原稿のセットを参照してください。
3. **コピー** にタッチし、[**コピー枚数**] を選択します。
4. キーパッドを使用するか、画面にタッチして、最大値以下のコピー枚数を入力します
5. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

デバイスのコントロール パネルからコピー枚数を設定するには (2 行ディスプレイ)

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. スキャナのガラス板に原稿を下に向けてセットするか、原稿を ADF にセットします。詳細については、原稿のセットを参照してください。
3. コピー 領域で、**コピー** を繰り返し押して、[**コピー枚数**] を表示します。
4. 右矢印 ▶ を押すか、キーパッドを使用して、最大値以下のコピー枚数を入力します。

   ヒント 矢印ボタンを押し続けるとコピー枚数が 5 枚ずつ増えるので、コピー枚数が多い場合に便利です。

5. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

コピー用紙サイズの設定

デバイスで用紙サイズを設定できます。 用紙サイズは、給紙トレイにセットした用紙に合わせて設定します。

注記 一部のトレイでは、使用できない用紙サイズのオプションがあります。使用する用紙サイズが見つからない場合は、コントロール パネルを使用して、トレイを変更してください。

デバイスのコントロール パネルから用紙サイズを設定するには (カラー ディスプレイ)

1. **コピー** にタッチし、[**コピー用紙サイズ**] を選択します。
2. 適切な用紙サイズを選択します。
3. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

デバイスのコントロール パネルから用紙サイズを設定するには (2 行ディスプレイ)

1. コピー 領域で、**コピー** を繰り返し押して、[**コピー用紙サイズ**] を表示します。
2. 適切な用紙サイズが表示されるまで右矢印 ▶ を押して、**OK (O)** を押します。
3. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

コピー用紙の種類の設定

デバイスで用紙の種類を設定できます。

デバイスのコントロール パネルからコピー用紙の種類を設定するには (カラー ディスプレイ)

1. **コピー** にタッチし、[**用紙の種類**] を選択します。
2. 適切な用紙の種類を選択します。
3. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

デバイスのコントロール パネルからコピー用紙の種類を設定するには (2 行ディスプレイ)

1. コピー 領域で、**コピー** を繰り返し押して、[**用紙の種類**] を表示します。
2. 適切な用紙の種類が表示されるまで右矢印 ▶ を押して、**OK (O)** を押します。
3. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

コピー速度と品質の変更

デバイスには、コピーの速度と品質に関する 3 つのオプションがあります。

- **高画質**(3 つ星) は、各種用紙をより美しく印刷し、塗りつぶし領域に縞模様が出ないように仕上げます。 **高画質**は、他の品質設定よりもコピー時間がかかります。
- **標準**(2 つ星) は、ほとんどのコピーに適した、高画質な出力設定です。 **標準**は、**高画質**よりも短時間でコピーできます。 これがデフォルト設定値です。
- **はやい**(1 つ星) は、**標準**設定の場合よりも速くコピーできます。文字の印刷品質は **標準** 設定と変わりませんが、グラフィックスの品質は低下します。**はやい**設定でコピーをすると、インクの消費量が少ないので、インク カートリッジの寿命が延びます。

注記 コピー品質を示す星は、2 行ディスプレイのある一部のモデルで使用できます。

デバイスのコントロール パネルからコピー品質を変更するには (カラー ディスプレイ)

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. スキャナのガラス板または ADF を使用して原稿をセットします。詳細については、原稿のセットを参照してください。
3. コピーにタッチし、[**品質**] を選択します。
4. 適切なコピー品質設定を選択します。
5. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

デバイスのコントロール パネルからコピー品質を変更するには (2 行ディスプレイ)

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. スキャナのガラス板または ADF を使用して原稿をセットします。詳細については、原稿のセットを参照してください。

3. コピー 領域で、適切な品質設定が点灯するまで **品質** を繰り返し押します。
4. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

レターまたは A4 用紙に合わせて原稿のサイズを変更

原稿の画像や文字がページ全体に配置されて、余白がない場合は、[**ページに合わせる**] または [**ページ全体 91%**] を使用すると、原稿を縮小でき、端の文字や画像が不必要にトリミングされることを防ぐことができます。

ヒント また、[**ページに合わせる**] で用紙サイズの印刷可能領域内に合わせて、小さな写真を拡大することもできます。 ただし、原稿の縦横比を変えずに拡大する、または端をトリミングせずに拡大するため、 用紙の端に不均等な余白がそのまま残ることがあります。

デバイスのコントロール パネルから文書のサイズを調整するには (カラー ディスプレイ)

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. スキャナのガラス板に原稿を下に向けてセットするか、原稿を ADF にセットします。
3. **コピー** にタッチし、**サイズ** を選択します。
4. [**ページ全体 91%**] を選択します。
5. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

デバイスのコントロール パネルから文書のサイズを調整するには (2 行ディスプレイ)

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. スキャナのガラス板に原稿を下に向けてセットするか、原稿を ADF にセットします。
3. コピー領域で、**[縮小/拡大]** を押して、[**ページ全体 91%**]を表示します。
4. **OK(O)**を押します。
5. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

注記 コントロール パネルに設定された国により、A4 サイズをレターサイズに、またはレターサイズを A4 サイズに調整できます。

リーガル サイズの文書をレター用紙にコピーする

[**リーガル > レター 72%**]設定を使用して、レター用紙または A4 用紙に合うようにリーガルサイズの文書のコピーを縮小できます。

注記 例に表示されている倍率は [**リーガル > レター 72%**]、ディスプレイの表示とは一致しない場合があります。

リーガル サイズの文書をレター用紙にコピーするには (カラー ディスプレイ)

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. スキャナのガラス板または自動ドキュメント フィーダ (ADF) を使用して原稿をセットします。詳細については、原稿のセットを参照してください。

3. コピーにタッチし、**[サイズ]** を選択します。
4. [**リーガル > レター 72%**] を選択します。
5. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

リーガル サイズの文書をレター用紙にコピーするには (2 行ディスプレイ)

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. 自動ドキュメント フィーダのみに原稿をセットします。
3. **縮小/拡大** を押します。
4. [**リーガル > レター 72%**]が表示されるまで右矢印 ▶ を押し、**OK(O)** を押します。
5. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

原稿のトリミング (カラー ディスプレイ モデルのみ)

原稿をコピーする前に、**コピー**メニューの [**トリミング**] 設定を使用して、コピーする領域を選択することができます。[**トリミング**] 設定を選択するとスキャンが始まり、カラー ディスプレイに原稿のプレビューが表示されます。

トリミングを行うと画像の寸法が変わり、ファイル サイズは小さくなります。

ヒント [**サイズ**] 設定を変更することで、トリミングした画像のサイズを調整できます。

コントロール パネルから画像をトリミングするには

1. **コピー** にタッチし、[**トリミング**] を選択します。
2. 矢印ボタンを使用して、トリミング領域の位置を設定します。
3. [**トリミング**] にタッチしてコピーを印刷します。
   カラー グラフィック ディスプレイにトリミングされた画像が表示されます。

コピーの濃淡の調整

[**薄く/濃く**] オプションを使用すると、コピーのコントラストを調整できます。

デバイスのコントロール パネルからコピーのコントラストを調整するには (カラー ディスプレイ)

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. スキャナのガラス板に原稿を下に向けてセットするか、原稿を ADF にセットします。
3. **コピー** にタッチし、[**薄く/濃く**] を選択します。
4. 矢印キーにタッチして、コピーの明暗を調整します。
5. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

デバイスのコントロール パネルからコピーのコントラストを調整するには (2 行ディスプレイ)

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. スキャナのガラス板に原稿を下に向けてセットするか、原稿を ADF にセットします。
3. コピー 領域で、**コピー** を繰り返し押して、[**薄く/濃く**] を表示します。
4. 次のいずれかの操作を行います。
   - 右矢印 ▶ を押してコピーの色を暗くします。
   - 左矢印 ◀ を押してコピーの色を明るくします。
5. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

コピーの薄い部分を強調

[**フォト**] 強調を使用すると、白に見えてしまう薄い色を強調することができます。 [**フォト**] 強調でコピーするときに起こりやすい次のような問題を解消または軽減するには、[**文字**] 強調を使用するのも有効です。

- コピー上で色のドットが文字の回りにはみ出している。
- 大きいモノクロ文字がまだらで、なめらかでない。

- カラーの細かい図または線に、黒い部分がある。
- ライト グレーからミディアム グレーの部分に、グレーがかったまたは白い帯状の横線が現れる。

デバイスのコントロール パネルから露出過度の写真をコピーするには (カラー ディスプレイ)

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. スキャナのガラス板に原稿を下に向けてセットするか、原稿を ADF にセットします。
3. **コピー** にタッチし、[**強調**] を選択します。
4. [**フォト**] を選択します。
5. **コピー スタート - カラー**を押します。

デバイスのコントロール パネルから露出過度の写真をコピーするには (2 行ディスプレイ)

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. スキャナのガラス板に原稿を下に向けてセットするか、原稿を ADF にセットします。
3. コピー 領域で、**コピー** を繰り返し押して、[**強調**] を表示します。
4. 右矢印 ▶ を [**フォト**]拡張設定が表示されるまで押し、**OK(O)** を押します。
5. **コピー スタート - カラー**を押します。

コピー ジョブの作成

部単位で印刷すると、自動ドキュメント フィーダ (ADF) でスキャンしたのと同じ順序に並んだコピーのセットを複数作成できます。すべてのコピーがデバイス メモリにスキャンされてから、印刷が行われます。

注記 部単位で印刷する場合にスキャン可能な最大ページ数は、モデルにより異なります。印刷ジョブを少ないページ数に分割する必要がある場合があります。

コントロール パネルから部単位で印刷するには (カラー ディスプレイ)

1. ADF に原稿をセットします。詳細については、原稿のセットを参照してください。

   注記 用紙サイズが自動に設定されていて、部単位でコピーする場合、コントロール パネルに設定された地域により、用紙はレター サイズ、または A4 サイズに設定されます。レター サイズも A4 サイズも使用しない場合は、用紙設定を手動で変更する必要があります。

2. **コピー** にタッチし、**部単位で印刷** を選択します。
3. [**オン**] にタッチします。

コントロール パネルから部単位で印刷するには (2 行ディスプレイ)

1. ADF に原稿をセットします。詳細については、原稿のセットを参照してください。
2. コピー 領域で、**コピー** を繰り返し押して、**部単位で印刷** を表示します。
3. [**オン**]設定が表示されるまで ▶ を押し、**OK(O)**を押します。

コピーへの余白の変更の適用

余白の変更を使うと、印刷ページでコピー イメージを移動して、綴じしろや 3 穴パンチのための余白を設けることができます。イメージは右に 9.6 mm (3/8 インチ) 移動されます。

注記 余白の変更機能はコピーするイメージを縮小しないため、イメージの右端がトリミングされる場合があります。

コントロール パネルから余白の変更を適用するには (カラー ディスプレイ)

1. 原稿を ADF またはスキャナのガラス版にセットします。詳細については、原稿のセットを参照してください。
2. **コピー**にタッチし、**余白の変更** を選択します。
3. [**オン**] にタッチします。

コントロール パネルから余白の変更を適用するには (2 行ディスプレイ)

1. 原稿を ADF またはスキャナのガラス版にセットします。詳細については、原稿のセットを参照してください。
2. コピー領域で、**コピー**を繰り返し押して、**余白の変更** を表示します。
3. 右矢印 ▶ を **[オン]** 設定が表示されるまで押し、**OK(O)** を押します。

両面コピー

両面コピーを使用すると、用紙の両面にコピーを印刷できます。フラットベッド型スキャナまたは ADF が使用できます。

注記 フラットベッド型スキャナからコピーする場合、ディスプレイにメッセージが表示されてから 2 ページ目をセットします。

両面コピーは小さいメディアに対してはサポートされません。

コントロール パネルから両面コピーを実行するには (カラー ディスプレイ)

1. スキャナのガラス板または ADF を使用して原稿をセットします。詳細については、原稿のセットを参照してください。
2. **コピー**にタッチし、**両面** を選択します。次の両面コピー オプションを選択できます。

コピー オプション	説明
1 — 1	片面原稿を片面コピーします。
1 — 2	片面原稿を両面コピーします。
2 — 2	両面原稿を両面コピーします。

コントロール パネルから両面コピーを実行するには (2 行ディスプレイ)

1. スキャナのガラス板または ADF を使用して原稿をセットします。 詳細については、原稿のセットを参照してください。
2. コピー領域で、**コピー**を繰り返し押して、**両面** を表示します。
3. 右矢印 ▶ を押して **[片面]** または **[両面]** を選択し、**OK(O)** を押します。

コピー ジョブのキャンセル

コピーを中止するには、デバイスのコントロール パネルの **キャンセル** を押します。

10 構成と管理

このセクションは、デバイスを管理する管理者および担当者を対象としています。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- デバイスの管理
- デバイス管理ツールの使用
- セルフテスト レポートについて
- ネットワーク設定ページの理解
- ネットワーク オプションの構成
- デバイスのファクス機能のセットアップ
- デバイスの構成 (Windows)
- デバイスの構成 (Mac OS X)
- デバイスのワイヤレス通信のセットアップ (一部のモデルのみ)
- デバイスの Bluetooth 通信のセットアップ
- ソフトウェアのアンインストールと再インストール

デバイスの管理

次は、デバイス管理に使用する一般的なツールの一覧です。 これらのツールへのアクセスと使用情報については、デバイス管理ツールの使用を参照してください。

注記 特定の手順には、他の方法が含まれる場合があります。

Windows

- デバイスのコントロール パネル
- プリンタ ドライバ
- ツールボックス
- ネットワーク ツールボックス
- 組み込み Web サーバ

Mac OS X

- デバイスのコントロール パネル
- HP デバイス マネージャ

- HP プリンタ ユーティリティ
- 組み込み Web サーバ

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- デバイスを監視する
- デバイスの管理

デバイスを監視する

このセクションには、デバイスの監視手順が記載されています。

使用するツール	次の情報を取得
デバイスのコントロール パネル	処理中のジョブのステータス、デバイスの操作ステータス、およびインク カートリッジのステータスについての情報を取得します。
埋め込み Web サーバ	• **プリンタ ステータス情報**：**[情報]** タブをクリックし、左枠で選択肢をクリックします。 • **累計インクとメディア使用量**：**[情報]** タブをクリックし、左枠から **[使用状況レポート]** をクリックします。

(続き)

使用するツール	次の情報を取得
ツールボックス (Windows)	• **インク カートリッジ情報**：**[推定インク レベル]** タブをクリックしてインク レベル情報を表示し、スクロールして **[カートリッジの詳細]** ボタンを表示します。**[カートリッジの詳細]** ボタンをクリックし、交換インク カートリッジと有効期限に関する情報を表示します。 **注記**　インク残量の警告およびインジケータは、交換用インクを用意できるよう情報を提供します。インク残量が少ないという警告メッセージが表示されたら、印刷できなくなる前に交換用のプリント カートリッジを準備してください。インク カートリッジを交換する必要があるのは、交換のメッセージが表示された場合だけです。 • **サプライ品の注文**：**[推定インク レベル]** に移動し、[オンライン ショップ] をクリックして、Web で購入するか、**[電話による注文]** でサプライ品の注文に使用する電話番号の一覧を表示します (一部の地域でのみ利用可能)。 • **プリントヘッドの状態の確認**：**[情報]** に移動して、**[プリントヘッド状態]** をクリックします。 • **プリントヘッドの位置の調整**：**[サービス]** に移動し、**[プリントヘッドの位置調整]** をクリックします。

(続き)

使用するツール	次の情報を取得
	• **プリントヘッドのクリーニング**：**[サービス]** に移動し、**[プリントヘッドのクリーニング]** をクリックします。 • **PQ (印刷品質) 診断ページの印刷**：**[サービス]** に移動し、**[PQ (印刷品質) 診断ページの印刷]** をクリックします。 • **自己診断テスト ページの印刷**：**[サービス]** に移動し、**[自己診断テスト ページの印刷]** をクリックします。 • **行送りの調整**：**[サービス]** に移動し、**[行送りの調整]** をクリックします。 • **トレイの選択**：**[サービス]** に移動し、**[用紙の取り扱い]** をクリックします。
ネットワーク ツールボックス	ネットワーク設定の表示ツールボックスから、**[ネットワーク設定]** タブをクリックします。
HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS X)	**インク カートリッジ情報**： **[情報とサポート]** パネルを開いて、**[サプライ品ステータス]** をクリックします。 *
HP ソリューション センター	デバイスの現在のステータスを示します。

デバイスの管理

このセクションには、デバイスの管理と設定の変更についての情報が記載されています。

使用するツール	操作内容
デバイスのコントロール パネル	• **言語と国/地域**： **セットアップ** を押し、[**基本設定**] メニューを開きます。国/地域が不明な場合は、「99」を押し、リストから目的の国/地域を探します。 • **デバイスのコントロール パネルの音量**： **セットアップ** を押し、[**基本設定**] メニューを開きます。 • **ファクス音のボリューム**： **セットアップ** を押し、**ファックス音のボリューム** を選択します。 • **自動レポート印刷**： **セットアップ** を押し、[**ファックスの詳細設定**] メニューを開きます。 • **ダイヤル方式の設定**： **セットアップ** を押し、[**ファックスの基本設定**] メニューを開きます。 • **リダイヤル オプションの設定**： **セットアップ** を押し、[**ファックスの詳細設定**] メニューを開きます。 • **日付と時刻の設定**： **セットアップ** を押し、[**ツール**] を押して、[**日付と時刻**] を押します。
埋め込み Web サーバ	• **組み込み Web サーバのパスワードの設定**：[ホーム] タブの [セキュリティ] セクションで、**[管理者パスワードの設定]** をクリックします。 • **トレイ設定の変更**： **[設定]** タブをクリックし、左枠から **[用紙の取り扱い]** をクリックします。

(続き)

使用するツール	操作内容
	• **デバイスのメンテナンス作業の実行**： **[設定]** タブをクリックし、左枠から **[デバイスサービス]** をクリックします。 • **言語または国/地域**：**[設定]** タブをクリックし、左枠から **[国際]** をクリックします。 • **ネットワーク構成を設定する**：[ホーム] タブの [接続性] セクションで、**[ネットワーク設定]** をクリックします。 • **サプライの注文**： 任意のタブで、**[サプライの注文]** ボタンをクリックし、画面の指示に従います。 • **サポート**： 任意のタブで、**[サポート]** ボタンをクリックし、画面の指示に従います。 • **日付と時刻の設定**： **[設定]** タブをクリックし、左枠の **[日付と時刻]** をクリックし、フィールドに必要な値を入力して、**[適用]** をクリックします。 • **電子メール警告の設定**[設定] タブをクリックし、左枠から [警告] をクリックします。
ツールボックス (Windows)	**デバイスのメンテナンス作業の実行**： **[サービス]** タブをクリックします。

(続き)

使用するツール	操作内容
ネットワーク ツールボックス	ネットワーク設定の表示と変更ツールボックスから、**[ネットワーク設定]** タブをクリックします。 • **設定の変更**：**[設定の変更]** ボタンをクリックします。 • **ネットワーク診断の実行** (ネットワーク プリンタ接続確認)： ◦ プリンタが接続されていない場合、**[設定の変更]**、**[ネットワーク診断を実行]** の順にクリックします。 ◦ プリンタが接続されている場合、ツールボックスが開いたら、**[ユーティリティ]**、**[ネットワーク診断を実行]** の順にクリックします。 • **プリンタ IP アドレスの確認**：**[ネットワーク設定]** タブで、接続により、**[ワイヤード]** または **[ワイヤレス]** タブをクリックして、**[IP 設定]** を編集し、**[OK]** をクリックします。 • **プリンタの DNS 設定の変更**：**[ネットワーク設定]** タブで、接続により、**[ワイヤード]** または **[ワイヤレス]** タブをクリックして、**[DNS 設定]** を編集し、**[OK]** をクリックします。 • **ワイヤレス ネットワーク テスト レポートを印刷します。**：**[ネットワーク設定]** タブで、**[ユーティリティ]** タブをクリックし、**[ワイヤレス ネットワーク テスト レポートを印刷]** をクリックします。

(続き)

使用するツール	操作内容
HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS X)	• **トレイ設定の変更： [用紙の取り扱い]** を **[プリンタ設定]** パネルからクリックします。 • **デバイスのメンテナンス作業の実行： [情報とサポート]** パネルを開き、 実行する作業のボタンをクリックします。

デバイス管理ツールの使用

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ツールボックスの使用 (Windows)
- HP ソリューション センターの使用 (Windows)
- 組み込み Web サーバ
- HP デバイス マネージャの使用 (Mac OS X)
- HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS X) の使用

ツールボックスの使用 (Windows)

ツールボックスでは、デバイスのメンテナンス情報が提供されます。

注記 コンピュータがシステム要件を満たしている場合、ツールボックスは、フル インストール オプションを選択してスタータ CD からインストールできます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ツールボックスを開く
- ツールボックス タブ
- ネットワーク ツールボックス

ツールボックスを開く

- HP Solution Center で、**[設定]** メニューをクリックし、**[印刷設定]** をポイントして、**[プリンタ ツールボックス]** をクリックします。
- タスクバーの [HP Digital Imaging Monitor] を右クリックし、**[プリンタ モデル名]** をポイントして、**[プリンタ ツールボックスの表示]** をクリックします。
- [印刷設定] から、**[機能]** タブ、**[プリンタ サービス]** の順にクリックします。

ツールボックス タブ

ツールボックスには、次のタブが含まれます。

タブ	内容
推定インク レベル	• **インク量情報**：各カートリッジの予想インク量が表示されます。 **注記** インク残量の警告およびインジケータは、交換用インクを用意できるよう情報を提供します。インク残量が少ないという警告メッセージが表示されたら、印刷できなくなる前に交換用のプリントカートリッジを準備してください。インク カートリッジを交換する必要があるのは、交換のメッセージが表示された場合だけです。 • **オンライン ショップ:** デバイスの印刷サプライ品をオンラインで注文できる Web サイトにアクセスできます。 • **カートリッジダイヤル**： デバイスのサプライ品を注文するための電話番号が表示されます。 一部の国/地域では電話番号が表示されません。 • **カートリッジの詳細**：装着されているインク カートリッジの注文番号を表示します。
情報	• myPrintMileage - プリンタの利用状況を表示します。 • プリントヘッドの状態 - プリントヘッドの状態を表示します。 • ハードウェア情報 - モデル名、ファームウェアのバージョン番号、シリアル番号、サービス ID、および両面印刷ユニットの状態を表示します。

(続き)

タブ	内容
サービス	• **自己診断テスト ページの印刷** デバイスの自己診断テスト ページを印刷できます。このページにはデバイスとサプライ品についての情報が表示されます。詳細については、セルフテスト レポートについてを参照してください。 • **印刷品質診断ページの印刷** デバイスの印刷品質診断レポートを印刷できます。このページにはデバイスとインク カートリッジについての情報が表示されます。 • **プリント ヘッド位置調整** : プリントヘッドの位置調整についての指示が記載されています。詳細については、プリントヘッドの位置を調整するにはを参照してください。 • **プリントヘッドのクリーニング** : プリントヘッドのクリーニングについての指示が記載されています。詳細については、プリントヘッドをクリーニングするにはを参照してください。 • **行送りの調整** : 印刷色を調整できます。 • **用紙の取り扱い** : デフォルト トレイを設定するか、トレイをロックできます。
ネットワーク設定	ネットワーク設定に関する情報を提供します。ネットワーク ツールボックスを開いて、一部のネットワーク設定を変更するボタンも含まれています。

ネットワーク ツールボックス

ネットワーク ツールボックスでは、一部のネットワーク設定の表示と変更が行えます。IP アドレスの変更、ワイヤレスのオン/オフ、テストの実行、およびレポートの印刷が行えます。

ネットワーク ツールボックスを開くには

1. ツールボックスを開きます。
2. **[ネットワーク設定]** タブをクリックします。
3. **[設定の変更...]** ボタンをクリックします。

[ネットワーク ツールボックス] タブ

1. **[一般]**：プリンタの現在のネットワーク接続設定を表示します。
2. **[有線]** 設定：ユーザに、有線接続に対する IP 設定と DNS サーバの変更を許可します。
3. **[ワイヤレス]** 設定 (プリンタが、ワイヤレス接続をサポートしている場合のみ)：ユーザーにワイヤレスのオン/オフ、および IP アドレス、または DNS サーバの変更を許可します。
4. **[ユーティリティ]**:
   a. **[ネットワーク診断の実行]** - ネットワーク トラブルシューティングを実行します。
   b. **[ワイヤレス ネットワーク テスト レポートを印刷]** – 有線接続機能がある場合のみ
   c. **[ワイヤレス ネットワーク チュートリアルを表示]** – ワイヤレス機能を持つプリンタのみ
   d. **[ワイヤレス ネットワーク FAQ を表示]** – ワイヤレス機能を持つプリンタのみ

HP ソリューション センターの使用 (Windows)

Windows コンピュータでは、HP Solution Center が HP ソフトウェアのエントリ ポイントです。HP Solution Centerを使用すると、印刷設定の変更、サプライ品の注文、オンスクリーン ヘルプへのアクセスができます。

HP Solution Center で使用できる機能は、取り付けたデバイスによって異なります。 HP Solution Center は、選択したデバイスに関連するアイコンを表示するようにカスタマイズされます。 選択したデバイス

に特定の機能が搭載されていない場合、その機能のアイコンは
HP Solution Center に表示されません。

• タスクバーの [Digital Imaging Monitor] アイコンをダブルクリックします。
• デスクトップで、ソリューション センター アイコンをダブルクリックします。

組み込み Web サーバ

デバイスがネットワークに接続されている場合、埋め込み Web サーバを使用してコンピュータからステータス情報の表示、設定の変更、およびデバイスの管理などを行うことができます。

注記 埋め込み Web サーバのシステム必要条件のリストについては、埋め込み Web サーバの仕様 を参照してください。

一部の設定には、パスワードが必要な場合があります。

インターネットに接続しなくても、埋め込み Web サーバを開いて使用できます。ただし、一部の機能は使用できません。

EWS が信頼できないサイトであるという告知が表示される場合があります。このメッセージをクリックすると、EWS に入れます。

組み込み Web サーバ (EWS) は、ブラウザからページを表示したときに小さいテキスト ファイル (cookie) をハード ディスクに作成します。これは、次にアクセスしたときに EWS がコンピュータを識別するためのものです。たとえば、EWS 言語を設定した場合、選択した言語が cookie に記憶されるので、次に EWS を開いたときに、ページがその言語で表示されます。cookie の中には各セッションの終了時に消去されるもの (選択した言語を保存するものなど) もありますが、その他のもの (ユーザ固有の情報を記憶するものなど) は手動で消去しない限りコンピュータ上に保存されています。

ブラウザの設定によって、すべての cookie を受け入れることも、cookie が書き込まれる前に警告することもできます。これにより、どの cookie を受け入れ、どれを拒否するかを個別に選択できます。また、ブラウザから不要な cookie を消去することもできます。

注記 デバイスによっては、cookie を無効にすると、以下の機能のどれかが使用できなくなる場合があります。言語設定、自動ページ更新、中断箇所からの再開、または他のユーザーが同じ設定を変更しないための保護。

プライバシーおよび cookie 設定の変更方法と、cookie の表示および削除方法については、Web ブラウザで利用できるドキュメントを参照してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 埋め込み Web サーバを開くには
- 埋め込み Web サーバのページ

埋め込み Web サーバを開くには

埋め込み Web サーバは、次の方法で開くことができます。

注記 プリンタ ドライバ (Windows) または HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS X) から組み込み Web サーバを開くには、デバイスがネットワークに接続され、IP アドレスが割り当てられている必要があります。

- **Web ブラウザ**：コンピュータでサポートされている Web ブラウザで、デバイスに割り当てられている IP アドレス (ホスト名を) 入力します。
  例えば、IPv4 ネットワーク環境を使用していて、IP アドレスが 123.123.123.123 の場合、以下のアドレスを Web ブラウザに入力します。「http://123.123.123.123」
  例えば、IPv6 専用ネットワーク環境を使用していて、IP アドレスが FE80::BA:D0FF:FE39:73E の場合、以下のアドレスを Web ブラウザに入力します。「http://[FE80::BA:D0FF:FE39:73E7]」
  デバイスの IP アドレスとホスト名は、ネットワーク設定ページに表示されています。詳細については、ネットワーク設定ページの理解を参照してください。
  埋め込み Web サーバを開いた後、お気に入りに保存すると、後からすばやく開くことができます。
- **Windows タスクバー**： HP Digital Imaging Monitor アイコンを右クリックし、表示するデバイスをポイントし、**[Network Settings (EWS)]** をクリックします。
- **Windows Vista**:プリンタ アイコンを右クリックし、**[デバイス Web ページ]** を選択します。
- **HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS X)**： **[プリンタ設定]** パネルで、**[その他の設定]** をクリックし、**[組み込み Web サーバを開く]** ボタンをクリックします。

埋め込み Web サーバのページ

埋め込み Web サーバには、製品情報を表示したりデバイス設定を変更できるページがあります。 ページには、別の E-サービスへのリンクも含まれています。

ページ/ボタン	内容
ホーム ページ	ホーム ページには、一般的に使用される多数の機能へのリンクがあります。
[情報] ページ	デバイス、インク サプライ品と使用状況についてのステータス情報、およびデバイス イベント (エラーなど) のログが表示されます。 現在使用中のサプライで印刷できるページの概数が表示される場合があります。これは単なる概数であり、実際に印刷できるページ数は、印刷する画像、印刷設定、用紙の種類、使用頻度、温度、およびその他の要因によって異なる場合があります。この概数はページを印刷するたびに大きく変動する可能性があり、ユーザの便宜のために表示されています。この概数は今後の成果に対する約束や保証ではありません。
[設定] ページ	デバイスに構成された設定が表示され、これらの設定を変更できます。設定を保存して、デバイスの設定が失われた場合に復元することもできます。
[ネットワーキング] ページ	ネットワーク ステータスとデバイスに構成されたネットワーク設定が表示されます。 これらのページは、デバイスがネットワーク接続されている場合にしか表示されません。 詳細については、ネットワーク オプションの構成を参照してください。

(続き)

ページ/ボタン	内容
[Bluetooth] ページ	デバイスに構成された Bluetooth の設定が表示され、これらの設定を変更できます。
[サポート] および [サプライの注文] ボタン	**[サポート]** は、サポート サービス数を提供します。 **[サプライの注文]** ボタンで、サプライ品のオンライン注文に接続できます。

HP デバイス マネージャの使用 (Mac OS X)

Macintosh コンピュータで、HP デバイス マネージャを開くには

1. Dock の HP デバイス マネージャ のアイコンをクリックします。

   注記 アイコンが Dock に表示されない場合は、メニューバー右側の [スポットライト] アイコンをクリックして、ボックスに「HP デバイス マネージャ」と入力し、**[HP デバイス マネージャ]** エントリをクリックします。

2. **[デバイス]** ドロップダウン メニューでデバイスを選択します。
   ここで、ソフトウェア アップデートの確認、ソフトウェア オプションの設定、およびインク カートリッジのインク残量の確認などの保守作業を実行することができます。

   注記 Macintosh コンピュータの場合、HP デバイス マネージャで使用できる機能は選択したデバイスによって異なります。

   インク残量の警告およびインジケータは、交換用インクを用意できるよう情報を提供します。インクの警告メッセージがディスプレイに表示されたら、印刷できなくなる前に交換用のプリント カートリッジを準備してください。印刷の品質が使用に耐えないレベルに達するまでプリント カートリッジを交換する必要はありません。

   ヒント HP デバイス マネージャが起動したら、Dock で、HP デバイス マネージャ用のアイコンを選択し、その上にマウスを置いた状態にすると、Dock メニューのショートカットにアクセスすることができます。

HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS X) の使用

HP プリンタ ユーティリティには、プリント設定の構成、デバイスの位置調整、サプライ品のオンライン注文、および Web サイトのサポート情報の検索などのツールが含まれています。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- HP プリンタ ユーティリティを開く
- HP プリンタ ユーティリティのパネル

HP プリンタ ユーティリティを開く

HP デバイス マネージャから HP プリンタ ユーティリティを開くには

1. Dock にリストされている **[HP デバイス マネージャ]** をクリックします。
2. [情報と設定] メニューから、**[プリンタの保守]** を選択します。
3. HP デバイスを選択して **[ユーティリティの起動]** をクリックします。

HP プリンタ ユーティリティのパネル

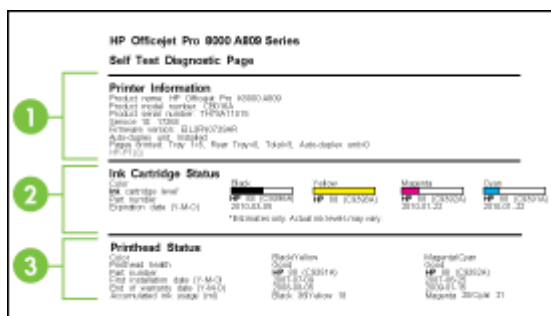
情報とサポート パネル

- **サプライ品詳細**： 現在装着されているインク カートリッジについての情報が表示されます。
- **サプライ製品情報**： インク カートリッジの交換オプションを示します。
- **デバイス情報**： デバイスのモデル番号とシリアル番号についての情報が表示されます。 このページにはデバイスとサプライ品についての情報が表示されます。
- **クリーニング**：プリントヘッドのクリーニングについての指示が記載されています。
- **位置調整**：プリントヘッドの位置調整についての指示が記載されています。
- **HP サポート**： HP Web サイトにアクセスし、デバイスのサポート、デバイスの登録、および使用済みのプリント サプライ品の返品とリサイクルについての情報を表示できます。

セルフテスト レポートについて

セルフテスト レポートを使用して、現在のデバイス情報およびインクカートリッジの状態を表示します。セルフテスト レポートは、デバイスの問題のトラブルシューティングに役立てることもできます。

自己診断テスト ページには、最新イベントのログも含まれます。

HP にご連絡いただく場合、お電話の前にセルフテスト レポートを印刷していただくと便利です。

1. **プリンタの情報**： デバイス情報 (製品名、モデル番号、シリアル番号、およびファームウェア バージョン番号など)、取り付けられているアクセサリ (両面印刷ユニットなど)、およびトレイとアクセサリから印刷されたページ数が表示されます。
2. **インク カートリッジの状態**： インクの推定残量レベル (グラフィックスによって表示)、パーツ番号、およびインク カートリッジの有効期限が表示されます。

   注記 インク残量の警告およびインジケータは、交換用インクを用意できるよう情報を提供します。インク残量が少ないという警告メッセージが表示されたら、印刷できなくなる前に交換用のプリント カートリッジを準備してください。インク カートリッジを交換する必要があるのは、交換のメッセージが表示された場合だけです。

3. **プリントヘッドの状態**： プリントヘッドの状態、パーツ番号、最初に取り付けられた日付、およびプリントヘッドの保証期限日、累計インク使用量が表示されます。プリントヘッドのステータス オプションは次のとおりです。良好、正常、および交換です。ステータスが「正常」である場合は印刷品質を監視する必要がありますが、プリントヘッドを交換する必要はありません。ステータスが「交換」であれば、プリントヘッドを交換する必要があります。

セルフテスト レポートを印刷するには

- **デバイスのコントロール パネル**： **セットアップ** を押し、[**レポートの印刷**] を選択し、[**セルフテスト レポート**] を選択し、**OK(O)** を押します。
- **ツールボックス (Windows)**： **[サービス]** タブをクリックし、**[テスト ページの印刷]** をクリックします。
- **HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS X)**： **[デバイス情報]** を **[情報とサポート]** パネルからクリックし、**[設定ページの印刷]** をクリックします。

ネットワーク設定ページの理解

デバイスがネットワークに接続されている場合は、ネットワーク設定ページを印刷してデバイスのネットワーク設定を表示できます。 ネットワーク設定ページは、ネットワーク接続に関する問題のトラブルシューティングに役立ちます。 HP に連絡する場合は、電話をする前にこのページを印刷すると役立ちます。

ネットワーク設定ページ

1. **一般情報**： ネットワークの現在の状態とアクティブな接続タイプに関する情報と、埋め込み Web サーバの URL などのそれ以外の情報が表示されます。
2. **802.3 ワイヤ**： IP アドレス、サブネット マスク、デフォルト ゲートウェイなどのアクティブなワイヤード ネットワーク接続に関する情報と、デバイスのハードウェア アドレスが表示されます。
3. **802.11 ワイヤレス**： IP アドレス、通信モード、ネットワーク名、認証タイプ、信号強度などの、アクティブなワイヤレス ネットワーク接続に関する情報が表示されます。
4. **その他**： 合計、ユニキャスト、送受信されたブロードキャスト パケット、および管理者詳細などの情報が表示されます。
   - **mDNS**：アクティブな Multicast Domain Name System (mDNS) 接続に関する情報を表示します。mDNS サービスは主に、従来の DNS サーバーが使用されていない小規模なネットワークで (UDP ポート 5353 を介した) IP アドレスと名前の解決に使用されます。
   - **SLP**：現在使用している Service Location Protocol (SLP) 接続に関する情報を表示します。 SLP は、デバイス管理のために、ネットワーク管理アプリケーションが使用します。 このデバイスは、IP ネットワーク上の SNMPv1 プロトコルをサポートします。

コントロール パネルからネットワーク設定ページを印刷するには

- デバイスに 2 行ディスプレイが搭載されている場合：**セットアップ**を押し、[**ネットワークのセットアップ**]、[**ネットワーク設定の印刷**] の順に選択し、**OK(O)** を押します。
- デバイスにカラー ディスプレイが搭載されている場合：**セットアップ** ボタンを押し、[**ネットワーク**] を選択し、[**ネットワーク設定を表示**] を選択し、[**ネットワーク設定ページの印刷**] を選択し、**OK (O)** を押します。

ネットワーク オプションの構成

次のセクションで説明する手順に従って、デバイスのコントロール パネルでデバイスのネットワーク設定を管理することができます。ネットワーク ツールボックスでネットワーク設定を管理することもできま

す。また、組み込み Web サーバを使用するとより詳細なネットワーク設定を行うことができます。この Web サーバは既存のネットワーク接続を使用して Web ブラウザからアクセスできるネットワーク構成およびステータス ツールです。詳細については、組み込み Web サーバを参照してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 基本的なネットワーク設定の変更
- 詳細なネットワーク設定の変更

基本的なネットワーク設定の変更

コントロール パネルのオプションを使用して、ワイヤレス接続の設定や管理を行ったり、さまざまなネットワーク管理タスクを実行したりできます。 このタスクには、ネットワーク設定の表示、ネットワークのデフォルト設定の復元、ワイヤレスのオン・オフ設定、ネットワーク設定の変更などが含まれます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ワイヤレス設定の変更
- ネットワーク設定の表示と印刷
- ワイヤレスをオンまたはオフに設定する

ワイヤレス設定の変更

コントロール パネルを使用して、デバイスへのワイヤレス接続をセットアップし、管理します。ワイヤレス接続のセットアップ方法の詳細については、デバイスのワイヤレス通信のセットアップ (一部のモデルのみ)を参照してください。

ネットワーク設定の表示と印刷

ネットワーク設定の一覧をデバイスのコントロール パネルに表示したり、より詳細な構成ページを印刷することができます。 ネットワーク設定ページには、IP アドレス、リンク速度、DNS、mDNS など、重要なネットワーク設定が一覧表示されます。 ネットワーク設定については、ネットワーク設定ページの理解を参照してください。

注記 組み込み Web サーバを使用すると、ネットワーク設定を変更できます。EWS を開くことの詳細については、組み込み Web サーバを参照してください。

1. **セットアップ** にタッチします。
2. [**ネットワーク**] を選択します。
3. 次のいずれかの操作を行います。
   • ワイヤード (Ethernet) ネットワークの設定を表示するには、[**ネットワーク設定を表示**] を選択し、[**概要を表示 (有線 LAN の場合)**] を選択します。（一部のモデルのみ）
   • ワイヤレス ネットワークの設定を表示するには、[**ネットワーク設定を表示**] を押し、[**概要を表示 (無線 LAN の場合)**] を押します。（一部のモデルのみ）
   • ネットワーク設定ページを印刷するには、[**ネットワーク設定を表示**] を選択し、[**ネットワーク設定ページの印刷**] を選択します。

ワイヤレスをオンまたはオフに設定する

ワイヤレスはデフォルトでオンに設定されています。ワイヤレスがオンの場合は、デバイス前面のブルーのインジケータが点灯します。 ワイヤレス ネットワークへの接続を保つには、無線を常にオンにしておく必要があります。 しかし、デバイスが有線ネットワークに接続されていたり、USB で接続されている場合は、無線は使用されません。この場合、無線をオフにしておくことをお勧めします。

1. **セットアップ**を押します。
2. [**ネットワーク**] にタッチします。
3. ワイヤレスをオンにするには、[**ワイヤレス**] を選択し、[**はい**] を選択します。オフにするには、[**いいえ**] を選択します。

詳細なネットワーク設定の変更

必要に応じて、ネットワークを詳細に設定することができます。 ただし、ネットワーク管理に詳しくない場合は、これらの設定を変更しないでください。 詳細設定には、[**リンク速度**]、[**IP 設定**]、および [**メモリ カード セキュリティ**] があります。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

• リンク速度の設定
• IP 設定を表示するには
• IP 設定を変更するには

リンク速度の設定

ネットワーク上でのデータ送信速度を変更することができます。 デフォルトの設定は [**自動**] です。

1. **セットアップ**を押します。
2. [**ネットワーク**] を押します。
3. [**詳細設定**] を選択し、[**接続速度**] を選択します。
4. リンク速度の横の、お使いのネットワーク機器と一致する番号を押します。
   - [**1. 自動**]
   - [**2. 10 Mb/sec 全二重通信**]
   - [**3. 10 Mb/sec 半二重通信**]
   - [**4. 100 Mb/sec 全二重通信**]
   - [**5. 100 Mb/sec 半二重通信**]

IP 設定を表示するには

- カラー ディスプレイ : コントロール パネルでデバイスの IP アドレスを表示するには、 (**セットアップ**) ボタンにタッチし、[**ネットワーク**] を選択し、[**ネットワーク設定を表示**] を選択します。次に、[**概要を表示 (有線 LAN の場合)**] または [**概要を表示 (無線 LAN の場合)**] を選択します。
- 2 行のディスプレイ : デバイスの IP アドレスを表示するには、ネットワーク設定ページを印刷する必要があります。詳細については、ネットワーク設定ページの理解を参照してください。
- ネットワーク ツールボックス (Windows) : **[ネットワーク設定]** タブで、現在の接続により、**[ワイヤード]** または **[ワイヤレス]** タブをクリックして、**[IP 設定]** をクリックします。

IP 設定を変更するには

デフォルトの IP 設定は [**自動**] で、IP 設定を自動的に行いますが、ネットワーク管理に詳しい場合は、IP アドレス、サブネット マスク、デフォルト ゲートウェイなどの設定を手動で変更できます。

△ **注意** IP アドレスを手動で割り当てる場合は注意が必要です。 インストール時に無効な IP アドレスを割り当てると、各ネットワーク コンポーネントからデバイスに接続できなくなります。

1. セットアップを押します。
2. [ネットワーク] を選択し、**OK(O)** を押します。
3. **[詳細設定]** を選択し、**[IP 設定]** を選択し、**[IP 設定]** を選択します。
4. IP 設定の横にある以下の番号を押します。
   - **[1. IP アドレス]**
   - **[2. サブネットマスク]**
   - **[3. デフォルト ゲートウェイ]**
5. 変更する内容を入力し、**完了** を押します。

デバイスのファクス機能のセットアップ

[セットアップ ガイド] に記載されたすべての手順が完了したら、このセクションの説明を読みファクスのセットアップを行ってください。[セットアップ ガイド] は後で使用できるように保管してください。

このセクションでは、ファクス機能が同じ電話回線上の機器やサービスと正常に動作するように、デバイスを設定する方法を説明します。

ヒント ファクス セットアップ ウィザード (Windows) または HP ファクス セットアップ ユーティリティ (Mac OS X) を使用して、応答モードやファクスのヘッダー情報などの重要なファクス設定を簡単に設定することもできます。デバイス用にインストールしたソフトウェアから、ファクス セットアップ ウィザード (Windows) または HP ファクス セットアップ ユーティリティ (Mac OS X) にアクセスできます。ファクス セットアップ ウィザード (Windows) または HP ファクス セットアップ ユーティリティ (Mac OS X) を起動したら、このセクションの手順に従ってファクスのセットアップを行います。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ファクス機能のセットアップ (パラレル方式の電話システム)
- シリアル方式のファクスのセットアップ

ファクス機能のセットアップ (パラレル方式の電話システム)

デバイスのファクス機能のセットアップを開始する前に、お住まいの国または地域でどのタイプの電話システムを使用しているか確認します。 デバイスのファクス機能のセットアップの説明は、パラレル方式

またはシリアル方式のどちらの電話方式を使用しているかによって異なります。

- お住まいの国または地域が下記の表になければ、シリアル タイプの電話方式をご使用のはずです。 シリアル方式の電話の場合、共有する電話機器 (モデム、電話、留守番電話等) のコネクタの種類が違うため、デバイスの "2-EXT" ポートに接続することはできません。 電話機器はすべて壁の電話ジャックに接続してください。

  注記　シリアル方式の電話システムを使用する国または地域の場合、デバイス付属の電話コードに別の壁プラグが接続している可能性があります。 これにより、デバイスを差し込んでいる壁側のモジュラー ジャックに別の通信装置を接続できます。

  国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

- お住まいの国または地域が下記の表にあれば、パラレル タイプの電話方式をご使用のはずです。 パラレル方式の電話システムの場合、 背面の "2-EXT" ポートを使用して、共有する電話機器を電話回線に接続することができます。

  注記　パラレル方式の電話システムの場合は、デバイスに付属の 2 線式電話コードを使用して、壁の電話ジャックにデバイスを接続することをお勧めします。

表 10-1 パラレル タイプの電話の国または地域

アルゼンチン	オーストラリア	ブラジル
カナダ	チリ	中国
コロンビア	ギリシア	インド
インドネシア	アイルランド	日本
韓国	南米	マレーシア
メキシコ	フィリッピン	ポーランド
ポルトガル	ロシア	サウジアラビア
シンガポール	スペイン	台湾
タイ	アメリカ	ベネズエラ

ベトナム		

シリアル方式またはパラレル方式のどちらの電話方式かわからない場合は、最寄りの電話会社にお問い合わせください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 自宅またはオフィスに合った正しいファクス セットアップの選択
- ケース A： 単独のファクス回線 (電話の着信なし)
- ケース B： DSL 環境でのデバイスのセットアップ
- ケース C： PBX 電話システムまたは ISDN 回線の環境でのデバイスのセットアップ
- ケース D： 同じ回線でファクスと着信識別サービスを一緒に利用
- ケース E： 電話とファクスを一緒に利用する
- ケース F： 電話とファクスとボイスメール サービスを一緒に利用する
- ケース G： 同じ回線でファクスとコンピュータ モデムを一緒に利用する (電話の着信なし)
- ケース H： 電話とファクスとコンピュータ モデムを一緒に利用する
- ケース I： 電話とファクスと留守番電話を一緒に利用する
- ケース J：電話とファクスとコンピュータ モデムと留守番電話を一緒に利用する
- ケース K： 電話とファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムとボイス メールを一緒に利用する

自宅またはオフィスに合った正しいファクス セットアップの選択

同じ電話回線をデバイスと共有する機器やサービスがある場合、ファクスを正常に使用するには、それらの機器やサービスの種類を知っておく必要があります。 これは、既存のオフィス機器をデバイスに直接接続しなければならない場合に重要です。また、正常にファクスを使

用するには、ファクスの設定を一部変更しなければならないこともあります。

1. 電話がシリアル方式かパラレル方式かを判断します (ファクス機能のセットアップ (パラレル方式の電話システム)を参照)。
   a. シリアル方式の電話システムの場合 — シリアル方式のファクスのセットアップを参照してください。
   b. パラレル方式の電話システムの場合 - 手順 2 に進みます。
2. ファクスと一緒に利用する機器やサービスの組み合わせを選択します。
   • DSL：電話会社を通じてデジタル加入者線 (DSL) を利用。(DSL は、国/地域によっては ADSL と呼ばれています。)
   • PBX：構内交換機 (PBX) システムまたは統合サービス デジタル通信網 (ISDN) システム。
   • 着信識別サービス：電話会社の着信識別サービスでは、複数の電話番号が与えられ、その電話番号ごとに呼び出し音のパターンを変えられます。
   • 電話：電話をデバイスのファクスに使用するのと同じ電話番号で受信します。
   • コンピュータ ダイヤルアップ モデム：コンピュータ ダイヤルアップ モデムは、デバイスと同じ電話回線です。次のいずれかに当てはまる場合は、コンピュータ ダイヤルアップ モデムを利用しています。
     ◦ ダイヤルアップ接続でコンピュータのソフトウェア アプリケーションから直接ファックスを送受信している。
     ◦ ダイアルアップ接続でコンピュータから電子メールのメッセージを送受信している。
     ◦ ダイアルアップ接続でコンピュータからインターネットを利用している。
   • 留守番電話：デバイスのファクスに使用するのと同じ電話番号で電話に応答する留守番電話。
   • ボイスメール サービス：デバイスのファクスと同じ番号での電話会社からのボイスメール サービスへの加入。
3. 次の表から、自宅やオフィスの設定に当てはまる機器とサービスの組み合わせを選択してください。次に、推奨するファクス セットアップを調べます。各方法については、この後手順を追って説明します。

注記 自宅またはオフィスのセットアップがこのセクションで説明されていない場合は、デバイスを通常のアナログ電話のようにセットアップします。付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラージャックに、もう一方の端をデバイスの背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。他の電話コードを使用している場合は、ファックスの送受信に問題が発生することがあります。

国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

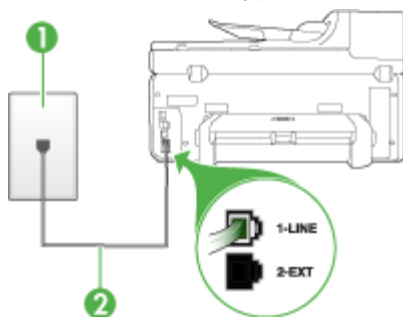
ファクス回線を共有する機器やサービス							推奨するファクス セットアップ
DSL	PBX	ディスティンクティブ リングサービス	電話	コンピュータ ダイヤルアップ モデム	留守番電話	ボイスメールサービス	
							ケース A： 単独のファクス回線 (電話の着信なし)
✔							ケース B： DSL 環境でのデバイスのセットアップ
	✔						ケース C： PBX 電話システムまたは ISDN 回線の環境でのデバイスのセットアップ
		✔					ケース D： 同じ回線でファクスと着信識別サービスを一緒に利用
			✔				ケース E： 電話とファクスを一緒に利用する
			✔			✔	ケース F： 電話とファクスとボイ

(続き)

ファクス回線を共有する機器やサービス							推奨するファクス セットアップ
DSL	PBX	ディスティンクティブ リング サービス	電話	コンピュータ ダイヤルアップ モデム	留守番電話	ボイスメール サービス	
							スメール サービスを一緒に利用する
				✔			ケース G： 同じ回線でファクスとコンピュータ モデムを一緒に利用する (電話の着信なし)
			✔	✔			ケース H： 電話とファクスとコンピュータ モデムを一緒に利用する
			✔		✔		ケース I： 電話とファクスと留守番電話を一緒に利用する
			✔	✔	✔		ケース J：電話とファクスとコンピュータ モデムと留守番電話を一緒に利用する
			✔	✔		✔	ケース K： 電話とファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムとボイス メールを一緒に利用する

ケース A： 単独のファクス回線 (電話の着信なし)

電話を受け付けない単独の電話回線を利用し、この電話回線に他の機器を何も接続しない場合は、次のようにデバイスを設定します。

図 10-1 デバイス背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	デバイス付属の電話コードを使用して 1-LINE ポートに接続する 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

単独のファクス回線の環境にデバイスをセットアップするには

1. デバイスに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラージャックに、もう一方の端をデバイスの背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

   付属のコードで壁側のモジュラー ジャックとデバイスを接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。 この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

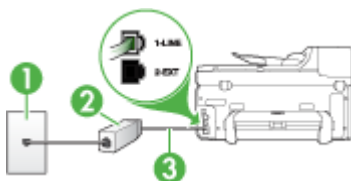
2. **自動応答** の設定をオンにします。
3. (オプション)[**応答呼出し回数**] 設定を最小設定 (呼び出し 2 回) に変更します。
4. ファクス テストを実行します。

電話が鳴ると、**[応答呼出し回数]** で設定した数だけ呼び出し音が鳴った後にデバイスが自動応答します。 デバイスは、ファクス受信トーンを送信側ファクスに対して発信し、ファクスを受信します。

ケース B： DSL 環境でのデバイスのセットアップ

電話会社の DSL サービスを利用し、デバイスに機器を接続しない場合は、次のように壁側のモジュラージャックとデバイスの間に DSL フィルタを取り付けます。 デバイスが電話回線で正しく通信することができるように、DSL フィルタでデバイスを妨害する可能性のあるデジタル信号を除去します(DSL は、国/地域によっては ADSL と呼ばれています。)

注記 DSL を利用しているのにこの DSL フィルタを取り付けないと、デバイスでファクスを送受信できなくなります。

図 10-2 デバイス背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	DSLプロバイダから支給された DSL (または ADSL) フィルタおよびコード
3	デバイス付属の電話コードを使用して 1-LINE ポートに接続する 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

DSL 環境でデバイスをセットアップするには

1. DSL フィルタは、DSL プロバイダから入手してください。
2. デバイスに付属の電話コードの一方の端を DSL フィルタの空いているポートに、もう一方の端をデバイス背面の 1-LINE というラベルの付いたポートに接続します。

   注記 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

   付属のコードで DSL フィルタとデバイスを接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

   付属の電話コードは 1 本なので、このセットアップでは追加の電話コードが必要になる場合があります。
3. DSL フィルタの追加の電話コードを壁側のモジュラージャックに接続します。
4. ファクス テストを実行します。

デバイスとオプション機器のセットアップで問題が生じた場合は、お近くのサービス プロバイダ、またはメーカーにお問い合わせください。

ケース C： PBX 電話システムまたは ISDN 回線の環境でのデバイスのセットアップ

PBX または ISDN コンバータ/ターミナル アダプタを使用している場合、次の指示に従ってください。

- PBX または ISDN コンバータ/ターミナル アダプタを使用している場合は、ファクスおよび電話用のポートにデバイスが接続されていることを確認してください。 また、ターミナル アダプタがお住まいの国/地域に対応したスイッチ タイプに設定されていることも確認してください。

  注記 ISDN システムの中には、ユーザーが特定の電話機器に応じてポートを設定できるようになっているものがあります。たとえば、電話と G3 規格のファックスに 1 つのポートを割り当て、多目的用に別のポートを割り当てることができます。ISDN コンバータのファクス/電話ポートに接続すると問題が発生する場合は、多用途向けのポートを使用してみてください。このポートには **multi-combi** などのラベルが付いている場合があります。

- PBX システムを使用している場合は、電話の呼び出し音をオフにします。

  注記 多くのデジタル PBX システムでは、電話の呼び出し音が工場出荷時の設定で「オン」になっています。電話の呼び出し音は、ファックス送信の妨害となり、デバイスでファックスの送受信ができなくなります。電話の呼び出し音をオフにする方法については、PBX システム付属のマニュアルを参照してください。

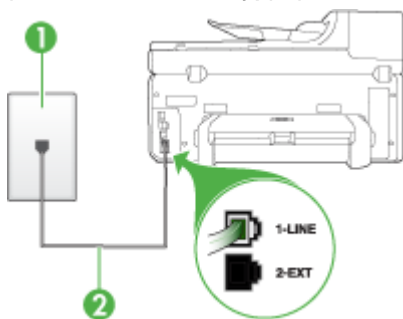
- PBX システムを使用している場合は、ファクス番号をダイヤルする前に外線番号をダイヤルします。
- 付属のコードで 壁側のモジュラー ジャックとお使いのデバイスを正しく接続します。 接続していない場合、ファクスを正しく行うことはできません。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。 付属の電話コードでは短すぎる場合、お近くの電器店からカプラーを購入して延長することができます。

  国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

デバイスとオプション機器のセットアップで問題が生じた場合は、お近くのサービス プロバイダ、またはメーカーにお問い合わせください。

ケース D： 同じ回線でファクスと着信識別サービスを一緒に利用

1 本の電話回線に複数の電話番号があり、その電話番号ごとに呼び出し音のパターンを変える、電話会社の着信識別サービスを利用している場合は、次のようにデバイスを設定します。

図 10-3 デバイス背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	デバイス付属の電話コードを使用して 1-LINE ポートに接続する 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

着信識別サービスの環境でデバイスをセットアップするには

1. デバイスに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端をデバイスの背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

   付属のコードで壁側のモジュラー ジャックとデバイスを接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

2. **自動応答** の設定をオンにします。
3. [**応答呼出し音のパターン**] 設定を変更して、電話会社がお使いのファクス番号に指定した呼び出し音のパターンに合わせます。

   注記 デバイスの工場出荷時の設定では、すべての呼び出し音パターンに応答するよう設定されています。 [**応答呼出し音のパターン**] がファクス番号に割り当てられていた呼出し音のパターンと一致するように設定しないと、デバイスが電話とファクスの両方の呼び出し音に応答してしまったり、まったく応答しなくなったりすることがあります。

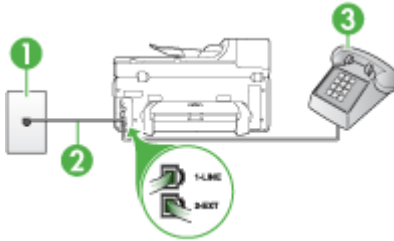
4. (オプション)[**応答呼出し回数**] 設定を最小設定 (呼び出し 2 回) に変更します。
5. ファクス テストを実行します。

デバイスでは、[**応答呼出し音のパターン**] 設定で選択した呼び出し音のパターンの着信に対して、[**応答呼出し回数**] 設定で選択した呼び出し回数の後に自動応答します。デバイスは、ファクス受信トーンを送信側ファクスに対して発信し、ファクスを受信します。

デバイスとオプション機器のセットアップで問題が生じた場合は、お近くのサービス プロバイダ、またはメーカーにお問い合わせください。

ケース E： 電話とファクスを一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話回線にオフィス機器 (またはボイスメールサービス) を何も接続しない場合は、次のようにデバイスを設定します。

図 10-4 デバイス背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	デバイス付属の電話コードを使用して 1-LINE ポートに接続する 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。
3	電話機 (オプション)

電話とファクスの共有回線環境にデバイスをセットアップするには

1. デバイスに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端をデバイスの背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

   付属のコードで壁側のモジュラー ジャックとデバイスを接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

2. 次のいずれかの操作を行います。
   - パラレル方式の電話システムを使用している場合、デバイスの背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取り、このポートに電話を接続します。
   - シリアル方式の電話の場合は、壁のプラグが接続されたデバイスのケーブルの一番先に電話を直接接続します。
3. ここで、デバイスでのファクス呼び出し音の応答方法を、自動または手動に決めます。
   - 着信に [**自動**] で応答する設定の場合は、デバイスがすべての着信に応答し、ファクスを受信します。 この場合、デバイスではファクスと電話を区別できません。着信が電話であると思われる場合、デバイスが着信に応答する前に自分で応答する必要があります。 デバイスで着信を自動的に受信するには、**自動応答** 設定をオンにします。
   - ファクスを [**手動**] で受信する設定の場合は、ファクス受信に直接応答しなければ、デバイスでファクスを受信できません。 手動で着信に応答するようにデバイスを設定するには、**自動応答** をオフにします。
4. ファクス テストを実行します。

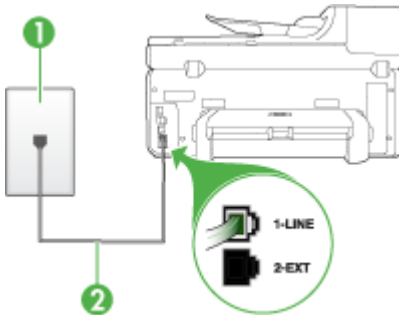
デバイスが着信に応答する前に受話器を取って、送信側ファクス機からのファクス トーンが聞こえた場合は、手動でファクスに応答します。

デバイスとオプション機器のセットアップで問題が生じた場合は、お近くのサービス プロバイダ、またはメーカーにお問い合わせください。

ケース F： 電話とファクスとボイスメール サービスを一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、電話会社のボイスメールサービスも利用する場合は、次のようにデバイスを接続します。

注記 ファクスと同じ電話番号でボイス メール サービスを利用している場合、ファクスを自動受信することはできません。 ファクスを手動で受信する必要があります。つまり、受信ファクスの着信に応答するためにその場にいる必要があります。 これ以外にファクスを自動受信するには、電話会社に問い合わせて着信識別を利用するか、ファクス専用の別回線を取得してください。

図 10-5 デバイス背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	"1-LINE" ポートに接続したデバイス付属の電話コードを使用する 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

ボイスメールサービスの環境でデバイスをセットアップするには

1. デバイスに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端をデバイスの背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。
   国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

   注記 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

   付属のコードで壁側のモジュラー ジャックとデバイスを接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

2. **自動応答** の設定をオフにします。
3. ファクス テストを実行します。

ファクス着信に直接応答してください。そうしないとデバイスでファクスを受信できません。 ボイスメールが電話に応答する前にファクスの手動受信を開始する必要があります。

デバイスとオプション機器のセットアップで問題が生じた場合は、お近くのサービス プロバイダ、またはメーカーにお問い合わせください。

ケース G： 同じ回線でファクスとコンピュータ モデムを一緒に利用する (電話の着信なし)

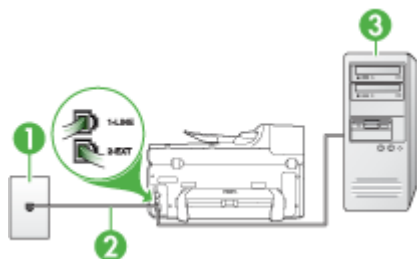
電話を受け付けないファクス回線を利用し、この回線にコンピュータ モデムを接続する場合は、次のようにデバイスをセットアップします。

注記 コンピュータにダイヤルアップ モデムがある場合、コンピュータのダイヤルアップ モデムはデバイスと電話回線を共有します。 モデムとデバイスを同時に使用することはできません。 たとえば、コンピュータのダイヤルアップ モデムを使用して電子メールを送信したりインターネットにアクセスしたりしている最中に、デバイスのファクス機能を使用することはできません。

- コンピュータのダイヤルアップ モデム環境でデバイスをセットアップするには
- コンピュータの DSL/ADSL モデム環境でのデバイスのセットアップ

コンピュータのダイヤルアップ モデム環境でデバイスをセットアップするには

1 つの電話回線をファクスの送信とコンピュータのダイヤルアップ モデムに使用している場合は、次の手順に従ってデバイスをセットアップします。

図 10-6 デバイス背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	"1-LINE" ポートに接続したデバイス付属の電話コードを使用する 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。
3	モデム搭載コンピュータ

コンピュータ ダイヤルアップ モデムの環境でデバイスをセットアップするには

1. デバイスの背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
2. コンピュータ (コンピュータのダイヤルアップ モデム) の背面と壁側のモジュラージャック間をつなぐ電話コードを見つけます。 そのコードを壁側のモジュラー ジャックから抜き、デバイスの背面の 2-EXT と書かれているポートに差し込みます。
3. デバイスに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラージャックに、もう一方の端をデバイスの背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

   付属のコードで壁側のモジュラー ジャックとデバイスを接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

4. モデムのソフトウェアで、ファクスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

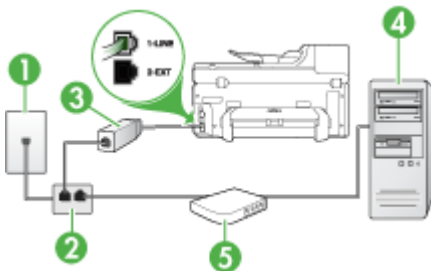
   注記 モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、デバイスでファクスを受信できなくなります。

5. **自動応答** の設定をオンにします。
6. (オプション) [**応答呼出し回数**] 設定を最小設定 (呼び出し 2 回) に変更します。
7. ファクス テストを実行します。

電話が鳴ると、[**応答呼出し回数**] で設定した数だけ呼び出し音が鳴った後にデバイスが自動応答します。デバイスは、ファクス受信トーンを送信側ファクスに対して発信し、ファクスを受信します。

デバイスとオプション機器のセットアップで問題が生じた場合は、お近くのサービス プロバイダ、またはメーカーにお問い合わせください。

コンピュータの DSL/ADSL モデム環境でのデバイスのセットアップ

DSL 回線があり、その電話回線を使用してファクスを送信する場合は、次の手順に従ってファクスをセットアップします。

1	壁側のモジュラージャック
2	パラレル スプリッター
3	DSL/ADSL フィルタ デバイスに付属の電話ジャックの片方の端を、デバイス背部の 1-LINE ポートに接続します。 コードのもう一方の端を DSL/ADSL フィルタに接続します。 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。
4	コンピュータ
5	コンピュータの DSL/ADSL モデム

注記 パラレル スプリッターを購入する必要があります。 パラレル スプリッターは前面に RJ-11 ポートが 1 つ、背面に RJ-11 ポートが 2 つあります。 前面に 2 つの RJ-11 ポート、背面にプラグがある 2 線式の電話スプリッター、シリアル スプリッター、または パラレル スプリッターは使用しないでください。

コンピュータの DSL/ADSL モデムの環境でデバイスをセットアップするには

1. DSL フィルタは、DSL プロバイダから入手してください。
2. デバイスに付属の電話コードの一方の端を DSL フィルタに、もう一方の端をデバイス背面の 1-LINE というラベルの付いたポートに接続します。

   注記 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

   付属のコードで DSL フィルタとデバイス背面を接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

3. DSL フィルタをパラレル スプリッターに接続します。
4. DSL モデムをパラレル スプリッターに接続します。
5. パラレル スプリッターを壁側のモジュラー ジャックに接続します。
6. ファクス テストを実行します。

電話が鳴ると、[**応答呼出し回数**] で設定した数だけ呼び出し音が鳴った後にデバイスが自動応答します。デバイスは、ファクス受信トーンを送信側ファクスに対して発信し、ファクスを受信します。

デバイスとオプション機器のセットアップで問題が生じた場合は、お近くのサービス プロバイダ、またはメーカーにお問い合わせください。

ケース H： 電話とファクスとコンピュータ モデムを一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話回線にコンピュータ モデムも接続する場合は、次のようにデバイスをセットアップします。

注記 コンピュータ モデムが電話回線をデバイスと共有しているので、モデムとデバイスの両方を同時に使用することはできません。たとえば、コンピュータ モデムを使用して電子メールを送信したりインターネットにアクセスしたりしている最中に、デバイスのファクス機能を使用することはできません。

- 電話とファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムを一緒に利用する
- 電話とファクスとコンピュータの DSL/ADSL モデムを一緒に利用する

電話とファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムを一緒に利用する

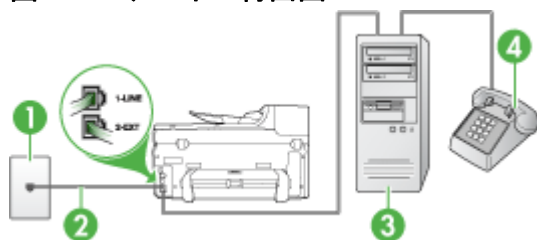
電話回線をファクスと電話の両方に使用する場合は、次の手順に従ってファクスをセットアップします。

コンピュータの電話ポートの数により、コンピュータにデバイスをセットアップする方法は 2 種類あります。 はじめる前に、コンピュータの電話ポートが 1 つか 2 つかを確認してください。

- コンピュータに 1 つの電話ポートしかない場合、以下に示すようにパラレル スプリッター (カプラーとも呼びます) を購入する必要があります。(パラレル スプリッターは前面に RJ-11 ポートが 1 つ、背面に RJ-11 ポートが 2 つあります。 前面に 2 つの RJ-11 ポート、背面にプラグがある 2 線式の電話スプリッター、シリアル スプリッター、またはパラレル スプリッターは使用しないでください。)

図 10-7 パラレル スプリッターの例

• コンピュータの電話ポートが 1 つある場合は、次の手順に従ってデバイスをセットアップします。

図 10-8 デバイス背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	デバイス背面の 1-LINE ポートに差し込まれているデバイス付属の電話コード 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。
3	パラレル スプリッター
4	コンピュータ
5	電話

電話ポートが 1 つあるコンピュータと同じ電話回線上にデバイスをセットアップするには

1. デバイスの背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
2. コンピュータ (コンピュータのダイヤルアップ モデム) の背面と壁側のモジュラージャック間をつなぐ電話コードを見つけます。 コードを壁側のモジュラー ジャックから切断し、パラレル スプリッターに差し込みます。
3. パラレル スプリッターの電話コードを、デバイス背面の 2-EXT というラベルの付いたポートに接続します。
4. 電話をパラレル スプリッターに接続します。

5. デバイスに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端をデバイスの背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。

 注記 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

 付属のコードで壁側のモジュラー ジャックとデバイスを接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

6. モデムのソフトウェアで、ファクスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

 注記 モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、HP デバイスでファクスを受信できなくなります。

7. ここで、デバイスでのファクス呼び出し音の応答方法を、自動または手動に決めます。
   - 着信に [**自動**] で応答する設定の場合は、デバイスがすべての着信に応答し、ファクスを受信します。この場合、デバイスではファクスと電話を区別できません。着信が電話であると思われる場合、デバイスが着信に応答する前に自分で応答する必要があります。デバイスで着信を自動的に受信するには、**自動応答** 設定をオンにします。
   - ファクスを [**手動**] で受信する設定の場合は、ファクス受信に直接応答しなければ、デバイスでファクスを受信できません。手動で着信に応答するようにデバイスを設定するには、**自動応答** をオフにします。

8. ファクス テストを実行します。

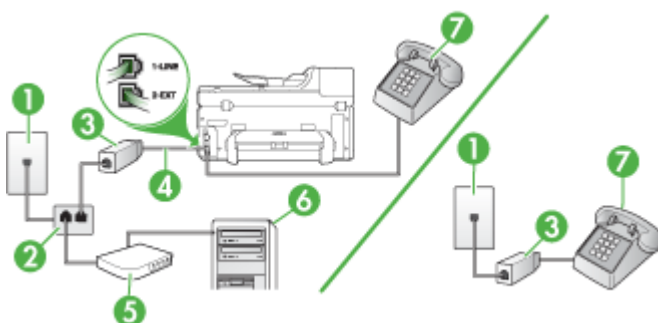
注記 コンピュータの背面に電話ポートが 2 つある場合には、パラレル スプリッターを使用する必要はありません。 電話はコンピュータのダイヤルアップ モデムの“OUT”ポートに差し込むことができます。

デバイスが着信に応答する前に受話器を取って、送信側ファクス機からのファクス トーンが聞こえた場合は、手動でファクスに応答します。

電話回線を電話、ファクス、およびコンピュータのダイヤルアップ モデムに使用する場合は、次の手順に従ってファクスをセットアップします。

デバイスとオプション機器のセットアップで問題が生じた場合は、お近くのサービス プロバイダ、またはメーカーにお問い合わせください。

電話とファクスとコンピュータの DSL/ADSL モデムを一緒に利用する

コンピュータに DSL/ADSL モデムがある場合は、次の手順に従います。

1	壁側のモジュラージャック
2	パラレル スプリッター
3	DSL/ADSL フィルタ
4	デバイスに付属の電話コード 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。
5	DSL/ADSL モデム
6	コンピュータ
7	電話

注記 パラレル スプリッターを購入する必要があります。 パラレル スプリッターは前面に RJ-11 ポートが 1 つ、背面に RJ-11 ポートが 2 つあります。 前面に 2 つの RJ-11 ポート、背面にプラグがある 2 線式の電話スプリッター、シリアル スプリッター、またはパラレル スプリッターは使用しないでください。

コンピュータの DSL/ADSL モデムの環境でデバイスをセットアップするには

1. DSL フィルタは、DSL プロバイダから入手してください。

   注記 DSL サービスと同じ電話番号を共有している自宅やオフィスの他の場所にある電話は、追加の DSL フィルタに接続する必要があります。そうしないと、電話をかけたときにノイズが発生します。

2. デバイスに付属の電話コードの一方の端を DSL フィルタに、もう一方の端をデバイス背面の 1-LINE というラベルの付いたポートに接続します。

   注記 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

   付属のコードで DSL フィルタとデバイスを接続しないと、ファックス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

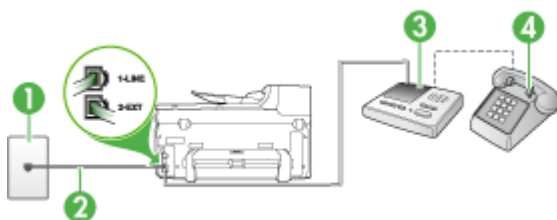
3. パラレル方式の電話システムを使用している場合、デバイスの背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取り、このポートに電話を接続します。
4. DSL フィルタをパラレル スプリッターに接続します。
5. DSL モデムをパラレル スプリッターに接続します。
6. パラレル スプリッターを壁側のモジュラー ジャックに接続します。
7. ファクス テストを実行します。

電話が鳴ると、**[応答呼出し回数]** で設定した数だけ呼び出し音が鳴った後にデバイスが自動応答します。デバイスは、ファクス受信トーンを送信側ファクスに対して発信し、ファクスを受信します。

デバイスとオプション機器のセットアップで問題が生じた場合は、お近くのサービス プロバイダ、またはメーカーにお問い合わせください。

ケース I： 電話とファクスと留守番電話を一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話番号で留守番電話も応答する場合は、次のようにデバイスを設定します。

図 10-9 デバイス背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	付属の電話コードを使用して、デバイス背面の 1-LINE ポートに接続します 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。
3	留守番電話
4	電話機 (オプション)

電話とファクスと留守番電話を一緒に利用する環境でデバイスをセットアップするには

1. デバイスの背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
2. 留守番電話のコードを壁側モジュラー ジャックから抜き、デバイスの背面の 2-EXT と書かれているポートに差し込みます。

   注記 デバイスに留守番電話を直接接続していないと、送信側ファクスからのファクス トーンが留守番電話に記録されてしまい、デバイスでファクスを受信できないことがあります。

3. デバイスに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端をデバイスの背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

   付属のコードで壁側のモジュラー ジャックとデバイスを接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

4. (オプション) 留守番電話に電話が内蔵されていない場合は、必要に応じて留守番電話の背面にある "OUT" ポートに電話をつなぐこともできます。

   注記 留守番電話が外部の電話に接続できない場合は、留守番電話と電話の両方をデバイスに接続するためにパラレル スプリッター (カプラーとも呼ぶ) を購入して使用します。 これらの接続には、標準の電話コードを使用できます。

5. **自動応答** の設定をオンにします。
6. 少ない呼び出し回数で応答するように留守番電話を設定します。
7. デバイスの [**応答呼出し回数**] 設定を変更し、呼び出し回数をサポートしている最大数に設定します (呼び出しの最大回数は、国/地域によって異なります)。
8. ファクス テストを実行します。

電話が鳴ると、設定済みの呼び出し回数後に留守番電話が応答し、録音しておいた応答メッセージが再生されます。 この間、デバイスは呼び出し音を監視し、ファクス トーンを待機しています。 ファクス受信トーンを検出すると、デバイスはファクス受信トーンを発信し、ファクスを受信します。ファクス トーンが検出されないと、デバイスは回線の監視を中止し、留守番電話は音声メッセージを録音できます。

デバイスとオプション機器のセットアップで問題が生じた場合は、お近くのサービス プロバイダ、またはメーカーにお問い合わせください。

ケース J : 電話とファクスとコンピュータ モデムと留守番電話を一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話回線にコンピュータ モデムと留守番電話も接続する場合は、次のように HP デバイスをセットアップします。

注記 コンピュータ ダイヤルアップ モデムが電話回線を HP デバイスと共有しているので、モデムと HP デバイスの両方を同時に使用することができません。 たとえば、コンピュータのダイヤルアップ モデムを使用して電子メールを送信したりインターネットにアクセスしたりしている最中に、HP デバイスのファクス機能を使用することはできません。

- 電話とファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムと留守番電話を一緒に利用する
- 電話とファクスとコンピュータ DSL/ADSL モデムと留守番電話を一緒に利用する

電話とファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムと留守番電話を一緒に利用する

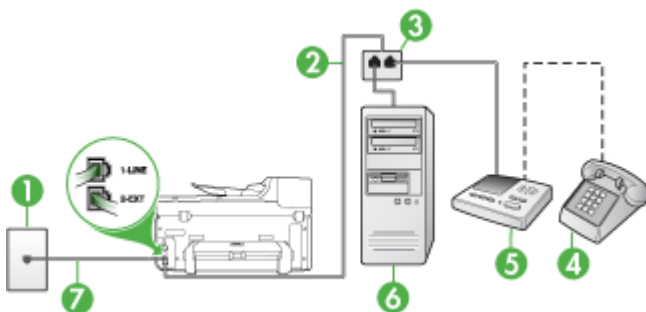
コンピュータの電話ポートの数により、コンピュータに HP デバイスを設定する方法は 2 種類あります。 はじめる前に、コンピュータの電話ポートが 1 つか 2 つかを確認してください。

- コンピュータに電話ポートが 1 つしかない場合、以下に示すようにパラレル スプリッターを購入する必要があります。(パラレル スプリッターは前面に RJ-11 ポートが 1 つ、背面に RJ-11 ポートが 2 つあります。 前面に 2 つの RJ-11 ポート、背面にプラグがある 2

線式の電話スプリッター、シリアル スプリッター、またはパラレル スプリッターは使用しないでください)。

図 10-10 パラレル スプリッターの例

• コンピュータの電話ポートが 1 つの場合は、次の手順に従ってデバイスをセットアップします。

図 10-11 デバイス背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	パラレル スプリッターに接続している電話コード
3	パラレル スプリッター
4	電話機 (オプション)
5	留守番電話
6	モデム搭載コンピュータ
7	"1-LINE" ポートに接続したデバイス付属の電話コードを使用する 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

電話ポートが 1 つあるコンピュータと同じ電話回線上にデバイスをセットアップするには

1. HP デバイスの背面の2-EXTと書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
2. コンピュータ (コンピュータのダイヤルアップ モデム) の背面と壁側のモジュラージャック間をつなぐ電話コードを見つけます。そのコードを壁側のモジュラー ジャックから抜き、デバイスの背面の 2-EXT と書かれているポートに差し込みます。
3. 留守番電話のコードを壁側モジュラー ジャックから抜き、デバイスの背面の 2-EXT と書かれているポートに差し込みます。

   注記 デバイスに留守番電話を直接接続していないと、送信側ファクスからのファクス トーンが留守番電話に記録されてしまい、デバイスでファクスを受信できないことがあります。

4. HP デバイスに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端をデバイスの背面の1-LINEと書かれているポートに接続します。

   注記 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

   付属のコードで壁側のモジュラー ジャックとデバイスを接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

5. (オプション) 留守番電話に電話が内蔵されていない場合は、必要に応じて留守番電話の背面にある "OUT" ポートに電話をつなぐこともできます。

   注記 留守番電話が外部の電話に接続できない場合は、留守番電話と電話の両方をデバイスに接続するためにパラレル スプリッター (カプラーとも呼ぶ) を購入して使用します。これらの接続には、標準の電話コードを使用できます。

6. モデムのソフトウェアで、ファクスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

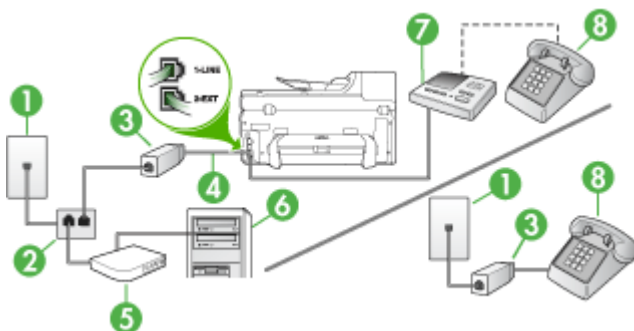
   注記 モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、デバイスでファクスを受信できなくなります。

7. **自動応答** の設定をオンにします。
8. 少ない呼び出し回数で応答するように留守番電話を設定します。
9. HP デバイスの[**応答呼出し回数**]設定を変更し、呼び出し回数をサポートしている最大数に設定します (呼び出しの最大回数は、国/地域によって異なります)。
10. ファクス テストを実行します。

   注記 2 つの電話ポートを持つコンピュータを使用している場合は、パラレル スプリッターは必要ありません。 留守番電話をコンピュータ背面の“OUT”ポートに差し込むことができます。

電話が鳴ると、設定済みの呼び出し回数後に留守番電話が応答し、録音しておいた応答メッセージが再生されます。この間、デバイスは呼び出し音を監視し、ファクス トーンを待機しています。ファクス受信トーンを検出すると、デバイスはファクス受信トーンを発信し、ファクスを受信します。ファクス トーンが検出されないと、デバイスは回線の監視を中止し、留守番電話は音声メッセージを録音できます。

デバイスとオプション機器のセットアップで問題が生じた場合は、お近くのサービス プロバイダ、またはメーカーにお問い合わせください。

電話とファクスとコンピュータ DSL/ADSL モデムと留守番電話を一緒に利用する

1	壁側のモジュラージャック
2	パラレル スプリッター
3	DSL/ADSL フィルタ
4	デバイス背面の 1-LINE ポートに接続されているデバイス付属の電話コード 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。
5	DSL/ADSL モデム
6	コンピュータ
7	留守番電話
8	電話機 (オプション)

注記 パラレル スプリッターを購入する必要があります。 パラレル スプリッターは前面に RJ-11 ポートが 1 つ、背面に RJ-11 ポートが 2 つあります。 前面に 2 つの RJ-11 ポート、背面にプラグがある 2 線式の電話スプリッター、シリアル スプリッター、または パラレル スプリッターは使用しないでください。

コンピュータの DSL/ADSL モデムの環境でデバイスをセットアップするには

1. DSL/ADSL フィルタは、DSL/ADSL プロバイダから入手してください。

   注記 DSL/ADSL サービスと同じ電話番号を共有している自宅やオフィスの他の場所にある電話は、追加の DSL/ADSL フィルタに接続する必要があります。そうしないと、電話をかけたときにノイズが発生します。

2. デバイスに付属の電話コードの一方の端を DSL/ADSL フィルタに、もう一方の端をデバイス背面の 1-LINE というラベルの付いたポートに接続します。

   注記 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

   付属のコードで DSL/ADSL フィルタとデバイスを接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

3. DSL/ADSL フィルタをスプリッターに接続します。
4. 留守番電話のコードを壁側モジュラー ジャックから抜き、デバイス背面の 2-EXT というラベルの付いたポートに差し込みます。

   注記 デバイスに留守番電話を直接接続していないと、送信側ファクスからのファクス トーンが留守番電話に記録されてしまい、デバイスでファクスを受信できないことがあります。

5. DSL モデムをパラレル スプリッターに接続します。
6. パラレル スプリッターを壁側のモジュラー ジャックに接続します。
7. 少ない呼び出し回数で応答するように留守番電話を設定します。

8. デバイスの [**応答呼出し回数**] 設定を変更し、呼び出し回数をサポートされている最大数に設定します。

   注記 呼び出しの最大回数は、国/地域によって異なります。

9. ファクス テストを実行します。

電話が鳴ると、設定した回数だけ呼び出し音が鳴った後にアンサーフォンが応答し、録音されている応答メッセージを再生します。 この間、デバイスは呼び出し音を監視し、ファクス トーンを待機しています。 ファクス着信トーンを検出すると、デバイスはファクス受信トーンを発信し、ファクスを受信します。ファクス トーンが検出されないと、デバイスは回線の監視を中止し、留守番電話が音声メッセージを録音できるようになります。

同じ電話回線を電話とファクスに使用しており、コンピュータの DSL モデムがある場合は、次の手順に従ってファクスをセットアップします。

デバイスとオプション機器のセットアップで問題が生じた場合は、お近くのサービス プロバイダ、またはメーカーにお問い合わせください。

ケース K： 電話とファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムとボイス メールを一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話回線でコンピュータ ダイヤルアップ モデムも利用して電話会社のボイスメール サービスも利用する場合は、次のようにデバイスを設定します。

注記 ファクスと同じ電話番号でボイス メール サービスを利用している場合、ファクスを自動受信することはできません。ファクスを手動で受信する必要があります。つまり、受信ファクスの着信に応答するためにその場にいる必要があります。これ以外にファクスを自動受信するには、電話会社に問い合わせて着信識別を利用するか、ファクス専用の別回線を取得してください。

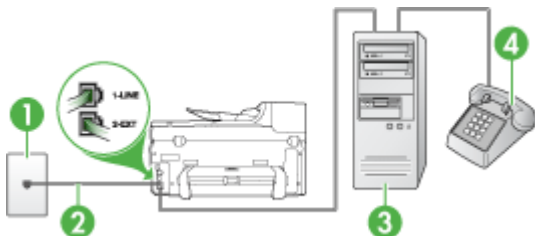
コンピュータ ダイヤルアップ モデムが電話回線をデバイスと共有しているので、モデムとデバイスの両方を同時に使用することができません。 たとえば、コンピュータ ダイヤルアップ モデムを使用して電子メールを送信したりインターネットにアクセスしたりしている場合、デバイスをファクスには使用できません。

コンピュータの電話ポートの数により、コンピュータにデバイスをセットアップする方法は 2 種類あります。はじめる前に、コンピュータの電話ポートが 1 つか 2 つかを確認してください。

- コンピュータに 1 つの電話ポートしかない場合、以下に示すようにパラレル スプリッター (カプラーとも呼びます) を購入する必要があります(パラレル スプリッターは前面に RJ-11 ポートが 1 つ、背面に RJ-11 ポートが 2 つあります。前面に 2 つの RJ-11 ポート、背面にプラグがある 2 線式の電話スプリッター、シリアル スプリッター、またはパラレル スプリッターは使用しないでください)。

図 10-12 パラレル スプリッターの例

- コンピュータの電話ポートが 2 つある場合は、下記の手順でデバイスをセットアップしてください。

図 10-13 デバイス背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	デバイス付属の電話コードを使用して 1-LINE ポートに接続する 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。
3	パラレル スプリッター
4	モデム搭載コンピュータ
5	電話

電話ポートが 2 つあるコンピュータと同じ電話回線上にデバイスをセットアップするには

1. デバイスの背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
2. コンピュータ (コンピュータのダイヤルアップ モデム) の背面と壁側のモジュラージャック間をつなぐ電話コードを見つけます。そのコードを壁側のモジュラー ジャックから抜き、デバイスの背面の 2-EXT と書かれているポートに差し込みます。
3. 電話をコンピュータ ダイヤルアップ モデムの背面の "OUT" ポートにつなぎます。
4. デバイスに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラージャックに、もう一方の端をデバイスの背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

   付属のコードで壁側のモジュラー ジャックとデバイスを接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

5. モデムのソフトウェアで、ファクスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

   注記 モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、デバイスでファクスを受信できなくなります。

6. **自動応答** の設定をオフにします。
7. ファクス テストを実行します。

ファクス着信に直接応答してください。そうしないとデバイスでファクスを受信できません。

デバイスとオプション機器のセットアップで問題が生じた場合は、お近くのサービス プロバイダ、またはメーカーにお問い合わせください。

シリアル方式のファクスのセットアップ

シリアル方式の電話システムを使用してファクス用にデバイスをセットアップする方法の詳細については、お住まいの国/地域のファクス構成専用 Web サイトを参照してください。

オーストリア	www.hp.com/at/faxconfig
ドイツ	www.hp.com/de/faxconfig
スイス(フランス語)	www.hp.com/ch/fr/faxconfig
スイス(ドイツ語)	www.hp.com/ch/de/faxconfig
イギリス	www.hp.com/uk/faxconfig
フィンランド	www.hp.fi/faxconfig
デンマーク	www.hp.dk/faxconfig
スウェーデン	www.hp.se/faxconfig
ノルウェイ	www.hp.no/faxconfig
オランダ	www.hp.nl/faxconfig
ベルギー (オランダ語)	www.hp.be/nl/faxconfig
ベルギー (フランス語)	www.hp.be/fr/faxconfig
ポルトガル	www.hp.pt/faxconfig
スペイン	www.hp.es/faxconfig
フランス	www.hp.com/fr/faxconfig
アイルランド	www.hp.com/ie/faxconfig
イタリア	www.hp.com/it/faxconfig

デバイスの構成 (Windows)

注記 インストール プログラムを実行するには、お使いのコンピュータに Microsoft Internet Explorer 6.0、またはそれ以降がインストールされていなければなりません。

また、Windows 2000、Windows XPまたは Windows Vista にプリンタ ドライバをインストールするには、管理者権限がなければなりません。

デバイスをセットアップする場合は、ソフトウェアのインストール後に接続することをお勧めします。インストール プログラムはセットアップが簡単にできるように設計されています。ただし、ケーブルを最初に接続した場合は、ソフトウェアのインストール前にデバイスを接続するを参照してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

• 直接接続
• ネットワーク接続

直接接続

USB ケーブルを使用して、デバイスをお使いのコンピュータに直接接続できます。

注記 デバイス ソフトウェアをインストールして Windows を実行しているコンピュータにデバイスを接続した場合、デバイス ソフトウェアを再インストールしなくても USB ケーブルを使用して同じコンピュータに別のデバイスを接続できます。

デバイスをセットアップする場合は、ソフトウェアによりメッセージが表示された場合のみ、デバイスを接続することをお勧めします。ただし、ケーブルを最初に接続した場合は、ソフトウェアのインストール前にデバイスを接続するを参照してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

• デバイス接続前にソフトウェアをインストールする (推奨)
• ソフトウェアのインストール前にデバイスを接続する
• ローカル共有ネットワークでデバイスを共有する

デバイス接続前にソフトウェアをインストールする (推奨)

ソフトウェアをインストールするには

1. 実行中のアプリケーションをすべて終了します。
2. スタータ CD を CD ドライブに挿入します。 CD メニューが自動的に実行されます。 CD が自動的に起動しない場合は、スタータ CD のセットアップ アイコンをダブルクリックします。

3. CD メニューで **[USB 接続デバイスをインストール]** をクリックし、画面の指示に従って操作します。
4. 画面の指示に従って、デバイスの電源を入れ、USB ケーブルを使用してデバイスをコンピュータに接続します。

注記 ローカル共有ネットワークとして知られている単純なネットワークを使用して、デバイスを別のコンピュータと共有することもできます。 詳細については、ローカル共有ネットワークでデバイスを共有するを参照してください。

ソフトウェアのインストール前にデバイスを接続する

デバイス ソフトウェアのインストール前にデバイスをコンピュータに接続した場合、画面に **[新しいハードウェアの検出]** ウィザードが表示されます。

注記 デバイスの電源を入れた場合は、インストール プログラム実行中にデバイスの電源を切ったり、ケーブルをデバイスから外さないでください。 これに従わないとインストール プログラムが完了しません。

デバイスを接続するには

1. **[新しいハードウェアの検出]** ダイアログ ボックスにプリンタ ドライバを検索する方法が示されたら、[詳細] オプションを選択して **[次へ]** をクリックします。

    注記 **[新しいハードウェアの検出]**ウィザードでドライバの自動検索が実行されないようにしてください。

2. ドライバの場所を指定するチェック ボックスを選択し、ほかのチェック ボックスが選択されていないことを確認してください。
3. スタータ CD を CD ドライブに挿入します。 CD メニューが表示された場合は、CD メニューを閉じます。
4. スタータ CD のルート ディレクトリの場所を指定し (D: など)、**[OK]** をクリックします。
5. **[次へ]** をクリックし、画面の指示に従います。

6. **[完了]** をクリックして、**[新しいハードウェアが見つかりました]**ウィザードを閉じます。 ウィザードは、自動的にインストール プログラムを起動します (これには時間がかかる場合があります)。
7. インストール処理が完了します。

注記 ローカル共有ネットワークとして知られている単純なネットワークを使用して、デバイスを別のコンピュータと共有することもできます。 詳細については、ローカル共有ネットワークでデバイスを共有するを参照してください。

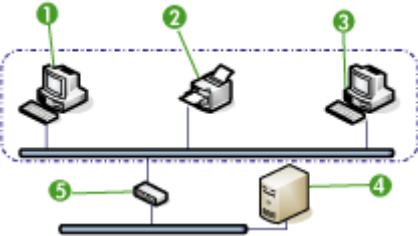
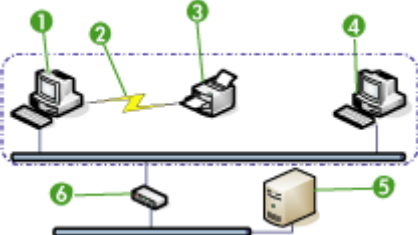
ローカル共有ネットワークでデバイスを共有する

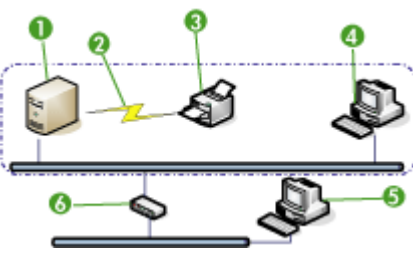
ローカル共有ネットワークでは、デバイスは選択したコンピュータ (サーバ) の USB コネクタに直接接続され、他のコンピュータ (クライアント) と共有されます。

注記 ローカル接続されたデバイスを共有する場合は、最新のオペレーティング システムを使用しているコンピュータをサーバとして使用してください。

この設定は、小規模のグループ、または利用頻度が少ない場合に使用します。多くのユーザーが共有デバイスで印刷すると、接続されているコンピュータの速度は遅くなります。

共有されるのは印刷機能だけです。 スキャンおよびコピー機能は共有されません。

デバイスを共有するには

1. **[スタート]** をクリックして **[設定]** をポイントし、**[プリンタ]** または **[プリンタと FAX]** をクリックします。
   - Or -
   [スタート] をクリックして **[コントロール パネル]** をクリックし、**[プリンタ]** をダブルクリックします。
2. デバイスのアイコンを右クリックして **[プロパティ]** をクリックしてから **[共有]** タブをクリックします。
3. デバイスを共有するためのオプションを選択し、デバイスの共有名を入力します。

ネットワーク接続

デバイスにネットワーク機能がある場合、デバイスをネットワークに直接接続してネットワーク環境で共有できます。このタイプの接続では、組み込み Web サーバを使用してネットワーク上のどこからでもデバイスを管理できます。

注記 インストール プログラムを実行するには、お使いのコンピュータに Microsoft Internet Explorer 6.0、またはそれ以降がインストールされていなければなりません。

お使いのタイプのネットワークにインストール オプションを選択します：

ネットワークの状況	ｾｯﾄｱｯﾌﾟ ﾀｲﾌﾟ
ピアツーピアおよびネットワークへの接続 	各コンピュータは有線または無線ネットワーク接続を使用して、デバイスに接続します。ネットワークにアクセスしようとしているデバイスのハードウェア アドレスがアクセス ポイントにない場合、アクセス ポイントはネットワークへのデバイスのアクセスを拒否します。デバイスを使用しているコンピュータにソフトウェアをインストールします。詳細については、ネットワークにデバイスをインストールを参照してください。 **1.** クライアント コンピュータ A **2.** HP デバイス **3.** クライアント コンピュータ B **4.** ネットワーク サーバ **5.** ルータ/ハブ
ローカルで共有されたデバイス 	1 台のコンピュータはプリント サーバとして使用します (クライアントA)。USB ケーブルを使用してデバイスをコンピュータに直接接続します。クライアント A はデバイスを共有します。クライアント Bは、共有デバイスをインストールして、このデバイスで印刷することができます。クライアント コンピュータはデバイスからのみ印刷できます。デバイス ソフトウェアはサーバにインストールしてから、クライアント コンピュータにインストールしま

(続き)

ネットワークの状況	ｾｯﾄｱｯﾌﾟ ﾀｲﾌﾟ
	す。詳細については、ネットワークにデバイスをインストールおよびデバイス ソフトウェアをクライアント コンピュータにインストールを参照してください。 1. クライアント コンピュータ A 2. USB 接続 3. HP デバイス 4. クライアント コンピュータ B 5. ネットワーク サーバ 6. ルータ/ハブ
サーバ接続	ネットワーク サーバをプリント サーバとして使用する場合は、デバイスを USB ケーブルで直接接続します。インストールされたデバイスは共有されます。ネットワーク上の他のコンピュータは、共有デバイスをインストールできます。管理者は、ネットワーク サーバからデバイスを監視できます。クライアント コンピュータでは、デバイスによる印刷のみ実行できます。デバイス ソフトウェアはサーバにインストールしてから、クライアント コンピュータにインストールしてください。詳細については、ネットワークにデバイスをインストールおよびデバイス ソフトウェアをクライアント コンピュータにインストールを参照してください。 1. ネットワーク サーバ 2. USB 接続 3. HP デバイス

ネットワークの状況	ｾｯﾄｱｯﾌﾟ ﾀｲﾌﾟ
	4. クライアント コンピュータ A **5.** クライアント コンピュータ B **6.** ルータ/ハブ

* **クライアント/サーバ・ネットワーク**： ネットワークに専用プリント サーバとして機能しているコンピュータがある場合、プリンタ ソフトウェアをサーバにインストールし、プリンタ ソフトウェアをクライアント コンピュータにインストールします。 詳細については、ネットワークにデバイスをインストールおよびデバイス ソフトウェアをクライアント コンピュータにインストールを参照してください。 この方法では、デバイスのすべての機能を共有することはできません。 クライアント コンピュータでは、デバイスによる印刷のみ実行できます。
* **ピア ツー ピア ネットワーク**： ピア ツー ピア ネットワークがある場合 (専用プリント サーバのないネットワーク)、デバイスを使用するコンピュータにソフトウェアをインストールします。 詳細については、ネットワークにデバイスをインストールを参照してください。

また、Windows で **[プリンタの追加]** ウィザードを使用すると、両方のタイプのネットワークでネットワーク プリンタに接続することもできます。詳細については、[プリンタの追加] を使用してプリンタ ドライバをインストールを参照してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

* ネットワークにデバイスをインストール
* デバイス ソフトウェアをクライアント コンピュータにインストール
* [プリンタの追加] を使用してプリンタ ドライバをインストール
* IPV6 専用ネットワーク環境で、デバイスをインストールするには

ネットワークにデバイスをインストール

次のようなネットワーク シナリオでは、以下の手順を使用してプリンタソフトウェアをインストールします。

ピア ツー ピア ネットワークがある場合 (専用プリント サーバのないネットワーク)

1. デバイスのネットワーク ポートから保護カバーを取り外し、デバイスをネットワークに接続します。
2. スタータ CD を CD ドライブに挿入します。 CD のメニューが自動的に起動します。 CD メニューが自動的に起動しない場合、コンピュータの CD ドライブを開き、**[Setup.exe]** をダブルクリックします。
3. CD メニューで **[インストール]** をクリックし、画面の指示に従います。
4. **[接続の種類]** 画面で **[ネットワーク/ワイヤレス デバイス]** を選択し、**[次へ]** をクリックします。
5. 画面の指示に従って、インストールを完了します。

注記 Windows クライアント コンピュータとデバイスを共有するには、デバイス ソフトウェアをクライアント コンピュータにインストールおよびローカル共有ネットワークでデバイスを共有するを参照してください。

デバイス ソフトウェアをクライアント コンピュータにインストール

プリント サーバとして機能しているコンピュータにプリンタ ドライバをインストールすると、印刷機能を共有できます。 ネットワーク デバイスを使用する個々の Windows ユーザーは、それぞれのコンピュータ (クライアント) にソフトウェアをインストールする必要があります。

クライアント コンピュータは、次の方法でデバイスに接続できます。

- [プリンタ] フォルダで、**[プリンタの追加]** アイコンをダブルクリックし、ネットワーク インストールに関する説明に従います。詳細については、[プリンタの追加] を使用してプリンタ ドライバをインストールを参照してください。
- ネットワーク上のデバイスの位置を参照し、[プリンタ] フォルダにプリンタをドラッグします。
- デバイスを追加し、ネットワーク上の INF ファイルからソフトウェアをインストールします。 スタータ CD の INF ファイルは、CD のルート ディレクトリに格納されています。

[プリンタの追加] を使用してプリンタ ドライバをインストール

1. **[スタート]** をクリックして **[設定]** をクリックし、**[プリンタ]** または **[プリンタと FAX]** をクリックします。
   -または-
   [スタート] をクリックして **[コントロール パネル]** をクリックし、**[プリンタ]** をダブルクリックします。
2. **[プリンタの追加]** をダブルクリックし、**[次へ]** をクリックします。
3. **[ネットワーク プリンタ]** または **[ネットワーク プリンタ サーバ]** を選択します。
4. **[次へ]** をクリックします。
5. 次のいずれかの操作を行います。
   共有デバイスのネットワーク パスまたはキュー名を入力し、**[次へ]** をクリックします。 プリンタ モデルを選択するプロンプトが表示されたら、**[ディスク使用]** をクリックします。
   [次へ] をクリックし、共有プリンタの一覧からデバイスを選択します。
6. **[次へ]** をクリックし、画面の説明に従ってインストールを完了します。

IPV6 専用ネットワーク環境で、デバイスをインストールするには

デバイスを IPv6 専用ネットワーク上で、Windows XP または Windows Vista 搭載のコンピュータに接続する場合は、プリンタ ドライバをインストールする際の指示に従ってください。

注記 スターター CD からデバイス ソフトウェアをインストールしようとすると、デバイスを見つけることができず、ソフトウェアの設定を完了できません。

注記 IPv6 専用ネットワーク環境では、プリンタ ドライバとデジタル ダイレクト ファイリングだけが利用できます。ツールボックスやソリューションセンターなど、その他のソフトウェアの機能は使用できません。

注記 IPv6 ネットワークを使用している場合、無線 LAN のネットワーク概要を表示したときに、ディスプレイには無線接続が表示されず、「リンクなし」と表示されます。無線ネットワーク設定を確認するには、ネットワーク設定ページを印刷します。詳細については、ネットワーク設定ページの理解を参照してください。

Windows XP にプリンタ ドライバをインストールするには

1. HP デバイスをネットワークに接続します。
2. スターター CD の util\ipv6 フォルダから、HP 標準 TCP/IP ポート モニタをインストールします。

   注記 デバイスが特定されないことを示すダイアログ ボックスが表示された場合は、次へをクリックしてください。

3. デバイスからネットワーク設定ページを印刷し、 IP アドレスを取得します。 詳細はネットワーク設定ページの理解を参照してください。
4. Windows では、[プリンタの追加] ウィザードで、ローカルプリンタを作成し、HP 標準 TCP/IP ポートを選択します。
5. 指示されたら、ネットワーク構成ページに記載されている HP デバイス の Stateless IPv6 アドレスを入力します。 例 : 2001:DB8:1::4A50:33GFF:FE32:3333。

   注記 IPv6 専用ネットワーク環境で、Windows XP を実行している場合は、デバイスの状態を確認できません。

Windows Vista にプリンタ ドライバをインストールするには

1. **[スタート]**、**[ネットワーク]** の順にクリックします。
2. インストールしているデバイスを右クリックして **[インストール]** をクリックします。
3. プリンタ ドライバに関するプロンプトが表示されたら、スターター CD のルート レベルを選択します。

デバイスの構成 (Mac OS X)

USB ケーブルを使用して一台の Macintosh コンピュータにデバイスを接続することも、ネットワーク上で他のユーザとデバイスを共有することもできます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ネットワークまたは直接接続用のソフトウェアのインストール
- ローカル共有ネットワークでデバイスを共有する

ネットワークまたは直接接続用のソフトウェアのインストール

直接接続用のソフトウェアをインストールするには

1. USB ケーブルを使用してデバイスをコンピュータに接続します。
2. Starter CD を CD ドライブに挿入します。
3. **[HP インストーラ]** をクリックして、画面に表示される指示に従います。
4. 必要に応じて、デバイスを別の Macintosh コンピュータ ユーザと共有します。
   - **直接接続**： デバイスを別の Macintosh コンピュータ ユーザと共有します。 詳細については、ローカル共有ネットワークでデバイスを共有するを参照してください。
   - **ネットワーク接続の場合**： ネットワーク上でデバイスを使用する個々の Macintosh ユーザーは、それぞれのコンピュータ (クライアント) にプリンタソフトウェアをインストールする必要があります。

ネットワーク接続用のソフトウェアをインストールするには

1. デバイスのネットワーク ポートから保護カバーを取り外し、デバイスをネットワークに接続します。
2. Starter CD を CD ドライブに挿入します。
3. **[HP インストーラ]** をダブルクリックして、画面に表示される指示に従います。
4. **[接続の種類]** 画面で **[ワイヤード ネットワーク/ワイヤレス]** を選択し、**[次へ]** をクリックします。
5. 画面の指示に従って、インストールを完了します。

ローカル共有ネットワークでデバイスを共有する

デバイスを直接接続した場合でも、プリンタ共有として知られている単純なネットワークを使用して、デバイスを別のコンピュータと共有することもできます。このプリンタ共有は、小規模のグループ、または利用頻度が少ない場合に使用します。多くのユーザーが共有デバイスで印刷すると、接続されているコンピュータの速度は遅くなります。

Mac OS X 環境でデバイスを共有するための基本的な必要条件：

- Macintosh コンピュータは TCP/IP によりネットワーク上で通信しなければならず、IP アドレスがなければなりません。 (AppleTalk はサポートされていません。)
- 共有されるデバイスは、ホスト Macintosh コンピュータ上の内蔵 USB ポートに接続されていなければなりません。
- 共有デバイスを使用するホスト Macintosh コンピュータとクライアント Macintosh コンピュータの両方にデバイス ドライバまたはデバイス PPD がインストールされていなければなりません。 (インストール プログラムを実行して、デバイス共有ソフトウェアと関連のヘルプ ファイルをインストールできます。)

USB デバイス共有についての詳細は、Apple Web サイト (www.apple.com)、またはコンピュータの Apple Macintosh Help を参照してください。

注記 プリンタ共有は Mac OS 10.4 およびそれ以降でサポートされています。

注記 ホストとクライアントのコンピュータでプリンタ共有が有効になっている必要があります。[**システム環境設定**] を開き、[**共有**] を選択し、[**プリンタ共有**] をクリックします。

Mac OS X を実行中のコンピュータでデバイスを共有するには

1. デバイスに接続されているすべての Macintosh コンピュータ (ホストおよびクライアント) のプリンタ共有をオンにします。
2. **[システム環境設定]** を開き、**[プリントとファクス]** をクリックし、共有するプリンタを左側の一覧から選択して、**[このプリンタを共有する]** を選択します。
3. ネットワーク上の他の Macintosh コンピュータ (クライアント) から印刷するには、次の手順に従います。
   a. 印刷するドキュメントで、**[ファイル]** をクリックし、**[用紙設定]** を選択します。
   b. **[対象プリンタ]** の横にあるドロップダウン メニューで、**[共有プリンタ]** を選択し、使用するデバイスを選択します。
   c. **[用紙サイズ]** を選択し、**[OK]** をクリックします。
   d. ドキュメントで、**[ファイル]** をクリックし、**[プリント]** を選択します。
   e. **[プリンタ]** の横にあるドロップダウン メニューで、**[共有プリンタ]** を選択し、使用するデバイスを選択します。
   f. 必要に応じて追加の設定を行い、**[プリント]** をクリックします。

デバイスのワイヤレス通信のセットアップ (一部のモデルのみ)

デバイスのワイヤレス通信は、次の方法でセットアップすることができます。

セットアップ方法	インフラストラクチャ ワイヤレス通信	アドホック ワイヤレス通信
デバイスのコントロール パネル (推奨)	✔	✔

(続き)

ネットワーク ツールボックス		

注記 問題が発生した場合は、ワイヤレス通信に関連する問題の解決 を参照してください。

デバイスがネットワーク ケーブルを使用してネットワーク接続されていないことを確認します。

送信デバイスには内蔵 802.11 機能があるか、または 802.11 ワイヤレス カードがインストールされていなければなりません。

デバイスとデバイスを使用するコンピュータは、同じサブネット上にある必要があります。

プリンタソフトウェアをインストールする前に、ネットワークの設定を確認しておいてください。 システム管理者に問い合わせるか、または以下の作業を行います :

- ネットワークのネットワーク名または Service Set Identifier (SSID) と通信モード (インフラストラクチャまたはアドホック) を、ネットワークのワイヤレス アクセス ポイント (WAP) の構成ユーティリティ、またはコンピュータのネットワーク カードから取得します。
- ネットワークで使用する暗号化タイプを見つけます (Wired Equivalent Privacy (WEP) など)。
- ワイヤレス デバイスのセキュリティ パスワード、または暗号化キーを見つけます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 802.11 ワイヤレス ネットワーク設定の理解
- インストール プログラムを使用してワイヤレス通信をセットアップするには (Windows)
- インストーラでワイヤレス通信をセットアップするには (Mac OS X)
- デバイスのコントロール パネルとワイヤレス セットアップ ウィザードを使用してワイヤレス通信をセットアップするには
- アド ホック ワイヤレス ネットワーク接続でデバイスを接続
- ワイヤレス通信をオフにするには
- HP デバイスを使用できるようにファイアウォールを設定する
- 接続方法の変更
- ワイヤレス ネットワークのセキュリティ保証ガイドライン

802.11 ワイヤレス ネットワーク設定の理解

ネットワーク名 (SSID)

デフォルトでは、デバイスはワイヤレス ネットワーク名、または "hpsetup" という名前の Service Set Identifier (SSID) を探します。 お使いのネットワークには、異なる SSID があることがあります。

通信モード

通信モードには 2 つのオプションがあります :

- **アドホック** : アドホック ネットワーク上では、デバイスはアドホック通信モードに設定され、WAP を使用しないでその他のワイヤレス デバイスと直接通信します。
  アドホック ネットワークにあるすべてのデバイスが、以下の要件を満たしている必要があります。
  - 802.11 互換
  - 通信モードがアドホックである
  - 同じネットワーク名 (SSID) である
  - 同じサブネットと同じチャンネル上にある
  - 同じ 802.11 セキュリティ設定がある
- **インフラストラクチャ (推奨)** : インフラストラクチャ ネットワークでは、デバイスはインフラストラクチャ通信モードに設定され、ワイヤードかワイヤレスかに関係なく、デバイスはワイヤレス ルータなどのワイヤレス アクセス ポイントを通じてネットワーク上の他のデバイスと通信します。通常、アクセス ポイントは、小規模ネットワークでルータまたはゲートウェイとして動作します。

セキュリティ設定

注記 デバイスで利用可能な設定については、ネットワーク設定ページの理解を参照してください。

ワイヤレス セキュリティの詳細については、www.wifi.org を参照してください。

- **ネットワークの認証** : デバイスの出荷時のデフォルト設定は Open で、これは認証や暗号化にセキュリティを必要としません。他には OpenThenShared、Shared、WPA-PSK (Wi-Fi® Protected Access Pre-Shared Key) などの値があります。
  WPA はネットワーク上のデータ保護のレベルと、既存および将来の Wi-Fi ネットワークのアクセス コントロールを向上させます。

802.11 基準のオリジナルのネイティブ セキュリティ機構である、WEP の既存の弱点に対応しています。

WPA2 は第二世代の WPA セキュリティで、認証を受けたユーザしかワイヤレス ネットワークにアクセスできないようにして、企業や Wi-Fi ユーザに高レベルの安全を提供します。

- **データの暗号化**：
    - Wired Equivalent Privacy (WEP) では、あるワイヤレス デバイスから別のワイヤレス デバイスにラジオ波上で送信するデータを暗号化することで、セキュリティを提供します。 WEP 対応のネットワーク上のデバイスは、WEP キーを使用してデータを暗号化します。 ネットワークで WEP を使用している場合、使用する WEP キーを知っている必要があります。
    - WPA の暗号化には、Temporal Key Integrity Protocol (TKIP) が使用されています。
    - WPA2 によって新しい暗号化スキームである Advanced Encryption Standard (AES) が提供されます。 AES は 暗号文ブロック連鎖モード (CCM) で定義され、Independent Basic Service Set (IBSS) をサポートして、アドホック モードで動作しているクライアント ワークステーション間のセキュリティを可能にします。

インストール プログラムを使用してワイヤレス通信をセットアップするには (Windows)

注記 この方法では、無線ネットワークがセットアップおよび実行されている必要があります。USB ケーブルも必要です。インストーラによってメッセージが表示されるまでは、USB ケーブルを接続しないでください。

1. 開いているドキュメントがあれば保存します。コンピュータで実行中のアプリケーションをすべて終了します。
2. スタータ CD を CD ドライブに挿入します。CD のメニューが自動的に起動します。 CD が自動的に起動しない場合は、スタータ CD のセットアップ アイコンをダブルクリックします。

3. CD メニューで **[ネットワーク/ワイヤレス デバイスのインストール]** をクリックし、画面の指示に従って操作します。

   注記 インストール時にコンピュータ上のファイアウォール ソフトウェアにメッセージが表示されたら、メッセージの [**Always permit/Allow**] オプションを選択します。このオプションを選択すると、お使いのコンピュータにソフトウェアを正常にインストールできます。

4. メッセージが表示されたら、USB ワイヤレス設定ケーブルを一時的に接続します。
5. 画面に表示される指示に従って、インストールを完了します。
6. メッセージが表示されたら、USB ワイヤレス設定ケーブルを取り外します。

インストーラでワイヤレス通信をセットアップするには (Mac OS X)

1. USB ワイヤレス設定ケーブルを HP デバイスの背後にあるポートに差し込み、それからコンピュータの USB ポートに差し込みます。
2. スタータ CD をコンピュータに挿入します。
3. スタータ CD の HP インストーラ アイコンをダブルクリックし、画面の指示に従います。
4. メッセージが表示されたら、USB ワイヤレス設定ケーブルを取り外します。

デバイスのコントロール パネルとワイヤレス セットアップ ウィザードを使用してワイヤレス通信をセットアップするには

ワイヤレス セットアップ ウィザードを使用すると、デバイスへのワイヤレス接続を簡単に設定したり、管理したりできます。

注記 この方法を使用するには、ワイヤレス ネットワークがセットアップおよび実行されている必要があります。

1. デバイス ハードウェアを設定します (デバイスに付属のセットアップ ポスターを参照)。
2. デバイスのコントロール パネルの 🔧 (**セットアップ**) を押します。
3. [**ネットワーク**] を選択します。

4. **[ワイヤレス設定ウィザード]** を選択します。
5. 画面の指示に従って、セットアップを完了します。

注記 ソフトウェアをインストールしていない場合は、接続後にインストールしてください。

アド ホック ワイヤレス ネットワーク接続でデバイスを接続

方法 1

1. お使いのコンピュータとデバイスでワイヤレスをオンにします。
2. コンピュータの場合 :
   a. **[スタート]** をクリックし、**[設定]** をポイントし、**[ネットワーク接続]** をクリックします。
   - または -
   [スタート] をクリックし、**[コントロール パネル]** をポイントしてから、 **[ネットワーク接続]** をダブルクリックします。
   b. **[ワイヤレス ネットワーク接続]** アイコンをダブルクリックします。
   c. **[一般]** タブで、**[ワイヤレス デバイスの表示]** をクリックします。
   d. ワイヤレス デバイスを選択し、ネットワーク名 (SSID) hpsetup に接続します (このネットワーク名はデフォルトで、HP デバイスが作成するアドホック ネットワークです)。

注記 HP デバイスが以前に別のネットワーク用に構成されていた場合、ネットワークのデフォルトを復元すれば、デバイスが「hpsetup」を使用できるようになります。ネットワークのデフォルトを復元するには、次の手順に従ってください。

管理者パスワードとネットワーク設定のリセット : セットアップ、ネットワーク、 ネットワーク デフォルトに戻す の順に選択します。詳細については、一般的なトラブルシューティング ヒントとリソースを参照してください。

ワイヤレス通信をオフにするには

デバイスのコントロール パネル： **セットアップ**を押し、[**ネットワーク メニュー**] を選択し、[**ワイヤレス ラジオ**] を選択し、次に [**オン**] または [**オフ**] を選択します。

HP デバイスを使用できるようにファイアウォールを設定する

パーソナル ファイアウォールは、お使いのコンピュータ上で動作しているセキュリティ ソフトウェアであり、HP デバイスとコンピュータ間のネットワーク通信を妨げる場合があります。

次のような問題が生じる場合、ファイアウォールが通信を妨げている可能性があります。

- HP ソフトウェアのインストール時にプリンタが見つからない
- 印刷できない、印刷ジョブがキューでスタックしている、プリンタがオフラインになる
- スキャン通信エラーまたはスキャナ ビジー メッセージ
- コンピュータ上でプリンタ状態が表示できない

ファイアウォールによって、HP デバイスが検出される場所を HP デバイスがネットワーク上のコンピュータに通知できなくなっている可能性があります。HP ソフトウェアで HP デバイスをインストール時に検出できない (さらに HP デバイスがネットワーク上にあることがわかっている) 場合、または既に HP ソフトウェアを正常にインストールしているが問題が発生する場合は、以下の手順を試みてください。

1. Windows を実行しているコンピュータを使用している場合は、ファイアウォール構成ユーティリティで、ローカル サブネット (「スコープ」または「ゾーン」と呼ばれることもある) のコンピュータを信頼するオプションを探します。ローカル サブネット上のすべてのコンピュータを信頼することによって、ご家庭のコンピュータおよびデバイスがインターネットから保護されながら相互に通信できます。これは最も簡単な使用方法です。
2. ローカル サブネット上のコンピュータを信頼するオプションがない場合、受信 UDP ポート 427 をお使いのファイアウォールの許可ポート リストに追加します。

注記 すべてのファイアウォールで受信ポートと送信ポートを区別する必要があるとは限りません。一部のファイアウォールで必要です。

別のよくある問題は、お使いのファイアウォールが HP ソフトウェアのネットワーク アクセスを信頼していないことです。この問題は、HP ソフトウェアをインストールしたときにファイアウォールのダイアログ ボックスが表示され、それに対して「ブロックする」と応答した場合に起こる可能性があります。

Windows を実行しているコンピュータでこれが起きた場合、ファイアウォールの信頼済みアプリケーションのリストに次のプログラムがあることを確認し、なければ追加します。

- **C:\program files\HP\digital imaging\bin** にある **hpqkygrp.exe**
- **C:\program files\HP\digital imaging\bin** にある **hpqscnvw.exe**
- **C:\program files\HP\digital imaging\bin** にある **hpqste08.exe**
- **C:\program files\HP\digital imaging\bin** にある **hpqtra08.exe**
- **C:\program files\HP\digital imaging\bin** にある **hpqthb08.exe**

注記 ファイアウォール ポート設定を構成する方法と HP ファイルを「信頼済み」リストに追加する方法については、ファイアウォールのマニュアルを参照してください。

注記 一部のファイアウォールは、無効にした後も引き続いて障害が発生します。上記のようにファイアウォールを設定した後も問題が発生する場合、Windows を実行しているコンピュータを使用しているならば、HP デバイスをネットワーク経由で使用するためにファイアウォール ソフトウェアをアンインストールする必要があります。

接続方法の変更

ソフトウェアのインストールが完了し、USB ケーブルまたは Ethernet ケーブルを使用して HP デバイスを接続していれば、いつでも好きなときにワイヤレス接続に変更できます。

USB 接続からワイヤレス接続に変更 (Windows)

1. **[スタート]**、**[プログラム]**、**[HP]** を選択し、お使いのデバイスを選択し、**[接続方法を変更]** を選択します。
2. [**[デバイスの追加]**] を押します。
3. 画面に表示される指示に従って、USB ケーブルを取り外します。

USB 接続からワイヤレス接続に変更 (Mac OS X)

1. Dock または Applications フォルダ内の Hewlett-Packard フォルダにある **[HP デバイス マネージャ]** アイコンをクリックします。
2. **[情報と設定]** リストから、**[ネットワーク プリンタ設定ユーティリティ]** を選択します。
3. 画面の指示に従って、ネットワーク設定を行います。

Ethernet 接続からワイヤレス接続に変更

注記 Ethernet 対応の HP デバイスの場合のみ。

1. 組み込み Web サーバ (EWS) を開きます。詳細については、組み込み Web サーバを参照してください。
2. **[ネットワーキング]** タブをクリックし、左枠にある **[ワイヤレス (802.11)]** をクリックします。
3. [**[ワイヤレス設定]**] タブで [**[ウィザードの開始]**] を押します。
4. 画面の手順に従って、Ethernet 接続からワイヤレス接続に変更します。
5. 設定変更を完了した後に、Ethernet ケーブルを取り外します。

ワイヤレス ネットワークのセキュリティ保証ガイドライン

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ハードウェア アドレスを WAP に追加するには
- その他のガイドライン

ハードウェア アドレスを WAP に追加するには

MAC フィルタリングはセキュリティ機能で、ワイヤレス ルータ、または Apple AirMac ベース ステーションなどのワイヤレス アクセス ポイントに対して、そのアクセス ポイントを通じてネットワークへアクセスできるデバイスの MAC アドレス (「ハードウェア アドレス」とも呼ばれる) のリストを設定します。

ネットワークにアクセスしようとしているデバイスのハードウェア アドレスがアクセス ポイントにない場合、アクセス ポイントはネットワークへのデバイスのアクセスを拒否します。

アクセス ポイントで MAC アドレスをフィルタする場合、デバイスの MAC アドレスをアクセス ポイントの容認された MAC アドレスのリストに追加しなければなりません。

1. ネットワーク設定ページを印刷します。 ネットワーク設定ページの詳細については、ネットワーク設定ページの理解を参照してください。
2. WAP の構成ユーティリティを開き、デバイスのハードウェア アドレスを容認された MAC アドレスのリストに追加します。

その他のガイドライン

ワイヤレス ネットワークをセキュアに保つには、以下のガイドラインに従います：

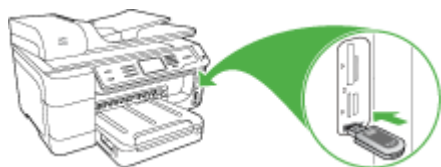
• パスワードには最低 20 のランダム文字を使用します。 WPA パスワードでは、63 文字まで使用できます。
• よくある語句、簡単な文字の順序 (すべて 1 など)、および個人的にわかりやすい情報は、パスワードには使用しないでください。 大文字と小文字、数字、そして許可されている場合には句読点などの特殊文字から構成された、ランダムな文字列を常に使用してください。
• パスワードは定期的に変更します。
• アクセス ポイントやワイヤレス ルータへの管理者アクセス用にメーカーから提供されたデフォルト パスワードは変更します。 管理者名を変更できるルータもあります。
• ワイヤレス上での管理者アクセスは、できればオフにします。 こうすると、構成を変更する場合にはワイヤ Ethernet 接続を使用してルータに接続する必要があります。
• できれば、ルータへのインターネット上のリモート管理者アクセスはオフにします。 Remote Desktop を使用して、ルータで起動しているコンピュータへ暗号化された接続を行い、インターネット上でアクセスしているローカル コンピュータから構成変更を行うことができます。
• 他者の'ワイヤレス ネットワークへ間違って接続することを防ぐため、推奨されていないネットワークへ自動的に接続する設定をオフにします。 これは、Windows XP ではデフォルトで無効にされています。

デバイスの Bluetooth 通信のセットアップ

HP Bluetooth ワイヤレス プリンタ アダプタを使うと、Bluetooth デバイスからケーブルで接続せずに、ドキュメントを印刷できます。 デバイス前面の USB ポートに HP Bluetooth アダプタを差し込むだけで、PDA やカメラ付き携帯電話などの Bluetooth デバイスから印刷できます。 Bluetooth テクノロジを使用して、コンピュータからデバイスに印刷することもできます。

注記 Bluetooth で使用可能な唯一のソフトウェア機能は、印刷です。Bluetooth 接続で、スキャンとソフトウェアによるファックスの送受信を行うことはできません。ただし、一部の単独機能は使用できます。

コントロール パネルからデバイスの Bluetooth 通信をセットアップするには

1. HP Bluetooth アダプタを USB ポートに挿入します。

2. Bluetooth デバイスには、互いに通信して接続を確立するときに、アドレスを交換するものがあります。 また、Bluetooth デバイスによっては、接続時に他のデバイスの名前を表示す

るものがあります。 デバイスの名前としてデフォルト名を表示しない場合は、デバイス名を変更できます。
必要に応じて、以下の操作を行います。

デバイスのアドレスを見つけるには

a. **セットアップ** を選択します。
b. [**Bluetooth**] を選択し、[**デバイスのアドレス**] を選択します。 デバイスのアドレスが表示されます。この情報は読み取り専用です。
c. アドレスをオールインワン デバイスに入力するには、Bluetooth デバイスに同梱されている指示に従って操作してください。

デバイス名をデフォルトから変更するには

a. **セットアップ**を押します。
b. [**Bluetooth**] を選択し、[**デバイス名**] を選択します。

注記 お使いのデバイスには、出荷時に[**「Officejet Pro 8500 A909 Series」**]という名前が設定されています。

c. ビジュアル キーパッドを使って新しい名前を入力します。
d. デバイスの名前を入力したら、**OK(O)** を押します。
デバイスに接続して印刷するときに、入力した名前が Bluetooth デバイスに表示されます。

3. **OK(O)** を押して、セットアップ メニューを終了します。

埋め込み Web サーバでデバイスの Bluetooth 通信をセットアップするには

▲ 埋め込み Web サーバを開き、**[Bluetooth]** タブをクリックし、各セクションの必須フィールドを設定し、**[適用]** をクリックします。

埋め込み Web サーバでデバイス名をデフォルトから変更するには

▲ 埋め込み Web サーバを開き、**[Bluetooth]** タブをクリックし、**[デバイス名]** フィールドに新しい名前を入力し、**[適用]** をクリックします。

Bluetooth によるデバイスの接続

Bluetooth 接続でも、USB 接続と同じ多くの印刷機能を利用できます。 たとえば、デバイスの状態やインク カートリッジの推定インク残量を確認することができます。

Windows での Bluetooth によるデバイスの接続

デバイスに接続するには、Windows XP を実行し、Microsoft Bluetooth プロトコル スタックまたは Widcomm/Broadcom Bluetooth プロトコル スタックのどちらかをインストールしておく必要があります。コンピュータに Microsoft スタックと Widcomm/Broadcom スタックの両方をインストールできます。ただし、デバイスの接続に使用できるのは 1 つだけです。

- **Microsoft スタック**： お使いのコンピュータに Windows XP Service Pack 2 がインストールされていれば、Microsoft Bluetooth プロトコル スタックもインストール済みです。 外部 Bluetooth アダプタは Microsoft スタックにより自動的にインストールされます。 お使いの Bluetooth アダプタが Microsoft スタックに対応しているのにアダプタが自動的にインストールされない場合は、Microsoft スタックが元々コンピュータに入っていないことが考えられます。 Bluetooth アダプタの Microsoft スタックへの対応状況については、アダプタ付属のマニュアルをご確認ください。
- **Widcomm/Broadcom スタック**： Bluetooth 内蔵の HP コンピュータをご使用の場合、または HP Bluetooth アダプタをすでにインストールしている場合は、Widcomm/Broadcom スタックもインストール済みです。 HP コンピュータに HP Bluetooth アダプタを差し込んで使用している場合、アダプタは Widcomm/Broadcom スタックにより自動的にインストールされます。

Microsoft スタックによりインストールおよび印刷を行うには

注記 コンピュータにプリンタソフトウェアがインストールされていることを確認します。 このソフトウェアをインストールする目的は、Bluetooth 接続のためのプリンタ ドライバを使用できるようにしておくためです。 このソフトウェアがすでにインストールされている場合は、再インストールの必要はありません。 デバイスに対して USB 接続と Bluetooth 接続の両方を使用する場合は、最初に USB 接続をインストールします。 詳細については、直接接続を参照してください。 USB 接続を使用しない場合は、**[接続タイプ]** 画面で **[このコンピュータに直接接続]** を選択します。 更に、**[デバイスを今すぐ接続]** 画面で、**[デバイスをお使いのコンピュータに接続できない...]** の横のチェックボックスを選択します。

1. HP Bluetooth アダプタをデバイス前面の USB ポートに接続します。
2. 外部 Bluetooth アダプタを使用する場合は、コンピュータが起動しており、Bluetooth アダプタをコンピュータの USB ポートに接続していることを確認します。Service Pack 2 搭載の Windows XP がインストールされている場合は、Bluetooth ドライバも自動的にインストールされます。Bluetooth プロファイルの選択画面が表示されたら、**[HCRP]**、**[SPP]**、または **[BPP]** を選択します。
   コンピュータに Bluetooth が内蔵されている場合は、コンピュータが起動していることを確認します。
3. Windows のタスク バーで **[スタート]**、**[プリンタと FAX]** の順にクリックします。
4. **[プリンタの追加]** アイコンをダブルクリックします。
5. **[次へ]** をクリックし、次に **[Bluetooth プリンタ]** を選択します。
6. 画面に表示される指示に従って、インストールを行います。
7. 目的のプリンタで印刷を行います。

Widcomm/Broadcom スタックによりインストールおよび印刷を行うには

1. コンピュータにプリンタソフトウェアがインストールされていることを確認します。
2. HP Bluetooth アダプタを前面の USB ポートに接続します。

3. デスクトップまたはタスクバーの **[My Bluetooth Places]** アイコンをクリックします。
4. **[範囲内のデバイスの検索]** をクリックします。
5. 使用可能なデバイスが検出されたら、デバイスの名前をダブルクリックしてインストールを完了します。
6. 目的のデバイスで印刷を行います。

Mac OS X での Bluetooth によるデバイスの接続

デバイスを Bluetooth 内蔵の Mac に接続するか、外部 Bluetooth アダプタを取り付けることができます。

注記 Mac Bluetooth は OS で**有効に**する必要があります。確認するには、**[システム環境設定]** を開き、**[ネットワーク]** をクリックし、**[ネットワーク ポート構成]** を選択し、**[Bluetooth]** がオンになっていることを確認します。

Mac OS X で Bluetooth を使用してインストールおよび印刷を行うには

1. コンピュータにプリンタソフトウェアがインストールされていることを確認します。
2. HP Bluetooth アダプタをデバイス前面の USB ポートに接続します。
3. コントロール パネルの **電源** ボタンを押してデバイスの電源を切り、もう一度ボタンを押して電源を入れます。
4. コンピュータに HP Bluetooth アダプタを接続し、アダプタの電源を入れます。 コンピュータにアダプタ付属のソフトウェアがインストールされていることを確認します。 コンピュータに Bluetooth が内蔵されている場合は、コンピュータの電源だけを入れてください。

   注記 このステップは、Bluetooth を内蔵していない Macintosh コンピュータの場合のみ必要です。

   ---

5. **[プリンタ設定ユーティリティ]** を開きます。
6. **[プリンター覧]** で、**[追加]** をクリックします。
   デバイスの検索が開始されます。
7. **[デフォルト ブラウザ]** タブで、接続の種類として **[Bluetooth]** が選択されていることを確認します。

8. プルダウン メニューから **[Bluetooth]** を選択します。 オールインワン デバイスを選択し、**[追加]** をクリックします。
   デバイス一覧にオールインワン デバイスが追加されます。
9. 目的のデバイスで印刷を行います。

デバイスの Bluetooth のセキュリティ設定

コントロール パネルのメニューまたは組み込み Web サーバのいずれかで、次のデバイスのセキュリティ設定を有効にすることができます。

- Bluetooth デバイスからデバイスで印刷しようとすると、パスキー認証を要求します。
- 通信範囲内にある Bluetooth デバイスでのデバイスの表示/非表示を切り替えます。

パスキーを使用した Bluetooth デバイスの認証

デバイスのセキュリティ レベルを [**高**] または [**低**] に設定できます。

- [**低**]： デバイスはパスキーを要求しません。 通信範囲内のすべての Bluetooth デバイスから印刷できます。

  注記 デフォルトのセキュリティ設定は [**低**] です。 低レベル セキュリティでは、認証が要求されません。

- [**高**]：デバイスは、Bluetooth デバイスが印刷ジョブを送信するのを許可する前に、パスキーを要求します。パスキーは 1〜4 文字で数字のみで構成する必要があります。

  注記 デバイスでは、出荷時にあらかじめ 4 つのゼロのパスキー "0000" が定義されています。

コントロール パネルでデバイスがパスキー認証を要求するように設定するには

1. セットアップを押します。
2. [**Bluetooth**] を選択し、**[パスキー]** を選択します。
3. キーパッドを使って新しいパスキーを入力します。
4. パスキーを入力したら、**OK(O)** を押します。

5. **[セキュリティ レベル]** を選択し、[**高**] を選択します。
6. **OK(O)**を押します。
   セキュリティ レベルが高い場合、認証が必要です。
   これで、デバイスにパスキー認証が設定されます。

埋め込み Web サーバでデバイスがパスキー認証を要求するように設定するには

▲ 埋め込み Web サーバを開き、**[Bluetooth]** タブをクリックし、[パスキー] セクションに新しいパスキーを入力し、[セキュリティ レベル] セクションで **[高]** をクリックし、**[適用]** をクリックします。

Bluetooth デバイスでのデバイスの表示/非表示を設定するには

デバイスを Bluetooth デバイスで表示できるようにする (パブリック) か、すべてに非表示 (プライベート) にするように設定できます。

• [**表示する**]： 範囲内のどの Bluetooth デバイスからでも、デバイスを使って印刷できます。
• [**表示しない**]： オールインワン デバイスのデバイス アドレスを記憶している Bluetooth デバイスだけが印刷できます。

注記 お使いのデバイスには、出荷時にデフォルトのアクセス レベル [**表示する**] が設定されています。

コントロール パネルからデバイスを非表示に設定するには

1. コントロール パネルの **セットアップ** を押します。
2. [**Bluetooth**] を選択し、[**表示**] を選択します。
3. 矢印ボタンを使用して [**表示しない**] を選択し、**OK(O)** を押します。
   オールインワン デバイスは、デバイス アドレスを記憶していない Bluetooth デバイスからは利用できません。

埋め込み Web サーバからデバイスを非表示に設定するには

▲ 埋め込み Web サーバを開き、**[Bluetooth]** タブをクリックし、**[表示]** セクションの **[表示しない]** を選択し、**[適用]** をクリックします。

埋め込み Web サーバでの Bluetooth 設定のリセット

デバイスの Bluetooth 設定を工場出荷時のデフォルトにリセットするには、次の手順に従います。

1. 埋め込み Web サーバを開き、**[Bluetooth]** タブをクリックします。
2. [Bluetooth のリセット] セクションで **[Bluetooth のリセット]** をクリックし、**[適用]** をクリックします。

ソフトウェアのアンインストールと再インストール

インストールが不完全な場合、またはソフトウェア インストール画面で指示される前に USB ケーブルをコンピュータに接続した場合は、ソフトウェアをアンインストールしてから再インストールする必要があります。デバイスのアプリケーション ファイルをコンピュータから単に削除するだけでは不十分です。デバイス付属のソフトウェアをインストールしたときに追加されたアンインストール ユーティリティを使って、該当するファイルを正しく削除してください。

Windows コンピュータ上でソフトウェアをアンインストールする方法、その 1

1. お使いのコンピュータからデバイスの接続を解除します。 ソフトウェアの再インストールが完了するまで、デバイスをコンピュータに接続しないでください。
2. **電源** ボタンを押して、デバイスの電源を入れます。
3. Windows タスクバーで、**[スタート]** をクリックし、**[プログラム]** または **[すべてのプログラム]** を選択します。次に、**[HP]** を選択し、HP デバイスを選択して、**[アンインストール]** をクリックします。
4. 画面上の指示に従って操作してください。
5. 共有ファイルを削除するかどうか尋ねられたら、**[いいえ]** をクリックします。
   共有ファイルを削除すると、これらのファイルを使用する他のプログラムが動作しなくなってしまう可能性があります。
6. コンピュータを再起動します。
7. ソフトウェアを再インストールするには、コンピュータの CD-ROM ドライブにデバイスのスタータ CD を挿入し、画面の指示に従います。デバイス接続前にソフトウェアをインストールする (推奨)も参照してください。

8. ソフトウェアのインストールが完了したら、デバイスをコンピュータに接続します。
9. **電源** ボタンを押して、デバイスの電源を入れます。
   デバイスを接続し、電源を入れると、すべてのプラグ アンド プレイ イベントが完了するまでに数分待たなければならないこともあります。
10. 画面上の指示に従って操作してください。

ソフトウェアのインストールが完了したら、Windows システム トレイに **[HP Digital Imaging Monitor]** アイコンが表示されます。

Windows コンピュータ上でソフトウェアをアンインストールする方法、その 2

注記 この方法は、Windows の [スタート] メニューで **[アンインストール]** が利用できない場合に使用します。

1. Windows タスクバーで、**[スタート]** をクリックし、**[設定]** を選択し、**[コントロール パネル]** を選択して、**[プログラムの追加と削除]** をクリックします。
   - Or -
   [スタート] をクリックして **[コントロール パネル]** をクリックし、**[プログラムと機能]** をダブルクリックします。
2. **[HP Officejet Pro All-in-One Series]** を選択し、**[変更と削除]** または**[アンインストールと変更]** をクリックします。
   画面上の指示に従って操作してください。
3. お使いのコンピュータからデバイスの接続を解除します。
4. コンピュータを再起動します。

   注記 コンピュータを再起動する前にデバイスとコンピュータとの接続を解除することが重要です。 ソフトウェアの再インストールが完了するまで、デバイスをコンピュータに接続しないでください。

5. コンピュータの CD-ROM ドライブにデバイスのスタータ CD を挿入し、セットアップ プログラムを起動します。
6. 画面上の指示に従って操作します。デバイス接続前にソフトウェアをインストールする (推奨)も参照してください。

Windows コンピュータ上でソフトウェアをアンインストールする方法、その 3

注記 この方法は、Windows の [スタート] メニューで **[アンインストール]** が利用できない場合に使用します。

1. コンピュータの CD-ROM ドライブにデバイスのスタータ CD を挿入し、セットアップ プログラムを起動します。
2. お使いのコンピュータからデバイスの接続を解除します。
3. **[アンインストール]** を選択して、画面上の指示に従って操作します。
4. コンピュータを再起動します。

   注記 コンピュータを再起動する前にデバイスとコンピュータとの接続を解除することが重要です。 ソフトウェアの再インストールが完了するまで、デバイスをコンピュータに接続しないでください。

5. デバイスのセットアップ プログラムをもう一度起動します。
6. **[インストール]** を選択します。
7. 画面上の指示に従って操作します。デバイス接続前にソフトウェアをインストールする (推奨)も参照してください。

Macintosh コンピュータ上でソフトウェアをアンインストールするには

1. **[HP デバイス マネージャ]** を起動します。
2. **[情報と設定]** をクリックします。
3. プルダウン メニューから **[HP AiO ソフトウェアのアンインストール]** を選択します。
   画面上の指示に従って操作してください。
4. ソフトウェアのアンインストールが完了したら、コンピュータを再起動します。
5. ソフトウェアを再インストールするには、コンピュータの CD-ROM ドライブにデバイスのスタータ CD を挿入します。
6. デスクトップで、CD-ROM を開き、**[HP All-in-One インストーラ]** をダブルクリックします。
7. 画面上の指示に従って操作します。ネットワークまたは直接接続用のソフトウェアのインストールも参照してください。

Macintosh コンピュータ上でソフトウェアをアンインストールする方法、その 2

1. Finder を開きます。
2. **[アプリケーション]** をダブルクリックします。
3. **[Hewlett-Packard]** をダブルクリックします。
4. デバイスを選択し、**[アンインストール]** をダブルクリックします。

11 保守とトラブルシューティング

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- インク カートリッジの交換
- プリントヘッドのメンテナンス
- 印刷サプライ品の保管
- デバイスのクリーニング
- 一般的なトラブルシューティング ヒントとリソース
- 印刷上の問題の解決
- 印刷品質の不良と予期しないプリント結果
- 給紙の問題の解決
- コピーの問題の解決
- スキャンの問題の解決
- ファクスの問題の解決
- HP デジタル ソリューションの問題の解決
- ネットワークの問題の解決
- ワイヤレス通信に関連する問題の解決
- 写真 (メモリ カード) の問題の解決
- 本体の管理に関する問題の解決
- インストールの問題のトラブルシューティング
- メディア詰まりの除去
- エラー (Windows)

インク カートリッジの交換

推定インク レベルはツールボックス (Windows)、HP ソリューション センター、HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS X)、または組み込み Web サーバから確認できます。詳しくは、デバイス管理ツールの使用を参照してください。自己診断テスト ページを印刷してこの情報を表示することもできます (セルフテスト レポートについてを参照)。

注記 お使いのプリンタと使用するインク カートリッジについては、サプライ品を参照してください。

インク残量の警告およびインジケータは、交換用インクを用意できるよう情報を提供します。インク残量が少ないという警告メッセージが表示されたら、印刷できなくなる前に交換用のプリント カートリッジを準備してください。インク カートリッジを交換する必要があるのは、交換のメッセージが表示された場合だけです。

カートリッジをパッケージから取り出したら、すぐに取り付けてください。 カートリッジをプリンタから長時間外したままにしないでください。

使用済みインク サプライ品のリサイクルについては、HP インクジェット サプライ品リサイクル プログラムを参照してください。

インク カートリッジを交換するには

1. インク カートリッジ カバーをゆっくりと開きます。

2. 交換の必要なインク カートリッジを持って手前に引き、取り外します。

3. パッケージから新しいインク カートリッジを取り出します。
4. カートリッジをカラーコードされたスロットに揃え、カートリッジをスロットに挿入します。 正しく接するようにカートリッジをしっかりと押し下げます。
5. インク カートリッジ カバーを閉じます。

プリントヘッドのメンテナンス

印刷された文字が完全でないときや、プリント結果にインクの筋が見られる場合、インク ノズルが詰まっているか、プリントヘッドのクリーニングが必要です。

プリント結果の品質が低下した場合は、以下の手順を実行します。

1. プリントヘッドの状態を確認します。 詳細については、プリントヘッドの状態を確認するにはを参照してください。
2. きれいな白い用紙に印字品質診断ページを印刷します。 問題の部分を確認し、推奨された操作を行います。 詳細については、印刷品質診断ページを印刷するにはを参照してください。
3. プリントヘッドのクリーニングを行います。詳細については、プリントヘッドをクリーニングするにはを参照してください。
4. クリーニングを行っても問題が解決しない場合は、プリントヘッドを交換します。 詳細については、プリントヘッドを交換するにはを参照してください。

このセクションでは、次のプリントヘッドのメンテナンス作業について説明します。

- プリントヘッドの状態を確認するには
- 印刷品質診断ページを印刷するには
- プリントヘッドの位置を調整するには
- ライン フィード キャリブレーションを行うには
- プリントヘッドをクリーニングするには
- プリントヘッド コンタクトを手動でクリーニングするには
- プリントヘッドを交換するには

プリントヘッドの状態を確認するには

以下のいずれかの方法を使用して、プリントヘッドの状態を確認します。プリントヘッドのどれかの状態が [交換] になっている場合は、メンテナンス機能のいずれかを実行するか、プリントヘッドをクリーニングまたは交換します。

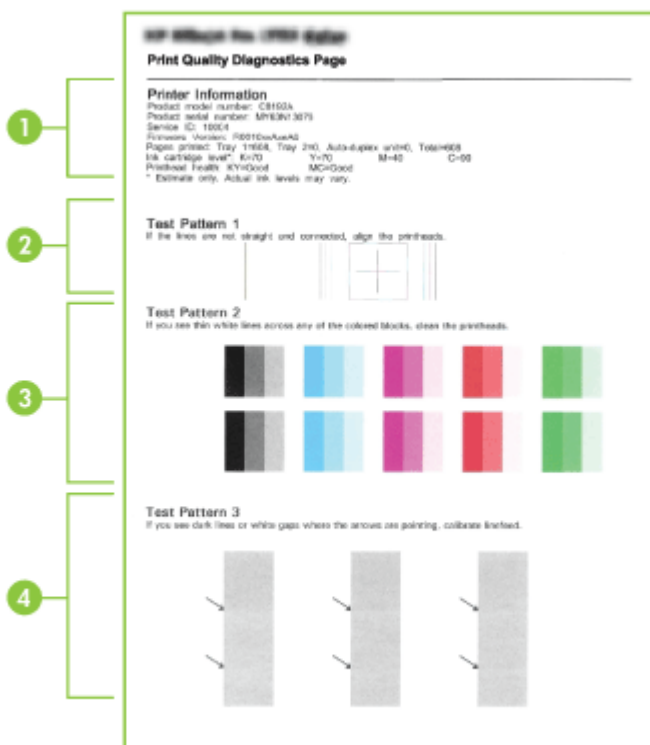
- **セルフテスト レポート**： きれいな白い用紙に自己診断テスト ページを印刷し、プリントヘッドの状態セクションを確認します。詳細については、セルフテスト レポートについてを参照してください。
- **埋め込み Web サーバ**： 埋め込み Web サーバを開きます。 詳細については、埋め込み Web サーバを開くにはを参照してください。 **[情報]** タブをクリックし、左枠の **[インク サプライ品]** をクリックします。
- **ツールボックス (Windows)**： ツールボックスを開きます。 詳細については、ツールボックスを開くを参照してください。 **[情報]** タブをクリックし、**[プリントヘッド状態]** をクリックします。

印刷品質診断ページを印刷するには

印字品質診断ページを使用して、製品の印字品質に影響を与える問題を診断します。 これにより、印刷出力を改善するためにメンテナンス ツールを実行する必要があるかどうかを判断できます。 診断ページには、インク量情報やプリントヘッドの状態も表示されます。

注記 印刷品質診断ページを印刷する前に、用紙がセットされていることを確認してください。詳細については、メディアのセットを参照してください。

インク残量の警告およびインジケータは、交換用インクを用意できるよう情報を提供します。インク残量が少ないという警告メッセージが表示されたら、印刷できなくなる前に交換用のプリント カートリッジを準備してください。インク カートリッジを交換する必要があるのは、交換のメッセージが表示された場合だけです。

- **コントロールパネル**：**セットアップ**を押し、[**レポートの印刷**]、[**印刷品質ページ**] の順に選択して、**OK** を押します。
- **組み込み Web サーバ**：**[設定]** タブをクリックし、左枠の **[デバイス サービス]** をクリックします。次に、**[印刷品質]** セクションのドロップダウン リストから **[PQ (印刷品質) 診断ページを印刷する]** を選択し、**[診断を実行する]** をクリックします。
- **ツールボックス (Windows)**： **[サービス]** タブをクリックし、**[PQ (印刷品質) 診断ページの印刷]** をクリックして画面の指示に従います。
- **HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS X)**： **[PQ (印刷品質) 診断ページを印刷する]** を **[情報とサポート]** パネルからクリックします。

1	**プリンタの情報**： 本製品の情報 (製品モデル番号、シリアル番号、およびファームウェア バージョン番号など)、トレイと両面印刷ユニットから印刷されたページ数、インクの残量についての情報やプリントヘッドの状態が表示されます。 **注記** インク残量の警告およびインジケータは、交換用インクを用意できるよう情報を提供します。インク残量が少ないという警告メッセージが表示されたら、印刷できなくなる前に交換用のプリント カートリッジを準備してください。インク カートリッジを交換する必要があるのは、交換のメッセージが表示された場合だけです。
2	**テスト パターン 1**： 線が直線でなかったりつながっていない場合は、プリントヘッドの位置調整を行います。 詳細については、プリントヘッドの位置を調整するにはを参照してください。

(続き)

3	**テスト パターン 2**： 色のついたブロックのどれかに細い白線がある場合は、プリントヘッドのクリーニングを行います。詳細については、プリントヘッドをクリーニングするにはを参照してください。
4	**テスト パターン 3**： 矢印の向いている箇所に濃い線や白のギャップがある場合は、ライン フィード キャリブレーションを行います。 詳細については、ライン フィード キャリブレーションを行うにはを参照してください。

プリントヘッドの位置を調整するには

プリントヘッドを交換するたびに、最高の印字品質を得るためにプリントヘッドの位置調整が自動的に行われます。 ただし、印刷ページでプリントヘッドが位置調整されていないように見える場合は、手動で調整プロセスを開始できます。

注記 プリントヘッドの位置調整をする前に、普通紙がセットされていることを確認してください。詳細については、メディアのセットを参照してください。

- **コントロールパネル**： (セットアップ) を押し、[**ツール**]、[**プリンタ位置の調整**] の順に選択して、**OK** を押します。調整が終了したら、再度 **OK** を押して続行します。
- **組み込み Web サーバ**：**[設定]** タブをクリックし、左枠で **[デバイス サービス]** をクリックします。次に、**[印刷品質]** セクションのドロップダウン リストから **[プリンタの調整]** を選択し、**[診断を実行する]** をクリックします。
- **ツールボックス (Windows)**： **[サービス]** タブをクリックし、**[プリントヘッドの位置調整]** をクリックして画面の指示に従います。
- **HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS X)**： **[位置調整]** を **[情報とサポート]** パネルからクリックします。

ライン フィード キャリブレーションを行うには

- **コントロールパネル**：**セットアップ**を押し、[**ツール**]、[**行送りの調整**] の順に選択して、**OK** を押します。
- **埋め込み Web サーバ**： **[設定]** タブをクリックし、左枠で **[デバイス サービス]** をクリックし、**[印刷品質]** セクションのドロップダウン リストから **[行送りの調整]** を選択し、**[診断を実行する]** をクリックします。

- **ツールボックス (Windows)**： **[サービス]** タブをクリックし、**[ラインフィードのキャリブレーション]** をクリックして画面の指示に従います。
- **HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS X)**： **[ラインフィードのキャリブレーション]** を **[情報とサポート]** パネルからクリックします。

プリントヘッドをクリーニングするには

注記 クリーニングにはインクが使用されるため、プリントヘッドのクリーニングは必要な場合しか行わないでください。

クリーニングには数分かかります。処理中に雑音が発生することがあります。

プリントヘッドをクリーニングする前に、用紙がセットされていることを確認してください。詳細については、メディアのセットを参照してください。

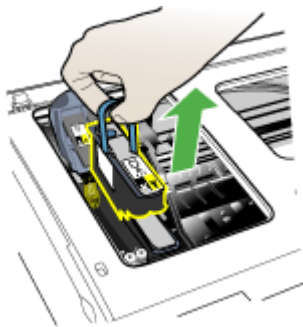
- **コントロールパネル**：**セットアップ**を押し、[**ツール**]、[**プリントヘッドのクリーニング**] の順に選択します。
- **組み込み Web サーバ**： **[デバイス設定]** タブをクリックし、左枠で **[デバイス サービス]** をクリックします。次に、**[印刷品質]** セクションのドロップダウン リストから **[プリントヘッドのクリーニング]** を選択し、**[診断を実行する]** をクリックします。
- **ツールボックス (Windows)**： **[サービス]** タブをクリックし、**[プリントヘッドのクリーニング]** をクリックして画面の指示に従います。
- **HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS X)**： **[クリーニング]** を **[情報とサポート]** パネルからクリックします。

プリントヘッド コンタクトを手動でクリーニングするには

プリントヘッドを取り付けた後、印刷が行われないことを示すメッセージがコントロール パネルに表示される場合があります。このメッセージが表示された場合は、プリントヘッドおよびデバイス内の電気コンタクトのクリーニングを行います。開始前に、プリンタに用紙がセットされていることを確認してください。

△ **注意** 電気コンタクトには、破損しやすい電子部品が装着されています。

1. 上部カバーを開きます。
2. インクホルダーが自動的に左に移動しない場合は、**OK** ボタンを 5 秒間押し続けます。インクホルダーが止まるのを待ち、電源コードをプリンタから外します。
3. プリントヘッド ラッチを上げます。

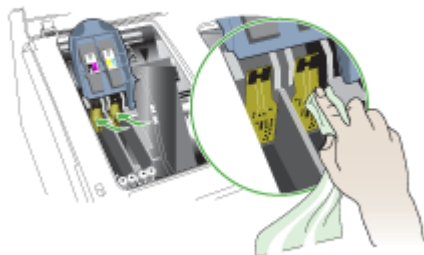
4. コントロール パネルのメッセージに対応するプリントヘッドのハンドルを持ち上げて、プリントヘッドをスロットから引き出します。

5. きれいで乾いた柔らかな糸くずのない布を用意します。 コーヒー フィルタ用紙やメガネのレンズ クリーニング用紙などが適しています。

△ **注意** 水を使用しないでください。

6. プリントヘッドの電気コンタクトを拭きますが、ノズルには触れないでください。

> 注記　電気コンタクトは小さな銅色の正方形で、プリントヘッドの片面にかたまっています。
>
> ノズルは、プリントヘッドの別の面にあります。 ノズルにはインクが見えます。

> △ **注意**　ノズルに触れると、損傷することがあります。
>
> **注意**　インクが衣類に付着すると落ちないことがあります。

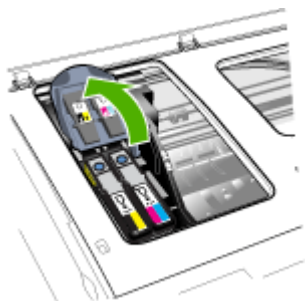
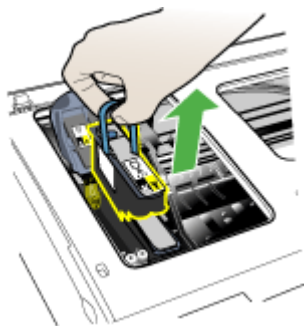
7. クリーニング後、プリントヘッドを紙かペーパー タオルの上に置きます。 ノズルが上を向き、用紙に触れていないことを確認してください。
8. 本体内のプリントヘッド スロットの電気コンタクトを、清潔で乾燥した、柔らかい糸くずのない布でクリーニングします。

9. 電源コードを接続し、本体の電源を入れます。 コントロールパネルには、プリントヘッドがないと表示されているはずです。
10. プリントヘッドを対応するカラーで色分けされているスロットに挿入します (プリントヘッドのラベルがプリントヘッドラッチの色と一致しなければなりません)。 正しく接するようにプリント ヘッドをしっかりと押し下げます。
11. 必要に応じて、残りのプリントヘッドにも手順を繰り返します。
12. プリントヘッド ラッチを前面に引き出し、ラッチが正しく挿入されるよう押し下げます。 ラッチを閉じるには、多少力を加える必要があります。
13. 上部カバーを閉じます。
14. コントロール パネルにメッセージが表示されたままの場合は、メッセージに対応するプリントヘッドのクリーニング手順を行います。
15. コントロール パネルにメッセージが表示されたままの場合は、メッセージに対応するプリントヘッドを交換します。
16. 本体がプリントヘッドを初期化し、位置調整ページを印刷するのを待ちます。 ページが印刷されない場合は、プリントヘッドの位置を手動で調整します。詳細については、プリントヘッドの位置を調整するにはを参照してください。

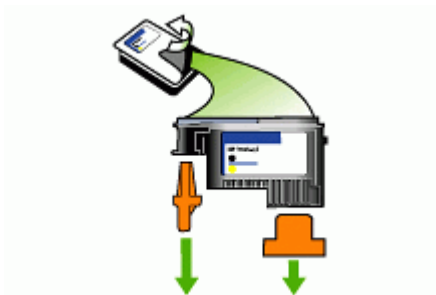
プリントヘッドを交換するには

注記 お使いのプリンタと使用するプリントヘッドについては、サプライ品 を参照してください。

プリントヘッドは、プリントヘッドの状態で交換が必要なことが示されている場合のみ交換してください。詳細については、プリントヘッドの状態を確認するにはを参照してください。

1. 上部カバーを開きます。
2. キャリッジが自動的に左に移動しない場合は、**[OK]** ボタンを 5 秒間押し続けます。 キャリッジが止まるのを待ちます。

3. プリントヘッド ラッチを上げます。

4. プリントヘッドのハンドルを持ち上げて、プリントヘッドをスロットから引き出します。

5. プリントヘッドを取り付ける前に、プリントヘッドをパッケージに入れたまま、上下に少なくとも 6 回振ります。

6. 新しいプリント ヘッドをパッケージから取り出し、オレンジ色の保護キャップを取ります。

△ **注意**　キャップを取り外した後でプリントヘッドを振らないでください。

7. プリントヘッドを対応するカラーで色分けされているスロットに挿入します (プリントヘッドのラベルがプリントヘッドラッチの色と一致しなければなりません)。正しく接するようにプリント ヘッドをしっかりと押し下げます。
8. プリントヘッド ラッチを前面に引き出し、ラッチが正しく挿入されるよう押し下げます。ラッチを閉じるには、多少力を加える必要があります。
9. 上部カバーを閉じます。
10. 本体がプリントヘッドを初期化し、位置調整ページを印刷するのを待ちます。ページが印刷されない場合は、プリントヘッドの位置を手動で調整します。詳細については、プリントヘッドの位置を調整するにはを参照してください。

印刷サプライ品の保管

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- インク カートリッジの保管
- プリントヘッドの保管

インク カートリッジの保管

インク カートリッジは、デバイス内に長期間置いておくことができます。インク カートリッジを取り外す場合は、ジッパー付きのビニール袋など、気密性の容器に保管してください。

プリントヘッドの保管

プリントヘッドは、デバイス内に長期間置いておくことができます。ただし、プリントヘッドの最適な状態を確保するには、デバイスの電源を必ず正しく切ってください。詳細については、デバイスの電源オフを参照してください。

デバイスのクリーニング

このセクションでは、本体を最高の状態に保つための方法について説明します。 必要に応じてこれらの保守手順を実行してください。

スキャナ ガラス、スキャナの保護シート、またはスキャナ フレームのほこりや汚れにより、パフォーマンスが低下したり、スキャンの品質が低下したり、コピーを特定のページ サイズに合わせるなどの特殊機能の正確さが損なわれたりすることがあります。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- スキャナ ガラスのクリーニング
- 外側のクリーニング
- 自動ドキュメント フィーダのクリーニング

スキャナ ガラスのクリーニング

スキャナ ガラスをクリーニングするには

1. 本体の電源をオフにします。
2. スキャナのカバーを持ち上げます。

3. あまり強くないガラス用洗剤を吹き付けた、柔らかい、糸くずのない布でガラスをクリーニングします。 乾いた、柔らかい、糸くずのない布でガラスの水分を拭き取ります。

△ **注意** スキャナ ガラスのクリーニングにはガラス用洗剤以外使用しないでください。 研磨剤、アセトン、ベンゼン、四塩化炭素などを含む洗剤は使用しないでください。これらの成分は、スキャナ ガラスを傷める可能性があります。 また、イソプロピル アルコールの使用も避けてください。ガラス面に縞模様が残ることがあります。

注意 ガラス用洗剤をガラス面に直接吹き付けないでください。 ガラス用洗剤を多く吹き付けると、洗剤が本体内に入り、スキャナを傷めることがあります。

4. スキャナのカバーを閉じて、デバイスの電源を入れます。

外側のクリーニング

△ **注意** 本体のクリーニングを行う前に、電源をオフにした後、電源コードをコンセントから抜きます。

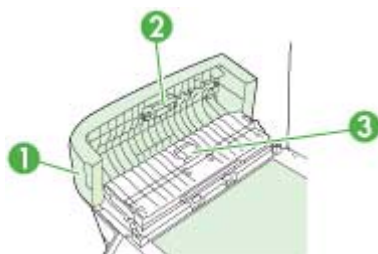
柔らかい、糸くずのない布で、ケースのほこり、シミ、汚れなどを拭き取ります。 本体の外側はクリーニングの必要がありません。 デバイスの内側やデバイスのコントロール パネルを濡らさないようにしてください。

自動ドキュメント フィーダのクリーニング

自動ドキュメント フィーダが一度に用紙をまとめて給紙してしまったり、普通紙をまったく給紙しない場合、ローラーやセパレータ パッドをクリーニングしてください。 自動ドキュメント フィーダのカバーを

開き、ローラーとセパレータ パッドをクリーニングして、カバーを閉じてください。

ローラーやセパレータ パッドをクリーニングするには

1. ドキュメント フィーダ トレイから原稿をすべて取り除きます。
2. 自動ドキュメント フィーダのカバー (1) を外します。
   このようにするとローラー (2) と セパレータ パッド (3) に簡単にアクセスできます。

1	自動ドキュメント フィーダ カバー
2	ローラー
3	セパレータ パッド

3. きれいな糸くずの出ない布を蒸留水に浸し、余分な水分を絞ります。
4. 湿った布を使用して、ローラーやセパレータ パッドからカスを拭き取ります。

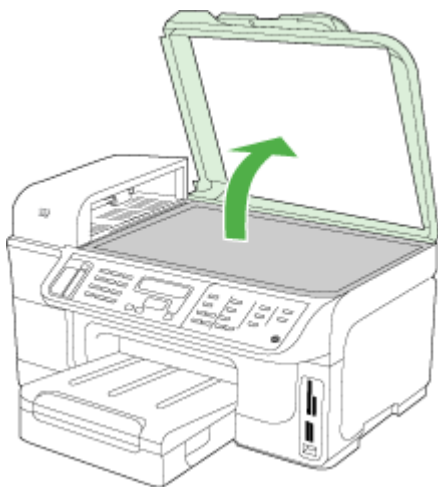
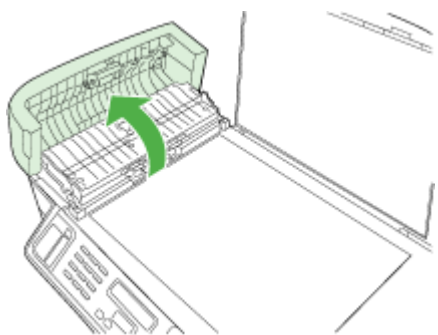
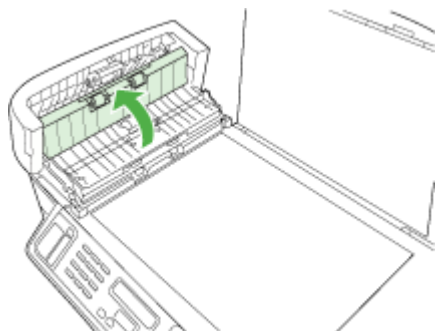
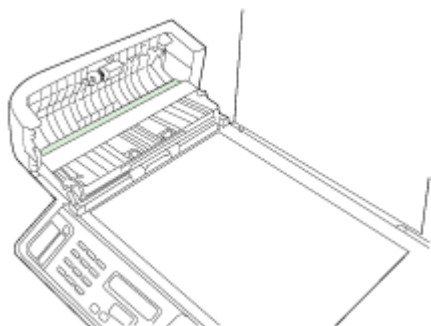
   注記 蒸留水でカスが取れない場合は、イソプロピル (消毒用) アルコールを使用してみます。

5. 自動ドキュメント フィーダのカバーを閉じます。

自動ドキュメント フィーダ内部の帯状のガラス部分をクリーニングするには (2 行ディスプレイ)

1. HP オールインワン の電源を切り、電源コードを抜きます。

   > 注記 HP オールインワン のプラグを長い時間抜いていると、日付と時刻が消える場合があります。その場合は、後で電源ケーブルを元通りに差し込んだときに、日付と時刻を再設定してください。

2. ガラス板に原稿をセットするように、カバーを持ち上げます。

3. 自動ドキュメント フィーダのカバーを外します。

4. デバイスの正面および背面の 2 つのハンドル部分を使用して、自動ドキュメント フィーダ装置を持ち上げます。

帯状のガラス部分は自動ドキュメント フィーダの下にあります。

5. 非摩耗性のガラス クリーナーを使用し、少し湿らせた柔らかい布かスポンジで帯状のガラス部分を拭きます。

△ **注意** 研磨剤、アセトン、ベンゼン、四塩化炭素などでガラス面を拭かないでください。ガラス面を傷める可能性があります。また、液体を直接ガラス面にかけないでください。ガラス面の下に液体が入り込んで本体を傷める可能性があります。

6. 自動ドキュメント フィーダ装置を下げ、自動ドキュメント フィーダのカバーを閉じます。

7. カバーを閉じます。
8. 電源コードを差し込み、HP オールインワン の電源を入れます。

一般的なトラブルシューティング ヒントとリソース

印刷問題のトラブルシューティングを開始する場合は、以下の操作を試してみてください。

- 用紙詰まりは、メディア詰まりの除去を参照してください。
- 用紙が曲がったり持ち上がってしまうなどの給紙の問題は、給紙の問題の解決 を参照してください。
- 電源ランプが点灯しており、点滅していないことを確認してください。本体に初めて電源を入れた場合、プリントヘッドの取り付け後、初期化に約 20 分間かかります。
- 電源コードとそれ以外のケーブルが正しく機能し、デバイスにしっかりと接続されていることを確認します。本体が正しく機能している交流 (AC) 電源にしっかりと接続され、電源が入っていることを確認します。電圧の要件については、電気仕様を参照してください。
- 用紙が給紙トレイに正しくセットされていて、紙詰まりがないことを確認します。
- 梱包用のテープと梱包材が取り外されていることを確認します。
- デバイスが現在のプリンタまたはデフォルトのプリンタに設定されていることを確認します。Windows では、[プリンタと FAX] フォルダで本体を通常使うプリンタに設定します。Mac OS X では、プリンタ セットアップ ユーティリティでデフォルトとして設定します (Mac OS X v.10.4)。Mac OS X (v.10.5) の場合、**[システム環境設定]** を開き、**[プリントとファクス]** を選択し、**[デフォルトのプリンタ]** ドロップダウン リストからデバイスを選択します。詳細は、コンピュータ付属のマニュアルを参照してください。
- お使いのコンピュータが Windows の場合、印刷の**[一時停止]**を選択していないかどうかを確認します。
- タスクの実行中に、実行しているプログラム数が多すぎないことを確認します。タスクを再試行する前に、使っていないプログラムを閉じるか、またはコンピュータを再起動します。

トラブルシューティング トピック

- 印刷上の問題の解決
- 印刷品質の不良と予期しないプリント結果
- 給紙の問題の解決
- コピーの問題の解決
- スキャンの問題の解決
- ファクスの問題の解決
- ネットワークの問題の解決
- ワイヤレス通信に関連する問題の解決
- 写真 (メモリ カード) の問題の解決
- インストールの問題のトラブルシューティング

印刷上の問題の解決

- デバイスの電源が突然切れる
- コントロール パネルのディスプレイにエラー メッセージが表示される
- デバイスが応答しない (何も印刷されない)
- 印刷するのに長時間かかる
- テキストまたはグラフィックスの配置が適切でない
- ページの半分が印刷された後、用紙が排出される

デバイスの電源が突然切れる

電源と電源の接続を確認します

正しく機能している交流 (AC) 電源に本体がしっかりと接続されていることを確認します。電圧の要件については、電気仕様を参照してください。

コントロール パネルのディスプレイにエラー メッセージが表示される

修復不可能なエラーが生じました

ケーブルをすべて (電源コード、ネットワーク ケーブル、USB ケーブルなど) 外し、約 20 秒間待ってからケーブルを再接続します。問題が続くようであれば、最新のトラブルシューティング情報、または製品の修正と更新を HP Web サイト (www.hp.com/support) で見つけてください。エラー メッセージの詳細については、デバイスのコントロール パネルのメッセージ タイプを参照してください。

デバイスが応答しない (何も印刷されない)

本体がワイヤレス通信をサポートしている場合、ワイヤレス通信に関連する問題の解決も参照してください。

デバイス設定の確認

詳細については、一般的なトラブルシューティング ヒントとリソースを参照してください。

プリントヘッドの初期化を確認します

プリントヘッドを取り付けた場合、または交換した場合、数枚の位置調整ページが印刷され、プリントヘッドの位置調整が自動的に行われます。このプロセスには約 20 分間かかります。このプロセスが完了するまで、自動位置調整ページしか印刷できません。

プリンタソフトウェアのインストールの確認

本体の電源が入っていないときに印刷すると、通常はコンピュータ画面に警告メッセージが表示されます。警告メッセージが表示されない場合は、プリンタソフトウェアが正しくインストールされていない可能性があります。 これを解決するには、プリンタソフトウェアを完全にアンインストールした後、再インストールします。 詳細については、ソフトウェアのアンインストールと再インストールを参照してください。

ケーブル接続の確認

- ネットワーク/USB ケーブルの両端がしっかりと接続されていることを確認します。
- 本体がネットワークに接続されている場合は、以下を確認します。
  - 本体後部のリンク ランプを確認します。
  - 本体の接続に電話線を使っていないことを確認します。
  - ネットワーク ハブ、スイッチ、またはルーターが正しく作動しています。

ネットワーク環境のための本体の設定の確認

正しいデバイス ドライバとプリンタ ドライバ ポートを使用していることを確認します。 ネットワーク接続の詳細については、デバイスの構成 (Windows)、デバイスの構成 (Mac OS X)、またはネットワーク ベンダーから提供された文書を参照してください。

コンピュータにパーソナル ファイアウォール ソフトウェアがインストールされているかどうかの確認

パーソナル ソフトウェア ファイアウォールはセキュリティ プログラムで、コンピュータを侵入から保護します。ただし、ファイアウォールはコンピュータと本体の通信を妨げることがあります。本体との通信に問題が生じた場合は、ファイアウォールを一時的に無効にしてみます。問題が解決しない場合は、ファイアウォールは通信問題の原因ではありません。ファイアウォールを再度有効にします。詳細については、HP デバイスを使用できるようにファイアウォールを設定するを参照してください。

ファイアウォールを無効にすることで本体と通信できる場合は、本体に静的 IP アドレスを割り当て、ファイアウォールを再度有効にすると、問題が解決することがあります。詳細については、IP 設定を変更するにはを参照してください。

印刷するのに長時間かかる

システム設定を確認します

コンピュータが、本製品を使用するための最低限のシステム必要条件を満たしていることを確認します。 詳細については、システム要件を参照してください。

プリンタソフトウェアの設定の確認

印刷品質で **[高画質]** または **[最大 dpi]** が選択されていると、印刷速度は遅くなります。 印刷速度を上げるには、デバイス ドライバで別の印刷設定を選択します。 詳細については、プリント設定の変更を参照してください。

無線ノイズがないか確認します

本体がワイヤレス接続されていて印刷速度が遅い場合、無線シグナルが弱い可能性があります。

テキストまたはグラフィックスの配置が適切でない

上記の解決策でも問題が解決しない場合、アプリケーションが印刷設定を正しく解釈できないことにより問題が生じている場合があります。特定のヘルプについては、リリース ノートで既知のソフトウェア

の競合がないかを確認するか、アプリケーションのマニュアルを参照するか、ソフトウェアの製造元にお問い合わせください。

メディアがセットされている方法を確認します

メディアの縦と横方向の用紙ガイドがメディアの束にぴったりと合い、トレイにセットされたメディアが多すぎないことを確認します。詳細については、メディアのセットを参照してください。

メディア サイズを確認します

- 文書サイズが使用中のメディアより大きい場合、ページがはみ出すことがあります。
- プリンタ ドライバで選択したメディア サイズとトレイにセットされているメディアのサイズが一致していることを確認してください。詳細については、印刷メディアの選択を参照してください。

余白設定の確認

ページの端からテキストまたはグラフィックスがはみ出す場合は、文書のマージン設定が、本体の印刷可能領域以内であることを確認します。詳細については、サポートされているデバイスを参照してください。

ページの向き設定を確認します

アプリケーションで選択したメディアのサイズおよびページの方向がプリンタ ドライバでの設定と一致していることを確認します。詳細については、プリント設定の変更を参照してください。

本体の設置場所と USB ケーブルの長さの確認

電磁界の影響を最小化するため、3m 以内の USB ケーブルを使用することをお勧めします。別の USB ケーブルを接続して、その USB ケーブルに不具合があるのかを確認してください。

ページの半分が印刷された後、用紙が排出される

インク カートリッジの確認

インク カートリッジのインクがなくなったため、印刷ジョブが取り消された可能性があります。 インク カートリッジを交換し、印刷ジョブを本体に再送信します。詳細については、インク カートリッジの交換を参照してください。

2 枚以上のページが給紙される

給紙の問題のトラブルシューティングの詳細については、給紙の問題の解決を参照してください。

ファイル内に空白ページがある

ファイルをチェックして、空白ページがないことを確認してください。

プリント ヘッドをクリーニングする

プリントヘッドのクリーニング手順を完了します。詳細については、プリントヘッドをクリーニングするにはを参照してください。

印刷品質の不良と予期しないプリント結果

- 一般的な印刷品質のトラブルシューティング
- 無意味な文字が印刷される
- インクがにじむ
- テキストまたはグラフィックスに印字ムラが出る
- 印字が薄いか色が鮮やかでない
- カラーが白黒で印刷される
- 間違った色で印刷される
- 印刷結果のカラーがにじむ
- フチ無し印刷の下部に水平方向の歪みがある
- 色が正しい位置に印刷されない
- テキストまたはグラフィックスにインクの筋が出ている
- ページの一部が印刷されない、または正しくない

一般的な印刷品質のトラブルシューティング

プリントヘッドとインク カートリッジを確認する

きれいな白い用紙に印字品質診断ページを印刷します。問題の部分を確認し、推奨された操作を行います。詳細については、印刷品質診断ページを印刷するにはを参照してください。

用紙品質の確認

メディアが HP 仕様を満たしていることを確認し、再度印刷してみます。詳細については、印刷メディアの選択を参照してください。

本体にセットされているメディアのタイプの確認

- セットしたメディアのタイプがトレイにサポートされていることを確認します。 詳細については、サポートされたメディアの仕様の理解を参照してください。
- プリント ドライバで、使用するメディアがセットされたトレイを選択していることを確認します。

本体の設置場所と USB ケーブルの長さの確認

電磁界の影響を最小化するため、3m 以内の USB ケーブルを使用することをお勧めします。別の USB ケーブルを接続して、その USB ケーブルに不具合があるのかを確認することもできます。

無意味な文字が印刷される

印刷中のジョブが中断されると、本体がジョブの残りを認識しない場合があります。

印刷ジョブをキャンセルし、本体がレディー状態に戻るのを待ちます。プリンタがレディー状態に戻らない場合は、プリンタ ドライバのすべてのジョブをキャンセルし、デバイスの電源をオフにしてからオンに戻して文書を印刷します。

ケーブル接続の確認

本体とコンピュータが USB ケーブルで接続されている場合、ケーブル接続が不良なために問題が生じることがあります。
ケーブルの両端がしっかりと接続されていることを確認します。 問題が解決しない場合は本体の電源を切り、本体からケーブルを外してから本体の電源を入れ、プリンタ スプーラから残りのジョブを削除します。 電源ランプが点滅せずにオンになったら、ケーブルを再度接続します。

文書ファイルの確認

文書ファイルが損傷していることがあります。 同じアプリケーションから他の文書を印刷できる場合は、文書のバックアップ コピーを使用して印刷してください (バックアップされている場合)。

インクがにじむ

印刷設定の確認

- インク量を多く使用する文書を印刷している場合、プリント結果を扱う前に十分乾燥させてください。OHP フィルムの場合は特に注意してください。プリンタ ドライバで **[高画質]** 印刷品質を選択し、インクの乾燥時間を増やして、詳細設定 (Windows) またはインク機能 (Mac OS X) のインク量を使用してインクの彩度を減らします。ただし、インク彩度を減らすとプリント結果が洗い流されたような品質になる場合があります。
- リッチでブレンドされたカラーのあるカラー文書は、**[高画質]** 印刷結果を使用して印刷した場合にシワがよる場合があります。 **[きれい]** などの別の印刷モードを使用してみるか、または鮮やかなカラーのある文書印刷用にデザインされた HP プレミアム用紙を使用してみます。詳細については、プリント設定の変更を参照してください。

メディア タイプの確認

- メディアの種類によっては、インクをうまく受け入れないものがあります。 このような種類のメディアでは、インクが乾くのに時間がかかり、インクがにじむ場合があります。詳細については、印刷メディアの選択を参照してください。
- トレイにセットされている用紙と、プリンタ ドライバで選択されている用紙の種類が一致していることを確認します。

テキストまたはグラフィックスに印字ムラが出る

メディア タイプの確認

一部のメディアは、本製品での使用に適していません。詳細については、印刷メディアの選択を参照してください。

プリントヘッドの確認

きれいな白い用紙に印字品質診断ページを印刷します。問題の部分を確認し、推奨された操作を行います。詳細については、印刷品質診断ページを印刷するにはを参照してください。

印字が薄いか色が鮮やかでない

印刷モードの確認

プリンタ ドライバの **[ドラフト]** モードまたは **[高速]** モードでは、すばやく印刷でき、ドラフトの印刷に適しています。 よりよい結果を得るには、**[きれい]** または **[高画質]** を選択します。詳細については、プリント設定の変更を参照してください。

用紙タイプ設定の確認

OHP フィルムまたは他の特殊なメディアに印刷する場合は、プリント ドライバで対応するメディア タイプを選択してください。 詳細については、特殊な用紙およびカスタムサイズのメディアの印刷を参照してください。

カラーが白黒で印刷される

印刷設定の確認

プリンタ ドライバで **[グレースケールで印刷]** が選択されていないことを確認します。

間違った色で印刷される

印刷設定の確認

プリンタ ドライバで **[グレースケールで印刷]** が選択されていないことを確認します。

プリントヘッドの確認

きれいな白い用紙に印字品質診断ページを印刷します。問題の部分を確認し、推奨された操作を行います。詳細については、印刷品質診断ページを印刷するにはを参照してください。

印刷結果のカラーがにじむ

インク カートリッジの確認

HP 純正インクを使用していることを確認します。注文の詳細については、HP サプライ品とアクセサリを参照してください。

プリントヘッドの確認

きれいな白い用紙に印字品質診断ページを印刷します。問題の部分を確認し、推奨された操作を行います。詳細については、印刷品質診断ページを印刷するにはを参照してください。

フチ無し印刷の下部に水平方向の歪みがある

用紙の種類を確認する

HP 用紙または製品に適したその他の用紙の使用をお勧めします。印刷する用紙が平らであることを必ず確認してください。丸まっている紙は反対に丸めて、平らにします。画像を最高画質で印刷するには、HP アドバンス フォト用紙を使用します。フォト用紙は、元の袋に戻し、その上からさらにジッパー付きのビニール袋に入れてください。また温度が低い平らな場所で保管してください。印刷準備ができたら、すぐに使用する用紙だけを取り出してください。印刷が完了したら、未使用のフォト用紙は元の袋に戻して、もう一度封をしてください。こうすることで紙がカールするのを防ぎます。詳細については、印刷メディアの選択を参照してください。

設定品質を高くする

印刷品質設定が低すぎないか確認してください。**高画質** や **最大 dpi** などの高画質設定で画像を印刷します。

イメージを回転する

- それでも問題が解決しない場合は、製品にインストールしたソフトウェアまたは別のソフトウェア アプリケーションを使って、画像の水色、灰色、または茶色の色調がページの下部分に印刷されないように、画像を180 度回転させてください。均一な明るい色の部分で問題が目立ちやすいため、画像の回転が役立つ可能性があります。
- プリントヘッドに問題がある可能性があります。プリントヘッドをクリーニングします。詳細については、プリントヘッドをクリーニングするにはを参照してください。

色が正しい位置に印刷されない

プリントヘッドの確認

きれいな白い用紙に印字品質診断ページを印刷します。問題の部分を確認し、推奨された操作を行います。詳細については、印刷品質診断ページを印刷するにはを参照してください。

画像の配置の確認

ソフトウェア アプリケーションのズーム機能または印刷プレビュー機能を使用して、グラフィックスが配置されている間隔を確認してください。

テキストまたはグラフィックスにインクの筋が出ている

プリントヘッドの確認

きれいな白い用紙に印字品質診断ページを印刷します。問題の部分を確認し、推奨された操作を行います。詳細については、印刷品質診断ページを印刷するにはを参照してください。

ページの一部が印刷されない、または正しくない

プリントヘッドの確認

きれいな白い用紙に印字品質診断ページを印刷します。問題の部分を確認し、推奨された操作を行います。詳細については、印刷品質診断ページを印刷するにはを参照してください。

余白設定の確認

文書の余白設定が本体の印刷可能領域を超えていないことを確認します。 詳細については、サポートされているデバイスを参照してください。

カラー印刷設定を確認します

プリント ドライバで **[グレースケールで印刷]** が選択されていないことを確認します。

給紙の問題の解決

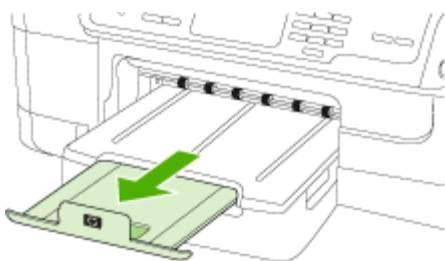
メディアがプリンタまたはトレイにサポートされていない場合

本体および使用中のトレイでサポートされているメディアのみを使用します。 詳細については、サポートされたメディアの仕様の理解を参照してください。

メディアがトレイから供給されない

- メディアが自動ドキュメント フィーダではなく、トレイにセットされていることを確認します。詳細については、メディアのセットを参照してください。メディアをセットする前に、扇状に広げます。
- セットしているメディア サイズに対して、用紙ガイドがトレイの正しい位置に設定されていることを確認します。 ガイドが用紙の束にきつすぎずにぴったりと合っていることも確認します。
- トレイのメディアが丸まっていないことを確認します。 丸まっている紙は反対に丸めて、平らにします。
- 薄い特殊なメディアを使用する場合は、トレイが完全にセットされていることを確認してください。 少数しか使用できない特殊なメディアの場合は、同じサイズの他の用紙の上にその特殊メディアを置いて、トレイにセットします。 (トレイがいっぱいになっていると、給紙がうまく行われるメディアもあります。)
- 厚い特殊なメディア (カタログなど) を使用する場合は、トレイの 1/4 から 3/4 までに収まるようにメディアをセットしてください。 必要に応じて、同じサイズの他の用紙の上にそのメディアを置いて、重ねたメディアの高さがこの範囲内に収まるようにしてください。
- 使用済みの用紙のブランクの面に印刷しようとしている場合、メディアの給紙に問題が生じる可能性があります。

メディアが正しく排出されない

- 排紙トレイの拡張部が引き出されていることを確認します。排紙トレイが引き出されていないと、印刷ページが本体から落下することがあります。

- 余分なメディアは排紙トレイから取り除いてください。 トレイにセットできる枚数には制限があります。

ページが曲がっている

- トレイにセットされたメディアが用紙ガイドと合っていることを確認します。必要に応じて、メディアを正しくセットし直し、用紙ガイドがきちんと合っていることを確認します。
- 両面印刷ユニットが正しく取り付けられていることを確認してください。
- 印刷中は本体にメディアをセットしないでください。

一度に 2 枚以上給紙される

- メディアをセットする前に、扇状に広げます。
- セットしているメディア サイズに対して、用紙ガイドがトレイの正しい位置に設定されていることを確認します。 ガイドが用紙の束にきつすぎずにぴったりと合っていることも確認します。
- トレイに用紙がセットされすぎていないことを確認します。
- 薄い特殊なメディアを使用する場合は、トレイが完全にセットされていることを確認してください。 少数しか使用できない特殊なメディアの場合は、同じサイズの他の用紙の上にその特殊メディアを置いて、トレイにセットします。 (トレイがいっぱいになっていると、給紙がうまく行われるメディアもあります。)

- 厚い特殊なメディア (カタログなど) を使用する場合は、トレイの 1/4 から 3/4 までに収まるようにメディアをセットしてください。必要に応じて、同じサイズの他の用紙の上にそのメディアを置いて、重ねたメディアの高さがこの範囲内に収まるようにしてください。
- 最高のパフォーマンスと効率を実現するには、HP メディアを使用してください。詳細については、印刷メディアの選択を参照してください。

コピーの問題の解決

以下のトピックに示されている方法で問題が解決しない場合は、サポートおよび保証 を参照して HP にサポートを依頼してください。

- コピーが排出されない
- 何もコピーされない
- 原稿の一部がコピーされない、または薄い
- サイズが小さくなる
- コピーの品質が悪い
- 正しくコピーされない
- ページの半分が印刷された後、用紙が排出される
- エラー メッセージが表示される

コピーが排出されない

- **電源の確認**
  電源コードがしっかりと接続され、本体の電源がオンになっていることを確認します。
- **本体のステータスの確認**
  - デバイスで別のジョブが実行されている可能性があります。 コントロール パネルのディスプレイで、ジョブのスタータスを確認します。 実行中のジョブがある場合は、そのジョブが終了するまで待ちます。
  - デバイスで紙詰まりが発生している可能性があります。 用紙が詰まっていないかどうかを確認します。 メディア詰まりの除去を参照してください。
- **トレイの確認**
  メディアがセットされていることを確認します。詳細については、メディアのセットを参照してください。

何もコピーされない

- **メディアの確認**
  メディアが Hewlett-Packard メディア仕様に適合していない (メディアが湿っている、メディアが粗いなど) 可能性があります。詳細については、印刷メディアの選択を参照してください。
- **設定の確認**
  コントラストの設定が明るすぎる可能性があります。 デバイスのコントロール パネルの **コピー** ボタンを使用し、明るさを低くしてコピーを作成します。
- **トレイの確認**
  ADF を使用してコピーしている場合は、原稿が正しくセットされていることを確認します。 詳細については、自動ドキュメント フィーダ (ADF) への原稿のセットを参照してください。

原稿の一部がコピーされない、または薄い

- **メディアの確認**
  メディアが Hewlett-Packard メディア仕様に適合していない (メディアが湿っている、メディアが粗いなど) 可能性があります。詳細については、印刷メディアの選択を参照してください。
- **設定の確認**
  品質の設定が **[はやい]** (ドラフト品質のコピーが作成されます) になっていると、原稿の一部がコピーされないことや、コピーが薄くなることがあります。 設定を **[標準]** または **[高画質]** に変更します。
- **原稿の確認**
  - コピーの正確さは、原稿の品質やサイズによって異なります。 **[コピー]** メニューを使用してコピーの明るさを調整します。 原稿が明るすぎる場合、コントラストを調整しても、原稿の一部がコピーされないことがあります。
  - 背景に色が付いていると、前景が背景に混ざることや、背景の影が原稿と異なることがあります。

サイズが小さくなる

- デバイスのコントロール パネルの拡大/縮小などのコピー機能が、スキャンした画像を縮小するように設定されている可能性があります。 コピー機能のサイズの設定が原寸になっていることを確認します。
- HP ソリューション センター ソフトウェアが、スキャンした画像を縮小するように設定されている可能性があります。必要に応じて設定を変更します。詳細については HP ソリューション センター ソフトウェアのオンスクリーン ヘルプを参照してください。

コピーの品質が悪い

- **コピーの品質を高めるための手順の実行**
  - 品質の良い原稿を使用します。
  - メディアを正しくセットします。メディアが正しくセットされていないと、メディアがまっすぐ給紙されず、明瞭にコピーされないことがあります。詳細については、メディアのセットを参照してください。
  - 原稿を保護するキャリア シートを使用します。
- **本体の確認**
  - スキャナのカバーが正しく閉じられていない可能性があります。
  - 必要に応じて、スキャナ ガラスまたはスキャナの原稿押さえをクリーニングします。詳細については、デバイスのクリーニングを参照してください。
  - ADF のクリーニングが必要です。詳細については、デバイスのクリーニングを参照してください。
- 印刷品質診断ページを印刷してください。インクの筋、色の間違い、その他コピーの印刷品質の問題が生じた場合は、ノズルに問題がないかどうか確認してください。詳細については、印刷品質診断ページを印刷するにはを参照してください。

正しくコピーされない

- **縦方向の白いまたはかすれたしま模様**
  メディアが Hewlett-Packard メディア仕様に適合していない (メディアが湿っている、メディアが粗いなど) 可能性があります。詳細については、印刷メディアの選択を参照してください。
- **明るすぎる、または暗すぎる**
  コントラストまたはコピー品質の設定を調整します。

- **不要な線**

  必要に応じて、スキャナ ガラス、スキャナの原稿押さえまたはスキャナ フレームをクリーニングします。詳細については、デバイスのクリーニングを参照してください。
- **黒い点または縞が現れる**

  インク、接着剤、修正液、またはゴミがスキャナ ガラスまたは原稿押さえに付着している可能性があります。本体をクリーニングしてみます。詳細については、デバイスのクリーニングを参照してください。
- **斜めまたはゆがんでコピーされる**
  - ADF 給紙トレイにセットされているメディアの量が多すぎないことを確認します。
  - ADF のメディア幅アジャスタがメディアの端にぴったりと合っていることを確認します。
- **テキストがはっきりしない**
  - コントラストまたはコピー品質の設定を調整します。
  - デフォルトの強調設定がジョブに適していない可能性があります。 設定を確認し、必要な場合は、テキストまたは写真を強調するように設定を変更します。 詳細については、コピー設定の変更を参照してください。
- **テキストまたはグラフィックスにムラがある**

  コントラストまたはコピー品質の設定を調整します。
- **大きなものモノクロ文字がまだらで、なめらかでない**

  デフォルトの強調設定がジョブに適していない可能性があります。 設定を確認し、必要な場合は、テキストまたは写真を強調するように設定を変更します。 詳細については、コピー設定の変更を参照してください。
- **ライト グレーからミディアム グレーの部分にざらざらしたまたは白い横線が現れる**

  デフォルトの強調設定がジョブに適していない可能性があります。 設定を確認し、必要な場合は、テキストまたは写真を強調するように設定を変更します。 詳細については、コピー設定の変更を参照してください。

ページの半分が印刷された後、用紙が排出される

インク カートリッジの確認

インク カートリッジのインクがなくなったため、印刷ジョブが取り消された可能性があります。インク カートリッジを交換し、印刷ジョブを本体に再送信します。詳細については、インク カートリッジの交換を参照してください。

エラー メッセージが表示される

原稿をセットし直した後、ジョブを再ロードします。

OK(O) ボタンを押し、残りの原稿 (最大 20 枚) を ADF にセットし直します。詳細については、原稿のセットを参照してください。

スキャンの問題の解決

以下のトピックに示されている方法で問題が解決しない場合は、サポートおよび保証 を参照して HP にサポートを依頼してください。

注記 コンピュータからスキャンを開始している場合は、ソフトウェアのヘルプにあるトラブルシューティング情報を参照してください。

- スキャナが動作しない
- スキャンに時間がかかりすぎる
- 文書の一部またはテキストがスキャンされない
- テキストを編集できない
- エラー メッセージが表示される
- スキャンした画像の品質が良くない
- 正しくスキャンされない

スキャナが動作しない

- **原稿の確認**

  原稿が正しくセットされていることを確認します。詳細については、原稿のセットを参照してください。

- **本体の確認**

  一定時間操作が行われずに本体がパワーセーブ モードに入っていたため、処理が再開されるまで時間がかかっている可能性があります。 本体が [**準備完了**] 状態になるまで待ちます。

スキャンに時間がかかりすぎる

- **設定の確認**
  - 解像度の設定が高すぎると、スキャンに時間がかかり、作成されるファイルのサイズも大きくなります。良い結果を得るには、解像度を必要以上高く設定しないようにします。解像度の設定を低くするとスキャンの速度が向上します。
  - TWAIN 経由で画像を取得する場合は、原稿をモノクロでスキャンするように設定を変更すると、問題が解決することがあります。 詳細については、TWAIN プログラムのオンスクリーン ヘルプを参照してください。
- **本体のステータスの確認**
  スキャンの前に印刷ジョブまたはコピー ジョブを送信した場合は、スキャナがビジー状態でなければ、スキャンが開始されます。 ただし、その場合は、印刷またはコピーとスキャンとでメモリが共有されるため、スキャンの速度が遅くなる可能性があります。

文書の一部またはテキストがスキャンされない

- **原稿の確認**
  - 原稿が正しくセットされていることを確認します。 詳細については、原稿のセットを参照してください。
  - 原稿を ADF からスキャンした場合は、スキャナ ガラスから直接スキャンしてみます。詳細については、スキャナのガラス板への原稿のセットを参照してください。
  - 背景に色が付いていると、前景の画像が背景に混ざることがあります。 原稿をスキャンする前に設定を調整するか、原稿をスキャンした後に画像を強調してみます。
- **設定の確認**
  - メディアのサイズがスキャン原稿に対して十分であることを確認します。
  - HP ソリューション センター ソフトウェアを使用している場合、HP ソリューション センター ソフトウェアのデフォルトの設定が、現在行おうとしているタスクとは別のタスクを自動的に行うように設定されている可能性があります。プロパティを変更する手順については、HP ソリューション センター ソフトウェアのオンスクリーン ヘルプを参照してください。

テキストを編集できない

- **設定の確認**
  - OCR ソフトウェアがテキストを編集するように設定されていることを確認します。
  - 原稿をスキャンするとき、編集可能なテキストが生成される文書の種類を選択します。 テキストがグラフィックスと認識されると、テキストに変換されません。
  - OCR プログラムに、OCR タスクを実行しないワードプロセッシング プログラムがリンクされている可能性があります。 プログラムのリンクの詳細については、製品ソフトウェアのヘルプを参照してください。
- **原稿の確認**
  - OCR の場合、原稿を ADF にセットするときは、原稿の先頭を前にして、読み取り面を上に向ける必要があります。原稿が正しくセットされていることを確認します。詳細については、原稿のセットを参照してください。
  - 文字間の狭いテキストは OCR プログラムによって認識されない可能性があります。 OCR プログラムで変換するテキストの文字が失われていたり、つながったりしていると、たとえば、"rn" が "m" と認識される場合があります。
  - OCR プログラムの正確さは、画像の品質、テキストのサイズ、原稿の構造、スキャン自体の品質によって異なります。 原稿の画像の品質が良いことを確認してください。
  - 背景に色が付いていると、前景の画像と必要以上に混ざることがあります。 原稿をスキャンする前に設定を調整するか、原稿をスキャンした後に画像を強調してみます。 原稿に対して OCR 操作を実行する場合、原稿上の色付きのテキストは適切にスキャンされません。

エラー メッセージが表示される

- [**TWAIN ソースを有効にできません**] または [**画像の取得中にエラーが発生しました**]
  - デジタル カメラや別のスキャナなど、本体以外のデバイスから画像を取得している場合、そのデバイスが TWAIN に準拠していることを確認します。 TWAIN に準拠していないデバイスは、デバイス ソフトウェアと連携しません。
  - USB 接続を使用している場合、USB デバイス ケーブルをコンピュータ背面の正しいポートに接続していることを確認します。
  - 正しい TWAIN ソースが選択されていることを確認します。 ソフトウェアで、**ファイル** メニューの **スキャナの選択** を選択します。
- [**原稿をセットし直した後、ジョブを再開してください**]

  OK(O) ボタンを押し、残りの原稿を ADF にセットし直します。詳細については、原稿のセットを参照してください。

スキャンした画像の品質が良くない

原稿が二次的な写真または画像である

新聞や雑誌などの印刷された写真は、細かなドットで元の写真を再現する方法が使用されているため、品質が低下しています。 多くの場合、インクのドットは、画像のスキャンや印刷を行うとき、または画像を画面上に表示するときに不要なパターンを生み出す可能性があります。 以下の方法で問題が解決しない場合は、現在よりも品質の良い原稿を使用する必要があります。

- パターンを削除するには、スキャン後に画像のサイズを縮小してみます。
- スキャンした画像を印刷し、品質が改善されるかどうかを確認します。
- 解像度と色の設定がスキャン ジョブの種類に適していることを確認します。
- 最良の結果を得るには、スキャンには ADF ではなく、スキャナ ガラスを使用します。

原稿の裏面のテキストや画像がスキャンされる

薄いメディアまたは透明度の高いメディアに印刷されている両面原稿は、裏側のテキストまたは画像が表面に透け、スキャナに取り込まれることがあります。

スキャンした画像がゆがんでいる (曲がっている)

原稿が正しくセットされていない可能性があります。 原稿を ADF にセットするときは必ずメディア ガイドを使用してください。詳細については、原稿のセットを参照してください。

印刷した方が画質が良い

画面に表示される画像は、スキャンの質を必ずしも正確に表現しているとは限りません。

◦ コンピュータ モニタの設定を調整して、使用する色数 (グレーのレベル数) を増やしてみます。 Windows コンピュータでこの調整を行うには、通常、Windows のコントロール パネルの **[画面]** を使用します。
◦ 解像度と色の設定を調整してみます。

スキャンした画像に汚れ、線、縦の白いストライプなどの問題がある

◦ スキャナ ガラスが汚れていると、最適な鮮明度の画像が得られません。デバイスのクリーニングを参照してクリーニングを実施します。
◦ スキャン処理ではなく、原稿自体に問題がある可能性があります。

グラフィックスが原稿と異なって見える

解像度を上げてスキャンしてください。

注記 高解像度でスキャンすると時間がかかり、コンピュータの容量を大量に使用する可能性があります。

スキャンの質を高めるための手順の実行

◦ ADF ではなく、スキャナのガラス板を使用してスキャンを実行します。
◦ 質の良い原稿を使用します。
◦ メディアを正しく置きます。 メディアがスキャナのガラス板に正しくセットされていないと、メディアがまっすぐ給紙されず、明瞭にスキャンされないことがあります。 詳細については、原稿のセットを参照してください。
◦ スキャンしたページの用途に応じてソフトウェアの設定を調整します。
◦ 原稿を保護するキャリア シートを使用します。
◦ スキャナ ガラスをクリーニングします。詳細については、スキャナ ガラスのクリーニングを参照してください。

正しくスキャンされない

- **空白ページ**
  原稿が正しくセットされていることを確認します。 フラットベッド型スキャナでは、原稿の表を下に向け、原稿の左上隅をスキャナ ガラスの右下隅に合わせてセットします。
- **明るすぎる、または暗すぎる**
  - 設定を調整してみます。 正しい解像度と色設定を必ず使用してください。
  - 原稿が非常に明るい (または暗い) か、色の付いた用紙に印刷されている可能性があります。
- **不要な線**
  スキャナ ガラスにインク、接着剤、修正液、またはゴミが付着している可能性があります。スキャナ ガラスをクリーニングしてみてください。詳細については、デバイスのクリーニングを参照してください。
- **黒い点または縞**
  - スキャナ ガラスにインク、接着剤、修正液、または不要物が付着しているか、スキャナ ガラスに汚れまたは傷があるか、スキャナの原稿押さえが汚れている可能性があります。スキャナ ガラスと原稿押さえをクリーニングしてみてください。詳細については、デバイスのクリーニングを参照してください。クリーニングしても問題が解決しない場合は、必要に応じて、スキャナ ガラスまたはスキャナの原稿押さえを交換します。
  - スキャン処理ではなく、原稿自体に問題がある可能性があります。
- **テキストが鮮明でない**
  設定を調整してみます。 解像度と色の設定が正しいことを確認してください。
- **サイズが小さくなる**
  HP ソフトウェアが、スキャンした画像を縮小するように設定されている可能性があります。 設定の変更方法の詳細については、製品ソフトウェアのヘルプを参照してください。

ファクスの問題の解決

このセクションでは、ファクスのセットアップに関するトラブルシューティングについて説明します。 ファクスが正しくセットアップされ

ていないと、ファクスの送信、ファクスの受信またはその両方で問題が発生する可能性があります。

ファクスに問題がある場合、ファクス テスト レポートを印刷して、本体の状態を確認できます。 本体でファクスが正しくセットアップされていない場合、テストに失敗します。 このテストは、デバイスのファクス機能のセットアップが完了した後に実行してください。 詳細については、ファクス設定のテストを参照してください。

テストに失敗した場合、レポートを参照して、問題の解決方法を確認してください。 詳細については、ファクス テストに失敗したを参照してください。

ファクス機能に問題がある場合は、まず以下を試してください。

- 電話コードを確認します。別の電話コードを使い、問題が繰り返し発生するか確認します。
- HP デバイスから他の機器を取り外します。HP デバイスを壁側のモジュラー ジャックに直接接続して、問題が繰り返し発生するか確認します。

- ファクス テストに失敗した
- ディスプレイに常に「受話器が外れています」と表示される
- ファクスの送受信がうまくできない
- 手動によるファクスの送信がうまくできない
- ファクスを受信できないが、送信はできる
- ファクスを送信できないが、受信はできる
- ファクス トーンが留守番電話に録音される
- デバイスに付属の電話コードの長さが十分でない
- コンピュータでファクスを受信できない (PC ファクス受信または Mac にファクス)
- 送信されたファクスに空白ページ、または縦方向の縞模様があります
- 受信したファクスに空白ページ、または縦方向の縞模様がある

ファクス テストに失敗した

ファクス テストを実行して失敗した場合、レポートを調べてエラーの基本情報を確認します。 詳細については、レポートでテストのどの部分で失敗したか確認し、このセクションの該当トピックで対処方法をご確認ください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 「ファクス ハードウェア テスト」に失敗した
- 「ファクスが壁側電話ジャックに接続完了」テストに失敗した
- 「電話コードがファクスの正しいポートに接続完了」テストに失敗した
- 「ファクスで正しい電話コード使用中」テストに失敗した
- 「ダイヤルトーン検出」テストに失敗した
- 「ファクス回線状態」テストに失敗した

「ファクス ハードウェア テスト」に失敗した

解決方法:

- デバイスのコントロール パネルの **電源** ボタンを使用してデバイスの電源をオフにし、本体背面から電源コードを抜きます。 数秒経過してから、電源コードを再び接続し、電源をオンにします。 もう一度テストを実行します。 またテストに失敗した場合、引き続きこのセクションのトラブルシューティング情報を調べてください。
- テスト ファクスを送信または受信してみてください。 ファクスの送信または受信に成功したら、問題ない可能性があります。
- **[ファクス セットアップ ウィザード]** (Windows) または **[HP ファクス セットアップ ユーティリティ]** (Mac OS X) からテストを実行している場合、ファクスの受信やコピーなど他のタスクを完了するためにデバイスがビジーになっていないことを確認します。コントロール パネル ディスプレイのメッセージで、本体がビジー状態であるかどうかを確認してください。ビジー状態の場合、タスクが終了してアイドル状態になってからテストを実行します。

- 必ず本製品付属の電話コードを使用してください。 付属のコードで壁側のモジュラー ジャックと本体を接続しないと、ファクスの送受信が正常に行われないことがあります。 本製品付属の電話コードを差し込んだら、ファクス テストをもう一度実行します。
  国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。
- 電話スプリッターを使用していると、ファクスの問題の原因になる場合があります。 (スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです。) スプリッターを取り外し、本体を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。

見つかった問題を解決した後、もう一度ファクス テストを実行します。テストに成功した場合は、ファクスを使用することができます。 **[ファクス ハードウェア テスト]** の失敗が続き、ファクスを使用できない場合は、HP サポートにお問い合わせください。 www.hp.com/support にアクセスしてください。 情報の入力を要求された場合は、国または地域を選択して、**[お問い合わせ]** をクリックして情報を参照しテクニカル サポートにお問合せください。

「ファクスが壁側電話ジャックに接続完了」テストに失敗した

解決方法:

- 電話の壁側のモジュラー ジャックと本体の接続を確認して、電話コードがしっかり接続されていることを確認します。
- 必ず本製品付属の電話コードを使用してください。付属のコードで壁側のモジュラー ジャックと本体を接続しないと、ファックスの送受信が正常に行われないことがあります。
  国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。
- 本体が壁側のモジュラー ジャックに正しく接続されていることを確認します。 デバイスに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端をデバイスの背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。 ファクスを使用するための本体の設定の詳細については、デバイスのファクス機能のセットアップを参照してください。

- 電話スプリッターを使用していると、ファクスの問題の原因になる場合があります。(スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです。) スプリッターを取り外し、本体を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。
- 正常に機能する電話機と電話コードを、本体で使用している壁側のモジュラージャックに接続し、発信音の有無を確認します。 ダイヤル トーンが聞こえない場合、電話会社に連絡して、回線の検査を依頼してください。
- テスト ファクスを送信または受信してみてください。ファクスの送信または受信に成功したら、問題ない可能性があります。

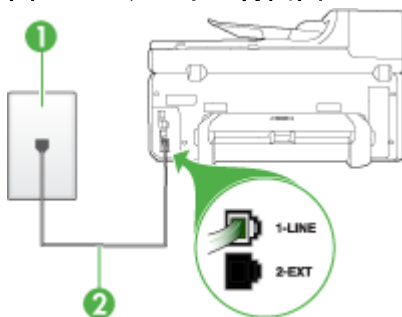
見つかった問題を解決した後、もう一度ファクス テストを実行します。テストに成功した場合は、ファクスを使用することができます。

「電話コードがファクスの正しいポートに接続完了」テストに失敗した

解決方法: 電話コードを正しいポートに接続します。

1. デバイスに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端をデバイスの背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。
   国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

   注記 2-EXT ポートを使用して壁側のモジュラー ジャックに接続すると、ファクスの送受信はできません。 2-EXTポートは、留守番電話などの機器接続専用です。

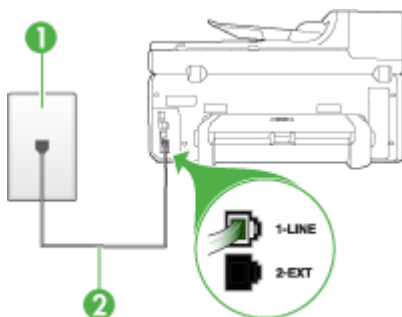
図 11-1 デバイス背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	"1-LINE" ポートに接続したデバイス付属の電話コードを使用する 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

2. 1-LINE というラベルの付いたポートに電話コードを接続したら、もう一度ファクス テストを実行します。テストに成功すると、ファクスを使用することができます。
3. テスト ファクスを送信または受信してみてください。

- 必ず本製品付属の電話コードを使用してください。付属のコードで壁側のモジュラー ジャックと本体を接続しないと、ファクスの送受信が正常に行われないことがあります。本製品付属の電話コードを差し込んだら、ファクス テストをもう一度実行します。
  国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。
- 電話スプリッターを使用していると、ファクスの問題の原因になる場合があります。(スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです。) スプリッターを取り外し、本体を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。

「ファクスで正しい電話コード使用中」テストに失敗した

解決方法:

- 本製品に付属の電話コードを使用して、壁側のモジュラージャックに接続していることを確認してください。 下図のように、電話コードの一方の端を本体背面にある 1-LINE というラベルの付いたポートに接続し、もう一方の端を壁側のモジュラージャックに接続します。
  国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

1	壁側のモジュラージャック
2	"1-LINE" ポートに接続したデバイス付属の電話コードを使用する 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

  本製品に付属の電話コードの長さが足りない場合、カプラーを使用して延長できます。 カプラーは、電話のアクセサリを扱っている電器店で購入できます。 自宅やオフィスで使用している通常の電話コードがもう 1 本必要です。

- 電話の壁側のモジュラー ジャックと本体の接続を確認して、電話コードがしっかり接続されていることを確認します。

- 必ず本製品付属の電話コードを使用してください。付属のコードで壁側のモジュラー ジャックと本体を接続しないと、ファクスの送受信が正常に行われないことがあります。本製品付属の電話コードを差し込んだら、ファクス テストをもう一度実行します。
  国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。
- 電話スプリッターを使用していると、ファクスの問題の原因になる場合があります。(スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです。) スプリッターを取り外し、本体を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。

「ダイヤルトーン検出」テストに失敗した

解決方法:

- 本体と同じ電話回線を使用している他の機器がテスト失敗の原因となっている可能性があります。 他の機器が原因になっているかどうかを確認するために、電話回線からすべての機器を外し、もう一度テストを実行します。 他の機器を外したときに [**ダイヤルトーン検出テスト**] に成功する場合、他の 1 つ以上の機器が問題の原因になっている可能性があります。問題の原因になっている機器を特定できるまで、機器を一度に 1 つずつ戻し、そのたびにテストを実行します。
- 正常に機能する電話機と電話コードを、本体で使用している壁側のモジュラージャックに接続し、発信音の有無を確認します。ダイヤル トーンが聞こえない場合、電話会社に連絡して、回線の検査を依頼してください。
- 本体が壁側のモジュラー ジャックに正しく接続されていることを確認します。デバイスに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端をデバイスの背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。
- 電話スプリッターを使用していると、ファクスの問題の原因になる場合があります。(スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです。) スプリッターを取り外し、本体を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。

• PBX システムなど、ご使用の電話システムが通常のダイヤル トーンを使用していない場合、テストに失敗する原因になる可能性があります。 これは、ファクス送受信の問題の原因にはなりません。 テスト ファクスを送信または受信してみてください。
• お住まいの国/地域に対して、国/地域の設定が適切に設定されていることを確認してください。 国/地域が設定されてないか、間違って設定されていると、テストに失敗し、ファクスの送受信に問題が発生することがあります。
• 本体をアナログ電話回線に接続していることを確認してください。アナログ電話回線に接続していないと、ファクスを送受信できません。 電話回線がデジタルであるかどうかを確認するには、回線に通常のアナログ電話を接続してダイヤルトーンを聞きます。 通常のダイヤル音が聞こえない場合は、デジタル電話用に設定された電話回線の場合があります。 本体をアナログ回線に接続し、ファクスの送受信を試します。
• 必ず本製品付属の電話コードを使用してください。付属のコードで壁側のモジュラー ジャックと本体を接続しないと、ファクスの送受信が正常に行われないことがあります。本製品付属の電話コードを差し込んだら、ファクス テストをもう一度実行します。
  国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

見つかった問題を解決した後、もう一度ファクス テストを実行します。テストに成功した場合は、ファクスを使用することができます。 [**ダイヤル トーン検出**] テストに引き続き失敗し続ける場合、電話会社に連絡して回線の検査を依頼してください。

「ファクス回線状態」テストに失敗した

解決方法:

- 本体をアナログ電話回線に接続していることを確認してください。アナログ電話回線に接続していないと、ファクスを送受信できません。電話回線がデジタルであるかどうかを確認するには、回線に通常のアナログ電話を接続してダイヤルトーンを聞きます。通常のダイヤル音が聞こえない場合は、デジタル電話用に設定された電話回線の場合があります。本体をアナログ回線に接続し、ファクスの送受信を試します。
- 電話の壁側のモジュラー ジャックと本体の接続を確認して、電話コードがしっかり接続されていることを確認します。
- 本体が壁側のモジュラー ジャックに正しく接続されていることを確認します。デバイスに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端をデバイスの背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。

  国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。
- 本体と同じ電話回線を使用している他の機器がテスト失敗の原因となっている可能性があります。他の機器が原因になっているかどうかを確認するために、電話回線からすべての機器を外し、もう一度テストを実行します。
  - 他の機器を外したときに [**ファクス回線状態テスト**] に成功する場合、他の 1 つ以上の機器が問題の原因になっている可能性があります。問題の原因になっている機器を特定できるまで、機器を一度に 1 つずつ戻し、そのたびにテストを実行します。
  - 他の機器を外して [**ファクス回線状態テスト**] に失敗する場合は、正常に機能している電話回線に本体を接続して、引き続きこのセクションのトラブルシューティングを実施します。

- 電話スプリッターを使用していると、ファクスの問題の原因になる場合があります。(スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです。) スプリッターを取り外し、本体を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。
- 必ず本製品付属の電話コードを使用してください。付属のコードで壁側のモジュラー ジャックと本体を接続しないと、ファクスの送受信が正常に行われないことがあります。本製品付属の電話コードを差し込んだら、ファクス テストをもう一度実行します。

  国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

見つかった問題を解決した後、もう一度ファクス テストを実行します。テストに成功した場合は、ファクスを使用することができます。 [**ファクス回線状態**] テストに引き続き失敗し続け、ファクスができない場合、電話会社に連絡して回線の検査を依頼してください。

ディスプレイに常に「受話器が外れています」と表示される

解決方法: 間違った種類の電話コードを使用しています。 本体を電話回線に接続する際は、必ず付属の電話コードを使用してください。本製品に付属の電話コードの長さが足りない場合、カプラーを使用して延長できます。カプラーは、電話のアクセサリを扱っている電器店で購入できます。自宅やオフィスで使用している通常の電話コードがもう 1 本必要です。

国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

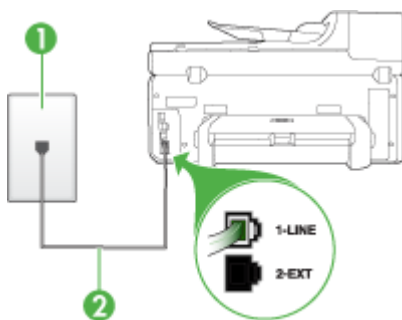
解決方法: 本体と同じ電話回線の他の機器が使用中である可能性があります。 内線電話 (同じ電話回線を使用している電話で、本体に接続されていないもの) またはその他の機器が使用中でないこと、受話器が外れていないことを確認してください。 内線電話の受話器が外れている場合や、コンピュータのモデムを経由して電子メールの送信やインターネットへのアクセスを実行している場合、本体のファクス機能は使用できません。

ファクスの送受信がうまくできない

解決方法: 本体の電源がオンになっていることを確認します。 本体のディスプレイを見てください。 ディスプレイに何も表示されず、**電源** ランプが点灯していない場合は、本体の電源が入っていません。 本体の電源コードが電源コンセントにしっかりと差し込まれていることを確認してください。 **電源** ボタンを押して、デバイスの電源を入れてください。

本体の電源をオンにしたら、5 分ほど待ってから、ファクスの送受信を行うようお勧めします。 本体の電源をオンにしても、初期化中は送受信できません。

解決方法:

- 本製品に付属の電話コードを使用して、壁側のモジュラージャックに接続していることを確認してください。 下図のように、電話コードの一方の端を本体背面にある 1-LINE というラベルの付いたポートに接続し、もう一方の端を壁側のモジュラージャックに接続します。
  国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

1	壁側のモジュラージャック
2	"1-LINE" ポートに接続したデバイス付属の電話コードを使用する 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

本製品に付属の電話コードの長さが足りない場合、カプラーを使用して延長できます。カプラーは、電話のアクセサリを扱っ

ている電器店で購入できます。 自宅やオフィスで使用している通常の電話コードがもう 1 本必要です。

- 正常に機能する電話機と電話コードを、本体で使用している壁側のモジュラージャックに接続し、発信音の有無を確認します。 発信音が聞こえない場合、電話会社にお問い合わせください。
- 本体と同じ電話回線の他の機器が使用中である可能性があります。 内線電話の受話器が外れている場合や、コンピュータのモデムを経由して電子メールの送信やインターネットへのアクセスを実行している場合、本体のファクス機能は使用できません。
- 他のプロセスがエラーの原因となっていないか確認してください。 ディスプレイまたはコンピュータで、問題とその解決法のエラー メッセージを確認してください。 エラーが解決するまで、ファクスの送受信を行うことができません。
- 電話回線の接続ノイズが発生している可能性があります。 電話回線の音質が悪い (ノイズがある) と、ファクスの使用時に問題が発生することがあります。 電話を壁側のモジュラー ジャックに接続し、静電ノイズなどのノイズに注意して、電話線の音質をチェックしてください。 ノイズが聞こえたら、[**エラー補正モード**] (ECM) をオフにして、もう一度ファクスしてみてください。 ECM の変更方法の詳細については、オンスクリーン ヘルプを参照してください。 問題が解決しない場合、電話会社に連絡してください。
- デジタル加入者線 (DSL) サービスの使用時は、DSL フィルタが接続されていることを確認してください。そうしないと、ファックスを使用することができません。詳細については、ケース B： DSL 環境でのデバイスのセットアップを参照してください。
- DSL サービスを使用していて、DSL フィルタが接続されている場合は、フィルタがファクス トーンをさえぎっている可能性があります。フィルタを取り外し、デバイスを壁に直接接続してみてください。
- 本体が、デジタル電話用のモジュラージャックに接続されていないことを確認してください。電話回線がデジタルであるかどうかを確認するには、回線に通常のアナログ電話を接続してダイヤルトーンを聞きます。通常のダイヤル音が聞こえない場合は、デジタル電話用に設定された電話回線の場合があります。

- PBX (構内交換機) または ISDN コンバータ/ターミナル アダプタを使用している場合は、本体が正しいポートに接続され、ターミナル アダプタがお住まいの国または地域に適した種類のスイッチに設定されていることを確認してください。 詳細については、ケース C： PBX 電話システムまたは ISDN 回線の環境でのデバイスのセットアップを参照してください。
- 本体が DSL サービスと同じ電話回線を共有している場合、DSL モデムが正しく接地されていない可能性があります。 DSL モデムが正しく接地されていない場合、電話回線にノイズが発生することがあります。電話回線の音質が悪い (ノイズがある) と、ファクスの使用時に問題が発生することがあります。 電話機を壁側のモジュラージャックに接続して、静的ノイズなどのノイズの有無を聞き取ると、電話回線の音質を確認できます。 ノイズが聞こえる場合は、DSL モデムをオフにして、少なくとも 15 分間電力を完全に除去します。 DSL モデムをもう一度オンにして、ダイヤル トーンを聞いてください。

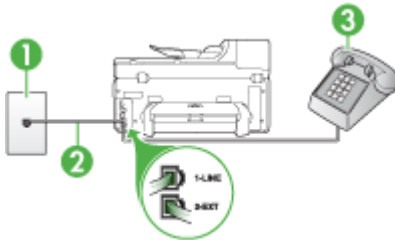
  注記 今後、電話回線で再び雑音が聞こえる場合があります。 ファクスの送受信が停止する場合は、この手順を繰り返してください。

  電話回線のノイズが消えない場合、電話会社に連絡してください。 DSL モデムをオフにする方法については、DSL プロバイダにお問い合わせください。
- 電話スプリッターを使用していると、ファクスの問題の原因になる場合があります。(スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです。) スプリッターを取り外し、本体を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。

手動によるファクスの送信がうまくできない

解決方法:

注記 この解決策は、本製品に 2 線式電話コードが付属している次の国または地域にのみ適用されます。アルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、カナダ、チリ、中国、コロンビア、インドネシア、日本、韓国、ラテン アメリカ、マレーシア、メキシコ、フィリピン、シンガポール、台湾、タイ、米国、ベネズエラ、ベトナム。

• ファクスを実行するために使用する電話機が、本体に直接接続されていることを確認してください。 ファクスを手動で送信するには、下図のように、本体の 2-EXT というラベルの付いたポートに電話機を直接接続してください。

1	壁側のモジュラージャック
2	"1-LINE" ポートに接続したデバイス付属の電話コードを使用する 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。
3	電話

• 本体に直接接続された電話から手動でファクスを送信する場合、ファクス送信には電話機のキーパッドを使用する必要があります。 デバイスのコントロール パネルのキーパッドは使用できません。

注記 シリアル方式の電話システムを使用している場合は、電話を「2–EXT」と書かれているポートに接続します。

ファクスを受信できないが、送信はできる

解決方法:

- 着信識別サービスを使用していない場合は、[**応答呼出し音のパターン**] 機能が [**すべての呼び出し**] に設定されていることを確認します。 詳細については、着信識別応答呼び出し音のパターンの変更を参照してください。
- [**自動応答**] が [**オフ**] に設定されている場合、ファクスの自動受信は行われません。ファクスを手動で受信する必要があります。 ファクスの手動受信についての詳細は、ファクスの手動受信を参照してください。
- ファクスと同じ電話番号でボイスメール サービスをお使いの場合は、ファクスを手動で受信しなければなりません。自動受信することはできません。 受信ファクスの着信に応答するためにその場にいる必要があります。 ボイスメール サービスをお使いの場合にファクスをセットアップする方法については、ケース F： 電話とファクスとボイスメール サービスを一緒に利用するを参照してください。ファクスの手動受信についての詳細は、ファクスの手動受信を参照してください。
- 本体と同じ電話回線上にコンピュータ モデムがある場合は、モデムに付属のソフトウェアが、ファクスを自動受信する設定になっていないことを確認してください。 ファクスを自動受信するよう設定されたモデムは、電話回線を占有してすべての受信ファクスを受け取るため、本体がファクス呼び出しを受信できません。
- 本体と同じ電話回線上に留守番電話がある場合は、以下のいずれかの問題が発生している可能性があります。
  - 留守番電話が本体に対して適切にセットアップされていない。
  - 発信メッセージが長すぎる、または発信メッセージの音量が大きすぎるために、本体がファクス トーンを検出できず、それが原因で送信元のファクス機が切断されている。
  - 本体がファクス トーンを検出できるだけの充分な時間が、留守番電話の発信メッセージの後にない。 この問題は、デジタル留守番電話の場合に最もよく発生します。

以下のアクションを実行すると、これらの問題が解決される場合があります。

◦ ファクスと同じ電話回線で留守番電話を使用する場合、ケース I：電話とファクスと留守番電話を一緒に利用する の説明のとおり、留守番電話を本体に直接接続してください。
◦ 本体でファクスを自動受信するように設定されていることを確認します。 本体でファクスを自動受信するように設定する方法については、ファクスの受信を参照してください。
◦ [**応答呼出し回数**] 設定を留守番電話よりも多い回数に設定していることを確認します。 詳細については、応答までの呼び出し回数の設定を参照してください。
◦ 留守番電話の接続を解除し、ファクスを受信してみます。 この状態でファクスの受信に成功した場合は、留守番電話が原因である可能性があります。
◦ 留守番電話をもう一度接続し、発信メッセージを録音し直します。 約 10 秒の長さのメッセージを録音します。 メッセージを録音するときには、低い音量で、ゆっくりと話してください。 音声メッセージの後、沈黙した状態で 5 秒以上録音を続けます。 この沈黙時間を録音するときには、バックグラウンド ノイズが入らないよう注意します。 もう一度ファクスを受信してください。

注記 デジタル留守番電話には、外出メッセージの最後に録音した無音部分を保持しないものもあります。 外出メッセージを再生して確認してください。

- 本体が、留守番電話やコンピュータ モデム、マルチポート スイッチ ボックスなど、その他のタイプの電話機器と同じ電話回線を共有している場合は、ファクスの信号レベルが低下することがあります。 スプリッターを使ったり、別のケーブルをつないで電話コードを延長しても信号レベルは低下します。 ファクスの信号レベルが低下すると、ファクスの受信に問題が発生する場合があります。
  他の機器が問題の原因となっているかどうかを調べるには、本体以外のすべての機器を電話回線から取り外し、ファクスを受信してみてください。 他の機器を外したときにファクスを正常に受信できる場合は、他の少なくとも 1 台の機器が問題の原因である可能性があります。問題の原因になっている機器を特定できるまで、機器を一度に 1 台ずつ戻し、そのたびにファクスを受信します。
- ファクス用電話番号の呼び出し音のパターンが特殊な場合 (電話会社を通じて着信識別サービスを使用している場合) は、本体の [**応答呼出し音のパターン**] 機能がそれに合致するように設定されていることを確認してください。詳細については、着信識別応答呼び出し音のパターンの変更を参照してください。

ファクスを送信できないが、受信はできる

解決方法:

- 本体のダイヤル速度が速すぎるか、またはダイヤルの間隔が短すぎます。 ファクス番号の途中に間隔の挿入が必要になることがあります。 たとえば、電話番号をダイヤルする前に外線にアクセスする必要がある場合、外線番号の後ろに間隔を挿入してください。 ダイヤルする番号が 95555555 で、9 が外線へのアクセス番号である場合、9-555-5555 のように間隔を挿入します。 9-555-5555 入力するファクス番号間に一定の間隔を入れるには、**リダイヤル/ポーズ** を押すか、ディスプレイにダッシュ記号 [-] が表示されるまで、**[スペース (#)]** ボタンを繰り返し押します。
  ダイヤルのモニタ機能を使用してファクスを送信できます。 これにより、ダイヤル時に電話回線の音を聞くことができます。 ダイヤルのペースを設定し、ダイヤル時にプロンプトに応答できます。 詳細については、ダイヤル モニタリングを使用したファクス送信を参照してください。
- ファクス送信の際に入力したファクス番号の形式が正しくないか、受信中のファクス機に問題が発生しています。 電話機からファクス番号をダイヤルし、ファクス トーンを聞いてください。 ファクス トーンが聞こえない場合は、受信側のファクス機の電源が入っていなかったり、接続されていなかったりする場合があります。また、ボイス メール サービスが、受信側の電話回線を妨害している場合もあります。 受信者に、受信側のファクス機に問題がないか確認するように依頼してください。

ファクス トーンが留守番電話に録音される

解決方法:

- ファクスと同じ電話回線で留守番電話を使用する場合、ケース I：電話とファクスと留守番電話を一緒に利用する の説明のとおり、留守番電話を本体に直接接続してください。 留守番電話を推奨される方法で接続しないと、ファクス トーンが留守番電話に録音される場合があります。
- 本体のファクス機能が自動受信に設定され、[**応答呼出し回数**] の設定が適切であることを確認してください。 デバイスの応答呼出し回数を、留守番電話が応答する回数よりも多く設定する必要があります。 留守番電話と本体で設定されている応答までの呼び出し回数が同じ場合、電話とファクスの両方が着信に応答してしまうため、ファクス トーンが留守番電話に録音されます。
- 留守番電話の呼び出し回数を少なくし、本体の呼び出し回数をサポートしている最大数に設定します (呼び出しの最大回数は、国/地域によって異なります)。 この設定では、留守番電話が電話に応答し、デバイスが電話回線を監視します。 本体がファクス受信音を検出した場合は、本体がファクスを受信します。 着信が電話の場合は、留守番電話が着信のメッセージを録音します。詳細については、応答までの呼び出し回数の設定を参照してください。

デバイスに付属の電話コードの長さが十分でない

解決方法:　本製品に付属の電話コードの長さが足りない場合、カプラーを使用して延長できます。カプラーは、電話のアクセサリを扱っている電器店で購入できます。自宅やオフィスで使用している通常の電話コードがもう 1 本必要です。

ヒント　本体に 2 線式電話コード アダプタが付属している場合は、4 線式電話コードと合わせて使用して長さを延長できます。 2 線式電話コード アダプタの使用方法については、付属のマニュアルを参照してください (日本では付属しておりません)。

電話コードを延長するには

1. 本製品に付属の電話コードの一方の端をカプラーに、もう一方の端を本体背面の 1-LINE というラベルの付いたポートに接続します。
2. もう 1 本の電話コードを、カプラーの空いているポートと壁側のモジュラー ジャックに接続します。
   国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

コンピュータでファクスを受信できない (PC ファクス受信または Mac にファクス)

原因: HP Digital Imaging Monitor がオフです (Windows のみ)。

解決方法: タスクバーを確認して、HP Digital Imaging Monitor が常にオンであることを確認します。

原因: ファクスの受信用として選択したコンピュータがオフです。

解決方法: ファクス受信用として選択したコンピュータが常にオンであるようにしてください。

原因: セットアップ用とファクス受信用に設定したコンピュータが異なり、いずれかの電源がオフです。

解決方法: ファクスを受信するコンピュータがセットアップに使用したコンピュータと異なる場合、両方のコンピュータの電源が常に入っている必要があります。

原因: 給紙トレイに用紙がセットされていません。

解決方法: 給紙トレイに用紙をセットします。

原因: 内部メモリがいっぱいです。

解決方法: ファクス ログおよびメモリを消去し、内部メモリをクリアします。

原因: [PC ファクス受信] または [Mac にファクス] が無効になっているか、コンピュータがファクスを受信するように設定されていません。

解決方法: [PC ファクス受信] または [Mac にファクス] を有効にし、コンピュータがファクスを受信するように設定されていることを確認します。

原因: HP Digital Imaging Monitor (Windows のみ) が正しく動作しません。

解決方法: HP Digital Imaging Monitor を再起動するか、コンピュータを再起動します。

送信されたファクスに空白ページ、または縦方向の縞模様があります

原因: ファクスを送信するときに、ページにブランクがある、または送信されたファクスに縦方向の縞模様がある

解決方法: ファクスのコピーを作成します。コピーに問題がなければ、受信者のファクス機に問題がある可能性があります。

コピーがブランクの場合、スキャナ ガラス、スキャナの原稿押さえ、または自動ドキュメント フィーダをクリーニングする必要があります。詳細については、デバイスのクリーニングまたはスキャンの問題の解決を参照してください。

受信したファクスに空白ページ、または縦方向の縞模様がある

原因: 製品で受信したファクスがブランク、または印刷結果の画像、またはテキストに縦方向の黒い縞模様があります。

解決方法: セルフテスト ページを印刷して、正しく印刷されるかどうか調べます。

セルフテスト ページが正しく印刷される場合は、送信側のファクスに問題がある可能性があります。別のファクス機からのファクスを受信してみてください。

セルフ テスト ページが正しく印刷されない場合は、印刷上の問題の解決を参照してください。

HP デジタル ソリューションの問題の解決

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- HP ダイレクト デジタル ファイリングの問題の解決
- HP デジタル ファイルの問題を解決する

HP ダイレクト デジタル ファイリングの問題の解決

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 共通の問題
- ネットワーク フォルダにスキャンできない
- 電子メールへのスキャンができない

共通の問題

用紙サイズを [自動] に設定するとスキャン画像が正しくトリミングされない

可能な場合は適切な用紙サイズを使用し、小さいメディア/写真の場合のみ、[自動] を使用してください。

HP Officejet Pro デバイスがネットワークに正しく設定されない

HP Officejet Pro デバイスが適切に設定され、ネットワークに接続されていることを確認します。

- HP デバイスを使用して文書を印刷してみてください。
- HP デバイスに対するネットワーク設定を確認し、有効な IP アドレスがあることを確認します。
- HP デバイスに対して PING コマンドを実行し、デバイスが応答することを確認します。詳細については、オペレーティング システムのマニュアルを参照してください。

サーバ名が見つからない、または解決できない

セットアップ時に指定したサーバ名を特定の IP アドレスに解決できないと、サーバへの接続に失敗することがあります。

◦ サーバーの IP アドレスを使用してみてください。

◦ DNS を使用している場合は、以下を必ず行ってください。

完全修飾 DNS 名を使用します。

HP Officejet Pro デバイスで DNS サーバが正しく設定されていることを確認します。

ヒント DNS の設定を最近変更した場合は、HP デバイスの電源をいったんオフにした後、再びオンにします。

詳細については、ネットワーク管理者、またはネットワークを設定した人物に連絡してください。

設定プロセス中にソフトウェアで HTTP エラーが発生する (Windows)

Windows のウィザード使用中に HTTP エラーが発生する場合は、www.hp.com/support でエラーの説明を確認してください。

ネットワーク フォルダにスキャンできない

注記 HP ダイレクト デジタル ファイリングは、Active Directory をサポートしていません。

ネットワーク フォルダのあるコンピュータの電源がオフになっている

ネットワーク フォルダが格納されているコンピュータの電源がオンになっていて、ネットワークに接続されていることを確認します。

ネットワーク フォルダが正しく設定されていない

- サーバ上にフォルダが作成されていることを確認します。詳細については、使用しているオペレーティング システムのマニュアルを参照してください。
- フォルダが共有され、ユーザーがフォルダの読み取りと書き込みの両方を実行できることを確認します。Macintosh コンピュータを使用している場合は、SMB 共有が有効になっていることを確認します。詳細については、使用しているオペレーティング システムのマニュアルを参照してください。

• フォルダ名にオペレーティング システムでサポートされている文字のみが使用されていることを確認します。詳細については、オペレーティング システムのマニュアルを参照してください。
• フォルダ名が HP ダイレクト デジタル ファイリング セットアップ ウィザード、または HP セットアップ アシスタントに正しい形式で入力されていることを確認します。詳細については、ウィザード、またはセットアップ アシスタントの情報を参照してください。
• 有効なユーザー名とパスワードを入力していることを確認します。詳細については、ウィザード、またはセットアップ アシスタントの情報を参照してください。

ディスクがいっぱい

ネットワーク フォルダが存在するサーバのディスクに十分な空き領域があることを確認します。

HP Officejet Pro デバイスが割り当てられたプレフィックスとサフィックスを使用して一意のファイル名を作成できない

HP Officejet Pro デバイスが同じプレフィックスとサフィックスで作成できるのは最大 9,999 ファイルです。フォルダに多くのファイルをスキャンしている場合は、プレフィックスを変更します。

ファイルのプレフィックスが正しく設定されていない

フォルダ名とファイル名にオペレーティング システムでサポートされている文字のみが使用されていることを確認します。詳細については、オペレーティング システムのマニュアルを参照してください。

電子メールへのスキャンができない

電子メールのプロファイルが正しく設定されていない

有効な送信 SMTP サーバ設定が HP ダイレクト デジタル ファイリング セットアップ ウィザード、または HP セットアップ アシスタントで指定されていることを確認します。SMTP サーバ設定の詳細については、電子メール サービス プロバイダから提供された文書を参照してください。

複数の受信者に送信した電子メール メッセージが一部の受信者にしか送信されない

電子メール アドレスが間違っている、または電子メール サーバに認識されていない可能性があります。電子メール アドレスが HP ダイレクト デジタル ファイリング セットアップ ウィザード、または HP セットアップ アシスタントに正しい形式で入力されていることを確認します。電子メールの受信箱に、電子メール サーバからの送信エラー通知メッセージがないか確認します。

容量の大きい電子メールのメッセージを送信している

一部の電子メール サーバは、事前設定されたサイズより大きい電子メール メッセージを拒否する設定になっています。電子メール サーバに最大ファイル サイズの制限があるかを確認するには、電子メール サービス プロバイダから提供された文書を参照してください。電子メール サーバにこのような制限がある場合は、送信メール プロファイルでメールの添付ファイルの最大サイズを電子メール サーバの制限より小さい値にしてください。

電子メール メッセージの日付と時刻が間違っている

サマータイムを使用している国/地域の場合、電子メール メッセージで送信される時刻が間違っている可能性があります。

サマータイム中に正しい時刻が報告されるようにするには、HP Officejet Pro デバイスが使用するタイム ゾーンが正しい時刻を反映するように、EWS を使用して手動で変更します。

◦ 使用しているコンピュータでサポートされている Web ブラウザ (Microsoft Internet Explorer、Opera、Mozilla Firefox、または Safari) を開きます。

◦ HP Officejet Pro デバイスに割り当てられている IP アドレスを入力します。
例えば、IPv4 ネットワーク環境を使用していて、IP アドレスが 123.123.123.123 の場合、以下のアドレスを Web ブラウザに入力します。
「http://123.123.123.123」IPv6 専用ネットワーク環境を使用していて、IP アドレスが FE80::BA:D0FF:FE39:73E の場合、以下のアドレスを Web ブラウザに入力します。「http://[FE80::BA:D0FF:FE39:73E7]」
Web ブラウザのウィンドウに EWS ページが表示されます。

> **注記** EWS の使用の詳細については、組み込み Web サーバを参照してください。

◦ **[設定]** タブをクリックし、**[基本設定]** の下の **[タイム ゾーン]** をクリックします。

◦ 正しい時刻に対応するタイム ゾーンを選択します (通常は使用するタイム ゾーンの 1 時間前)。

> **注記** 標準時間に戻ったら、実際のタイム ゾーンの時刻を反映するように変更します。

HP ダイレクト デジタル ファイリング (Windows) を設定した後に、共有ダイアログ ボックスが違っている

Windows XP を実行しているコンピュータを使用している場合は、簡易ファイルの共有 (SFS) を使用してフォルダを設定できます。SFS を使用して設定したフォルダは匿名で共有されます。ユーザー名やパスワードは要求されず、すべてのユーザーにフォルダの読み取りと書き込みが可能になります。また、共有の有効化に使用されるダイアログ

ボックスは、標準の Windows の共有ダイアログ ボックスとは異なっています。
ただし、HP Officejet Pro から送信されるデータのセキュリティを確保するため、HP ダイレクト デジタル ファイリング セットアップ ウィザードは、SFS をサポートしていません。このため、コンピュータは、SFS ダイアログ ボックスの代わりに、標準の共有ダイアログ ボックスを表示します。詳細については、使用しているオペレーティング システムのマニュアルを参照してください。

HP デジタル ファイルの問題を解決する

注記 ネットワーク フォルダにファクス機能は、Active Directory をサポートしていません。

ネットワーク フォルダのあるコンピュータの電源がオフになっている

ネットワーク フォルダにファクス機能を使用している場合は、ファクスの受信に選択したコンピュータが常にオンになっていて、ネットワークに接続されていることを確認します。

ネットワーク フォルダが正しく設定されていない

ネットワーク フォルダにファクス機能を使用している場合は、以下を確認します。

- サーバ上にフォルダが作成されていることを確認します。詳細については、使用しているオペレーティング システムのマニュアルを参照してください。
- フォルダが共有され、ユーザーがフォルダの読み取りと書き込みの両方を実行できることを確認します。Macintosh コンピュータを使用している場合は、SMB 共有が有効になっていることを確認します。詳細については、使用しているオペレーティング システムのマニュアルを参照してください。
- フォルダ名にオペレーティング システムでサポートされている文字のみが使用されていることを確認します。詳細については、オペレーティング システムのマニュアルを参照してください。

• フォルダ名が HP ダイレクト デジタル ファクス セットアップ ウィザード、または HP セットアップ アシスタントに正しい形式で入力されていることを確認します。詳細については、ウィザード、またはセットアップ アシスタントの情報を参照してください。
• 有効なユーザー名とパスワードを入力していることを確認します。詳細については、ウィザード、またはセットアップ アシスタントの情報を参照してください。

エラー状態で HP デジタル ファクスが妨害されている

HP Officejet Pro デバイスが受信ファクスを印刷する設定になっていて用紙切れの場合は、給紙トレイに用紙をセットするか、エラー状態を解決します。受信ファクスは印刷された後、ネットワーク フォルダに保存されるか、指定された電子メール アドレスに転送されます。

内部メモリがいっぱいになっている

HP Officejet Pro デバイスの内部メモリがいっぱいになっていると、ファクスの送受信ができません。未保存ファクスが多数格納されていてメモリがいっぱいになっている場合は、HP デバイスのコントロール パネルの指示に従います。

△ **注意** ファクス ログを消去すると、HP デバイスのメモリに格納された未保存ファクスが内部メモリによって削除されます。

ファクスの日付と時刻が間違っている

サマータイムを使用している国/地域の場合、ファクスのタイム スタンプが必ずしもローカル タイム ゾーンの正確な時刻を反映しているとは限りません。また、アーカイブされたファクスのタイム スタンプを含むデフォルトのファイル名が、影響している可能性もあります。

ファクスが受信された正しい時刻を確認するには、HP Officejet Pro デバイスのコントロール パネルからファクス ログを印刷します。

サマータイム中にファクスで正しい時刻が報告されるようにするには、HP Officejet Pro デバイスが使用するタイム ゾーンが正しい時刻を反映するように、EWS を使用して手動で変更します。

◦ 使用しているコンピュータでサポートされている Web ブラウザ (Microsoft Internet Explorer、Opera、Mozilla Firefox、または Safari) を開きます。
◦ HP Officejet Pro デバイスに割り当てられている IP アドレスを入力します。
  例えば、IPv4 ネットワーク環境を使用していて、IP アドレスが 123.123.123.123 の場合、以下のアドレスを Web ブラウザに入力します。
  「http://123.123.123.123」IPv6 専用ネットワーク環境を使用していて、IP アドレスが FE80::BA:D0FF:FE39:73E の場合、以下のアドレスを Web ブラウザに入力します。「http://[FE80::BA:D0FF:FE39:73E7]」
  Web ブラウザのウィンドウに EWS ページが表示されます。
  EWS の使用の詳細については、組み込み Web サーバを参照してください。
◦ **[設定]** タブをクリックし、**[基本設定]** の下の **[タイム ゾーン]** をクリックします。
◦ 正しい時刻に対応するタイム ゾーンを選択します (通常は使用するタイム ゾーンの 1 時間前)。

注記 標準時間に戻ったら、実際のタイム ゾーンの時刻を反映するように変更します。

ネットワークの問題の解決

注記 以下を修正した後、インストール プログラムを再度実行します。

一般的なネットワーク トラブルシューティング

• デバイス ソフトウェアをインストールできない場合は、以下を確認します :
  ◦ コンピュータとデバイスにすべてのケーブルがしっかりと接続されている。
  ◦ ネットワークが使用できる状態で、ネットワーク ハブがオンになっている。

- ◦ Windows を実行しているコンピュータで、ウィルス保護プログラム、スパイウェア保護プログラム、ファイアウォールを含むあらゆるアプリケーションが終了しているか、または無効にされている。
  ◦ デバイスを使用するコンピュータと同じサブネット上にデバイスがインストールされていることを確認します。
  ◦ インストール プログラムがデバイスを検知できない場合は、ネットワーク設定ページを印刷してインストール プログラムに IP アドレスを手動で入力します。 詳細については、ネットワーク設定ページの理解を参照してください。
- Windows を実行中のコンピュータを使用している場合は、デバイス ドライバに作成されたネットワーク ポートがデバイスの IP アドレスと一致していることを確認します。
  ◦ デバイスのネットワーク設定ページを印刷します。
  ◦ **[スタート]** をクリックして **[設定]** をクリックし、**[プリンタ]** または **[プリンタと FAX]** をクリックします。
    -または-
    [スタート] をクリックして **[コントロール パネル]** をクリックし、**[プリンタ]** をダブルクリックします。
  ◦ デバイスのアイコンを右クリックして **[プロパティ]** をクリックしてから **[ポート]** タブをクリックします。
  ◦ デバイスの TCP/IP ポートを選択し、**[ポートの構成]** をクリックします。
  ◦ ダイアログ ボックスに表示された IP アドレスを比較し、ネットワーク設定ページに表示された IP アドレスと一致することを確認します。 IP アドレスが一致しない場合は、ネットワーク設定ページのアドレスと一致するようダイアログ ボックスの IP アドレスを変更します。
  ◦ **[OK]** を 2 回クリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを終了します。

有線ネットワークへの接続の問題 (Windows)

- ネットワーク コネクタのリンク ランプが点灯しない場合は、「一般的なネットワーク トラブルシューティング」の項目がすべて満たされていることを確認します。
- デバイスに静的 IP アドレスを割り当てることは推奨されていませんが、これを行うことによってインストールの問題 (パーソナル ファイアウォールとの競合など) が解決される場合があります。

ワイヤレス通信に関連する問題の解決

ワイヤレス設定とソフトウェアのインストールを行ってもデバイスがネットワークと通信できない場合、以下の作業の 1 つ以上を記載されている順序で実行します。

- ワイヤレスの基本的なトラブルシューティング
- ワイヤレスの詳細なトラブルシューティング

ワイヤレスの基本的なトラブルシューティング

下記の手順を記載された順序で実行します。

手順 1 - ワイヤレス (802.11) ランプがオンになっていることを確認します。

HP デバイスのワイヤレス ボタンの近くにある青色のランプが点灯していない場合、ワイヤレス機能がオフになっている可能性があります。ワイヤレス機能をオンにするには、**ワイヤレス** ボタンを 3 秒間押し続けます。

注記 HP デバイスが Ethernet ネットワークをサポートしている場合、Ethernet ケーブルがデバイスに接続されていないことを確認します。Ethernet ケーブルを接続すると、HP デバイスのワイヤレス機能がオフになります。

手順 2 - ワイヤレス ネットワークのコンポーネントを再起動します。

ルータおよび HP デバイスの電源をオフにしてから、最初にルータ、次に HP デバイスの順番で電源をオンにします。まだ接続できない場合は、ルータ、HPデバイス、およびコンピュータをオフにします。電源を入れ直すことにより、ネットワーク通信の問題が解決することがあります。

手順 3 - ワイヤレス ネットワーク テストを実行します。

ワイヤレス ネットワークの問題の場合、ワイヤレス ネットワーク テストを実行します。ワイヤレス ネットワーク テスト ページを印刷するには、**ワイヤレス** ボタンを押したまま、**リジューム** ボタンを 2 回押します。その後、すべてのボタンを放します。問題が検出されると、印刷されたテスト レポートに問題の解決に役立つ可能性がある推奨事項が示されます。

ワイヤレスの詳細なトラブルシューティング

基本的なトラブルシューティングのセクションに記載されたアドバイスに従ったが、まだ HP デバイスをワイヤレス ネットワークに接続できない場合は、次のアドバイスを記載された順序で試みてください。

- コンピュータがネットワークに接続されていることを確認します。
- HP デバイスがネットワークに接続されていることを確認してください。
- ファイアウォール ソフトウェアが通信を妨げていないかどうかを確認します。
- HP デバイスがオンラインであり印刷可能であることを確認します。
- ワイヤレス ルータが非公開の SSID を使用している
- HP デバイスのワイヤレス バージョンがデフォルト プリンタ ドライバとして設定されていることを確認してください (Windows のみ)。
- HP Network Devices Support サービスが動作していることを確認します (Windows のみ)。
- ハードウェア アドレスを Wireless Access Point (WAP) に追加する

コンピュータがネットワークに接続されていることを確認します。

ワイヤレス接続を確認するには

1. コンピュータのワイヤレス機能がオンになっていることを確認します。(詳細は、コンピュータに付属するドキュメントを参照してください)。
2. 一意のネットワーク名 (SSID) を使用していない場合は、ワイヤレス コンピュータをお客様のネットワークではない近くのネットワークに接続することが可能です。
   以下の手順で、コンピュータがお客様のネットワークに接続されているかどうかを確認できます。

   Windows

   a. **[スタート]** をクリックし、**[コントロール パネル]** をクリックし、**[ネットワーク接続]** をポイントしてから、**[ネットワークの状態]** と **[タスクの表示]** をクリックします。
   または
   [スタート] をクリックし、**[設定]** を選択し、**[コントロール パネル]** をクリックして、**[ネットワーク接続]** をダブルクリックし、**[表示]** メニューをクリックしてから **[詳細]** を選択します。
   次の手順を続行する間、ネットワークのダイアログ ボックスを開いたままにします。
   b. ワイヤレス ルータから電源コードを抜きます。コンピュータの接続状態が **[接続されていません]** に変わるはずです。
   c. ワイヤレス ルータに電源コードをもう一度差し込みます。コンピュータの接続状態が **[接続されています]** に変わるはずです。

Mac OS X

▲ 画面上部のメニューバーの **[AirMac]** アイコンをクリックします。表示されたメニューから、AirMac をオンにするかどうかとどのワイヤレス ネットワークをコンピュータの接続先にするかを指定できます。

> **注記** AirMac 接続の詳細については、Dock で **[システム環境設定]** をクリックしてから、**[ネットワーク]** をクリックしてください。AirMac 接続が正常に動作していると、接続のリストで AirMac の横に緑色の点が表示されます。詳細については、ウィンドウ内の [ヘルプ] ボタンをクリックしてください。

コンピュータをネットワークに接続できない場合は、ネットワークを設定した人物またはルータ製造元に連絡します。ルータまたはコンピュータのいずれかに、ハードウェアの問題が生じている可能性があります。

インターネットへのアクセスが可能であり Windows を実行しているコンピュータを使用している場合、ネットワーク設定に役立つ HP Network Assistant (www.hp.com/sbso/wireless/tools-setup.html?jumpid=reg_R1002_USEN) にアクセスすることもできます。(この Web サイトは英語版のみです。)

HP デバイスがネットワークに接続されていることを確認してください。

デバイスをコンピュータと同じネットワークに接続しないと、ネットワーク上で HP デバイスを使用できなくなります。デバイスが実際に正しいネットワークに接続されているかどうかを確認するには、このセクションに記載された手順に従ってください。

HP デバイスがネットワーク上にあることを確認します。

1. HP デバイスが Ethernet ネットワークをサポートしており Ethernet ネットワークに接続されている場合、デバイスの後部に Ethernet ケーブルが接続されていないことを確認します。Ethernet ケーブルを後部に接続していると、ワイヤレス接続はオフになります。
2. HP デバイスがワイヤレス ネットワークに接続されている場合、デバイスのワイヤレス設定ページを印刷します。詳細に

ついては、ネットワーク設定ページの理解を参照してください。

▲ ページが印刷されたら、ネットワーク状態と URL を確認します。

ネットワーク状態	• ネットワーク状態が印刷可能になっている場合は、HP デバイスが実際にネットワークに接続されています。 • ネットワーク状態がオフラインになっている場合は、HP デバイスが実際にネットワークに接続されていません。ワイヤレス ネットワーク テスト (このセクションの冒頭の手順を使用) を実行して、推奨事項に従います。
URL	ここに表示される URL は、ルータが HP デバイスに割り当てたネットワーク アドレスです。これは組み込み Web サーバに接続するために必要です。

組み込み Web サーバ (EWS) にアクセスできるかどうかを確認します。

▲ コンピュータと HP デバイスの両方がネットワークに対してアクティブな接続があることを確認した後、それらが同じネットワーク上にあることをデバイスの組み込み Web サーバ

(EWS) にアクセスすることによって検証できます。詳細については、組み込み Web サーバを参照してください。

EWS にアクセスするには

a. お使いのコンピュータで、インターネットへのアクセスに通常使用している Web ブラウザ (Internet Explorer または Safari) を開きます。アドレス ボックスに、ネットワーク設定ページに記載されているように HP デバイスの URL を入力します (例: http://192.168.1.101)。

注記 ブラウザでプロキシ サーバを使用している場合は、EWS にアクセスする前に無効にしておいてください。

b. EWS にアクセスできる場合は、HP デバイスのネットワーク経由での使用 (スキャン、印刷など) を試みて、ネットワーク設定が成功したことを確認してください。

c. EWS にアクセスできないか、HP デバイスのネットワーク経由での使用でまだ問題が発生している場合は、ファイアウォールに関する次のセクションに進みます。

ファイアウォール ソフトウェアが通信を妨げていないかどうかを確認します。

EWS にアクセスできず、コンピュータと HP デバイスの両方が同一ネットワークに対してアクティブな接続があることを確認している場合、ファイアウォール セキュリティ ソフトウェアが通信を妨げている可能性があります。お使いのコンピュータで動作しているファイアウォール セキュリティ ソフトウェアを一時的にオフにしてから、再度 EWS へのアクセスを試みます。EWS にアクセスできる場合は、HP デバイスの使用 (印刷またはスキャン) を試みてください。

EWS にアクセスできて、ファイアウォールをオフにすると HP デバイスを使用できる場合、ファイアウォール設定を変更してコンピュータと HP デバイスがネットワーク経由で相互に通信できるようにする必要があります。

EWS にアクセス可能で、HP 機能の一部が使用できない場合、次のファイルの一覧をファイアウォール プログラムの**信頼済みアプリケーション** の一覧に追加する必要があります。

- hpiscnapp
- hpqkygrp
- hpqsplfix08
- hpsjrreg.exe
- hpqtra08.exe
- hpqdirec.exe
- hpqste08.exe
- HPZipm12.dll
- HPZinw12.dll
- hposfx08.exe
- hpospd08.exe
- hpofxs08.exe
- hpzwiz01.exe
- hpqvwr08.exe

HP デバイスがオンラインであり印刷可能であることを確認します。

HP ソフトウェアをインストールしている場合、お使いのコンピュータから HP デバイスの状態をチェックして、停止中であるかオフラインであるかを確認できます。

HP デバイスの状態を確認するには、次の手順に従ってください。

Windows

1. **[スタート]** をクリックして **[設定]** をポイントし、**[プリンタ]** または **[プリンタと FAX]** をクリックします。
   - または -
   [スタート] をクリックして **[コントロール パネル]** をクリックし、**[プリンタ]** をダブルクリックします。
2. コンピュータ上のプリンタが詳細ビューに表示されていない場合は、**[表示]** メニューをクリックしてから、**[詳細]** をクリックします。

3. プリンタの状態に応じて、次のいずれかの操作を行います。
   a. HP デバイスが **[オフライン]** の場合、デバイスを右クリックして **[プリンタをオンラインで使用する]** をクリックします。
   b. HP デバイスが **[一時停止]** の場合、デバイスを右クリックして **[印刷の再開]** をクリックします。
4. HP デバイスのネットワーク経由での使用を試みます。

Mac OS X

1. Dock で **[システム環境設定]** をクリックし、**[プリントとファクス]** をクリックします。
2. HP デバイスを選択して **[印刷キュー]** をクリックします。
3. 表示されたウィンドウに **[ジョブは停止されました]** と示される場合、**[ジョブを開始]** をクリックします。

上記手順の実行した後には HP デバイスを使用できますが、デバイスの使用を続行して現象が解消しないことが判明した場合、ファイアウォールが妨げている可能性があります。HP デバイスをネットワーク経由でまだ使用できない場合は、次のセクションに進んで追加のトラブルシューティングのヘルプを参照してください。

ワイヤレス ルータが非公開の SSID を使用している

ワイヤレス ルータまたは Apple AirMac ベース ステーションが非公開の SSID を使用している場合、HP デバイスはネットワークを自動的に検出できません。

HP デバイスのワイヤレス バージョンがデフォルト プリンタ ドライバとして設定されていることを確認してください (Windows のみ)。

再度ソフトウェアをインストールすると、インストーラによって、**[プリンタ]** または **[プリンタと FAX]** フォルダのプリンタ ドライバの 2 つめのバージョンが作成される場合があります。HP デバイスでの印刷または接続ができない場合は、プリンタ ドライバの正しいバージョン

がデフォルトのプリンタ ドライバとして設定されていることを確認してください。

1. **[スタート]** をクリックして **[設定]** をポイントし、**[プリンタ]** または **[プリンタと FAX]** をクリックします。
   - または -
   [スタート] をクリックして **[コントロール パネル]** をクリックし、**[プリンタ]** をダブルクリックします。
2. **[プリンタ]** または **[プリンタと FAX]** フォルダのプリンタ ドライバのバージョンがワイヤレスで接続されているかどうかを確認してください。
   a. プリンタ アイコンを右クリックし、**[プロパティ]**、**[文書デフォルト]**、または **[詳細設定]** を選択します。
   b. **[ポート]** タブで、チェックマークの付いたリスト内のポートを探します。ワイヤレスで接続されているプリンタ ドライバのバージョンには、チェックマークの横にポート説明として **[Standard TCP/IP ポート]** と表示されています。
3. ワイヤレスで接続されているプリンタ ドライバのバージョンのプリンタ アイコンを右クリックし、**[通常使うプリンタに設定]** を選択します。

注記 HP デバイスのフォルダ内に複数のアイコンがある場合は、ワイヤレスで接続されているプリンタ ドライバのバージョンのプリンタ アイコンを右クリックし、**[通常使うプリンタに設定]** を選択します。

HP Network Devices Support サービスが動作していることを確認します (Windows のみ)。

HP Network Devices Support サービスを再起動するには

1. 印刷キューに現在ある印刷ジョブを削除します。
2. デスクトップで、**[マイ コンピュータ]** または **[コンピュータ]** を右クリックしてから、**[管理]** をクリックします。
3. **[サービスとアプリケーション]** をダブルクリックしてから、**[サービス]** をクリックします。

4. サービスのリストを下にスクロールして、**[HP Network Devices Support]** を右クリックしてから、**[再起動]** をクリックします。
5. サービスを再起動した後に、HP デバイスのネットワーク経由での使用を再度試みます。

HP デバイスをネットワーク経由で使用できる場合は、ネットワーク設定が成功しました。

HP デバイスをネットワーク経由でまだ使用できないか、デバイスをネットワーク経由で使用するためにこの手順を繰り返して実行する必要がある場合は、ファイアウォールが妨げている可能性があります。

これでも問題が解決しない場合は、ネットワーク設定またはルータに問題があります。ネットワークを設定した人物またはルータ製造元までお問い合わせください。

ハードウェア アドレスを Wireless Access Point (WAP) に追加する

MAC フィルタリングはセキュリティ機能で、Wireless Access Point (WAP) が WAP を通じてネットワークへアクセスできるデバイスの MAC アドレス (ハードウェア アドレスとも呼ばれる) のリストに構成されています。ネットワークにアクセスしようとしているデバイスのハードウェア アドレスが WAP にない場合、WAP はネットワークへのデバイスのアクセスを拒否します。WAP で MAC アドレスをフィルタする場合、デバイスの MAC アドレスを WAP の容認された MAC アドレスのリストに追加しなければなりません。

- ネットワーク設定ページを印刷します。詳細については、ネットワーク設定ページの理解を参照してください。
- WAP の構成ユーティリティを開き、デバイスのハードウェア アドレスを、容認された MAC アドレスのリストに追加します。

写真 (メモリ カード) の問題の解決

以下のトピックに示されている方法で問題が解決しない場合は、サポートおよび保証 を参照して HP にサポートを依頼してください。

注記 メモリ カードの操作をコンピュータから開始している場合は、ソフトウェアのヘルプにあるトラブルシューティング情報を参照してください。

- メモリ カードを読み取ることができない
- メモリ カードに保存されている写真を読み取ることができない
- ページの半分が印刷された後、用紙が排出される

メモリ カードを読み取ることができない

- **メモリ カードの確認**
  - 使用中のメモリ カードのタイプが本体でサポートされているタイプであることを確認します。 コンパクト フラッシュ II の場合は、ソリッドステート メモリのみがサポートされます。 詳細については、メモリ カードの挿入を参照してください。
  - 一部のメモリ カードには、その使用方法を制御するスイッチがあります。 スイッチの設定でメモリ カードの読み取りが可能になっていることを確認します。
  - メモリ カードの両端を調べ、穴にゴミが詰まっていないこと、および金属の接点が汚れて接触不良を起こしていないことを確認します。 糸くずのない布と少量のイソプロピル アルコールで接点をクリーニングします。

◦ 他のデバイスでテストすることによって、メモリ カードが適切に機能していることを確認します。
    ◦ メモリ カードのファイルが暗号化されていることを確認します。
- **メモリ カード スロットの確認**
    ◦ メモリ カードが正しいスロットに完全に挿入されていることを確認します。詳細については、メモリ カードの挿入を参照してください。

      注記 すべてのミニ メモリ カードに正しいアダプタが使用されていることを確認します。

    ◦ メモリ カードを取り外し (ランプが点滅していないとき)、空いたスロットの中を懐中電灯で照らします。 内部に折れ曲がったピンがないかどうかを確認します。 少しだけ曲がったピンは、コンピュータがオフのときに、芯を戻した細いボールペンの先でまっすぐにすることができます。 別のピンに接触するほど折れ曲がったピンがある場合は、メモリ カード リーダーを交換するか、本体の修理を依頼してください。 詳細については、サポートおよび保証を参照してください。
    ◦ スロットにメモリ カードが 1 枚だけ挿入されていることを確認します。 同時に 2 枚以上のメモリ カードを挿入すると、通常、コントロール パネルのディスプレイにエラー メッセージが表示されます。
    ◦ 開こうとしているファイルが破損している可能性があります (カラー ディスプレイのみ)。

メモリ カードに保存されている写真を読み取ることができない

メモリ カードの確認

◦ メモリ カードが壊れている可能性があります。
◦ 他のデバイスでテストして、まだメモリ カードが適切に機能しているかを確認します。ランプが点滅している間にメモリ カードを取り外していないことを確認します。

ページの半分が印刷された後、用紙が排出される

インク カートリッジの確認

- インク カートリッジのインクがなくなったため、印刷ジョブが取り消された可能性があります。インク カートリッジを交換し、印刷ジョブを本体に再送信します。詳細については、インク カートリッジの交換を参照してください。
- 画像を印刷している場合は、画像が破損している可能性があります。

本体の管理に関する問題の解決

このセクションには本体の管理に関する一般的な問題の解決策が記載されています。

埋め込み Web サーバを開くことができない

埋め込み Web サーバを開くことができない

ネットワーク設定の確認

- 本体とネットワークとの接続に電話線やクロス ケーブルを使用していないことを確認します。 詳細については、デバイスの構成 (Windows)またはデバイスの構成 (Mac OS X)を参照してください。
- ネットワーク ケーブルが本体にしっかりと接続されていることを確認します。
- ネットワーク ハブ、スイッチ、またはルーターがオンになり、正しく作動していることを確認します。

コンピュータの確認

お使いのコンピュータがネットワークに接続されていることを確認します。

Web ブラウザの確認

Web ブラウザがシステム最小要件を満たしていることを確認します。詳細については、埋め込み Web サーバの仕様を参照してください。

プロキシ設定を確認します。コンピュータが 2 つの異なったネットワークで使用されている場合、プロキシ設定がそのネットワークに対して適切でない可能性があります。

デバイスの IP アドレスの確認

- コントロール パネルでデバイスの IP アドレスを確認するには (カラー ディスプレイ モデルのみ)、 **(セットアップ)** ボタンにタッチし、[**ネットワーク**] を選択し、[**ネットワーク設定を表示**] を選択します。次に、[**概要を表示 (有線 LAN の場合)**] または [**概要を表示 (無線 LAN の場合)**] を選択します。
  2 行ディスプレイ搭載モデルの場合、IP アドレスを取得するには、ネットワーク設定ページを印刷します。 **(セットアップ)** ボタンを押し、[**ネットワーク**]、[**ネットワーク設定**]、[**ネットワーク構成ページの印刷**] の順に選択します。
- コマンド プロンプトから、本体の IP アドレスを使用して PING コマンドを実行します。
  例えば、IP アドレスが 123.123.123.123 の場合、以下のアドレスを MS-DOS プロンプトに入力します。
  C:\Ping 123.123.123.123
  応答が表示された場合、IP アドレスは正しいということです。 タイムアウト応答が表示された場合は、IP アドレスが間違っています。

インストールの問題のトラブルシューティング

以下のトピックに示されている方法で問題が解決しない場合は、サポートおよび保証 を参照して HP にサポートを依頼してください。

- ハードウェアのインストールに関する提案
- ソフトウェアのインストールに関する提案

ハードウェアのインストールに関する提案

本体の確認

- デバイスの外部および内部からすべての梱包材や梱包用テープが取り外されていることを確認します。
- デバイスに用紙がセットされていることを確認します。
- 準備完了ランプ以外のランプが点滅したり点灯したりしていないことを確認します。準備完了ランプは点灯している必要があります。 注意ランプが点滅している場合は、デバイスのコントロールパネルに表示されているメッセージを確認します。

ハードウェアの接続状態を確認する

- 使用しているコードやケーブルが良好な状態であることを確認します。
- デバイスが電源コードでコンセントにしっかりと接続されていることを確認します。
- 電話線のコードが 1-LINE ポートに接続されていることを確認します。

プリントヘッドとインク カートリッジを確認する

- すべてのプリントヘッドとインク カートリッジが、色分けされたスロットに正しくしっかりと装着されていることを確認します。正しく接するようにプリント ヘッドとインク カートリッジをしっかりと押し下げてください。 すべてのプリントヘッドとインク カートリッジが装着されていないと、デバイスは動作できません。
- プリントヘッドのラッチが正しく閉じられていることを確認します。
- 画面にプリントヘッドのエラー メッセージが表示された場合は、プリントヘッドの接触面をクリーニングします。

コンピュータ システムを確認する

- コンピュータで、サポートされている OS のいずれかが実行されていることを確認します。
- コンピュータが少なくともシステムの最小要件を満たしていることを確認します。

デバイスをチェックして、以下を確認します。

- 電源ランプが点灯していて、点滅していないことを確認します。デバイスに初めて電源を入れた場合は、ウォームアップに約 45 秒かかります。
- デバイスがレディー状態で、デバイスのコントロール パネルの他のランプが点灯、または点滅していません。 ランプが点灯または点滅している場合は、デバイスのコントロール パネルに表示されているメッセージを確認します。
- 電源コードとそれ以外のケーブルが正しく機能し、デバイスにしっかりと接続されていることを確認します。
- 梱包用のテープと梱包材がデバイスから取り外されている。
- 両面印刷ユニットが固定されている。

- 用紙がトレイに正しくセットされ、デバイス内に詰まっていない。
- すべてのラッチが閉じている。

ソフトウェアのインストールに関する提案

インストールの準備

- オペレーティング システムに対応したインストール ソフトウェアが収録されているスタータ CD を使用します。
- ソフトウェアをインストールする前に、プログラムがすべて終了されていることを確認します。
- 入力した CD-ROM ドライブへのパスが認識されない場合は、正しいドライブ名を指定していることを確認します。
- CD-ROM ドライブでスタータ CD を認識できない場合は、スタータ CD が破損していないかどうかを調査してください。 デバイスドライバは、HP の Web サイト (www.hp.com/support) からダウンロードできます。

以下を確認、または実行します:

- コンピュータが必要なシステム条件を満たしていることを確認します。
- Windows のコンピュータにソフトウェアをインストールする前に、ほかのすべてのプログラムが開いていないことを確認してください。
- 入力した CD-ROM ドライブへのパスが認識されない場合は、正しいドライブ名を指定していることを確認します。
- CD ドライブ の Starter CD をコンピュータが認識しない場合は、CD が損傷していないことを確認します。 デバイス ドライバは、HP の Web サイト (www.hp.com/support) からダウンロードできます。
- Windows のデバイス マネージャで USB ドライバが無効になっていないことを確認してください。
- コンピュータで Windows を実行していて、コンピュータがデバイスを検知できない場合は、アンインストール ユーティリティ (スタータ CD の util\ccc\uninstall.bat) を実行してデバイス ドライバのクリーン アンインストールを実行します。 コンピュータを再起動し、デバイス ドライバを再インストールします。

コンピュータ システムを確認する

- コンピュータで、サポートされている OS のいずれかが実行されていることを確認します。
- コンピュータが少なくともシステムの最小要件を満たしていることを確認します。

メディア詰まりの除去

ジョブの実行中、本体内にメディアが詰まることがあります。 詰まったメディアを取り除く前に、以下のことを確認してください。

- 仕様に準拠したメディアで印刷していることを確認します。 詳細については、印刷メディアの選択を参照してください。
- しわが寄っていたり、折れ曲がっていたり、傷んでいるメディアを使用していないことを確認します。
- 本体がきれいであることを確認します。 詳細については、デバイスのクリーニングを参照してください。
- トレイにメディアが正しくセットされていること、セットされているメディアの数が多すぎないことを確認します。 詳細については、メディアのセットを参照してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 紙詰まりの除去
- 紙詰まりの防止

紙詰まりの除去

給紙トレイに用紙をセットした場合は、必要に応じて、印刷ユニットから詰まった用紙を取り除いてください。

自動ドキュメント フィーダで紙詰まりを起こす場合もあります。 次のような行為は、自動ドキュメント フィーダで紙詰まりを起こす原因となります。

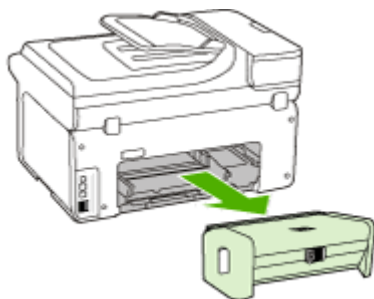
- ドキュメント フィーダ トレイに紙を入れすぎている。自動ドキュメント フィーダにセット可能な原稿の最大数については、サポートされたメディアの仕様の理解を参照してください。
- デバイスで厚すぎたり薄すぎたりする用紙を使用している。
- 給紙中にドキュメント フィーダ トレイに用紙を追加しようとした。

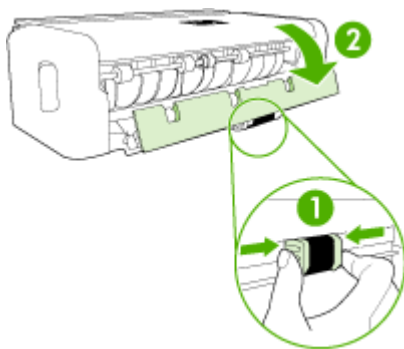
メディア詰まりを除去するには

1. すべてのメディアを排紙トレイから取り除きます。

   △ **注意** デバイスの正面側から詰まった紙を取り除くと、プリンタが損傷する場合があります。 必ず両面印刷ユニットを開けて、詰まった紙を取り除いてください。

2. 両面印刷ユニットを確認します。

   a. 両面印刷ユニットの両側にあるボタンを押して、パネルまたはユニットを取り外します。

   b. 本体内部につまったメディアを見つけ、両手でつかんで手前に引きます。

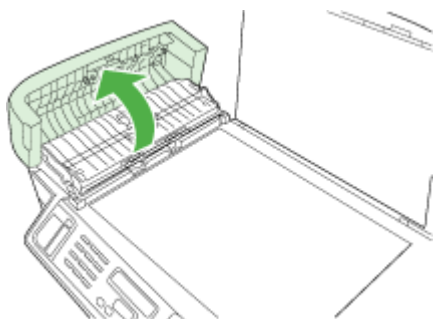
   c. そこにメディアがない場合は、両面印刷ユニット上部のラッチを押し、ユニットのカバーを下げます。 内部にメディアが詰まっている場合は、メディアを慎重に取り除きます。 カバーを閉じます。

   d. 両面印刷ユニットをデバイスに再挿入します。

3. 上部カバーを開けて、ゴミがあれば取り除きます。
4. メディアが見つからず、トレイ 2 が挿入されている場合は、トレイを引き出して詰まったメディアを取り除きます。 取り除くことができない場合は、以下を行います :
   a. 本体の電源がオフになっていることを確認し、電源コードを外します。
   b. 本体を持ち上げてトレイ 2 から外します。
   c. 本体の裏面 (下側) またはトレイ 2 からつまっているメディアを取り除きます。
   d. 本体をトレイ 2 の上に戻します。
5. プリントキャリッジ アクセス ドアを開きます。 本体内に用紙が残っている場合は、キャリッジが本体の右端に戻っていることを確認し、紙切れやしわの寄ったメディアを取り除いて本体上部からメディアを手前に引きます。

   ⚠ **警告** 本体の電源が入っていて、キャリッジが戻っていない場合は、内部に手を入れないでください。 プリントキャリッジ アクセス ドアを開くと、通常、キャリッジは本体右側の位置に戻ります。 右側に戻らない場合は、詰まったメディアを取り除く前に本体の電源をオフにします。

6. 詰まったメディアを取り除いた後は、すべてのカバーを閉じて本体の電源をオンにし (電源がオンになっていない場合)、印刷ジョブを再度送信します。

自動ドキュメント フィーダから詰まった紙を取り除くには

1. 自動ドキュメント フィーダのカバーを外します。

2. 詰まっている用紙をローラーからゆっくり引き出します。

   △ **注意**　ローラーから引き出している途中に用紙が破れた場合は、ローラーとホイールを点検して、本体の中に紙切れが残っていないか確認してください。デバイスに紙切れが残っていると、紙詰まりが起こりやすくなります。

3. 自動ドキュメント フィーダのカバーを閉じます。

紙詰まりの防止

紙詰まりを起こさないようにするには、以下の注意に従ってください。

- 排紙トレイから印刷された用紙を頻繁に取り除くようにしてください。
- 未使用の用紙はジッパー付きの袋に平らに入れ、用紙が波打ったり、しわが寄ったりしないように保管してください。
- 用紙を給紙トレイに平らに置き、端が折れたり破れたりしないようにセットしてください。
- 給紙トレイに種類やサイズの異なる用紙を一緒にセットしないでください。給紙トレイにセットする用紙は、すべて同じサイズと種類でなければなりません。
- 用紙がぴったり収まるように、給紙トレイの横方向用紙ガイドを調整してください。横方向用紙ガイドで給紙トレイの用紙を折らないようにしてください。
- 用紙を給紙トレイの奥に入れすぎないでください。
- ご使用のデバイスで推奨している用紙の種類をお使いください。詳細については、サポートされたメディアの仕様の理解を参照してください。

エラー (Windows)

このリストには、コンピュータ画面 (Windows) に表示される可能性のあるエラーの一部とエラーの修正方法が記載されています。

- ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾍｯﾄﾞｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ
- ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾍｯﾄﾞｶﾞ ﾌﾃｷｺﾞｳﾃﾞｽ
- プリントヘッドノ モンダイ
- メモリがいっぱいです
- Device Disconnected (デバイスが切断されました)
- カートリッジをすぐに交換

- カートリッジの問題
- カートリッジの問題
- 用紙が一致しない場合
- カートリッジ ホルダーが動きません。
- 紙づまりです。
- 紙づまりです。
- プリンタに用紙がありません。
- 間違ったカートリッジ
- ﾌﾟﾘﾝﾀはｵﾌﾗｲﾝです。
- ﾌﾟﾘﾝﾀが一時停止しています。
- ドキュメントの印刷に失敗しました
- 一般的なプリンタ エラー

ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾍｯﾄﾞｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ

以下のプリントヘッドが存在しないか、検出できないか、正しく装着されていません。

以下の方法でエラーを修正します。

- プリントヘッドを交換するには
- サプライ品

ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾍｯﾄﾞｶﾞ ﾌﾃｷｺﾞｳﾃﾞｽ

以下のプリントヘッドがこのプリンタで使用できません。

以下の方法でエラーを修正します。

- プリントヘッドを交換するには
- サプライ品

プリントヘッドノ モンダイ

以下のプリントヘッドに問題があります。

以下の方法でエラーを修正します。

- プリントヘッドを交換するには
- サプライ品

メモリがいっぱいです

内部メモリがいっぱいです。以下の方法でエラーを修正します。

ファクスの問題の解決

Device Disconnected (デバイスが切断されました)

以下の方法でエラーを修正します。

ハードウェアのインストールに関する提案

カートリッジをすぐに交換

カートリッジをすぐに交換してください。

以下の方法でエラーを修正します。

- インク カートリッジの交換
- サプライ品

注記 インク残量の警告およびインジケータは、交換用インクを用意できるよう情報を提供します。インク残量が少ないという警告メッセージが表示されたら、印刷できなくなる前に交換用のプリント カートリッジを準備してください。インク カートリッジを交換する必要があるのは、交換のメッセージが表示された場合だけです。

使用済みインク サプライ品のリサイクルについては、HP インクジェット サプライ品リサイクル プログラムを参照してください。

カートリッジの問題

カートリッジが存在しないか損傷しています。カートリッジを取り外して、取り付け直します。下に向かってしっかりと押し込みます。それでも問題が解決しない場合は、以下に進んでください。

以下の方法でエラーを修正します。

- インク カートリッジの交換
- サプライ品
- HP インクジェット サプライ品リサイクル プログラム

カートリッジの問題

カートリッジを交換する必要があります。カートリッジを取り外して、取り付け直します。下に向かってしっかりと押し込みます。それでも問題が解決しない場合は、以下に進んでください。

以下の方法でエラーを修正します。

- インク カートリッジの交換
- サプライ品
- HP インクジェット サプライ品リサイクル プログラム

用紙が一致しない場合

以下の方法でエラーを修正します。

検出された用紙が選択された用紙サイズまたは種類に一致しません。

- メディアのセット
- 特殊な用紙およびカスタムサイズのメディアの印刷
- プリント設定の変更

カートリッジ ホルダーが動きません。

デバイスの電源をオフにしてください。デバイスに紙詰まりやその他の障害物がないかどうか確認してください。

以下の方法でエラーを修正します。

- メディア詰まりの除去
- ハードウェアのインストールに関する提案

紙づまりです。

紙詰まり (または給紙失敗) が起こりました。紙詰まりを取り除き、プリンタの **リジューム** ボタンを押してください。

以下の方法でエラーを修正します。

メディア詰まりの除去

紙づまりです。

スキャンの経路で紙詰まり (または給紙失敗) が起こりました。紙詰まりを直すか、文書をもう一度挿入して、タスクを再起動します。

以下の方法でエラーを修正します。

メディア詰まりの除去

プリンタに用紙がありません。

用紙を追加してプリンタ前面の **リジューム** ボタンを押してください。

以下の方法でエラーを修正します。

メディアのセット

間違ったカートリッジ

このプリンタに使用できないインク カートリッジです。

以下の方法でエラーを修正します。

- インク カートリッジの交換
- サプライ品
- HP インクジェット サプライ品リサイクル プログラム

ﾌﾟﾘﾝﾀはｵﾌﾗｲﾝです。

現在プリンタはオフラインです。

以下の方法でエラーを修正します。

プリンタが一時停止しているかオフラインかを確認するには

1. オペレーティング システムに応じて、次のいずれかの操作を行います。
   - Windows Vista:Windows のタスク バーで **[スタート]**、**[コントロール パネル]**、**[プリンタ]** の順にクリックします。
   - Windows XP：Windows のタスク バーで **[スタート]**、**[コントロール パネル]**、**[プリンタと FAX]** の順にクリックします。
2. 製品のアイコンをダブルクリックして印刷キューを開きます。
3. **[プリンタ]** メニューで、**[一時停止]** または **[プリンタをオフラインで利用する]** の横にチェック マークが表示されていないことを確認します。
4. 変更を行った場合は、再度印刷してみます。

ﾌﾟﾘﾝﾀが一時停止しています。

現在プリンタは一時停止しています。

以下の方法でエラーを修正します。

プリンタが一時停止しているかオフラインかを確認するには

1. オペレーティング システムに応じて、次のいずれかの操作を行います。
    - Windows Vista:Windows のタスク バーで **[スタート]**、**[コントロール パネル]**、**[プリンタ]** の順にクリックします。
    - Windows XP：Windows のタスク バーで **[スタート]**、**[コントロール パネル]**、**[プリンタと FAX]** の順にクリックします。
2. 製品のアイコンをダブルクリックして印刷キューを開きます。
3. **[プリンタ]** メニューで、**[一時停止]** または **[プリンタをオフラインで利用する]** の横にチェック マークが表示されていないことを確認します。
4. 変更を行った場合は、再度印刷してみます。

ドキュメントの印刷に失敗しました

印刷システムのエラーのため印刷ジョブが失敗しました。

以下の方法でエラーを修正します。

印刷上の問題の解決

一般的なプリンタ エラー

このメッセージが表示されたあとに本製品を移動または輸送しようとする場合は、本製品を必ず水平に保つようにし、片側に傾けてインク漏れが起きないようにしてください。本製品に問題があります。

メッセージ内に記載されたエラー コードを書き留めて、HP サポートにご連絡下さい。お問い合わせ先は、次のサイトを参照してください。

www.hp.com/support.

情報の入力を要求された場合は、国または地域を選択して、**[お問い合わせ]** をクリックして情報を参照しテクニカルサポートにお問合せください。

A HP サプライ品とアクセサリ

このセクションには、本製品の HP サプライ品とアクセサリについての情報が説明されています。これらの情報は変更されることがあります。最新情報については HP Web サイト (www.hpshopping.com) をご覧ください。Web サイトから購入いただくこともできます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 印刷サプライ品のオンライン注文
- アクセサリ
- サプライ品

印刷サプライ品のオンライン注文

サプライ品をオンラインで注文したり、印刷可能なショッピング リストを作成するには、HP プリンタ ソフトウェアによりインストールされた [HP ソリューション センター] デスクトップ アイコンを開いて **[ショッピング]** アイコンをクリックします。**[オンラインショップ]** または **[ショッピングリストを印刷]** を選択します。HP ソリューション センターは、お客様の許可の下で、モデル番号、シリアル番号、推定インク レベルなどのプリンタ情報を送信します。お使いのプリンタ用の HP サプライ品があらかじめ選択されています。HP ストアおよびその他のオンラインストアでは、数量の変更、製品の追加または削除、ショッピングリストの印刷、オンライン購入などが行えます (オプションは国/地域によって異なります)。カートリッジ情報やオンライン ショッピングへのリンクは、インクの警告メッセージでも表示されます。

www.hp.com/buy/suppliesにアクセスして、オンラインでご注文いただくこともできます。メッセージに従って、お住まいの国/地域を選択し、製品を選択してから必要なサプライ品を選択します。

組み込み Web サーバからオンラインでご注文いただくこともできます。[サプライ品の注文] ボタンをクリックします。HP にプリンタ情報 (モデル番号、シリアル番号、および推定インク残量) を送信するには、[送信] をクリックします。HP サプライ品をオンラインで簡単に注文できる HP SureSupply Web サイトにリダイレクトされます。

注記 カートリッジのオンライン注文は、取り扱っていない国/地域もあります。電話によるご注文、販売代理店のご案内、ショッピング リストの印刷方法などに関する情報が多くの国で提供されています。また、www.hp.com/buy/supplies ページの一番上にある [ご購入方法] では、HP 製品購入に関する情報が得られます。

アクセサリ

250枚収納トレイ	CB802A	普通紙を最大 250 枚までセットできるオプションの第 2 トレイ
HP Jetdirect 175x Print Server-Fast Ethernet*	J6035C	外付けプリント サーバ (USB 1.0)
HP Jetdirect en3700 Fast Ethernet Print Server*	J7942A	外付けプリント サーバ (USB 2.0)
HP Jetdirect ew2400 802.11g Wireless Print Server*	J7951A	ワイヤレスまたは有線の外付けプリント サーバ
HP BT500、Bluetooth ワイヤレスアダプタ*	Q3395A	Bluetooth 互換 USB アダプタ

* 印刷機能のみサポートします。

サプライ品

- インク カートリッジとプリントヘッド
- HP メディア

インク カートリッジとプリントヘッド

利用可能なインク カートリッジは、国/地域によって異なります。 ヨーロッパにお住まいの方は、www.hp.com/eu/hard-to-find-supplies で HP インク カートリッジについての情報を見つけてください。

インク カートリッジを交換する場合は、現在使用中のカートリッジと同じカートリッジ番号のものと交換してください。 カートリッジ番号は次の場所で確認できます。

- インク サプライ品のラベル (プリンタ内部、インク カートリッジの側)。
- HP SureSupply Web サイト (www.hp.com/buy/supplies)。詳細については、印刷サプライ品のオンライン注文を参照してください。
- 交換するインク カートリッジのラベル。

- コンピュータの HP ソフトウェア：
    - **[HP ソリューション センター (Windows)]**：**[ステータス]**、**[推定インク レベル]** の順にクリックします。**[ご使用のカートリッジ]** タブに現在インストールされているカートリッジの一覧が表示されます。**[すべてのカートリッジ]** タブには、デバイスでサポートされているすべてのカートリッジの一覧が表示されます。
      - または -
      [ショッピング] タブに移動して、**[印刷可能なショッピング リスト]** で **[ショッピング リストを印刷]** をクリックします。交換部品の製品番号など、サプライ品のリストを含むページが印刷されます。
    - **[ツールボックス (Windows)]**：**[推定インクレベル]** タブをクリックし、**[カートリッジの詳細]** ボタンをクリックして、交換インク カートリッジに関する情報を表示します。
    - **[HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS X)]**：**[情報とサポート]** パネルを開き、**[サプライ製品情報]** をクリックします。
    - **[組み込み Web サーバ]**： **[情報]** タブをクリックし、左枠の **[デバイス情報]** をクリックします。
- 自己診断テスト ページ。詳細については、セルフテスト レポートについてを参照してください。

注記 インク残量の警告およびインジケータは、交換用インクを用意できるよう情報を提供します。インク残量が少ないという警告メッセージが表示されたら、印刷できなくなる前に交換用のプリント カートリッジを準備してください。インク カートリッジを交換する必要があるのは、交換のメッセージが表示された場合だけです。

HP 940 黒/イエロー Officejet プリントヘッド	C4900A
HP 940 マゼンタ/シアン Officejet プリントヘッド	C4901A

HP メディア

HP プレミアム用紙などのメディアを注文するには、www.hp.com にアクセスしてください。

	通常のドキュメントの印刷とコピーには、ColorLok ロゴ付きの普通紙をお勧めします。ColorLok ロゴのついた用紙はすべて、信頼性と印刷品質に関する高い基準を満たすことが独自にテストされており、鮮やかな色と深みのある黒を実現し、通常の普通紙より乾燥が速くなっています。ColorLok ロゴ付きの用紙は、さまざまな重量とサイズのものが主要な用紙メーカーから販売されています。

B サポートおよび保証

保守とトラブルシューティングの情報は、一般的な問題の解決策を提供します。 お使いの製品が正しく動作せず、これらの提案でも問題が解決されない場合は、以下のサポート サービスのいずれかを使用してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 電子サポートの取得
- 保証
- インク カートリッジ保証情報
- HP テレフォン サポートの取得
- 製品をお送りいただくための準備
- 製品の梱包

電子サポートの取得

サポートおよび保証については、HP Web サイト www.hp.com/support をご覧ください。 情報の入力を要求された場合は、国または地域を選択して、**[お問い合わせ]** をクリックして情報を参照しテクニカル サポートにお問合せください。

また、この Web サイトには、技術サポート、ドライバ、消耗品、注文に関する情報のほか、次のようなオプションが用意されています。

- オンライン サポートのページにアクセスする。
- 質問を E メールで HP に送信する。
- オンライン チャットで、HP の技術者に問い合わせる。
- ソフトウェアのアップデートを確認する。

ツールボックス (Windows) または HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS X) からも、一般的な印刷に関する問題の簡単なステップバイステップの解決法を入手できます。詳細については、ツールボックスの使用 (Windows)または HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS X) の使用を参照してください。

ご利用いただけるサポートオプションは、製品、国/地域、および言語によって異なります。

保証

HP 製品	限定保証期間
ソフトウェア メディア	90 日
プリンタ	1 年
プリントまたはインク カートリッジ	HP インクが空になった時点か、カートリッジに記載されている「保証期限」のいずれか早い時点まで。本保証は、インクの詰め替え、改造、誤使用、または不正な改修が行われた HP インク製品には適用されません。
印字ヘッド（顧客が交換可能な製品にのみ適用）	1 年
アクセサリ	90 日

A. 限定保証の有効範囲
1. Hewlett-Packard (以下 HP) は、ご購入日から上記の指定期間中、設計上および製造上の不具合のないことを保証いたします。
2. HP のソフトウェア製品に関する保証は、プログラムの実行エラーのみに限定されています。HP は、製品操作によって電磁波障害が引き起こされた場合は保証しません。
3. HP の限定保証は、製品の通常使用により発生した欠陥のみを対象とします。下記に起因する不具合を含むその他の不具合には適用されません。
   a. 不適切なメンテナンスや改修
   b. 他社により提供またはサポートされているソフトウェア、部品、またはサプライ品の使用
   c. 製品使用外の操作
   d. 不正な改修や、誤使用
4. HP プリンタ製品に HP 製品以外のインク カートリッジやインクを詰め替えたカートリッジを使用した場合は、保証の対象、または HP サポートの対象から外れます。ただし、プリンタの故障や損傷が HP 製以外の詰め替え用インクカートリッジの使用によって発生した場合は HP は標準時間と実費にて特定の故障または損傷を修理いたします。
5. HP は、保証期間中に HP の保証対象となる製品の不良通知を受け取った場合、HP の判断に従って製品を修理または交換するものとします。
6. HP の保証対象となる欠陥製品の修理や交換が適用範囲で行えない場合、HP は、欠陥通知を受け取ってからしかるべき期間内に購入代金返還を行います。
7. HP は、お客様が欠陥製品を HP へ返却するまでは、修理、交換、返金を行う義務はないものとします。
8. 交換製品は、新品、またはそれに類する製品で、機能的には少なくとも交換に出された製品と同等のものとします。
9. HP 製品は、パーツ、コンポーネントや素材を再利用して製造する場合がありますが、これらの性能は新しいものと同等です。
10. HP の限定保証は、HP 製品が販売されているすべての国と地域で有効とします。出張修理などの追加保証サービス契約については、HP 製品販売国/地域における正規の HP サービス センタ、または正規輸入代理店までご相談ください。.

B. 保証の限定
   国/地域の法律によって認められる範囲内で、当社および第三者の納入業者のいずれも、保証条件、製品品質、および特定の目的に関して本保証以外に明示的または黙示的に保証をすることはありません。

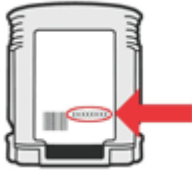
C. 限定責任
1. 国/地域の法律によって認められる範囲内で、本保証に規定された救済が、お客様のみに限定された唯一の救済になります。
2. 本保証に規定された義務を除いて、HP または第三者は、損傷について、直接的、間接的、特別、偶発的、必然的であるかどうか、あるいは、契約、不法行為、その他の法的理論に基づくかどうかに関わらず、またそのような損傷の可能性を説明しているかどうかに関わらず、責任は負わないものとします。.

D. 国/地域ごとの法律
1. 本保証によって、お客様に特定の法的権利が付与されます。この権利は、米国およびカナダについては州ごとに、その他の国については国ごとに付与されることがあります。
2. この保証書の内容と国/地域の法律が整合しない場合、本保証書は地域の法律に合致するように修正されるものとします。このような国/地域の法律の下で、一部の警告文と限定保証はお客様に適用されない場合があります。たとえば、米国の複数の州、また米国以外の政府 (カナダの州を含む) などでは、以下のとおりとなります。
   a. 本保証書の警告文と限定保証を、お客様の法廷権利の制限からあらかじめ除外する場合があります (例：イギリス)。
   b. その他に製造元が保証を認めないことや限定を設けることとについて規制すること。
   c. お客様に追加の保証権利を提供すること、製造業者が責任を逃れられない暗黙の保証期間を規定すること、および暗黙の保証期間に対する限定を認めないこと。
3. 本保証の条項は法律の及ぶ範囲内までとし、除外、制限、または修正などはしないものとします。また、義務づけられた法的権利は、お客様への HP 製品の販売に適用されます。

インク カートリッジ保証情報

HP によるカートリッジの保証は、製品が指定された HP の印刷デバイスで使用されている場合に適用されます。本保証は、補充、再製品化、修理調整さ

れたもの、または改ざんされた HP 純正インク製品については対象外になります。

保証期間中、HP 製インクが消耗していないことと、保証期限日付に達していないことを条件として、製品に保証が適用されます。保証期間終了日は、製品に YYYY-MM 形式で表示されている場合があります。

HP テレフォン サポートの取得

保証期間中は、HP カスタマ ケア センタから無料でサポートを受けることができます。

注記 HP では、Linux での印刷に関する電話サポートは提供していません。すべてのサポートは下記 Web サイトでオンラインで提供されます。https://launchpad.net/hplipサポート プロセスを開始するには、**[質問する]** ボタンをクリックします。

HPLIP Web サイトは、Windows または Mac OS X に対するサポートは提供していません。これらのオペレーティング システムを使用している場合は、www.hp.com/support を参照してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 電話をかける前の用意
- サポート プロセス
- HP 社の電話によるサポート
- 追加保証オプション
- HP Quick Exchange Service (Japan)
- HP 韓国カスタマサポート

電話をかける前の用意

最新のトラブルシューティング情報、または製品のフィックスと更新を HP の Web サイト (www.hp.com/support) で見つけてください。

HP All-in-On には、他社のソフトウェア プログラムが付属している場合があります。このようなプログラムで問題が発生した場合は、そのメーカーの担当技術者にお問い合わせになると最適な技術サポートが受けられます。

注記 この情報は、日本のお客様には適用されません。日本でのサービス内容については、HP Quick Exchange Service (Japan)を参照してください。

カスタマ ケア センター担当者がよりよくお手伝いできるよう、電話をかける必要がある場合は以下の情報をお手元にご用意ください。

1. デバイスのセルフ テスト診断ページを印刷します。 詳細については、セルフテスト レポートについてを参照してください。 印刷できない場合は、次の情報を用意してください。
   - デバイス モデル
   - モデル番号とシリアル番号 (本体後部をチェック)
2. お使いのオペレーティング システム（Windows XP など）をご確認ください。

3. 本体がネットワークに接続されている場合は、そのネットワーク オペレーティング システムを確認します。
4. USB 接続、ネットワーク接続など、お使いのシステムに本体がどのように接続されているかを書き留めます。
5. プリンタ ソフトウェアのバージョン番号を入手します。(プリンタ ドライバのバージョン番号を調べるには、プリンタ設定ダイアログ ボックスまたはプロパティ ダイアログ ボックスを開き、**[バージョン情報]** タブをクリックします)。
6. 特定のアプリケーションでプリント結果を得られない場合には、そのアプリケーション名とバージョン番号も記録しておきます。

サポート プロセス

問題がある場合は、次の手順を実行します

1. デバイスに付属のマニュアルを確認してください。
2. HP の Web サイトの HP オンライン サポートwww.hp.com/supportを参照してください。 HP オンライン サポートは HP のお客様全員がご利用いただけます。 最新デバイス情報およびエクスパート アシスタンスのための最速ソースであり、以下のような特徴があります。
   - 認定オンライン サポート スペシャリストへの迅速なアクセス
   - HP All in One のソフトウェアおよびドライバ アップデート
   - 一般的な問題に対する貴重なトラブルシューティング情報
   - HP All-in-One を登録すると利用できる予防的なデバイスの更新、サポート警告、および HP ニュース
3. HP サポートへの連絡 ご利用いただけるサポート オプションは、デバイス、国/地域、および言語によって異なります。

HP 社の電話によるサポート

掲載されている電話サポート番号と費用は、この資料の発行時のものです。HP の電話サポート番号の最新リストと電話料金の情報については、www.hp.com/support を参照してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 電話サポート期間
- 電話サポート番号

- 電話をかける
- 電話無料サポート期間後

電話サポート期間

北米、アジア太平洋、および南米 (メキシコを含む) で 1 年間の電話サポートが受けられます。

ヨーロッパ、中東、およびアフリカの電話サポート期間については、www.hp.com/support をご覧ください。規定の通話料金はかかります。

電話サポート番号

電話サポート番号の最新リストについては、www.hp.com/support を参照してください。

www.hp.com/support

Africa (English speaking)	+27 11 2345872
Afrique (francophone)	+33 1 4993 9230
021 672 280	الجزائر
Argentina (Buenos Aires)	54-11-4708-1600
Argentina	0-800-555-5000
Australia	1300 721 147
Australia (out-of-warranty)	1902 910 910
Österreich	+43 0820 87 4417 0,145 € p/m
17212049	البحرين
België	+32 070 300 005 0,174 €
Belgique	+32 070 300 004 0,174 €
Brasil (Sao Paulo)	55-11-4004-7751
Brasil	0-800-709-7751
Canada	1-(800)-474-6836 (1-800 hp invent)
Central America & The Caribbean	www.hp.com/support
Chile	800-360-999
中国	1068687980
中国	800-810-3888
Colombia (Bogotá)	571-606-9191
Colombia	01-8000-51-4746-8368
Costa Rica	0-800-011-1046
Česká republika	810 222 222
Danmark	+45 70 202 845 0,25 DKK
Ecuador (Andinatel)	1-999-119 ☏ 800-711-2884
Ecuador (Pacifitel)	1-800-225-528 ☏ 800-711-2884
(02) 6910602	مصر
El Salvador	800-6160
España	+34 902 010 059 0,078 €
France	+33 0892 69 60 22 0,337 €
Deutschland	+49 01805 652 180 0,14 € aus dem deutschen Festnetz - bei Anrufen aus Mobilfunknetzen können andere Preise gelten
Ελλάδα (από το εξωτερικό)	+ 30 210 6073603
Ελλάδα (εντός Ελλάδας)	801 11 75400
Ελλάδα (από Κύπρο)	800 9 2654
Guatemala	1-800-711-2884
香港特別行政區	(852) 2802 4098
Magyarország	06 40 200 629
India	1-800-425-7737
India	91-80-28526900
Indonesia	+62 (21) 350 3408
+971 4 224 9189	العراق
+971 4 224 9189	الكويت
+971 4 224 9189	لبنان
+971 4 224 9189	قطر
+971 4 224 9189	اليمن
Ireland	+353 1890 923 902 0,05 €
1-700-503-048	ישראל
Italia	+39 848 800 871 0,023 €

Jamaica	1-800-711-2884
日本	0570-000511
日本	03-3335-9800
0800 222 47	الأردن
한국	1588-3003
Luxembourg (Français)	+352 900 40 006 0,161 €
Luxemburg (Deutsch)	+352 900 40 007 0,161 €
Malaysia	1800 88 8588
Mauritius	(230) 262 210 404
México (Ciudad de México)	55-5258-9922
México	01-800-472-68368
Maroc	081 005 010
Nederland	+31 0900 2020 165 0,20 €
New Zealand	0800 441 147
Nigeria	(01) 271 2320
Norge	+47 815 62 070 0,39 NOK
24791773	عُمان
Panamá	1-800-711-2884
Paraguay	009 800 54 1 0006
Perú	0-800-10111
Philippines	2 867 3551
Polska	801 800 235
Portugal	+351 808 201 492 0,024 €
Puerto Rico	1-877-232-0589
República Dominicana	1-800-711-2884
Reunion	0820 890 323
România	0801 033 390
Россия (Москва)	095 777 3284 0,03 €
Россия (Санкт-Петербург)	812 332 4240 0,08 €
800 897 1415	السعودية
Singapore	+65 6272 5300
Slovensko	0850 111 256
South Africa (RSA)	0860 104 771
Suomi	+358 0 203 66 767 0,015 €
Sverige	+46 077 120 4765 0,23 SEK
Switzerland	+41 0848 672 672 0.08 CHF
臺灣	02-8722-8000
ไทย	+66 (2) 353 9000
071 891 391	تونس
Trinidad & Tobago	1-800-711-2884
Türkiye (İstanbul, Ankara, İzmir & Bursa)	444 0307
Україна	(044) 230-51-06
600 54 47 47	الإمارات العربية المتحدة
United Kingdom	+44 0870 010 4320 0.05 £
United States	1-(800)-474-6836
Uruguay	0004-054-177
Venezuela (Caracas)	58-212-278-8666
Venezuela	0-800-474-68368
Viêt Nam	+84 88234530

電話をかける

HP サポートに電話をおかけになる際は、コンピュータと HP All-in-One の前からおかけください。以下の情報をご用意ください。

- モデル番号 (プリンタの正面のラベルに記載)

  注記 デバイス前面に表示されるモデル名に加え、このデバイスには特定のモデル番号があります。この番号を使用して、製品で利用できるサプライ品、アクセサリ、サポート入手のタイミングについて確認できます。モデル番号は、デバイスの内部、インク カートリッジの側のラベルに記載されています。

- シリアル番号 (プリンタの背面または底部に記載)
- 問題が起こった際に表示されたメッセージ
- 次の質問に対する答え
  - この問題が以前にも起こったことがありますか？
  - 問題をもう1度再現できますか？
  - この問題が起こった頃に、お使いのコンピュータに新しいハードウェア、またはソフトウェアを追加しましたか？
  - この状況になる前に何か他のことが起こりましたか (雷、HP All-in-One を移動したなど)?

電話無料サポート期間後

電話サポート期間後も、追加料金で HP のヘルプをご利用いただけます。Web サイトの HP オンライン サポートもご利用いただけます。www.hp.com/supportサポート オプションの詳細については、お近くの HP 取扱店にお問い合せいただくか、お住まいの国/地域のサポート サービスの電話番号までご連絡ください。

追加保証オプション

HP All-in-One の延長サービス プランは追加費用で利用できます。www.hp.com/support にアクセスし、お住まいの国または地域、および言語を選択し、延長サービス プランについての情報をサービスおよび保証項目で探してください。

HP Quick Exchange Service (Japan)

HP クイック・エクスチェンジサービス

製品に問題がある場合は、以下に記載されている電話番号に連絡してください。故障している、または問題があると判断された場合、保障期間中は無料で製品を交換し、故障した製品を回収します。

電話番号：　0570-000511（ナビダイヤル）
03-3335-9800（ナビダイヤルをご利用いただけない場合）
サポート時間：　平日の午前 9:00 から午後 5:00 まで
土日の午前 10:00 から午後 5:00 まで
祝祭日および 1月 1日から 3日は除きます。

サービスの条件：
- サポートの提供は、カスタマケアセンターを通してのみ行われます。
- カスタマケアセンターがプリンタの不具合と判断した場合に、サービスを受けることができます。
  ご注意：ユーザの扱いが不適切であったために故障した場合は、保障期間中であっても修理は有料となります。詳細については保証書を参照してください。

その他の制限：
- 運搬の時間はお住まいの地域によって異なります。詳しくは、カスタマケアセンターに連絡してご確認ください。
- 出荷配送は、当社指定の配送業者が行います。
- 配送は交通事情などの諸事情によって、遅れる場合があります。
- このサービスは、将来予告無しに変更することがあります。

交換時のデバイスの梱包方法については、製品の梱包を参照してください。

HP 韓国カスタマサポート

HP 한국 고객 지원 문의
- 고객 지원 센터 대표 전화
  1588-3003
- 제품가격 및 구입처 정보 문의 전화
  080-703-0700
- 전화 상담 가능 시간:
  평　일 09:00~18:00
  토요일 09:00~13:00
  (일요일, 공휴일 제외)

製品をお送りいただくための準備

HP カスタマ サポートへのお問い合わせ後、または購入店で製品をサービス担当にお送りいただくよう求められた場合は、製品をお送りいただく前に、必ず以下のものを取り外し、保管しておいてください。

- プリントヘッドとインク カートリッジ
- コントロール パネル カバー
- 両面印刷ユニット
- 排紙トレイ
- 電源コード、USB ケーブルなど、製品に接続されているケーブル
- 給紙トレイにセットされている用紙
- 本体にセットされているすべての原稿

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 製品をお送りいただく前のインク カートリッジとプリントヘッドの取り外し
- デバイスのコントロール パネル カバーの取り外し
- 両面印刷ユニットを取り外す
- 排紙トレイを取り外す

製品をお送りいただく前のインク カートリッジとプリントヘッドの取り外し

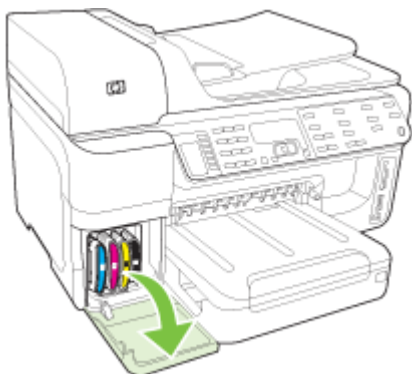
製品をお送りいただく前に、インク カートリッジとプリント ヘッドを必ず取り外してください。

注記　この情報は、日本のお客様には適用されません。

発送前にプリント カートリッジを取り外すには

1. 本体の電源を入れ、プリント カートリッジが停止して静かになるまでしばらく待ちます。 本体の電源がオンにならない場合は、この手順を省略してステップ 2 に進みます。

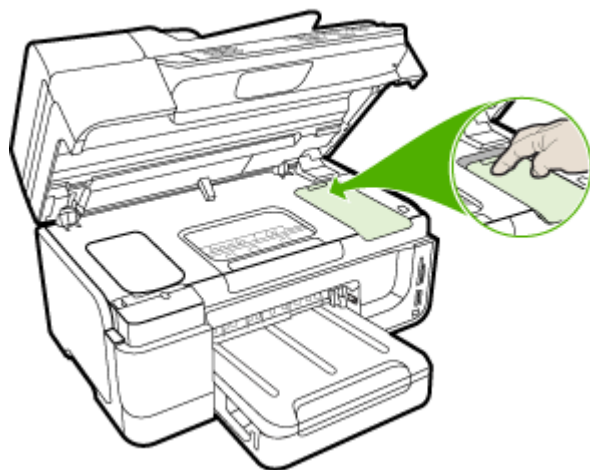
   注記 本体の電源がオンにならない場合は、電源コードを抜いて、手動でプリント キャリッジを右端まで動かすと、インク カートリッジを取り外すことができます。

   ---
2. インク カートリッジ カバーをゆっくりと開きます。

3. それぞれのインク カートリッジを親指と人さし指で挟んでしっかりと手前に引き、スロットから取り外します。

4. インク カートリッジの内部が乾燥しないようにカートリッジを密閉プラスチック容器に入れて保管します。 HP カスタマ サポートの電話担当者から指示された場合を除き、本体と一緒に発送しないでください。
5. インク カートリッジ アクセスドアを閉め、カートリッジがホーム ポジション (左側) に戻るまでしばらく待ちます。
6. スキャナが停止して所定の位置に戻った後、**電源** ボタンを押して本体の電源をオフにします。

発送前にプリントヘッドを取り外すには

1. 上部カバーを開きます。
2. インクホルダーが自動的に左に移動しない場合は、(**OK** ボタン) (2 行ディスプレイの製品) または **[*]** (カラー ディスプレイの製品) を 5 秒間押し続けます。カートリッジが停止するのを待ちます。

   注記 プリンタの電源をオンにできない場合は、ペンを使用してプリントヘッドのカバーを取り外します。

3. プリントヘッド ラッチを上げます。
4. プリントヘッドのハンドルを持ち上げて、プリントヘッドをスロットから引き出します。

5. プリントヘッドの内部が乾燥しないように、ノズルを上に向けてお互いが接触しないように、容器に触れないように、密閉プラスチック容器に入れて保管します。HP カスタマ サポートの電話担当者から指示された場合を除き、本体と一緒に発送しないでください。
6. 上部カバーを閉じます。
7. スキャナが停止して所定の位置に戻った後、**電源** ボタンを押して本体の電源をオフにします。

デバイスのコントロール パネル カバーの取り外し

プリントヘッドとインク カートリッジの取り外しが終わったら、以下の手順を実行します。

注記 この情報は、日本のお客様には適用されません。

△ **注意** 必ず本体のプラグを抜いてから以下の手順に従ってください。

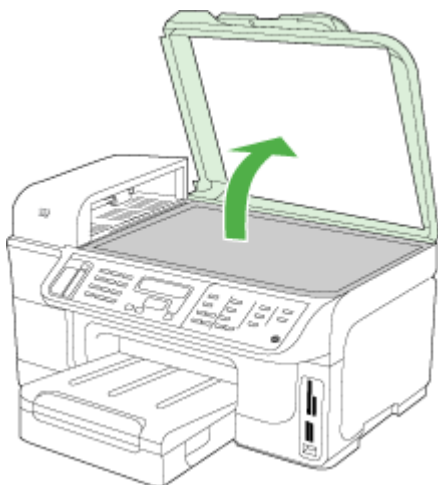
注意 本体の交換品に電源コードは付属しません。 交換品が到着するまで、電源コードは安全な場所に保管しておいてください。

コントロール パネル カバーを取り外すには

1. **電源** を押してデバイスの電源をオフにします。
2. 電源コードをコンセントから抜いた後、本体から外します。電源コードは本体と一緒に返送しないでください。
3. 以下の手順に従って、コントロール パネル カバーを取り外します。
   2 行ディスプレイ

指をコントロール パネル カバーの右下隅に差し込み、持ち上げて取り外します。

カラー ディスプレイ

a. スキャナのカバーを持ち上げます。

b. コントロール パネル カバー上部中央のタブを指で持ちます。引っ張ってデバイスから取り外します。

4. コントロール パネル カバーを保管します。コントロール パネル カバーは All-in-One と一緒に返送しないでください。

△ **注意** 交換用のデバイスには、コントロール パネル カバーが付属していません。 コントロール パネル カバーは安全な場所に保管しておき、デバイスの交換品がお手元に届いたら取り付けてください。 デバイスの交換品のコントロール パネル機能を使用するには、交換前の製品に付属していたコントロール パネル カバーを交換品に取り付ける必要があります。

注記 コントロール パネル カバーの取り付け方法については、デバイスに付属のセットアップ ポスターを参照してください。 デバイスの交換品に、デバイスの設定に関する使用説明書が付属している場合があります。

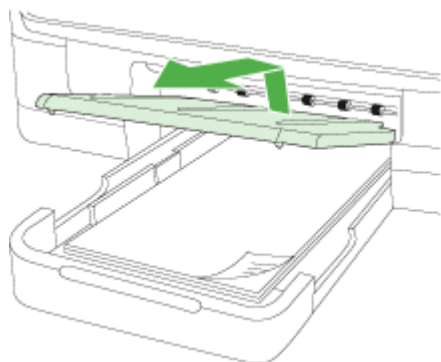
両面印刷ユニットを取り外す

デバイスを発送する前に両面印刷ユニットを取り外します。

▲ 両面印刷ユニットの両側にあるボタンを押して、ユニットを取り外します。

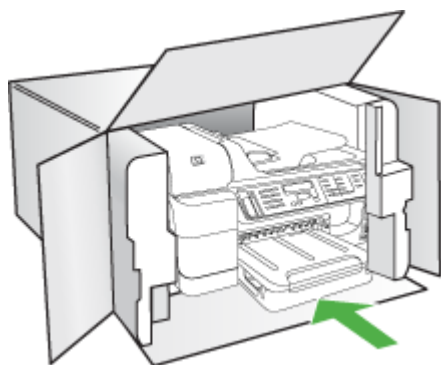
排紙トレイを取り外す

デバイスを発送する前に排紙トレイを取り外します。

▲ 排紙トレイを持ち上げ、デバイスからトレイをゆっくり取り外します。

製品の梱包

製品をお送りいただく準備ができたら、次の手順を実行してください。

製品を梱包するには

1. お手元にある場合は元の梱包材を使用して、または交換品に使用されていた梱包材を使用して、製品を梱包して発送します。

元の梱包材がない場合は、他の適切な梱包材を使用してください。 不適切な梱包や運送によって発生する損傷は、保証の対象にはなりません。

2. 返送用のラベルを箱の外側に貼ります。
3. 箱には、以下のものを入れてください。
   - サービス担当に宛てた、症状の詳細な説明 (印刷品質を示す実際の出力サンプルが役に立ちます)。
   - 保証が適用される期間内であることを証明する保証書またはその他の購入証明書のコピー。
   - 氏名、住所、および日中に連絡可能な電話番号。
   - 印刷サプライ品をビニール袋に入れて、デバイスと一緒に発送します。

C　デバイスの仕様

メディアおよびメディア処理の仕様については、「サポートされたメディアの仕様の理解」を参照してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 物理的仕様
- 製品機能と容量
- プロセッサとメモリの仕様
- システム要件
- ネットワーク プロトコルの仕様
- 埋め込み Web サーバの仕様
- 印刷の仕様
- コピーの仕様
- ファクスの仕様
- スキャンの仕様
- 環境仕様
- 電気仕様
- 発生音量仕様 (エコノ モードでの印刷、ISO 7779 によるノイズ レベル)
- サポートされているデバイス
- メモリ カードの仕様

物理的仕様

サイズ (幅 x 高さ x 奥行き)

- 2 行ディスプレイ モデルの場合

  両面印刷ユニット付きデバイス：494 x 299 x 479 mm (19.5 x 11.8 x 18.9 インチ)

  トレイ 2 取り付け時: 67 mm (2.6 インチ) をデバイスの高さに追加します。

- カラー ディスプレイ モデルの場合

  両面印刷ユニット付きデバイス：494 x 331 x 479 mm (19.5 x 13 x 18.9 インチ)

  トレイ 2 取り付け時: 67 mm (2.6 インチ) をデバイスの高さに追加します。

デバイス重量 (印刷サプライ品は含まず)

- 2 行ディスプレイ モデルの場合
  両面印刷ユニット付きデバイス： 11.9 kg (26.2 lb)
  トレイ 2 取り付け時: 2.7 kg (6.0 ポンド) を追加します。
- カラー ディスプレイ モデルの場合
  両面印刷ユニット付きデバイス： 12.7 kg (28.0 lb)
  トレイ 2 取り付け時: 2.7 kg (6.0 ポンド) を追加します。

製品機能と容量

機能	容量
接続	• USB 2.0 準拠 • USB ホスト コネクタは、フル スピードまでしかサポートされていません。 • ワイヤレス 802.11b/g (一部のモデルのみ) • 有線ネットワーク
印刷方式	オンデマンド型サーマル インクジェット印刷
インク カートリッジ	4 種類のインク カートリッジ (黒、シアン、マゼンタ、およびイエロー各 1 つ) **注記** 一部のインク カートリッジは、国/地域によっては取り扱われていません。
プリントヘッド	2 種類のプリントヘッド (黒、シアン、イエロー、およびマゼンタ各 1 つ)
印刷可能枚数	インク カートリッジの推定残量の詳細については、www.hp.com/go/learnaboutsupplies/ を参照してください。
デバイスの言語	HP PCL 3
サポートするフォント	US フォント： CG Times、CG Times Italic、Universe、

(続き)

機能	容量
	Universe Italic、Courier、Courier Italic、Letter Gothic、Letter Gothic Italic。
負荷サイクル	15,000 ページ/月まで
デバイスのコントロール パネルの言語のサポート 使用可能な言語は国/地域によって異なります。	ブルガリア語、クロアチア語、チェコ語、デンマーク語、オランダ語、英語、フィンランド語、フランス語、ドイツ語、ギリシャ語、ハンガリー語、イタリア語、日本語、韓国語、ノルウェー語、ポーランド語、ポルトガル語、ルーマニア語、ロシア語、簡体字中国語、スロバキア語、スロベニア語、スペイン語、スウェーデン語、繁体字中国語、トルコ語。

プロセッサとメモリの仕様

デバイス プロセッサ

ARM11

デバイス メモリ

- 2 行のディスプレイ : 64 MB 内蔵 RAM
- カラー ディスプレイ : 128 MB 内蔵 RAM

システム要件

注記 サポートされているオペレーティング システムとシステム要件の最新情報については、http://www.hp.com/support/ にアクセスしてください。

オペレーティング システムとの互換性（サポートする OS は国毎に異なります）

- Windows 2000、Windows XP、Windows XP x64、Windows Vista

> **注記** Windows 2000 SP4、Windows XP x64 Edition SP 1、Windows XP SP 1 Starter Edition、および Windows Vista Starter Edition では、プリンタ ドライバ、スキャナ ドライバ、およびツールボックスのみを使用できます。HP Officejet 6500 (E709d) または HP Officejet 6500 (E709r) を使用している場合、コピーはサポートされません。使用しているモデルを確認するには、デバイスのモデル番号の検索を参照してください。

- Mac OS X (v.10.4、v.10.5)
- Linux (詳細については、www.hp.com/go/linuxprinting を参照してください)。

最小要件

- Windows 2000 サービスパック 4： Intel Pentium II または Celeron プロセッサ、128 MB RAM、200 MB のハード ディスク空き容量、Microsoft Internet Explorer 6.0
- Windows XP (32 ビット) サービスパック 1： Intel Pentium II または Celeron プロセッサ、512 MB RAM、410 MB のハード ディスク空き容量、Microsoft Internet Explorer 6.0
- Windows XP x64 サービスパック 1：AMD Athlon 64 または AMD Opteron プロセッサ、Intel EM64T を備えた Intel Xeon プロセッサ または Intel EM64T を備えた Pentium プロセッサ、512 MB RAM、290 MB のハード ディスク空き容量、Microsoft Internet Explorer 6.0
- Windows Vista:800 MHz 32 ビット (x86) または 64 ビット (x64) プロセッサ、512 MB RAM、425 MB のハード ディスク空き容量、Microsoft Explorer 7.0
- **Mac OS X (v.10.4.11、v.10.5)**：PowerPC G3、G4、G5、または Intel Core プロセッサ、256 MB メモリ、500 MB のハード ディスク空き容量
- **Quick Time 5.0以降 (Mac OS X)**
- Adobe Acrobat Reader 5.0 以降

推奨される要件

- Windows 2000 サービスパック 4： Intel Pentium III 以上のプロセッサ、256 MB RAM、200 MB のハード ディスク空き容量
- Windows XP (32 ビット) サービスパック 1：Intel Pentium III 以上のプロセッサ、512 MB RAM、500 MB のハード ディスク空き容量

- Windows XP x64 サービスパック 1：AMD Athlon 64 または AMD Opteron プロセッサ、Intel EM64T を備えた Intel Xeon プロセッサ または Intel EM64T を備えた Pentium プロセッサ、512 MB RAM、290 MB のハード ディスク空き容量、Microsoft Internet Explorer 6.0 以降
- Windows Vista: 1 GHz 32 ビット (x86) または 64 ビット (x64) プロセッサ、1 GB RAM、470 MB のハード ディスク空き容量
- **Mac OS X (v.10.4.11、v.10.5)**：PowerPC G3、G4、G5、または Intel Core プロセッサ、512 MB 以上のメモリ、500 MB のハード ディスク空き容量
- **Microsoft Internet Explorer 6.0 以降 (Windows 2000、Windows XP)、Internet Explorer 7.0 以降 (Windows Vista)**

ネットワーク プロトコルの仕様

ネットワーク オペレーティング システムとの互換性（サポートする OS は国毎に異なります）

- Windows 2000、Windows XP (32 ビット)、Windows XP x64* (Professional Edition および Home Edition)、Windows Vista (32 ビット) と (64 ビット) [Ultimate Edition、Enterprise Edition および Business Edition]
- Mac OS X (v.10.4、v.10.5)
- Microsoft Windows 2000 Server Terminal Services と Citrix Metaframe XP と Feature Release 3
- Microsoft Windows 2000 Server Terminal Services と Citrix Presentation Server 4.0
- Microsoft Windows 2000 Server Terminal Services
- Microsoft Windows 2003 Server Terminal Services
- Microsoft Windows 2003 Server Terminal Services と Citrix Presentation Server 4.0
- Microsoft Windows 2003 Server Terminal Services と Citrix Presentation Server 4.5
- Microsoft Windows 2003 Server Terminal Services と Citrix Metaframe XP と Feature Release 3
- Microsoft Windows 2000 Small Business Server Terminal Services
- Novell Netware 6、6.5、Open Enterprise Server 6.5

互換性のあるネットワーク プロトコル

TCP/IP

ネットワーク管理

埋め込み Web サーバ

機能

ネットワーク デバイスをリモート設定および管理する機能

埋め込み Web サーバの仕様

必要な条件

- TCP/IP ベースのネットワーク (IPX/SPX ベースのネットワークはサポートされていません)
- Web ブラウザ (Microsoft Internet Explorer 6.0 以降、Mozilla Firefox 1.0 以降、Opera 8.0 以降、または Safari 1.2 以降)
- ネットワーク接続 (USB ケーブルで直接コンピュータに接続されている場合、埋め込み Web サーバは使用できません)
- インターネット接続 (一部の機能で必要)

注記 埋め込み Web サーバは、インターネットに接続しなくても開くことができます。 ただし、一部の機能は使用できません。

- 組み込み Web サーバは、デバイスとファイアウォールの同じ側になければなりません。

印刷の仕様

モノクロ印刷の解像度

ピグメント ブラック インクで最高 1200 dpi

カラー印刷の解像度

HP ではフォト品質を Vivera インクにより改善しています (最高 4800 X 1200 dpi 最適化、1200 X 1200 入力 dpi で HP プレミアム プラス フォト用紙使用)

コピーの仕様

- デジタルイメージ処理
- 原稿のコピーは 99 枚まで (モデルによって異なります)
- デジタルズーム: 25～400% (モデルによって異なります)
- ページに合わせる、コピーのプレビュー (カラー ディスプレイのみ)

ファクスの仕様

- Walk-up 方式のモノクロおよびカラー ファクス機能。
- 最大 110 件の短縮ダイヤル (モデルによって異なります)。

- 最大 120 ページのメモリ (ITU-T Test Image #1 を標準解像度で受信した場合で、モデルよって異なります)。 より複雑なページあるいは高解像度のページの場合は受信に時間がかかり、消費メモリも多くなります。
- 手動ファクス送受信。
- 最大 5 回のビジー自動リダイヤル (モデルによって異なります)。
- 1 回の応答なし自動リダイヤル (モデルによって異なります)。
- 確認レポートおよびアクティビティ レポート。
- CCITT/ITU Group 3 ファクス (エラー訂正モード対応)。
- 伝送速度 33.6 Kbps。
- 33.6 Kbps の場合の伝送速度は 3 秒/枚 (ITU-T Test Image #1 を標準解像度で受信した場合)。より複雑なページあるいは高解像度のページの場合は受信に時間がかかり、消費メモリも多くなります。
- 呼び出しの自動検出とそれに伴うファクス/留守番電話の自動切り替え。

	写真 (dpi)	超高画質 (dpi)	高画質 (dpi)	標準 (dpi)
モノクロ	196 x 203 (8 ビット グレースケール)	300 x 300	196 x 203	196 x 98
カラー	200 x 200	200 x 200	200 x 200	200 x 200

PC ファクス受信の仕様

- サポートされるファイルの種類： 未圧縮 TIFF
- サポートされるファクス形式： モノクロ ファクス

スキャンの仕様

- イメージエディター内蔵
- 統合 OCR ソフトウェアによってスキャンしたテキストを編集可能なテキストに自動的に変換 (Windows のみ）
- スキャンの速度は、文書の複雑さによって異なります
- Twain 互換 インタフェース
- 解像度：光学解像度 4800 x 4800 ppi、最大補間解像度 19,200 ppi
- カラー： RGB カラーによる16 ビット、48 ビット合計
- ガラス板からの最大スキャン サイズ：2 行ディスプレイ ：216 x 297 mm、カラー ディスプレイ216 x 356 mm
- ADF からの最大スキャン サイズ： 216 x 356 mm

環境仕様

動作環境

動作温度： 摂氏 5°～ 40°C (華氏 41°～ 104°F)

動作時推奨条件: 摂氏 15°～ 32°C (華氏 59°～ 90°F)

推奨相対湿度: 25 ～ 75% 結露しないこと

保管環境

保管温度:-40° ～ 60° C (-40° ～ 140° F)

保管相対湿度:60°C (140°F) の温度で最高 90%、結露しないこと

電気仕様

電源

ユニバーサル電源アダプタ (外部)

所要電力

入力電圧: 100 ～ 240 VAC (± 10%)、50/60 Hz (± 3Hz)

出力電圧：2500 mA で 32 Vdc

電力消費

印刷時 30 W (高速ドラフト モード)、コピー時 32 W (高速ドラフト モード)

発生音量仕様 (エコノ モードでの印刷、ISO 7779 によるノイズ レベル)

音圧 (そばに立っている状態)

LpAm 57 (dBA) (mon Draft print)

音響

LwAd 7.0 (BA)

サポートされているデバイス

USB フラッシュ ドライブ

HP では、このデバイスで次の USB フラッシュ ドライブを完全にテストしています。

- **SanDisk Cruzer Micro**： 高速、0120-256、256 MB
- **Iomega Micro Mini**： フル速度、064-0417450-YCAE032171、128 MB
- **Kingston DataTraveler II**： 高速、KF112504 f5274-006、128 MB および 256 MB
- **Sony Microvault**： 高速、D04825AB、256 MB
- **Lexar Media JumpDrive:** 256 MB

注記: デバイスには他の USB フラッシュ ドライブを使用できる場合もあります。 ただし、他のドライブは完全にテストされていないため、デバイスで適切に動作するかどうかは保証できません。

メモリ カードの仕様

- メモリーカード上の推奨最大ファイル数： 1,000
- 推奨最大ファイル サイズ(個別): 12 メガピクセル (最大)、8 MB (最大)
- 推奨最大メモリ カード サイズ: 1 GB (半導体メモリのみ)

注記 メモリ カードの最大推奨値に近づくと、デバイスのパフォーマンスが期待値より遅くなる場合があります。

サポートされているメモリ カードのタイプ

- CompactFlash (Type I および II)
- Memory Stick、Memory Stick Duo、Memory Stick Pro、MagicGate Memory Stick Duo

  注記 Memory Stick Duo (別売のアダプタが必要)アダプタを使用しないとデバイスが損傷する恐れがあります。

- Memory Stick Micro (別売のアダプタが必要)
- Secure Digital
- High Capacity Secure Digital
- miniSD、microSD (別売のアダプタが必要)
- MultiMediaCard (MMC), Secure MultiMediaCard
- 縮小サイズの MultiMediaCard (RS-MMC)、MMC Mobile、MMCmicro (すべての製品でアダプタを別途購入する必要がある)
- xD-Picture カード

D 法規について

このデバイスは、お住まいの国/地域の規制当局からの製品要件に適合しています。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- FCC 準拠声明
- 日本のユーザに対するVCCI (クラス B) 基準に関する告知
- 日本のユーザに対する告知 (電源コードについて)
- 韓国のユーザに対する告知
- 有毒有害物質の表
- 米国電話網ユーザへの告知：FCC 要件
- カナダのユーザに対する告知
- 欧州経済地域の全ユーザに対する告知
- オーストラリアでの有線ファクスの接続について
- ワイヤレス製品の法規規定
- 規制モデル番号
- 適合宣言書
- 環境保全のためのプロダクト スチュワード プログラム
- サードパーティ ライセンス

FCC 準拠声明

FCC statement

The United States Federal Communications Commission (in 47 CFR 15.105) has specified that the following notice be brought to the attention of users of this product.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and the receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

For further information, contact:

Manager of Corporate Product Regulations
Hewlett-Packard Company
3000 Hanover Street
Palo Alto, Ca 94304
(650) 857-1501

Modifications (part 15.21)

The FCC requires the user to be notified that any changes or modifications made to this device that are not expressly approved by HP may void the user's authority to operate the equipment.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

日本のユーザに対するVCCI (クラス B) 基準に関する告知

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。

取り扱い説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

日本のユーザに対する告知 (電源コードについて)

製品には、同梱された電源コードをお使い下さい。
同梱された電源コードは、他の製品では使用出来ません。

韓国のユーザに対する告知

사용자 안내문(B급 기기)

이 기기는 비업무용으로 전자파 적합 등록을 받은 기기로서, 주거지역에서는 물론 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

有毒有害物質の表

有毒有害物质表

根据中国《电子信息产品污染控制管理办法》

零件描述	有毒有害物质和元素					
	铅	汞	镉	六价铬	多溴联苯	多溴联苯醚
外壳和托盘*	0	0	0	0	0	0
电线*	0	0	0	0	0	0
印刷电路板*	X	0	0	0	0	0
打印系统*	X	0	0	0	0	0
显示器*	X	0	0	0	0	0
喷墨打印机墨盒*	0	0	0	0	0	0
驱动光盘*	X	0	0	0	0	0
扫描仪*	X	X	0	0	0	0
网络配件*	X	0	0	0	0	0
电池板*	X	0	0	0	0	0
自动双面打印系统*	0	0	0	0	0	0
外部电源*	X	0	0	0	0	0

0: 指此部件的所有均一材质中包含的这种有毒有害物质，含量低于SJ/T11363-2006 的限制
X: 指此部件使用的均一材质中至少有一种包含的这种有毒有害物质，含量高于SJ/T11363-2006 的限制
注：环保使用期限的参考标识取决于产品正常工作的温度和湿度等条件
*以上只适用于使用这些部件的产品

米国電話網ユーザへの告知：FCC 要件

Notice to users of the U.S. telephone network: FCC requirements

This equipment complies with FCC rules, Part 68. On this equipment is a label that contains, among other information, the FCC Registration Number and Ringer Equivalent Number (REN) for this equipment. If requested, provide this information to your telephone company.

An FCC compliant telephone cord and modular plug is provided with this equipment. This equipment is designed to be connected to the telephone network or premises wiring using a compatible modular jack which is Part 68 compliant. This equipment connects to the telephone network through the following standard network interface jack: USOC RJ-11C.

The REN is useful to determine the quantity of devices you may connect to your telephone line and still have all of those devices ring when your number is called. Too many devices on one line might result in failure to ring in response to an incoming call. In most, but not all, areas the sum of the RENs of all devices should not exceed five (5). To be certain of the number of devices you may connect to your line, as determined by the REN, you should call your local telephone company to determine the maximum REN for your calling area.

If this equipment causes harm to the telephone network, your telephone company might discontinue your service temporarily. If possible, they will notify you in advance. If advance notice is not practical, you will be notified as soon as possible. You will also be advised of your right to file a complaint with the FCC. Your telephone company might make changes in its facilities, equipment, operations, or procedures that could affect the proper operation of your equipment. If they do, you will be given advance notice so you will have the opportunity to maintain uninterrupted service. If you experience trouble with this equipment, please contact the manufacturer, or look elsewhere in this manual, for warranty or repair information. Your telephone company might ask you to disconnect this equipment from the network until the problem has been corrected or until you are sure that the equipment is not malfunctioning.

This equipment may not be used on coin service provided by the telephone company.

Connection to party lines is subject to state tariffs. Contact your state public utility commission, public service commission, or corporation commission for more information.

This equipment includes automatic dialing capability. When programming and/or making test calls to emergency numbers:

- Remain on the line and explain to the dispatcher the reason for the call.
- Perform such activities in the off-peak hours, such as early morning or late evening.

Note The FCC hearing aid compatibility rules for telephones are not applicable to this equipment.

The Telephone Consumer Protection Act of 1991 makes it unlawful for any person to use a computer or other electronic device, including fax machines, to send any message unless such message clearly contains in a margin at the top or bottom of each transmitted page or on the first page of transmission, the date and time it is sent and an identification of the business, other entity, or other individual sending the message and the telephone number of the sending machine or such business, other entity, or individual. (The telephone number provided might not be a 900 number or any other number for which charges exceed local or long-distance transmission charges.) In order to program this information into your fax machine, you should complete the steps described in the software.

カナダのユーザに対する告知

Note à l'attention des utilisateurs du réseau téléphonique canadien/Notice to users of the Canadian telephone network

Cet appareil est conforme aux spécifications techniques des équipements terminaux d'Industrie Canada. Le numéro d'enregistrement atteste de la conformité de l'appareil. L'abréviation IC qui précède le numéro d'enregistrement indique que l'enregistrement a été effectué dans le cadre d'une Déclaration de conformité stipulant que les spécifications techniques d'Industrie Canada ont été respectées. Néanmoins, cette abréviation ne signifie en aucun cas que l'appareil a été validé par Industrie Canada.

Pour leur propre sécurité, les utilisateurs doivent s'assurer que les prises électriques reliées à la terre de la source d'alimentation, des lignes téléphoniques et du circuit métallique d'alimentation en eau sont, le cas échéant, branchées les unes aux autres. Cette précaution est particulièrement importante dans les zones rurales.

Remarque Le numéro REN (Ringer Equivalence Number) attribué à chaque appareil terminal fournit une indication sur le nombre maximal de terminaux qui peuvent être connectés à une interface téléphonique. La terminaison d'une interface peut se composer de n'importe quelle combinaison d'appareils, à condition que le total des numéros REN ne dépasse pas 5.

Basé sur les résultats de tests FCC Partie 68, le numéro REN de ce produit est 0.0B.

This equipment meets the applicable Industry Canada Terminal Equipment Technical Specifications. This is confirmed by the registration number. The abbreviation IC before the registration number signifies that registration was performed based on a Declaration of Conformity indicating that Industry Canada technical specifications were met. It does not imply that Industry Canada approved the equipment.

Users should ensure for their own protection that the electrical ground connections of the power utility, telephone lines and internal metallic water pipe system, if present, are connected together. This precaution might be particularly important in rural areas.

Note The REN (Ringer Equivalence Number) assigned to each terminal device provides an indication of the maximum number of terminals allowed to be connected to a telephone interface. The termination on an interface might consist of any combination of devices subject only to the requirement that the sum of the Ringer Equivalence Numbers of all the devices does not exceed 5.

The REN for this product is 0.0B, based on FCC Part 68 test results.

欧州経済地域の全ユーザに対する告知

Notice to users in the European Economic Area

CE

This product is designed to be connected to the analog Switched Telecommunication Networks (PSTN) of the European Economic Area (EEA) countries/regions.

Network compatibility depends on customer selected settings, which must be reset to use the equipment on a telephone network in a country/region other than where the product was purchased. Contact the vendor or Hewlett-Packard Company if additional product support is necessary.

This equipment has been certified by the manufacturer in accordance with Directive 1999/5/EC (annex II) for Pan-European single-terminal connection to the public switched telephone network (PSTN). However, due to differences between the individual PSTNs provided in different countries, the approval does not, of itself, give an unconditional assurance of successful operation on every PSTN network termination point.

In the event of problems, you should contact your equipment supplier in the first instance.

This equipment is designed for DTMF tone dialing and loop disconnect dialing. In the unlikely event of problems with loop disconnect dialing, it is recommended to use this equipment only with the DTMF tone dial setting.

オーストラリアでの有線ファクスの接続について

In Australia, the HP device must be connected to Telecommunication Network through a line cord which meets the requirements of the Technical Standard AS/ACIF S008.

ワイヤレス製品の法規規定

このセクションでは、ワイヤレス製品に関する以下の規制事項について説明します。

- 高周波暴露
- ブラジルのユーザーに対する告示
- カナダのユーザーに対する告示
- 台湾のユーザーに対する告知
- EUの規制に関する告知

高周波暴露

Exposure to radio frequency radiation

Caution The radiated output power of this device is far below the FCC radio frequency exposure limits. Nevertheless, the device shall be used in such a manner that the potential for human contact during normal operation is minimized. This product and any attached external antenna, if supported, shall be placed in such a manner to minimize the potential for human contact during normal operation. In order to avoid the possibility of exceeding the FCC radio frequency exposure limits, human proximity to the antenna shall not be less than 20 cm (8 inches) during normal operation.

ブラジルのユーザーに対する告示

Aviso aos usuários no Brasil

Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito à proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário. (Res.ANATEL 282/2001).

カナダのユーザーに対する告示

Notice to users in Canada/Note à l'attention des utilisateurs canadiens

For Indoor Use. This digital apparatus does not exceed the Class B limits for radio noise emissions from the digital apparatus set out in the Radio Interference Regulations of the Canadian Department of Communications. The internal wireless radio complies with RSS 210 and RSS GEN of Industry Canada.

Utiliser à l'intérieur. Le présent appareil numérique n'émet pas de bruit radioélectrique dépassant les limites applicables aux appareils numériques de la classe B prescrites dans le Règlement sur le brouillage radioélectrique édicté par le ministère des Communications du Canada. Le composant RF interne est conforme a la norme RSS-210 and RSS GEN d'Industrie Canada.

台湾のユーザーに対する告知

低功率電波輻射性電機管理辦法

第十二條

經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更設計之特性及功能。

第十四條

低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。

前項合法通信，指依電信法規定作業之無線電通信。低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫藥用電波輻射性電機設備之干擾。

EUの規制に関する告知

European Union Regulatory Notice

Products bearing the CE marking comply with the following EU Directives:

- Low Voltage Directive 2006/95/EC
- EMC Directive 2004/108/EC

CE compliance of this product is valid only if powered with the correct CE-marked AC adapter provided by HP.

If this product has telecommunications functionality, it also complies with the essential requirements of the following EU Directive:

- R&TTE Directive 1999/5/EC

Compliance with these directives implies conformity to harmonized European standards (European Norms) that are listed in the EU Declaration of Conformity issued by HP for this product or product family. This compliance is indicated by the following conformity marking placed on the product.

The wireless telecommunications functionality of this product may be used in the following EU and EFTA countries:

Austria, Belgium, Bulgaria, Cyprus, Czech Republic, Denmark, Estonia, Finland, France, Germany, Greece, Hungary, Iceland, Ireland, Italy, Latvia, Liechtenstein, Lithuania, Luxembourg, Malta, Netherlands, Norway, Poland, Portugal, Romania, Slovak Republic, Slovenia, Spain, Sweden, Switzerland and United Kingdom.

Products with 2.4-GHz wireless LAN devices

France
For 2.4 GHz Wireless LAN operation of this product certain restrictions apply: This product may be used indoor for the entire 2400-2483.5 MHz frequency band (channels 1-13). For outdoor use, only 2400-2454 MHz frequency band (channels 1-9) may be used. For the latest requirements, see http://www.art-telecom.fr.

Italy
License required for use. Verify with your dealer or directly with the General Direction for Frequency Planning and Management (Direzione Generale Pianificazione e Gestione Frequenze).

規制モデル番号

規定に適合していることを識別する目的で、製品には規定モデル番号が割り当てられています。お使いの製品の規制モデル番号は SNPRC-0703-01 (HP Officejet Pro 8500 All-in-One Series)、または SNPRC-0703-02 (HP Officejet Pro 8500 Wireless All-in-One または HP Officejet Pro 8500 Premier All-in-One) です。この法規モデル番号は、マーケティング用の名前 (HP Officejet Pro 8500 All-in-One Series) または製品番号と混同しないようにしてください。

適合宣言書

DECLARATION OF CONFORMITY

according to ISO/IEC 17050-1 and EN 17050-1

Supplier's Name: Hewlett-Packard Company **DoC#:** SNPRC-0703-01-A

Supplier's Address: 60, Alexandra Terrace, # 07-01 The Comtech, Singapore 118502

declares, that the product

Product Name: HP Officejet Pro 8500 All-in-One Series

Regulatory Model Number:[1)] SNPRC-0703-01

Product Options: C9101A / Automatic 2-Sided Printing Device

CB802A / 250 - sheet Paper Tray

conforms to the following Product Specifications and Regulations:

SAFETY: IEC 60950-1:2001 / EN60950-1:2001 + A11: 2004
EN 60825-1 1994+A1:2002+A2: 2001

EMC: CISPR 22:2005/ EN 55022: 2006 Class B
EN 55024:1998 +A1:2001 + A2:2003
EN 61000-3-2: 2000 + A2: 2005
EN 61000-3-3:1995 +A1: 2001
FCC CFR 47, Part 15 Class B / ICES-003, Issue 4 Class B

TELECOM: TBR 21: 1998[3)]
FCC Rules and Regulations 47CFR Part 68
TIA-968-A-1 +A-2 +A-3+A-4 Telecommunications – Telephone Terminal Equipment
CS-03, Part I, Issue 9, Feb 2005

Supplementary Information:

1. This product is assigned a Regulatory Model Number which stays with the regulatory aspects of the design. The Regulatory Model Number is the main product identifier in the regulatory documentation and test reports, this number should not be confused with the marketing name or the product numbers.
2. This product complies with the requirements of the Low Voltage Directive 2006/95/EC, the EMC Directive 2004/108/EC & the R&TTE Directive 99/5/EC and carries the CE-marking accordingly. In addition, it complies with the WEEE Directive 2002/96/EC and RoHS Directive 2002/95/EC.
3. This product complies with TBR21:1998, except clause 4.7.1 (DC characteristic), which complies with ES 203 021-3, clause 4.7.1.
4. This Device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two Conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
5. The product was tested in a typical configuration.

Singapore
April 2008

Wong Soo Min , Director Quality
Imaging & Printing Manufacturing Operations

Local contact for regulatory topics only:
EMEA: Hewlett-Packard GmbH, HQ-TRE, Herrenberger Strasse 140, 71034 Boeblingen, Germany www.hp.com/go/certificates
USA : Hewlett-Packard, 3000 Hanover St., Palo Alto 94304, U.S.A. 650-857-1501

DECLARATION OF CONFORMITY

according to ISO/IEC 17050-1 and EN 17050-1

Supplier's Name: Hewlett-Packard Company **DoC#:** SNPRC-0703-02-A

Supplier's Address: 60, Alexandra Terrace, # 07-01 The Comtech, Singapore 118502

declares, that the product

Product Name: HP Officejet Pro 8500 All-in-One Series

Regulatory Model Number:[1] SNPRC-0703-02

Product Options: C9101A / Automatic 2-Sided Printing Device

CB802A / 250 - sheet Paper Tray

Radio Module Number: RSVLD-0608

conforms to the following Product Specifications and Regulations:

SAFETY:
IEC 60950-1:2001 / EN60950-1:2001 + A11: 2004
EN 60825-1 1994+A1:2002+A2: 2001

EMC:
CISPR 22:2005/ EN 55022: 2006 Class B
EN 55024:1998 +A1:2001 + A2:2003
EN 61000-3-2: 2000 + A2: 2005
EN 61000-3-3:1995 +A1: 2001
FCC CFR 47, Part 15 Class B / ICES-003, Issue 4 Class B

TELECOM:
EN 301 489-1 V1.6.1:2005 / EN 301 489-17 V1.2.1:2002
EN 300 328 V1.7.1 : 2006
TBR 21: 1998[3]
FCC Rules and Regulations 47CFR Part 68
TIA-968-A-1 +A-2 +A-3+A-4 Telecommunications – Telephone Terminal Equipment
CS-03, Part I, Issue 9, Feb 2005

Supplementary Information:

1. This product is assigned a Regulatory Model Number which stays with the regulatory aspects of the design. The Regulatory Model Number is the main product identifier in the regulatory documentation and test reports, this number should not be confused with the marketing name or the product numbers.
2. This product complies with the requirements of the Low Voltage Directive 2006/95/EC, the EMC Directive 2004/108/EC & the R&TTE Directive 99/5/EC and carries the CE-marking accordingly. In addition, it complies with the WEEE Directive 2002/96/EC and RoHS Directive 2002/95/EC.
3. This product complies with TBR21:1998, except clause 4.7.1 (DC characteristic), which complies with ES 203 021-3, clause 4.7.1.
4. This Device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two Conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
5. The product was tested in a typical configuration.

Singapore
April 2008

Wong Soo Min , Director Quality
Imaging & Printing Manufacturing Operations

Local contact for regulatory topics only:
EMEA: Hewlett-Packard GmbH, HQ-TRE, Herrenberger Strasse 140, 71034 Boeblingen, Germany www.hp.com/go/certificates
USA : Hewlett-Packard, 3000 Hanover St., Palo Alto 94304, U.S.A. 650-857-1501

環境保全のためのプロダクト スチュワード プログラム

Hewlett-Packard では、優れた製品を環境に対して適切な方法で提供することに積極的に取り組んでいます。この製品では、再利用を考慮した設計を取り入れています。高度な機能と信頼性を確保する一方、素材の種類は最小限にとどめられています。素材が異なる部分は、簡単に分解できるように作られています。金具などの接合部品は、作業性を考慮した分かりやすい場所にあるので、一般的な工具を使って簡単に取り外すことができます。重要な部品も手の届きやすい場所にあり、取り外しや修理が簡単に行えます。

詳細については、 HP Web サイトの次のアドレスにある「環境保護ホーム」にアクセスしてください。

www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment/index.html

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 用紙の使用
- プラスチック
- 化学物質安全性データ シート
- リサイクルプログラム
- HP インクジェット サプライ品リサイクル プログラム
- EU の一般家庭ユーザーによる廃棄機器の処理
- 電力消費
- 化学物質

用紙の使用

本製品は DIN 19309 と EN 12281:2002 にしたがったリサイクル用紙の使用に適しています。

プラスチック

25 グラム以上のプラスチックのパーツには、国際規格に基づく材料識別マークが付いているため、プリンタを処分する際にプラスチックを正しく識別することができます。

化学物質安全性データ シート

化学物質等安全データ シート (MSDS) は、次の HP Web サイトから入手できます。

www.hp.com/go/msds

リサイクルプログラム

HP は世界中の国/地域で、大規模なエレクトロニクス リサイクルセンターと提携して、さまざまな製品回収およびリサイクルプログラムを次々に実施しております。また、弊社の代表的製品の一部を再販することで、資源を節約

しています。HP製品のリサイクルについての詳細は、下記サイトをご参照ください。

www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment/recycle/

HP インクジェット サプライ品リサイクル プログラム

HP では、環境の保護に積極的に取り組んでいます。HPのインクジェット消耗品リサイクル プログラムは多くの国/地域で利用可能であり、これを使用すると使用済みのプリント カートリッジおよびインク カートリッジを無料でリサイクルすることができます。詳細については、次の Web サイトを参照してください。

www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment/recycle/

EU の一般家庭ユーザーによる廃棄機器の処理

English

Disposal of Waste Equipment by Users in Private Households in the European Union
This symbol on the product or on its packaging indicates that this product must not be disposed of with your other household waste. Instead, it is your responsibility to dispose of your waste equipment by handing it over to a designated collection point for the recycling of waste electrical and electronic equipment. The separate collection and recycling of your waste equipment at the time of disposal will help to conserve natural resources and ensure that it is recycled in a manner that protects human health and the environment. For more information about where you can drop off your waste equipment for recycling, please contact your local city office, your household waste disposal service or the shop where you purchased the product.

Français

Évacuation des équipements usagés par les utilisateurs dans les foyers privés au sein de l'Union européenne
La présence de ce symbole sur le produit ou sur son emballage indique que vous ne pouvez pas vous débarrasser de ce produit de la même façon que vos déchets courants. Au contraire, vous êtes responsable de l'évacuation de vos équipements usagés et, à cet effet, vous êtes tenu de les remettre à un point de collecte agréé pour le recyclage des équipements électriques et électroniques usagés. Le tri, l'évacuation et le recyclage séparés de vos équipements usagés permettent de préserver les ressources naturelles et de s'assurer que ces équipements sont recyclés dans le respect de la santé humaine et de l'environnement. Pour plus d'informations sur les lieux de collecte des équipements usagés, veuillez contacter votre mairie, votre service de traitement des déchets ménagers ou le magasin où vous avez acheté le produit.

Deutsch

Entsorgung von Elektrogeräten durch Benutzer in privaten Haushalten in der EU
Dieses Symbol auf dem Produkt oder dessen Verpackung gibt an, dass das Produkt nicht zusammen mit dem Restmüll entsorgt werden darf. Es obliegt daher Ihrer Verantwortung, das Gerät an einer entsprechenden Stelle für die Entsorgung oder Wiederverwertung von Elektrogeräten aller Art abzugeben (z.B. ein Wertstoffhof). Die separate Sammlung und das Recyceln Ihrer alten Elektrogeräte zum Zeitpunkt ihrer Entsorgung trägt zum Schutz der Umwelt bei und gewährleistet, dass sie auf eine Art und Weise recycelt werden, die keine Gefährdung für die Gesundheit des Menschen und der Umwelt darstellt. Weitere Informationen darüber, wo Sie alte Elektrogeräte zum Recyceln abgeben können, erhalten Sie bei den örtlichen Behörden, Wertstoffhöfen oder dort, wo Sie das Gerät erworben haben.

Italiano

Smaltimento di apparecchiature da rottamare da parte di privati nell'Unione Europea
Questo simbolo che appare sul prodotto o sulla confezione indica che il prodotto non deve essere smaltito assieme agli altri rifiuti domestici. Gli utenti devono provvedere allo smaltimento delle apparecchiature da rottamare portandole al luogo di raccolta indicato per il riciclaggio delle apparecchiature elettriche ed elettroniche. La raccolta e il riciclaggio separati delle apparecchiature da rottamare in fase di smaltimento favoriscono la conservazione delle risorse naturali e garantiscono che tali apparecchiature vengano rottamate nel rispetto dell'ambiente e della tutela della salute. Per ulteriori informazioni sui punti di raccolta delle apparecchiature da rottamare, contattare il proprio comune di residenza, il servizio di smaltimento dei rifiuti locale o il negozio presso il quale è stato acquistato il prodotto.

Español

Eliminación de residuos de aparatos eléctricos y electrónicos por parte de usuarios domésticos en la Unión Europea
Este símbolo en el producto o en el embalaje indica que no se puede desechar el producto junto con los residuos domésticos. Por el contrario, si debe eliminar este tipo de residuo, es responsabilidad del usuario entregarlo en un punto de recogida designado de reciclado de aparatos electrónicos y eléctricos. El reciclaje y la recogida por separado de estos residuos en el momento de la eliminación ayudará a preservar recursos naturales y a garantizar que el reciclaje proteja la salud y el medio ambiente. Si desea información adicional sobre los lugares donde puede dejar estos residuos para su reciclado, póngase en contacto con las autoridades locales de su ciudad, con el servicio de gestión de residuos domésticos o con la tienda donde adquirió el producto.

Česky

Likvidace vysloužilého zařízení uživateli v domácnosti v zemích EU
Tato značka na produktu nebo na jeho obalu označuje, že tento produkt nesmí být likvidován prostým vyhozením do běžného domovního odpadu. Odpovídáte za to, že vysloužilé zařízení bude předáno k likvidaci do stanovených sběrných míst určených k recyklaci vysloužilých elektrických a elektronických zařízení. Likvidace vysloužilého zařízení samostatným sběrem a recyklací napomáhá zachování přírodních zdrojů a zajišťuje, že recyklace proběhne způsobem chránícím lidské zdraví a životní prostředí. Další informace o tom, kam můžete vysloužilé zařízení předat k recyklaci, můžete získat od úřadů místní samosprávy, od společnosti provádějící svoz a likvidaci domovního odpadu nebo v obchodě, kde jste produkt zakoupili.

Dansk

Bortskaffelse af affaldsudstyr for brugere i private husholdninger i EU
Dette symbol på produktet eller på dets emballage indikerer, at produktet ikke må bortskaffes sammen med andet husholdningsaffald. I stedet er det dit ansvar at bortskaffe affaldsudstyr ved at aflevere det på dertil beregnede indsamlingssteder med henblik på genbrug af elektrisk og elektronisk affaldsudstyr. Den separate indsamling og genbrug af dit affaldsudstyr på tidspunktet for bortskaffelse er med til at bevare naturlige ressourcer og sikre, at genbrug finder sted på en måde, der beskytter menneskers helbred samt miljøet. Hvis du vil vide mere om, hvor du kan aflevere dit affaldsudstyr til genbrug, kan du kontakte kommunen, det lokale renovationsvæsen eller den forretning, hvor du købte produktet.

Nederlands

Afvoer van afgedankte apparatuur door gebruikers in particuliere huishoudens in de Europese Unie
Dit symbool op het product of de verpakking geeft aan dat dit product niet mag worden afgevoerd met het huishoudelijk afval. Het is uw verantwoordelijkheid uw afgedankte apparatuur af te leveren op een aangewezen inzamelpunt voor de verwerking van afgedankte elektrische en elektronische apparatuur. De gescheiden inzameling en verwerking van uw afgedankte apparatuur draagt bij tot het sparen van natuurlijke bronnen en tot het hergebruik van materiaal op een wijze die de volksgezondheid en het milieu beschermt. Voor meer informatie over waar u uw afgedankte apparatuur kunt inleveren voor recycling kunt u contact opnemen met het gemeentehuis in uw woonplaats, de reinigingsdienst of de winkel waar u het product hebt aangeschaft.

Eesti

Eramajapidamistes kasutuselt kõrvaldatavate seadmete käitlemine Euroopa Liidus
Kui tootel või toote pakendil on see sümbol, ei tohi seda toodet visata olmejäätmete hulka. Teie kohus on viia tarbetuks muutunud seade selleks ettenähtud elektri- ja elektroonikaseadmete utiliseerimiskohta. Utiliseeritavate seadmete eraldi kogumine ja käitlemine aitab säästa loodusvarasid ning tagada, et käitlemine toimub inimeste tervisele ja keskkonnale ohutult. Lisateavet selle kohta, kuhu saate utiliseeritava seadme käitlemiseks viia, saate küsida kohalikust omavalitsusest, olmejäätmete utiliseerimispunktist või kauplusest, kust te seadme ostsite.

Suomi

Hävitettävien laitteiden käsittely kotitalouksissa Euroopan unionin alueella
Tämä tuotteessa tai sen pakkauksessa oleva merkintä osoittaa, että tuotetta ei saa hävittää talousjätteiden mukana. Käyttäjän velvollisuus on huolehtia siitä, että hävitettävä laite toimitetaan sähkö- ja elektroniikkalaiteromun keräyspisteeseen. Hävitettävien laitteiden erillinen keräys ja kierrätys säästää luonnonvaroja. Näin toimimalla varmistetaan myös, että kierrätys tapahtuu tavalla, joka suojelee ihmisten terveyttä ja ympäristöä. Saat tarvittaessa lisätietoja jätteiden kierrätyspaikoista paikallisilta viranomaisilta, jäteyhtiöiltä tai tuotteen jälleenmyyjältä.

Ελληνικά

Απόρριψη άχρηστων συσκευών στην Ευρωπαϊκή Ένωση
Το παρόν σύμβολο στον εξοπλισμό ή στη συσκευασία του υποδεικνύει ότι το προϊόν αυτό δεν πρέπει να πεταχτεί μαζί με άλλα οικιακά απορρίμματα. Αντίθετα, ευθύνη σας είναι να απορρίψετε τις άχρηστες συσκευές σε μια καθορισμένη μονάδα συλλογής απορριμμάτων για την ανακύκλωση άχρηστου ηλεκτρικού και ηλεκτρονικού εξοπλισμού. Η χωριστή συλλογή και ανακύκλωση των άχρηστων συσκευών θα συμβάλει στη διατήρηση των φυσικών πόρων και στη διασφάλιση ότι θα ανακυκλωθούν με τέτοιον τρόπο, ώστε να προστατεύεται η υγεία των ανθρώπων και το περιβάλλον. Για περισσότερες πληροφορίες σχετικά με το πού μπορείτε να απορρίψετε τις άχρηστες συσκευές για ανακύκλωση, επικοινωνήστε με τις κατά τόπους αρμόδιες αρχές ή με το κατάστημα από το οποίο αγοράσατε το προϊόν.

Magyar

A hulladékanyagok kezelése a magánháztartásokban az Európai Unióban
Ez a szimbólum, amely a terméken vagy annak csomagolásán van feltüntetve, azt jelzi, hogy a termék nem kezelhető együtt az egyéb háztartási hulladékkal. Az Ön feladata, hogy a készülék hulladékanyagait eljuttassa olyan kijelölt gyűjtőhelyre, amely az elektromos hulladékanyagok és az elektronikus berendezések újrahasznosításával foglalkozik. A hulladékanyagok elkülönített gyűjtése és újrahasznosítása hozzájárul a természeti erőforrások megőrzéséhez, egyúttal azt is biztosítja, hogy a hulladék újrahasznosítása az egészségre és a környezetre nem ártalmas módon történik. Ha tájékoztatást szeretne kapni azokról a helyekről, ahol leadhatja újrahasznosításra a hulladékanyagokat, forduljon a helyi önkormányzathoz, a háztartási hulladék begyűjtésével foglalkozó vállalathoz vagy a termék forgalmazójához.

Latviski

Lietotāju atbrīvošanās no nederīgām ierīcēm Eiropas Savienības privātajās mājsaimniecībās
Šis simbols uz ierīces vai tās iepakojuma norāda, ka šo ierīci nedrīkst izmest kopā ar pārējiem mājsaimniecības atkritumiem. Jūs esat atbildīgs par atbrīvošanos no nederīgās ierīces, to nododot norādītajā savākšanas vietā, lai tiktu veikta nederīgā elektriskā un elektroniskā aprīkojuma otrreizējā pārstrāde. Speciāla nederīgās ierīces savākšana un otrreizējā pārstrāde palīdz taupīt dabas resursus un nodrošina tādu otrreizējo pārstrādi, kas sargā cilvēku veselību un apkārtējo vidi. Lai iegūtu papildu informāciju par to, kur otrreizējai pārstrādei var nogādāt nederīgo ierīci, lūdzu, sazinieties ar vietējo pašvaldību, mājsaimniecības atkritumu savākšanas dienestu vai veikalu, kurā iegādājāties šo ierīci.

Lietuviškai

Europos Sąjungos vartotojų ir privačių namų ūkių atliekamos įrangos išmetimas
Šis simbolis ant produkto arba jo pakuotės nurodo, kad produktas negali būti išmestas kartu su kitomis namų ūkio atliekomis. Jūs privalote išmesti savo atliekamą įrangą atiduodami ją į atliekamos elektronikos ir elektros įrangos perdirbimo punktus. Jei atliekama įranga bus atskirai surenkama ir perdirbama, bus išsaugomi natūralūs ištekliai ir užtikrinama, kad įranga yra perdirbta žmogaus sveikatą ir gamtą tausojančiu būdu. Dėl informacijos apie tai, kur galite išmesti atliekamą perdirbti skirtą įrangą kreipkitės į atitinkamą vietos tarnybą, namų ūkio atliekų išvežimo tarnybą arba į parduotuvę, kurioje pirkote produktą.

Polski

Utylizacja zużytego sprzętu przez użytkowników domowych w Unii Europejskiej
Symbol ten umieszczony na produkcie lub opakowaniu oznacza, że tego produktu nie należy wyrzucać razem z innymi odpadami domowymi. Użytkownik jest odpowiedzialny za dostarczenie zużytego sprzętu do wyznaczonego punktu gromadzenia zużytych urządzeń elektrycznych i elektronicznych. Gromadzenie osobno i recykling tego typu odpadów przyczynia się do ochrony zasobów naturalnych i jest bezpieczny dla zdrowia i środowiska naturalnego. Dalsze informacje na temat sposobu utylizacji zużytych urządzeń można uzyskać u odpowiednich władz lokalnych, w przedsiębiorstwie zajmującym się usuwaniem odpadów lub w miejscu zakupu produktu.

Português

Descarte de equipamentos por usuários em residências da União Européia
Este símbolo no produto ou na embalagem indica que o produto não pode ser descartado junto com o lixo doméstico. No entanto, é sua responsabilidade levar os equipamentos a serem descartados a um ponto de coleta designado para a reciclagem de equipamentos eletro-eletrônicos. A coleta separada e a reciclagem dos equipamentos no momento do descarte ajudam na conservação dos recursos naturais e garantem que os equipamentos serão reciclados de forma a proteger a saúde das pessoas e o meio ambiente. Para obter mais informações sobre onde descartar equipamentos para reciclagem, entre em contato com o escritório local de sua cidade, o serviço de limpeza pública de seu bairro ou a loja em que adquiriu o produto.

Slovenčina

Postup používateľov v krajinách Európskej únie pri vyhadzovaní zariadenia v domácom používaní do odpadu
Tento symbol na produkte alebo na jeho obale znamená, že nesmie by vyhodený s iným komunálnym odpadom. Namiesto toho máte povinnos odovzda toto zariadenie na zbernom mieste, kde sa zabezpečuje recyklácia elektrických a elektronických zariadení. Separovaný zber a recyklácia zariadenia určeného na odpad pomôže chráni prírodné zdroje a zabezpečí taký spôsob recyklácie, ktorý bude chráni ľudské zdravie a životné prostredie. Ďalšie informácie o separovanom zbere a recyklácii získate na miestnom obecnom úrade, vo firme zabezpečujúcej zber vášho komunálneho odpadu alebo v predajni, kde ste produkt kúpili.

Slovenščina

Ravnanje z odpadno opremo v gospodinjstvih znotraj Evropske unije
Ta znak na izdelku ali embalaži izdelka pomeni, da izdelka ne smete odlagati skupaj z drugimi gospodinjskimi odpadki. Odpadno opremo ste dolžni oddati na določenem zbirnem mestu za recikliranje odpadne električne in elektronske opreme. Z ločenim zbiranjem in recikliranjem odpadne opreme ob odlaganju boste pomagali ohraniti naravne vire in zagotovili, da bo odpadna oprema reciklirana tako, da se varuje zdravje ljudi in okolje. Več informacij o mestih, kjer lahko oddate odpadno opremo za recikliranje, lahko dobite na občini, v komunalnem podjetju ali trgovini, kjer ste izdelek kupili.

Svenska

Kassering av förbrukningsmaterial, för hem- och privatanvändare i EU
Produkter eller produktförpackningar med den här symbolen får inte kasseras med vanligt hushållsavfall. I stället har du ansvar för att produkten lämnas till en behörig återvinningsstation för hantering av el- och elektronikprodukter. Genom att lämna kasserade produkter till återvinning hjälper du till att bevara våra gemensamma naturresurser. Dessutom skyddas både människor och miljön när produkter återvinns på rätt sätt. Kommunala myndigheter, sophanteringsföretag eller butiken där varan köptes kan ge mer information om var du lämnar kasserade produkter för återvinning.

Български

Изхвърляне на оборудване за отпадъци от потребители в частни домакинства в Европейския съюз
Този символ върху продукта или опаковката му показва, че продуктът не трябва да се изхвърля заедно с домакинските отпадъци. Вие имате отговорността да изхвърлите оборудването за отпадъци, като го предадете на определен пункт за рециклиране на електрическо или механично оборудване за отпадъци. Отделното събиране и рециклиране на оборудването за отпадъци при изхвърлянето му помага за запазването на природни ресурси и гарантира рециклиране, извършено така, че да не застрашава човешкото здраве и околната среда. За повече информация къде можете да оставите оборудването за отпадъци за рециклиране се свържете със съответния офис в града ви, фирмата за събиране на отпадъци или с магазина, от който сте закупили продукта

Română

Înlăturarea echipamentelor uzate de către utilizatorii casnici din Uniunea Europeană
Acest simbol de pe produs sau de pe ambalajul produsului indică faptul că acest produs nu trebuie aruncat alături de celelalte deşeuri casnice. În loc să procedaţi astfel, aveţi responsabilitatea să vă debarasaţi de echipamentul uzat predându-l la un centru de colectare desemnat pentru reciclarea deşeurilor electrice şi a echipamentelor electronice. Colectarea şi reciclarea separată a echipamentului uzat atunci când doriţi să îl aruncaţi ajută la conservarea resurselor naturale şi asigură reciclarea echipamentului într-o manieră care protejează sănătatea umană şi mediul. Pentru informaţii suplimentare despre locul în care se poate preda echipamentul uzat pentru reciclare, luaţi legătura cu primăria locală, cu serviciul de salubritate sau cu vânzătorul de la care aţi achiziţionat produsul.

電力消費

スリープ モードになっている間は使用電力量が大幅に減り、製品の性能は維持したまま、天然資源や電気代を節約できます。この製品のエナジースター® 認定状況については、製品のデータ シートまたはを仕様書をご覧ください。認定製品は、www.hp.com/go/energystarにも掲載されています。

化学物質

HP では、REACH (**Regulation EC No 1907/2006 of the European Parliament and the Council**) などの法令への準拠の必要に応じて、製品に使用されている化学物質に関する情報のお客様への提供に積極的に取り組んでいます。この製品の化学物質に関するレポートは、次の Web サイトに掲載されています。www.hp.com/go/reach

サードパーティ ライセンス

Third-party licenses

Expat

OpenSSL

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
   "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
   The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
   "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)."

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).
==

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"

4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.

5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.

6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
==

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

==

Copyright 2002 Sun Microsystems, Inc. ALL RIGHTS RESERVED.
ECC cipher suite support in OpenSSL originally developed by
SUN MICROSYSTEMS, INC., and contributed to the OpenSSL project.

SHA2

FIPS 180-2 SHA-224/256/384/512 implementation
Last update: 02/02/2007
Issue date: 04/30/2005

Copyright (C) 2005, 2007 Olivier Gay <olivier.gay@a3.epfl.ch>
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. Neither the name of the project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE PROJECT AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE PROJECT OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Unicode

Disclaimer

This source code is provided as is by Unicode, Inc. No claims are made as to fitness for any particular purpose. No warranties of any kind are expressed or implied. The recipient agrees to determine applicability of information provided. If this file has been purchased on magnetic or optical media from Unicode, Inc., the sole remedy for any claim will be exchange of defective media within 90 days of receipt.

Limitations on Rights to Redistribute This Code

Unicode, Inc. hereby grants the right to freely use the information supplied in this file in the creation of products supporting the Unicode Standard, and to make copies of this file in any form for internal or external distribution as long as this notice remains attached.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of the Unicode data files and any associated documentation (the "Data Files") or Unicode software and any associated documentation (the "Software") to deal in the Data Files or Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, and/or sell copies of the Data Files or Software, and to permit persons to whom the Data Files or Software are furnished to do so, provided that (a) the above copyright notice(s) and this permission notice appear with all copies of the Data Files or Software, (b) both the above copyright notice(s) and this permission notice appear in associated documentation, and (c) there is clear notice in each modified Data File or in the Software as well as in the documentation associated with the Data File(s) or Software that the data or software has been modified.

THE DATA FILES AND SOFTWARE ARE PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR HOLDERS INCLUDED IN THIS NOTICE BE LIABLE FOR ANY CLAIM, OR ANY SPECIAL INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THE DATA FILES OR SOFTWARE.

索引

記号/数字

[コピー] メニュー 37
[スキャン] メニュー 37
[スキャン] メニュー ボタン 25, 28
[スキャン スタート] ボタン 26
[プリンタの追加] によるインストール 238
[縮小/拡大] ボタン 25
10 x 15 cm フォト用紙
 コピー 157
2 面印刷 71, 72
2 行のディスプレイ、コントロール パネル 29
4 x 6 インチ フォト用紙
 コピー 157

A

ADF (自動ドキュメント フィーダ)
 原稿のセット 46
 使用可能なメディアのサイズ 53
ADSL、ファクスのセットアップ
 パラレル方式の電話システム 200

B

Bluetooth
 Mac OS、印刷 256
 Windows、印刷 254
 カラー ディスプレイに表示されるアイコン 28
 セキュリティ設定 257
 セットアップ 252
 デバイスの接続 254
 ドングル、オンライン注文 360

C

CompactFlash メモリ カード
 挿入 97

D

DOC 400
DPOF ファイル 99
DSL、ファクスのセットアップ
 パラレル方式の電話システム 200

E

ECM. *を参照* エラー補正モードを参照
Ethernet 接続 29
EWS. *を参照* 組み込み Web サーバを参照

F

FoIP 147

H

Hewlett-Packard 社よりのお知らせ 3
HP Photosmart Studio 43
HP Photosmart ソフトウェア 43
HP ソリューション センター
 プログラムへのスキャン画像の送信 76
HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS)
 パネル 186
 管理者の設定 176
 起動 185

I

IP アドレス
 デバイスの確認 347
IP 設定 192
ISDN 回線、ファクスのセットアップ
 パラレル方式の電話システム 202

M

Mac OS
 Bluetooth 256
 HP Photosmart Studio 43
 HP プリンタ ユーティリティ 185
 ソフトウェアのアンインストール 261
 ソフトウェアのインストール 240
 デバイスの共有 241
 デバイスの共有 242
 ドライバでのアクセサリのオン/オフ 34
 フチ無し印刷 67
 プリント設定 70
 ワイヤレス通信のセットアップ 246
 特殊な用紙またはカスタムサイズのメディアの印刷 66
Mac にファクス
 変更 132
 有効化 132
Memory Stick カード
 スロット、位置の確認 98
 挿入 97
MMC メモリ カード
 挿入 97

O

OCR
 スキャンした文書の編集 80
 トラブルシューティング 300
OHP フィルム
 コピー 158

OK ボタン 26
On ボタン 24, 26

P

PBX システム、ファクスのセットアップ
  パラレル方式の電話システム 202
PCL 3 サポート 382
PC ファクス受信
  変更 132
  有効化 132
Photosmart Studio 43
Photosmart ソフトウェア 43
PictBridge モード 99, 100
PictBridge 対応デジタル カメラ ポート、位置の確認 98

R

readme 16

S

Secure Digital メモリ カード
  挿入 97

T

TWAIN
  スキャン 78
  ソースを有効にできない 301

U

USB ケーブル、注文 360
USB フラッシュ ドライブ 388
USB 接続
  Bluetooth アダプタ 252
  Mac OS のセットアップ 240
  Windows のセットアップ 230
  使用できる機能 29
  仕様 382
  デジタル カメラ 99
  ポート、位置の確認 20
  ポート、位置の確認 22

W

Web サイト
  Apple 241
  アクセシビリティ情報 19
  カスタマ サポート 363
  環境プログラム 402
  サプライ品とアクセサリの注文 359
  ヨーロッパ向けインク カートリッジ 360
  ワイヤレス セキュリティ 244
  印刷可能枚数データ シート 382
Web スキャン 78
Web ページ、印刷 72
WIA (Windows Image Application)、スキャン 78
Windows
  [プリンタの追加] によるインストール 238
  Bluetooth 254
  HP Photosmart ソフトウェア 43
  HP ソリューション センター 180
  システム要件 383
  ソフトウェアのアンインストール 259
  ソフトウェアのインストール 229, 230
  デバイスの共有 232
  特殊な用紙またはカスタムサイズのメディアの印刷 65
  ドライバでのアクセサリのオン/オフ 34
  ネットワークのセットアップ 233
  フチ無し印刷 67
  プリント設定 70
  両面印刷 72
  ワイヤレス通信のセットアップ 245
Windows Image Application (WIA)、スキャン 78

X

xD-Picture メモリ カード
  スロット、位置の確認 98
  挿入 97

あ

明るい、トラブルシューティング
  コピー 296
  スキャン 303
アクセサリ
  インストール 33
  ドライバでのオン/オフ 34
  自己診断テスト ページ 187
アクセシビリティ 19

い

一度に 2 枚以上給紙される、トラブルシューティング 293
インクがにじむ、トラブルシューティング 288
インク カートリッジ
  オンライン注文 359
  パーツ番号 187
  パーツ番号 360
  位置の確認 21
  印刷可能枚数 382
  交換 263
  使用可能 382
  取り外し 372
  状態 170, 187
  有効期限 187
インク カートリッジとプリントヘッドの取り外し 372
インクホルダー開閉カバー、位置の確認 21
インク残量アイコン 27
印刷ドライバ
  設定 69
印刷
  インデックス シート 105
  キャンセル 73
  設定 69
  短縮ダイヤル エントリ 146
  ファクス レポート 149
  ファクス ログ 152
  両面 71

インストール
[プリンタの追加]、Windows 238
Mac OS 用のソフトウェア 240
Windows ネットワーク ソフトウェア 233
Windows 用のソフトウェア 229
アクセサリ 33
トラブルシューティング 347
両面印刷ユニット 33
インターネット プロトコル
ファクス、使用 147
インチあたりのドット数 (dpi)
ファクス 23
インチあたりのドット数 (dpi)
ファクス 25
インデックス シート
印刷 105

う

薄くする
コピー 163
薄くする
ファクス 120
埋め込み Web サーバ
Web スキャン 78
システム必要条件 386
開く 182
ページ 183

え

エラー補正モード 121
エラー補正モード、ファクス 139
エラー メッセージ
TWAIN ソースを有効にできません 301
デバイスのコントロール パネル 38
エラー レポート、ファクス 151

お

応答呼び出し音のパターン
パラレル方式の電話システム 203
変更 138
応答呼び出し回数 137
音圧 388
温度仕様 388

か

回線状態のテスト、ファクス 312
解像度ボタン 23
解像度、ファクス 118
解像度
ファクス 23
確認レポート、ファクス 150
カスタマ サポート
電子 363
電話サポート 366
保証 370
カスタムサイズのメディア
印刷 65
ガイドライン 52
サポートされているサイズ 56
壁側のモジュラー ジャックのテスト、ファクス 306
紙詰まり
用紙 350, 353
カメラ
DPOF ファイルの印刷 99
コントロール パネル ディスプレイのモード 29
コンピュータへの写真の保存 106
ポート、位置の確認 98
メモリ カードの挿入 97
接続 99, 101
ガラス、スキャナ
位置の確認 20
クリーニング 276
ガラス版、スキャナ
原稿のセット 47
カラー
コピー 163
トラブルシューティング 291
にじむ 289
ファクス 117
印字が薄いか色が鮮やかでない 289
間違った色 289
白黒で印刷される、トラブルシューティング 289
カラー コピー 156
カラー テキスト、および OCR 80
環境仕様 388
環境認可プログラム 402
管理者
設定 173
カード
ガイドライン 52
サポートされているサイズ 55
トレイのサポート 57
カートリッジ. *を参照* インク カートリッジを参照

き

技術情報
コピーの仕様 386
スキャンの仕様 387
ファクスの仕様 386
メモリ カード仕様 389
規制モデル番号 399
規定情報 396
キャンセル
印刷ジョブ 73
コピー 167
スキャン 81
キャンセル
スケジュールされたファクス 116
キャンセル ボタン 26
キャンセル ボタン 24
給紙の問題、トラブルシューティング 292
共有、デバイス
Mac OS 241
Windows 232
共有 30
拒否されたファクス番号
コントロール パネルのボタン 23
拒否するファクス番号
設定 129
キーパッド、コントロール パネル
位置の確認 25
文字と記号の入力 40
キーパッド、コントロール パネル
位置の確認 23

く

空白ページ、トラブルシューティング
　コピー　295
　スキャン　303
暗い、トラブルシューティング
　コピー　296
　スキャン　303
グラフィックス
　コピーにムラがある　297
　スキャン原稿と異なって見える　302
　印字ムラが出る　288
　線やドットが欠落している　291
クリーニング
　自動ドキュメント フィーダ　277
　スキャナ ガラス　276
　外側　277
　プリントヘッド　270
グループ、短縮ダイヤル
　設定　144
黒い点または縞、トラブルシューティング
　コピー　297
　スキャン　303

け

警告メッセージ　38
原稿
　スキャン画像の編集　79
　スキャン　75
言語、プリンタ　382
ケーブル
　USB ケーブルの注文　360

こ

高画質、コピー品質　159
濃くする
　コピー　163
濃くする
　ファクス　120
コネクタ、位置の確認　22
コピーが薄い　295
コピーがかすれてしま模様になる、トラブルシューティング　296
コピー
　薄い部分を強調　163
　キャンセル　167
　コピー枚数　156
　コピーを部単位で印刷　164
　縮小する　161
　仕様　386
　設定　156
　速度　159
　デバイスのコントロール パネルから　156
　トラブルシューティング　294
　品質　159, 296
　用紙サイズ　157
　用紙の種類、推奨　158
　リーガルをレターに　161
　原稿のトリミング　162
　余白の変更　165
　両面　166
コピー スタート ボタン
　カラー　26
　モノクロ　26
コピー スタート ボタン
　カラー　23
　モノクロ　23
コピーに縦のしま模様が入る、トラブルシューティング　296
コピーのざらざらしたまたは白い帯、トラブルシューティング　297
コピー ボタン　25, 28
コピー枚数　156
コントラスト、ファクス　120
コントロール パネル
　ステータス アイコン　27
　ディスプレイ　29
　ボタン　23
　ランプ　23
　画像のトリミング　162
　写真の印刷　104
　文字と記号の入力　40
コンピュータ モデム
　ファクスおよび留守番電話との共有 (パラレル方式の電話システム)　220
コンピュータ モデム
　ファクスおよび電話回線との共有 (パラレル方式の電話システム)　212
　ファクスおよびボイス メールとの共有 (パラレル方式の電話システム)　226
　ファクスとの共有 (パラレル方式の電話システム)　208

さ

サイズ
　コピーのトラブルシューティング　296
　スキャン、トラブルシューティング　303
サブスクライバ識別コード　136
サプライ品
　オンライン注文　359
　印刷可能枚数　382
　自己診断テスト ページ　187
サプライ用品
　状態　170
サポート. *を参照* カスタマ サポートを参照
サポートされているオペレーティング システム　383
サポートするフォント　382
サポート プロセス　367
[サービス] タブ、ツールボックス (Windows)　179

し

システム要件　383
湿度仕様　388
(ADF) 自動ドキュメント フィーダ
　給紙の問題、トラブルシューティング　277
　クリーニング　277
自動ドキュメント フィーダ (ADF)
　給紙の問題、トランブルシューティング　277
　クリーニング　277
自動ファクス縮小　128
縞、トラブルシューティング
　コピー　297
　スキャン　303
写真
　インデックス シート　105

コピーの強調　163
スキャン画像の編集　79
表示　103
フチ無し印刷　67
メモリ カードの挿入　97
メモリ カードのトラブルシューティング　345
重要なエラー メッセージ　39
縮小/拡大コピー
レターまたは A4 用紙に合わせてサイズを変更　160
レター用紙に合わせてサイズ調整　161
受信、ファクス
ポーリング　126
手動ファクス
受信　122
送信　111, 112
状態
ネットワーク設定ページ　188
仕様
システム要件　383
電気　388
動作環境　388
ネットワーク プロトコル　385
発生音量　388
物理的仕様　381
プロセッサとメモリ　383
保管環境　388
ジョブ
設定　39
シリアル方式の電話システム
国/地域　193
セットアップの種類　195
シリアル番号　187
白い帯またはしま模様、トラブルシューティング
コピー　296
白い帯またはストライプ、トラブルシューティング
コピー　297
スキャン　302

す

スキャナ ガラス
クリーニング　276
スキャナのガラス板
位置の確認　20
スキャナのガラス板
原稿のセット　47
スキャン画像の送信
OCR 用　80
トラブルシューティング　298
スキャン
[スキャン スタート] ボタン　26
OCR　80
TWAIN 互換または WIA 互換プログラムから　78
Web スキャンから　78
エラー メッセージ　301
遅い　299
画像の編集　79
キャンセル　81
スキャンの仕様　387
設定　81
デバイスのコントロール パネルから　75
トラブルシューティング　298
品質　301
プログラムへの送信　76, 77
メモリ カード　77
スキャンする
[スキャン] メニュー ボタン　25, 28
スキャンのストライプ、トラブルシューティング　302
スキャンの送信
コンピュータへ　77
プログラムへ　76
スケジュール設定、ファクス　115
ステータス アイコン　27
ステータス
メッセージ　38
ストレージ デバイス
サポートされている USB フラッシュ ドライブ　388
接続　101

せ

製品の梱包　378
製品の送付　372
セキュリティ
Bluetooth　257
ワイヤレス設定　244
ワイヤレス通信　250
接続
使用できる機能　29
設定
管理者　173
コピー　156
コントロール パネル　39
スキャン　81
速度、ファクス　141
着信識別音　138
ドライバ　69
ネットワーク　190
ファクスのテスト　148
設定
ファクス　118
セットアップ
Bluetooth　252
DSL (パラレル方式の電話システム)　200
ISDN 回線 (パラレル方式の電話システム)　202
PBX システム (パラレル方式の電話システム)　202
Windows　229
Windows ネットワーク　233
共有電話回線 (パラレル方式の電話システム)　205
コンピュータ モデムと電話回線 (パラレル方式の電話システム)　212
コンピュータ モデムとボイス メール (パラレル方式の電話システム)　226
コンピュータ モデムと留守番電話 (パラレル方式の電話システム)　220
コンピュータ モデム (パラレル方式の電話システム)　208
接続の種類　29
単独のファクス回線 (パラレル方式の電話システム)　199
着信識別 (パラレル方式の電話システム)　203

ファクスのシナリオ 195
ファクス、パラレル方式の電話システム 193
ファクス 193
ボイス メールとコンピュータ モデム (パラレル方式の電話システム) 226
ボイス メール (パラレル方式の電話システム) 207
留守番電話 (パラレル方式の電話システム) 218
留守番電話とモデム (パラレル方式の電話システム) 220
セットアップ ポスター 15
セットアップ ボタン 29
セット
ADF (自動ドキュメント フィーダ) への原稿のセット 46
トレイ 1 60
トレイ 2 62
セルフテスト レポート
印刷 188
情報 186
線
コピー、トラブルシューティング 297
スキャン、トラブルシューティング 302, 303

そ

送信、ファクス
スケジュール設定 115
速度
コピー 159
スキャナのトラブルシューティング 299
ソフトウェア
HP Photosmart 43
Mac OS からのアンインストール 261
Mac OS へのインストール 240
OCR 80
Web スキャン 78
Windows からのアンインストール 259
Windows へのインストール 229
アクセサリの設定 34
接続の種類 29
ソフトウェアのアンインストール
Mac OS 261
Windows 259
ソリューション センター 180

た

ダイヤルアップ モデム
ファクスおよび留守番電話との共有 (パラレル方式の電話システム) 220
ダイヤルアップ モデム
ファクスおよび電話回線との共有 (パラレル方式の電話システム) 212
ファクスおよびボイス メールとの共有 (パラレル方式の電話システム) 226
ファクスとの共有 (パラレル方式の電話システム) 208
ダイヤルトーンのテスト、失敗 310
ダイヤル方式、設定 140
ダイヤル モニタリング 113
ダイヤル モニタリング 112
正しいポートのテスト、ファクス 307
短縮ダイヤル
印刷と表示 146
グループ、設定 144
ファクスの送信 110
ファクス番号、設定 143
ボタン 24

ち

着信識別音
変更 138
着信識別
パラレル方式の電話システム 203
注意ランプ 24

つ

ツールボックス (Windows)
説明 176
ツールボックス (Windows)
管理者の設定 174
開く 177
[サービス] タブ 179
[推定インク レベル] タブ 178

て

ディスプレイ、コントロール パネル 29
適合宣言書 (DOC) 400
テキスト
コピーが汚い 297
コピーがはっきりしない、トラブルシューティング 297
コピーにムラがある 297
スキャンが鮮明でない 303
スキャン後に編集できない、トラブルシューティング 300
スキャンされない、トラブルシューティング 299
トラブルシューティング 284, 288, 291
デジタル カメラ
DPOF ファイルの印刷 99
コントロール パネル ディスプレイのモード 29
コンピュータへの写真の保存 106
ポート、位置の確認 98
接続 99, 101, 102
デジタル カメラ
メモリ カードの挿入 97
テスト、ファクス
失敗 304
設定 148
ダイヤルトーン、失敗 310
電話の壁側のモジュラー ジャック 306
ハードウェア、失敗 305
ファクス回線状態 312
ファクスに使用している電話コードの種類のテストに失敗した 309
ポート接続、失敗 307
デバイス
電源オフ 30

デバイスのコントロール パネル
- ネットワーク コンピュータへのスキャン画像の送信　77
- プログラムへのスキャン画像の送信　76
- メニュー　37

デバイスのコントロール パネル
- 位置の確認　20
- カバー、取り外し　375
- 管理者の設定　173
- コピー　156
- スキャン　75
- 設定、変更　39
- ネットワーク設定　190
- ファクスの送信　111
- メッセージ　38

デフォルト設定
- ファクス　120

デフォルトの設定
- 印刷　70
- コピー　156
- デバイスのコントロール パネル　39
- ドライバ　69

テレフォン カスタマ サポート　366
電圧仕様　388
電気仕様　388
電源ボタン　24
点または縞、トラブルシューティング
- コピー　297

電力
- 仕様　388

電話回線、応答呼び出し音のパターン　138
電話コード
- 延長　322
- 種類のテストに失敗した　309
- 正しいポートに接続完了テストに失敗した　307

電話サポート期間後　370
電話サポート期間
- サポート期間　368

電話によるカスタマ サポート　366
電話によるサポート　367
電話の壁側のモジュラー ジャック、ファクス　306
電話、ファクス
- 受信　122
- 送信　111

点、トラブルシューティング
- スキャン　303

と

動作環境仕様　388
ドライバ
- アクセサリの設定　34
- 設定　69
- バージョン　367

トラブルシューティング
- 一度に 2 枚以上給紙される　293
- インクがにじむ　288
- インストール　347
- 紙詰まり、用紙　353
- カラーがにじむ　289
- カラー　289, 291
- 給紙の問題　292
- コピーが曲がっている　297
- コピー　294
- コピーの品質　296
- スキャン　298
- スキャンの品質　301
- セルフテスト レポート　186
- テキストまたはグラフィックスに印字ムラが出る　288
- デバイスのコントロール パネルのメッセージ　38
- ネットワーク設定ページ　188
- はみ出したページ、テキストまたはグラフィックスの配置が適切でない　284
- ヒント　281
- ファイアウォール　284
- ファクス回線のテストに失敗した　312
- ファクス テスト　304
- ファクスに使用している電話コードの種類のテストに失敗した　309
- ファクスの壁側のモジュラー ジャックのテスト、失敗　306
- ファクスの受信　314, 318
- ファクスの送信　314, 317, 321
- ファクスのダイヤルトーンのテストに失敗した　310
- ファクスの電話コードの接続テストに失敗した　307
- ファクス ハードウェア テストに失敗した　305
- ファクス　303
- ページが曲がっている　293
- メディアがトレイから供給されない　292
- メモリ カード　344
- 留守番電話　322
- 印刷　282
- 印刷速度が遅い　284
- 印刷品質　286
- 何も印刷されない　283
- 情報の一部がないか正しくない　291
- 線やドットが欠落している　291
- 電源　282
- 埋め込み Web サーバ　346
- 無意味な文字が印刷される　287

トレイ 1
- メディアのセット　60
- 使用可能なメディアのサイズ　53
- 使用可能なメディアのタイプと重量　57
- 容量　57

トレイ 2
- オンライン注文　360
- ドライバでのオン/オフ　34
- メディアのセット　62
- 使用可能なメディアのサイズ　53
- 使用可能なメディアのタイプと重量　57

取り付け　33
容量　57
トレイ
位置の確認　20
デフォルトの設定　63
ドライバでのオン/オフ　34
トレイ 2 の取り付け　33
メディア詰まりの除去 350
メディアの供給のトラブルシューティング　292
メディアのセット　60
用紙ガイド図　20
ロック　63
使用可能なメディアのサイズ　53
使用可能なメディアのタイプと重量　57
容量　57
トレイのロック　63
トーン ダイヤル　140

ね

ネットワーク
Ethernet 接続　29
IP 設定　192
Mac OS のセットアップ 240
Windows のセットアップ 233
共有、Windows　232
コネクタ図　22
システム要件　386
使用可能なオペレーティング システム　385
使用可能なプロトコル 385
詳細設定　191
設定、変更　190
ファイアウォール、トラブルシューティング　284
リンク速度　192
ワイヤレス設定　188, 244
ワイヤレス設定　190
ワイヤレス通信のセットアップ　242
設定の表示と印刷　190

の

ノイズ情報　388
ノイズ
規定情報　396

は

排紙トレイ
位置の確認　20
取り外す　377
背面アクセス パネル
メディア詰まりの除去 350
パスキー認証、Bluetooth　257
パスポート写真　105
バックアップ ファクス受信 123
発生音量　388
はみ出したページ、トラブルシューティング　284
はやい、コピー品質　159
パラレル方式の電話システム
DSL のセットアップ　200
ISDN のセットアップ　202
PBX のセットアップ　202
共有回線のセットアップ 205
国/地域　193
セットアップの種類　195
単独回線のセットアップ 199
着信識別のセットアップ 203
電話回線と共有するモデムのセットアップ　212
モデムとボイス メールのセットアップ　226
モデムのセットアップ 208
留守番電話のセットアップ　218
パラレル方式の電話システム
モデムと留守番電話のセットアップ　220
パルス ダイヤル　140
ハードウェア、ファクス セットアップ テスト　305

ひ

標準、コピー品質　159
表示
写真　103
短縮ダイヤル エントリ 146
品質、コピー　159
品質、トラブルシューティング
コピー　296
スキャン　301

ふ

ファイアウォール、トラブルシューティング　284
ファクス スタート ボタン
カラー　26
モノクロ　26
ファクスの縮小　128
ファクスの受信
応答呼び出し回数　137
自動応答モード　137
自動　121
手動　122
転送　127
トラブルシューティング 314, 318
番号の拒否　129
ファクスの送信
基本的なファクス　110
手動　111
ダイヤル モニタリング 112
トラブルシューティング 314, 317, 321
メモリから　114
ファクスの転送　127
ファクスの一斉送信
送信　113
ファクスの送信
カラー ファクス　117
ダイヤル モニタリング 113, 116
複数の受信者　117
ファクス
DSL、セットアップ (パラレル方式の電話システム) 200
ISDN 回線、セットアップ (パラレル方式の電話システム)　202
Mac にファクス　132

PBX システム、セットアップ (パラレル方式の電話システム) 202
PC ファクス受信 132
インターネット プロトコル経由 147
エラー補正モード 139
エラー レポート 151
応答モード 137
応答呼び出し回数 137
回線状態のテスト、失敗 312
確認レポート 150
壁側のモジュラー ジャックのテスト、失敗 306
共有電話回線のセットアップ (パラレル方式の電話システム) 205
自動応答 137
受信、トラブルシューティング 314, 318
受信 121
手動受信 122
仕様 386
スケジュール設定 115
設定のテスト 148
設定、変更 135
セットアップの種類 195
送信、トラブルシューティング 314, 317, 321
送信 110
速度 141
ダイヤルトーンのテスト、失敗 310
ダイヤル方式、設定 140
ダイヤル モニタリング 113, 116
ダイヤル モニタリング 112
短縮ダイヤル エントリ、設定 143
短縮ダイヤル グループ、設定 144
単独回線のセットアップ (パラレル方式の電話システム) 199
着信識別音、パターンの変更 138
着信識別のセットアップ (パラレル方式の電話システム) 203
テストに失敗した 304
転送 127
電話コードが短すぎる 322
電話コードの種類のテスト、失敗 309
電話コードの接続テスト、失敗 307
トラブルシューティング 303
バックアップ ファクス受信 123
パラレル方式の電話システム 193
番号の拒否 23, 129
ヘッダー 136
ボイス メール、セットアップ (パラレル方式の電話システム) 207
ポーリングして受信 126
メモリから削除 126
モデムと電話回線、共有 (パラレル方式の電話システム) 212
モデムとボイス メール、共有 (パラレル方式の電話システム) 226
モデムと留守番電話、共有 (パラレル方式の電話システム) 220
モデム、共有 (パラレル方式の電話システム) 208
リダイヤル/ポーズ ボタン 26
リダイヤル オプション 140
留守番電話のトラブルシューティング 322
留守番電話、セットアップ (パラレル方式の電話システム) 218
レポート 149
ログの消去 126
ログ、印刷 152
ログ、消去 153
音のボリューム 142
間隔 40
再印刷 125
最後の処理についての詳細の印刷 153
写真 117
入門ガイド 15
番号の拒否 25
複数の受信者に送信 117
文字と記号の入力 40
留守番電話とモデム、共有 (パラレル方式の電話システム) 220
ファクス
薄くまたは濃くする 120
エラー補正モード 121
解像度 118
濃くまたは薄くする 120
コントラスト 120
縮小 128
設定 118
デフォルト設定 120
用紙サイズ 128
ファクス メニュー ボタン 25, 28
ファクス
セットアップ 193
ファックス
自動応答 23, 26
フォト メディア
ガイドライン 52
使用可能なサイズ 55
フォトメニュー ボタン 26, 28
フォト用紙
コピー 158
負荷サイクル 383
フチ無し印刷
Windows 67
フチ無し印刷
Mac OS 67
プリンタ ドライバ
アクセサリの設定 34
プリンタ ドライバ
設定 69
バージョン 367
プリント ドライバ
アクセサリの設定 34
プリント ドライバ
バージョン 367
プリントヘッドの位置の調整 269

プリントヘッド
クリーニング 270
メンテナンス 265
位置の調整 269
交換 273
使用可能 382
取り外し 372
手動でのコンタクトのクリーニング 270
状態、確認 266
状態 187, 266
プリントヘッド ラッチ、位置の確認 21
プロセッサの仕様 383

へ

ヘッダー、ファクス 136
ヘルプ 363
も参照 カスタマ サポート
ヘルプ ボタン 29
編集
OCR プログラムのテキスト 80
スキャンした画像 79
ページに合わせる 160
ページ/月 (負荷サイクル) 383

ほ

ボイス メール
ファクスおよびコンピュータ モデムとのセットアップ (パラレル方式の電話システム) 226
ファクスのセットアップ (パラレル方式の電話システム) 207
法規について 391
保管環境仕様 388
保証 370
保存
デフォルトの設定 39
メモリ内のファクス 123
ボタン、コントロール パネル 23
ボリューム
ファクス音 142
ポート、仕様 382
ポーリングしてファクスを受信 126
ボーレート 141

ま

曲がっている、トラブルシューティング
印刷 293
マニュアル 15

む

無線、オフにする 191

め

迷惑ファクス モード 129
迷惑ファクスを拒否ボタン 23
メディア詰まり
除去 350
メディア
2 面印刷 71
HP、注文 362
カスタムサイズの印刷 65
トレイ 1 へのセット 60
トレイ 2 へのセット 62
トレイのロック 63
フチ無し印刷 67
ページが曲がっている 293
メディア詰まりの除去 350
メディアの供給のトラブルシューティング 292
仕様 53
使用可能なサイズ 53
使用可能なタイプと重量 57
選択 51
メニュー、デバイスのコントロール パネル 37
メモリからのファクスの削除 126
メモリ カード
DPOF ファイルからの印刷 102
DPOF ファイルの印刷 99
コントロール パネル ディスプレイのモード 29
コンピュータへの写真の保存 106
ファイルの印刷 104
写真の印刷 104
メモリ カード
インデックス シート 105
仕様 389
スキャン画像の送信 77
挿入 97
トラブルシューティング 344
メモリ
仕様 383
ファクスの保存 123
ファクスの再印刷 125
ファクスの削除 126

も

モデム
ファクスおよび電話回線との共有 (パラレル方式の電話システム) 212
ファクスおよびボイス メールとの共有 (パラレル方式の電話システム) 226
ファクスおよび留守番電話との共有 (パラレル方式の電話システム) 220
ファクスとの共有 (パラレル方式の電話システム) 208
モデル番号 187
モニタリング、ダイヤル 116
モノクロ ページ
コピー 156
ファクス 109

ゆ

ゆがんでいる、トラブルシューティング
コピー 297
スキャン 302

よ

用紙サイズ
コピー設定 157
用紙
紙詰まり 350, 353
推奨コピーの種類 158
リーガルをレターにコピー 161
用紙
サイズ、ファクス用 128

ら

ライン フィード キャリブレーション 269
ラインフィード、キャリブレーション 269
ランプ、コントロール パネル 23

り

リサイクル
  プリント カートリッジ 403
リダイヤル/ポーズ ボタン 26
リダイヤル オプション、設定 140
両面印刷ユニット
  インストール 33
  取り外し 377
  メディア詰まりの除去 350
両面印刷 71
両面、印刷 71
リリース ノート 16
リンク速度、設定 192
リーガル用紙
  コピー 157

る

留守番電話
  ファクス トーンが録音される 322
  ファクスのセットアップ (パラレル方式の電話システム) 218

れ

レター用紙
  コピー 158
レポート
  エラー、ファクス 151
  確認、ファクス 150
  ファクス テストに失敗した 304

ろ

ログ、ファクスの消去 126
ログ、ファクス
  印刷 152
  表示 153

わ

ワイヤレス通信
  Ethernet のセットアップ 245
  ウィザード 246
  オフにする 248
  規定情報 396
  セキュリティ 250
  設定 244
  無線、オフにする 191
ワイヤレス接続アイコン
  アドホック 28
ワイヤレス設定 190
ワイヤレス通信
  Bluetooth 252
  Mac OS でのセットアップ 246
  セットアップ 242
ワイヤレス入門ガイド 15
ワンタッチ短縮ダイヤル ボタン 27

ん

一斉送信、ファクス
  送信 116
印刷
  Bluetooth 252
  DPOF ファイルからの写真 102
  DPOF ファイルの写真 99
  Web ページ 72
  セルフテスト レポート 188
  トラブルシューティング 282
  パスポート写真 105
  ファクス 125
  メモリ カードからの写真 104
  メモリ カードの写真 104
  最後のファクスについての詳細 153
  遅い 284
印刷速度が遅い、トラブルシューティング 284
印刷品質
  トラブルシューティング 286
  診断ページ 266
印刷品質診断ページ 266
右矢印 26
解像度ボタン 25
解像度
  ファクス 25
監視ツール 170
記号、入力 40
拒否されたファクス番号
  コントロール パネルのボタン 25
拒否するファクス番号
  リストの表示 132
原稿のトリミング 162
原稿
  ADF (自動ドキュメント フィーダ) へのセット 46
  トリミング 162
言語、プリンタ 383
後部アクセス パネル
  図 22
交換
  インク カートリッジ 263
  プリントヘッド 273
左矢印 26
再印刷
  メモリ内のファクス 125
仕様
  メディア 53
紙詰まり
  避けるメディア 51
自動ドキュメント フィーダ (ADF)
  原稿のセット 46
  使用可能なメディアのサイズ 53
自動応答ボタン 23, 26
写真
  DPOF ファイルからの印刷 99, 102
  PictBridge カメラの接続 99
  コントロール パネルからの印刷 104
  コンピュータへの保存 106
  ストレージ デバイスの接続 101
  パスポート 105
  メモリ カードからの印刷 104

取り付け
インク カートリッジ 263
トレイ 2 33
消去
ファクス ログ 153
情報の一部がないか正しくない、トラブルシューティング 291
状態
サプライ用品 170
自己診断テスト ページ 187
接続タイプ
変更 249
接続
Bluetooth 252
設定
ボリューム、ファクス 142
線やドットが欠落している、トラブルシューティング 291
組み込み Web サーバ
説明 181
速度
印刷上のトラブルシューティング 284
短縮ダイヤル
ワンタッチ ボタン 27
電源ボタン 26
電源
トラブルシューティング 282
電源入力、位置の確認 22
排紙トレイ
使用可能なメディア 58
白黒ページ
トラブルシューティング 289
表示
ネットワーク設定 190
ファクス ログ 153
拒否するファクス番号 132
品質ボタン 25
品質、トラブルシューティング
印刷 286
診断ページ 266
部単位で印刷
コピー 164
部品番号、サプライ品とアクセサリ 360
封筒
ガイドライン 52
サポートされているサイズ 54
トレイのサポート 57
文字
コントロール パネルからの入力 40
保存
写真のコンピュータへの保存 106
埋め込み Web サーバ
トラブルシューティング、開くことができない 346
ファクスのヘッダー、設定 136
ファクス ログの消去 126
ファクス ログ、表示 153
管理者の設定 173
拒否するファクス番号、表示 132
迷惑ファクスを拒否ボタン 25
余白の変更
コピー 165
余白
設定、仕様 59
両面印刷ユニット 60
容量
トレイ 57
用紙. *を参照* メディアを参照
留守番電話
ファクスおよびモデムとのセットアップ 220
両面印刷アクセサリ
オンライン注文 360
両面印刷ユニット
サポートされているメディア サイズ 53
ドライバでのオン/オフ 34
使用可能なメディアのタイプと重量 57
余白、最小 60
両面
コピー 166